活用マニュアル（印刷用）について

このMultiWriter 2130には、ユーザーズマニュアルと活用マニュアル（閲覧用）の2種類のマニュアルがあります。本書は、活用マニュアル（閲覧用）と同じ内容を記載してある、印刷用としてのマニュアルです。本書の印刷したい章を以下から選び、イメージアイコンをクリックするとAcrobatReaderでご希望の章を開くことができます。本書の印刷の仕方については「はじめに」の「本書を印刷するには」（viiiページ）をご覧ください。

はじめに

本書をお読みいただくために、知っておいていただきたい内容、目次、また、便利な使い方「MOPYING」について記載しています。

こちら↑

1章　オプション

別売品（オプション）の紹介、取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

こちら↑

2章　プリンターソフトウエアのインストール

プリンターソフトウエアをインストールして、プリンターを使用できるまでについて説明しています。

こちら↑

3章　ネットワークでの設定

ユーティリティーを使ったIPアドレスの設定方法。LPR（TCP/IP）を使った印刷方法について説明します。

こちら↑

4章　より進んだ使い方

プリンターソフトウエアを使った、便利な印刷機能について詳しく説明しています。

こちら↑

5章　用紙のセット

使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

こちら↑

6章　操作パネル

操作パネルのスイッチやランプについて説明しています。

こちら↑

7章　メニューモード

操作パネル上のスイッチを使って設定できるメニューモードの詳細について説明しています。

こちら↑

8章　日常の保守

消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。

こちら↑

9章　故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときの症状を基に、原因と処置方法を説明します。

こちら↑

10章 ユーザーサービス

さまざまなユーザーサービスについて説明しています。

こちら↑

付録　技術情報

このプリンターの性能、印刷範囲や制御コードなどの詳しい技術情報について説明しています。

こちら↑

用語解説・索引

わからない用語の解説や、索引があります。

こちら↑

893-810045-502-A　第4版

プリンターに添付で、本書の他にあるユーザーズマニュアルには以下のことが書かれています。必要に応じて併せてお読みください。

ユーザーズマニュアルの概要

プリンターを安全に使うために	安全にお使いいただくために
プリンターを設置する コンピューターと接続する ネットワークに接続する	1章　プリンターの設置
プリンターソフトウエアをインストールする プリンターソフトウエアについて	2章　プリンターソフトウエアのインストール
用紙について	3章　用紙のセット
スイッチ・ランプについて	4章　操作パネル
データを印刷する	5章　印刷するには
EPカートリッジを交換する プリンターの清掃について	6章　日常の保守
うまく印刷できないときには 紙づまりのときは	7章　故障かな？と思ったら
ユーザーサービスについて	8章　ユーザーサービス
オプションについて	9章　オプション
このプリンターの性能は？	付録
わからない用語がある	用語解説、索引

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

2007年2月　第4版

893-810045-502-A　第4版

MultiWriter 2130

レーザプリンタ

活用マニュアル（印刷用）

893-810045-502-A
第4版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		**火傷**を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		**特定しない一般的な注意・警告**を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Netscapeは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueTypeは米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorks、Printing Force FUJI XEROXロゴは富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

893-810045-502-A　第4版

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 2130は高性能なCPUを採用し、省スペース、高速ウォームアップ、スループットの高速化を実現した、レーザープリンターです。さらに、用途に合わせた豊富な給紙を実現しています。

以下に特長を示します。

- 最高 17 ページ / 分の印刷速度（A4 サイズ横の場合）
- USB 2.0 インターフェース標準装備
- 2 段カセット標準
- 最大給紙容量 1350 枚
- 最高 600dpi 相当の解像度

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」を実現しています。「MOPYING」については、『プリンティングスタイル「MOPYING」とは』（7ページ）をお読みください。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 2130を十分にご活用ください。

2007年2月　第4版

Printing Force FUJI XEROXロゴが適用された商品には、富士ゼロックス株式会社のプリンター技術が活用されています。

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 2130本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル」と電子マニュアルの「活用マニュアル」があります。活用マニュアルは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの［MANUAL］フォルダーに収録されており、閲覧用（HTML）と印刷用（PDF）のファイルがあります。活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはixページをご覧ください。また、各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。それぞれ、目的に応じてマニュアルをお読みいただき、MultiWriter 2130を十分にご活用ください。

MultiWriter 2130　ユーザーズマニュアル

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

MultiWriter 2130　活用マニュアル

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

閲覧用

活用マニュアルには、HTML形式を採用した、汎用のブラウザーで閲覧する「活用マニュアル（閲覧用）」と、PDF形式を採用したAdobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができる「活用マニュアル（印刷用）」があります。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については「活用マニュアルについて」（viiページ）をご覧ください。

印刷用（本書）

また、活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはixページ、活用マニュアル（印刷用）の開き方、および印刷方法についてはviiiページをご覧ください。

活用マニュアルについて

この活用マニュアルを使いやすくお読みいただくために、以下に簡単な目的別のガイドを記載します。

1ページから始まる「安全にお使いいただくために」にはプリンターを安全にお使いいただくための注意事項が記載してあります。必ずお読みください。

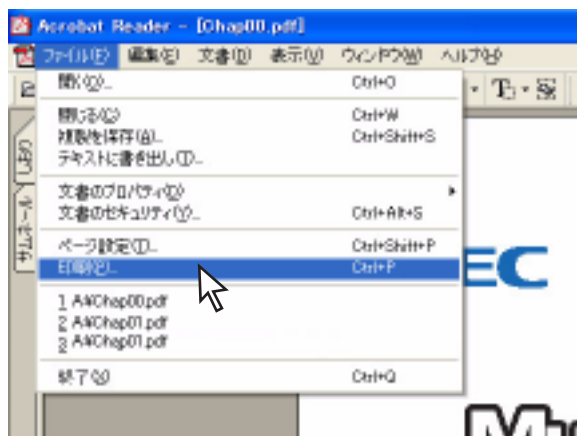
活用マニュアルガイド

目的	参照先
オプション品を使いたい	1章　オプション
プリンタソフトウエアをインストールして、プリンタを使用したい	2章　プリンターソフトウエアのインストール
ネットワークの設定をするには？	3章　ネットワークでの設定
LPR（TCP/IP）を使って印刷する	3章　ネットワークでの設定
便利な印刷機能を使いたい	4章　より進んだ使い方
用紙の種類・用紙のセット方法が知りたい	5章　用紙のセット
操作パネルのスイッチ、ランプについて知りたい	6章　操作パネルについて
プリンターで設定を変更するには？	7章　メニューモード
消耗品の交換、プリンターのお手入れをするには？	8章　日常の保守
うまく印刷できない、思うように動作しない	9章　故障かな？と思ったら
紙づまりを処理したい	9章　故障かな？と思ったら
プリンターの保守やサービスを受けるには？	10章　ユーザーサービス
このプリンターの性能は？	付録　技術情報
印刷範囲や制御コード、より詳しい技術情報を知りたい	付録　技術情報
わからない用語を知りたい	用語解説

本書を印刷するには

このマニュアルはA4サイズの大きさで作成されています。ここではWindows XPの環境でMultiWriter 2130を使って活用マニュアル（印刷用）を印刷する手順を説明します。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

❶ **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。**

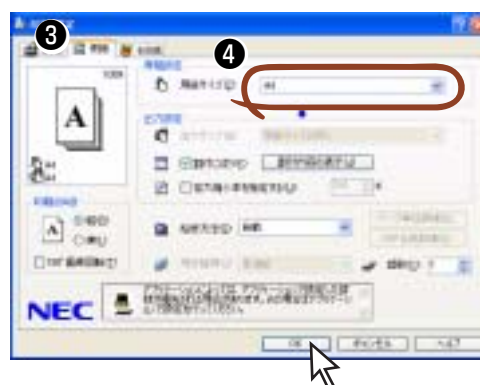
[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

❷ **[プロパティ]をクリックする。**

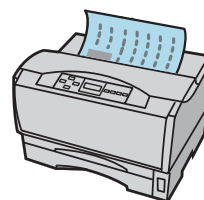
[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❸ **[用紙]タブをクリックする。**

[用紙]シートが表示されます。

❹ **[用紙サイズ]から[A4]を選択し、[OK]をクリックする。**

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

❺ **印刷部数を指定して[OK]をクリックする。**

活用マニュアルが印刷されます。

活用マニュアル（閲覧用）の開き方

活用マニュアル（閲覧用）は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されており、お手持ちのコンピューターの画面上でインターネットブラウザーを使って閲覧できます。なお、閲覧するブラウザーはMicrosoft Internet Explorer 5.0またはNetscape Navigator 4.5以上をお奨めします。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

以下に開き方の手順を説明します。

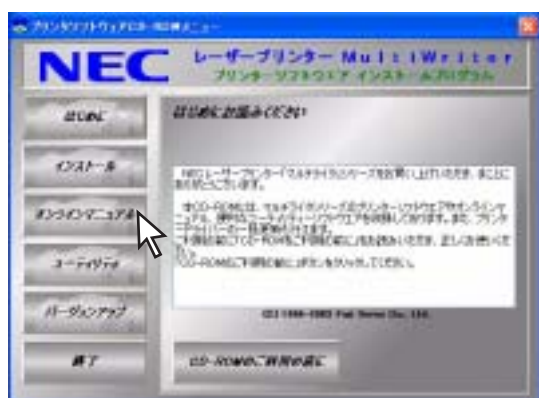
❶ **お使いのOS（日本語版）を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

「プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー」が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[オンラインマニュアル]をクリックする。**

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。

❹ **右側のボックスの[MultiWriter 2130活用マニュアル（閲覧用）]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。**

お使いのインターネットブラウザーが起動し、「活用マニュアル（閲覧用）」が開きます。

目次

安全にかかわる表示 ii
はじめに v
マニュアルの種類と使い方 vi
活用マニュアルについて vii
本書を印刷するには viii
活用マニュアル（閲覧用）の開き方 ix
安全にお使いいただくために 1
プリンティングスタイル「MOPYING」とは 7

1章　オプション 13

オプション品の紹介 15
ホッパー・カセット 15
ネットワークオプション 16
メモリー 18
リファレンスマニュアル 18
増設ホッパー 19
増設ホッパーの設置に必要な高さ 19
増設ホッパーの取り付け 20
増設ホッパーへの用紙のセット 22
プリンターの設定 22
ホッパーの切り替え 23
テスト印刷 25
リレー給紙の設定 26
増設ホッパーの取り外し 27
LANアダプター 28
LAN アダプターの取り付け 28
コンフィグレーションページの印刷 29
LAN アダプターの取り外し 29
増設メモリー 30
増設メモリーの取り付け 30
テスト印刷 32
増設メモリーの取り外し 32
使用できるプリンターケーブル 33

2章　プリンターソフトウエアのインストール 35

プリンターソフトウエア CD-ROM について 36
プリンターソフトウエアの動作環境 37
インストール方法の選択 39
「インストールプログラム」からのインストール 40
USBインターフェース接続によるインストール 45
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版 45
Windows Me 日本語版 47
Windows 98 日本語版 49
Windows 2000 日本語版 51
パラレルインターフェース接続によるインストール 53
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版 53
Windows Me 日本語版 55
Windows 98 日本語版 56
Windows 95 日本語版 57
Windows 2000 日本語版 59
プリンタードライバーの削除 61
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版 61
Windows Me、Windows 98、
Windows 95 日本語版 62
Windows 2000 日本語版 63
Windows NT 4.0 日本語版 64
PrintAgentの追加・削除 65
プリンター管理者用インストール 67
インストール手順 68
パスワードの設定 73
日本語MS-DOS環境 74
プリンターを選択する 74
プリンターを設定する 74

3章　ネットワークでの設定 75

MultiWriterを使ったネットワーク印刷 76
無線LANアダプターに関する安全上のご注意 77
ユーティリティーによるネットワークの設定 78
EASY 設定ユーティリティ 79
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ 82
無線 LAN プリンタ導入ウィザード 84
UNIX コマンド 86
プリンターの操作パネル 88
I/F 設定を ECP に変更する 88
IP アドレスとサブネットマスクの設定を
変更する 89
接続先の設定とプリンタードライバーのインストール ..90
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版 90
NEC Network Port を使用して印刷するには ...91
UNIX 用印刷サービス（LPR）を使用して
印刷するには 92
Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して
印刷するには 95

Windows Me、Windows 98、
Windows 95 日本語版 99
NEC TCP/IP Printing System を使用して
印刷するには 99
Windows 2000 日本語版 101
NEC Network Port を使用して印刷するには 101
UNIX 用印刷サービス（LPR）を使用して
印刷するには 103
Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して
印刷するには 106
Windows NT 4.0 日本語版 109
NEC Network Port を使用して印刷するには 109
Microsoft TCP/IP 印刷（LPR）を使用して
印刷するには 111
ターミナルサービス環境 113
ターミナルサービス用プリンタードライバーの
インストール 113
UNIX環境の設定 116
IP アドレスの設定 116
ホストコンピューター側のセットアップ 117
印刷方法 118
より便利なネットワーク機能 120
DHCP 120
DHCP の設定 120
DHCP サーバーの設定 122
DHCP の動作について 126
ネットワーク設定の初期化 127
コンフィグレーションページの印刷 127

4章　より進んだ使い方 133

機能の紹介 134
複数ページ印刷 137
設定方法 138
仕分け印刷 139
丁合い機能 139
ジョブセパレート機能 139
ジョブセパレートを使った仕分け印刷 140
電子ソート機能 140
設定方法 141
ジョブセパレート機能 141
丁合い機能 143
電子ソート機能 145
拡大・縮小印刷 146
用紙の大きさを変えて拡大・縮小 146
用紙の大きさを変えないで拡大・縮小 146
設定方法 147
出力用紙サイズを指定する 147
拡大・縮小率を指定する 149
拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを
指定する 150
MOPYING設定ウィンドウ 151
設定方法 151
STEP 1 MOPYING 設定ウィンドウを
有効にする 151
STEP 2 MOPYING 設定ウィンドウを
使って印刷する 152
設定を解除する 152
「かんたん設定」の使い方 153
設定方法 153
定形外用紙サイズの用紙に印刷 155
設定方法 155
STEP 1 定形外用紙をセットする 155
STEP 2 定形外用紙（ユーザー定義）の
用紙サイズを設定する 155
STEP 3 定形外用紙（ユーザー定義）の
用紙サイズで印刷する 157
印刷位置の調整 158
スタンプ機能 159
設定方法 160
STEP 1 スタンプ機能を有効にする 160
STEP 2 スタンプ名を選択する 161
STEP 3 必要に応じて、スタンプの編集や
追加をする 161
STEP 4 文字またはビットマップを
スタンプとして登録する 161
ヘッダー／フッター 163
設定方法 164
STEP 1 ヘッダー／フッター機能を
有効にする 164
STEP 2 印刷位置と印刷項目を選択する 165
STEP 3 ヘッダー／フッターに
任意の文字列を入力する 165
ページ単位の給紙方法 166
設定方法 167
STEP 1 給紙方法をページ単位で指定する 167
STEP 2 詳細な設定をする 167
OHPに合い紙を挿入する 168
設定方法 168
STEP 1 給紙方法を OHP 合紙で指定する 168
STEP 2 詳細な設定をする 169
ユーザー名を表示する 170
設定方法 170

リプリント機能 171
PrintAgent リプリント 2 171
設定方法 172
STEP 1 リプリント機能を設定する 173
STEP 2 印刷する 174
STEP 3 リプリントしたい文書を選ぶ 174
STEP 4 リプリントする 174
リプリント機能を使用するときの注意事項 175
文書を結合する 177
ジョブ結合 177
設定方法 178
「PrintAgent」ツールバー 179
プリンタステータスウィンドウ 180
ツールバー 181
送信中のドキュメントの印刷を中止する 181
プリンターの構成情報を見る 181
通知形式を変更する 182
ウォームアップを行う 182
プリンターの電源を ON にする 183
最新のステータスに更新する 183
リプリント機能を使う 183
プリンターの自動切替 184
設定方法 186
STEP 1 グループプリンタの設定 187
STEP 2 グループプリンタを共有プリンタにする 191
STEP 3 共有されたグループプリンタに接続する 191
STEP 4 グループプリンタへ出力する 191
リモート電源制御 193
1電源制御の設定をする 193
2プリンターの電源を ON にする 195
PrintAgentによる印刷ログの出力 196
設定方法 197
1印刷ログ出力機能を設定する 197
2印刷ログファイルを出力する 199
保守情報のメール通知 200
設定方法 200
メール通知ログファイルの出力 202
Web PrintAgent 203
プリンタードライバーのバージョンアップ 204
プリンターソフトウェア CD-ROM からの更新 204
動作環境 204
設定方法 204
使用上の注意事項 205
MultiWriter ドライバ配信機能 206

5章　用紙のセット 207

用紙について 208
使用できる用紙 208
用紙についての注意事項 208
用紙のセット方向 209
ホッパーに用紙をセットする 210
MPに用紙をセットする 213
用紙をセットする時の注意 216
はがき、往復はがき 216
OHP フィルム、ラベル紙 217
封筒 217
定形外用紙 218

6章　操作パネル 219

ディスプレイ 220
ランプ 221
スイッチ 222
通常のスイッチ機能 223
メニューモード時のスイッチ機能 226
シフト時のスイッチ機能 226

7章　メニューモード 229

操作パネルでの設定方法 230
メニューモードの設定変更のしかた 230
メモリースイッチの設定変更のしかた 231
メニューモード設定項目一覧 232
メニューツリー 234
メニューの詳細 241
テストメニュー 241
印刷設定メニュー 241
用紙メニュー 241
印字位置設定メニュー 242
運用メニュー 243
フォントメニュー 244
動作メニュー 245
NPDL 設定メニュー 246
インターフェース設定メニュー 247
設定初期化メニュー 247
メモリースイッチの内容 249
メモリースイッチ設定項目一覧 249
メモリースイッチの詳細 251

動作エミュレーションの切り替え 257
ESC/P エミュレーションモード 258

8章　日常の保守 259

EPカートリッジの交換 259
交換する前に 259
EP カートリッジの回収と購入 260
回収について 260
購入について 260
EP カートリッジの種類 260
EP カートリッジの交換手順 261
清　掃 263
清掃箇所と清掃時期 263
プリンターの清掃手順 264
リブプレートの清掃 264
プリンターの表面の清掃 266

9章　故障かな？と思ったら 267

修理に出す前に 267
印刷できないときは 268
アラーム表示が出ているときは 270
印刷に異常が見られるときは 272
思うように印刷できないときは 275
PrintAgentシステムが起動しないときは 278
プリンタステータスウィンドウがおかしいときは 279
リプリント機能が動作しないときは 281
ジョブセパレート機能が動作しないときは 282
PrintAgentを正しく動作させるために 283
PrintAgent を動作させる前に 283
PrintAgent をインストール /
アンインストールする時の注意事項 283
共有プリンターの利用 / 提供について 284
クライアント・サーバーシステムで
お使いの場合 285
PrintAgent の機能を十分に発揮させるために 286
その他の注意事項 287
PrintAgent の動作中は 288
PrintAgent の制限事項 288
OS をアップグレードする場合 288
ネットワークで思うように印刷できないときは 289
紙づまりのときは 292
紙づまりの発生箇所 292
ピックミス（用紙給紙ミス）の処理 294
A用紙カセット 294
紙づまりの処理 296
B本体部の紙づまり 296
C給紙部の紙づまり 298
ピックミス、紙づまり処理後の確認 300
プリンターを運搬するときは 301
プリンター・消耗品を廃棄するときは 302

10章　ユーザーサービス 303

お客様登録について 304
保証について 304
保守サービスについて 305
プリンターの寿命について 305
補修用性能部品および消耗品について 305
ユーザーズマニュアルの再購入について 306
情報サービスについて 306
プリンターソフトウエアを
フロッピーディスクで必要な場合 306

付録　技術情報 311

仕　様 311
用紙の規格 313
文字の種類 314
1 バイト系文字 314
2 バイト系文字 314
文字間隔 314
文字構成 315
1 バイト系文字 315
2 バイト系文字、グラフィック 315
文字コード表 316
1 バイト系コード表 316
2 バイト系コード表 317
印刷範囲 323
定形用紙 323
MS-DOS 環境 324
定形外用紙 327
プリンターの設定について 327
余白について 327
印刷位置について 328
NPDLの初期状態 331
制御コード 333
テキストモード 333
図形モード 335
ESC/P エミュレーションサポートコマンド 336

機能拡張制御コード 337
文字スタイル制御コード 338
行桁制御印刷コード 341
文字ロード 342
バーコードの印刷 344
面制御コード 349
ページ制御コード 350
領域指定イメージ 353
座標指定単位設定 354
文字セット制御コード 355
カスタマーバーコードの印刷 356
カスタマーバーコードの仕様と注意点 360
漢字コード表切り替えのための制御コード 365
図形の描画コード 366
プリンター単位指定 369
塗りつぶしに関する設定 370
楕円弧描画 371
弓形描画 372
扇形描画 373
角丸矩形描画 374
ディスプレイ表示一覧 375
テスト印刷のプリント結果 377
テスト印刷 377
ステータス印刷 380
増設メモリー対応表 381
電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表 382
インターフェース 383
インターフェース信号の機能 383
タイムチャート 384
コネクターピン配置 386
電気的特性 387

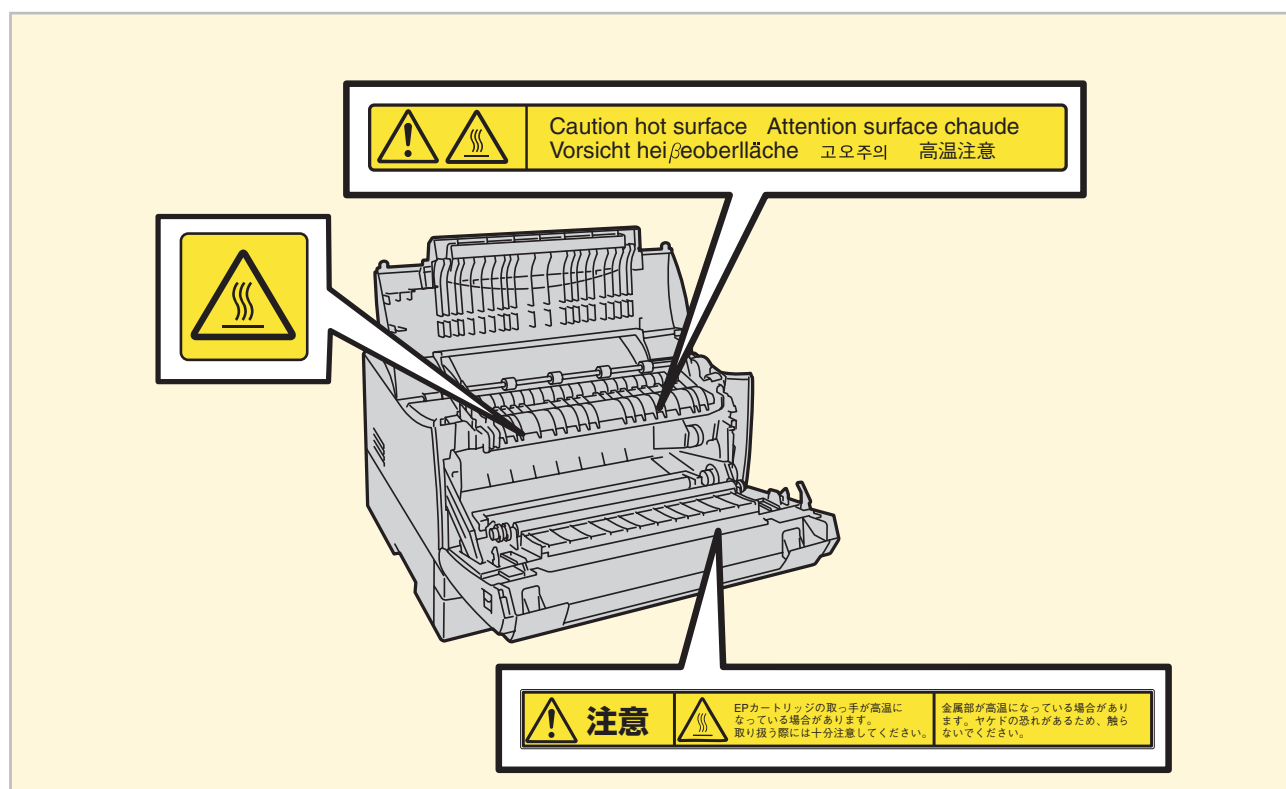
用語解説 389

索引 397

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造はしない

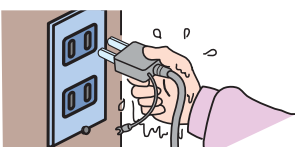
マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

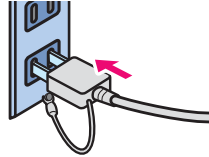
煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

EPカートリッジを火の中に投げ入れない

EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。EPカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

指定以外の場所にアース線を取り付けない

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐためにアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース線
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）の行っている接地端子

接地接続（アース線）は必ず、電源プラグを電源コンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続(アース線)を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから切り離してから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合やアースが施されていない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。
次のような場所には絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり、危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

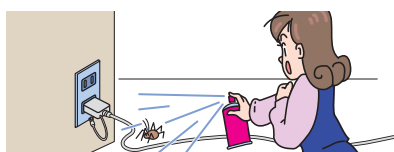
⚠注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない

こわれた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

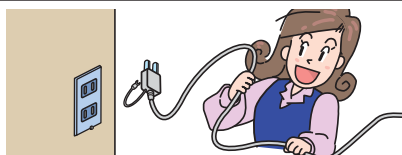
雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンターには触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

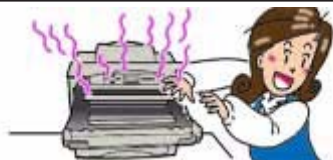
プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

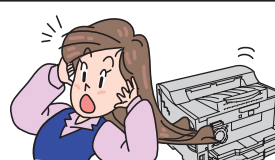
電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードを取り替えてください。

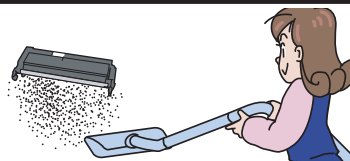
⚠注意

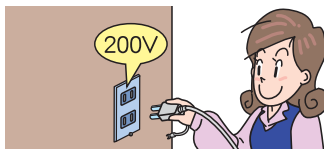
高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

掃除機でトナーを吸わない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

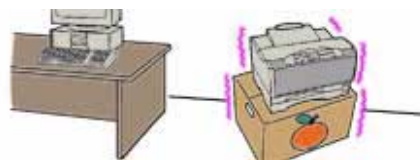
プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

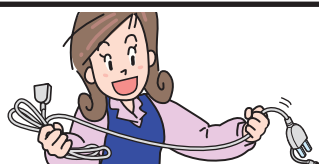
⚠注意

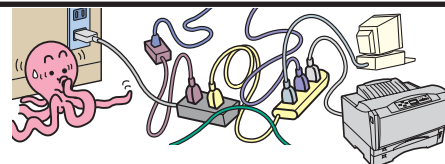
プリンターを1人で持ち上げない

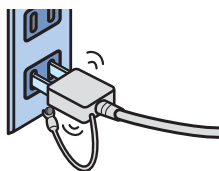
プリンターの質量は約15.2kgです（EPカートリッジ含まず）。

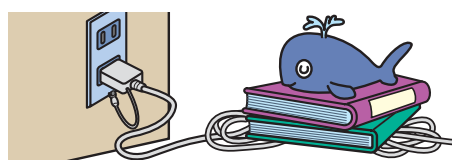
プリンター側面の取っ手を持ち、プリンター前面に手を添えて2人以上で運んでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

MOPYING（Multiple Original coPY and printING）とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。MultiWriter 2130に搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

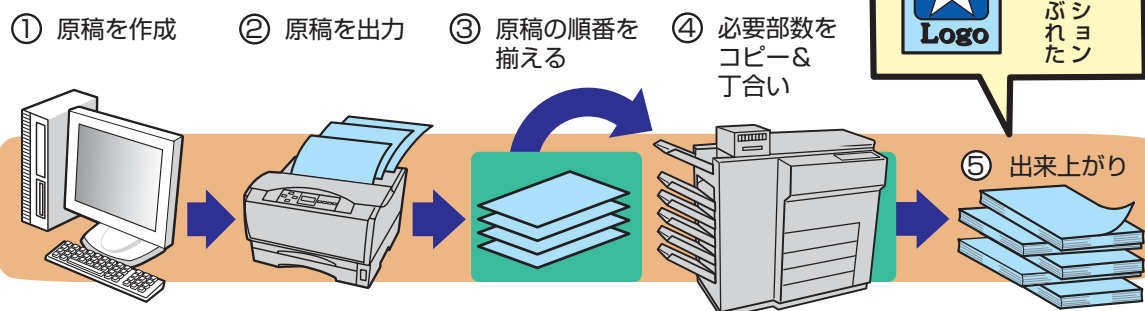
コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

MultiWriter 2130はジョブセパレート機能による簡単仕分け印刷を標準でサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。

コピー機を使った複写出力

① 原稿を作成　② 原稿を出力　③ 原稿の順番を揃える　④ 必要部数をコピー＆丁合い　⑤ 出来上がり

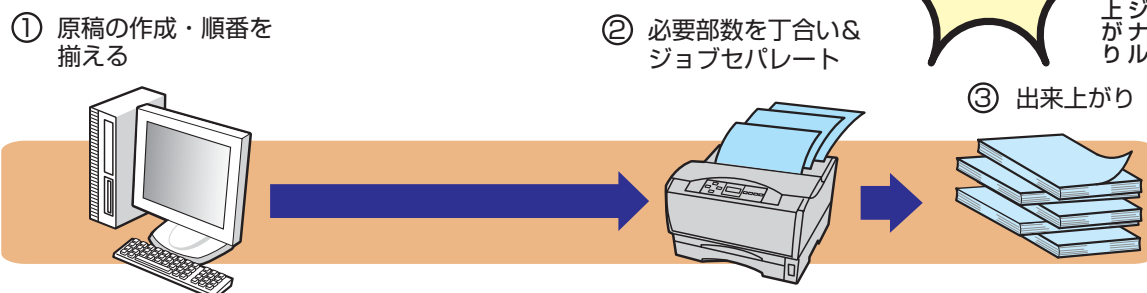
網かけ、グラデーションが黒くつぶれた仕上がり

Logo

MOPYINGによるオリジナル出力

MultiWriter 2130は、600dpi（23.6ドット/mm）の解像度に対応しています。オリジナル出力なので写真やグラフの網かけ、グラデーションがきれいに出ます。コピー機のように、いちいち原稿に合わせて濃度調整をする必要はありません。

① 原稿の作成・順番を揃える　② 必要部数を丁合い＆ジョブセパレート　③ 出来上がり

資料がすべてオリジナルだからきれいな仕上がり

Logo

¥ コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

さらに、MultiWriter 2130は、約12,000ページ*[1]印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L2300-12）は、1枚あたり約4円*[2]、約6,000ページ*[1]印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L2300-11）は1枚あたり約5円*[2]と低コスト。
MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下で済みます。

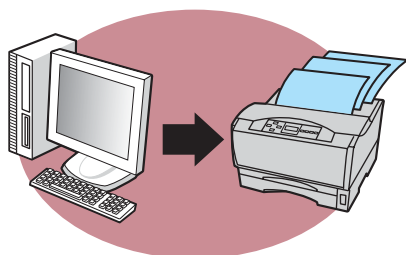
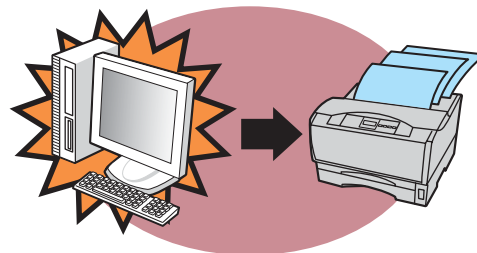
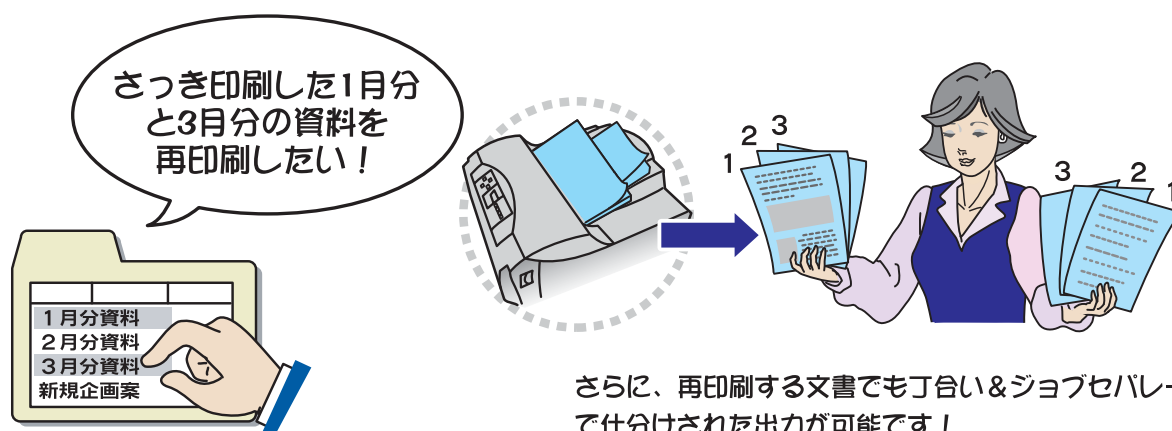
*1　A4サイズ1枚あたりの画像面積比（1ページ中の黒い部分の面積比と印刷範囲との比率）が約5%の片面連続印刷時
*2　平成19年2月現在

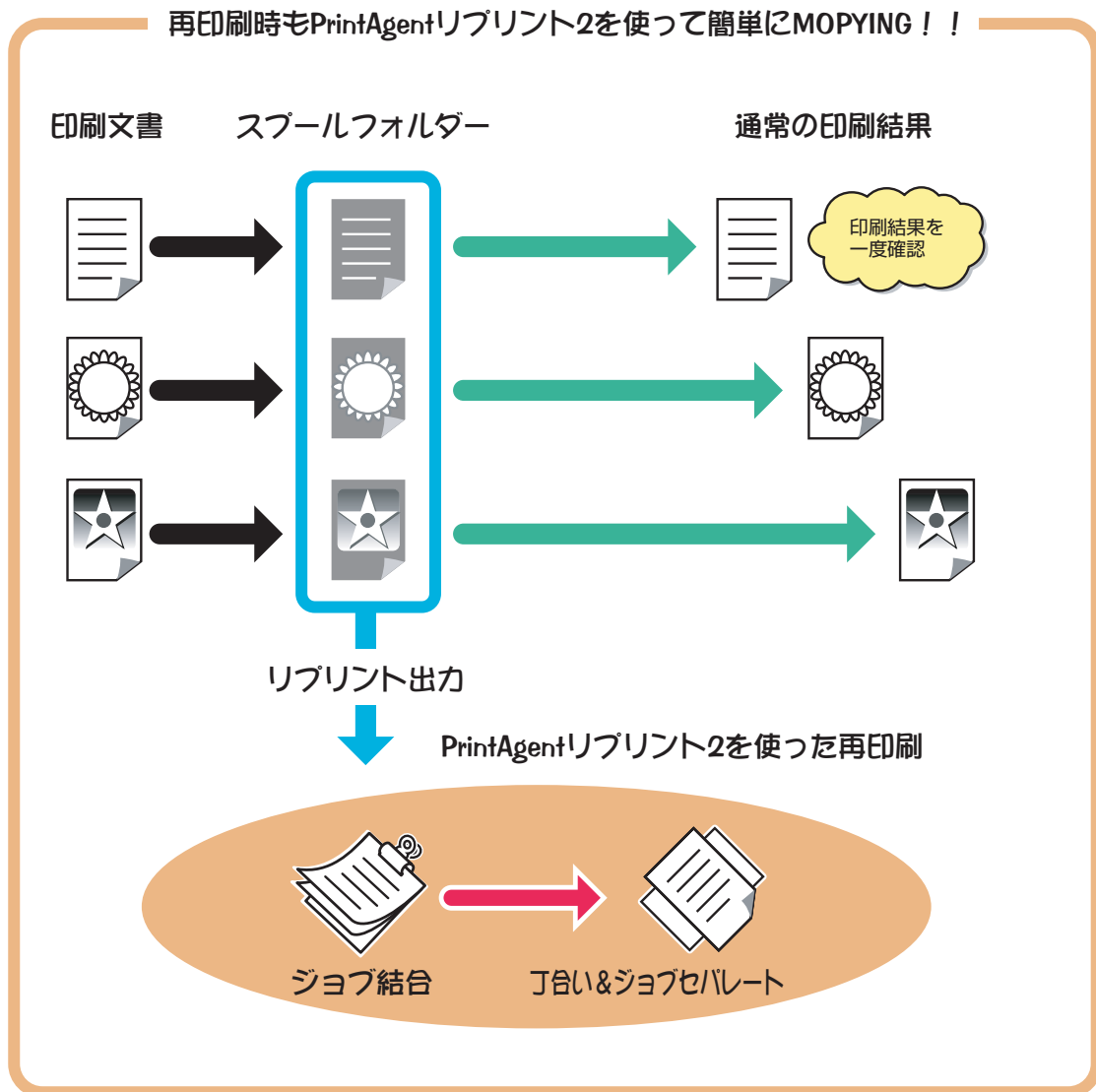
一度印刷した文書なら、すぐリプリント（再印刷）

「リプリント機能」を使うと、一度でも印刷したデータなら設定範囲内でパソコンのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えば、いちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷が可能。

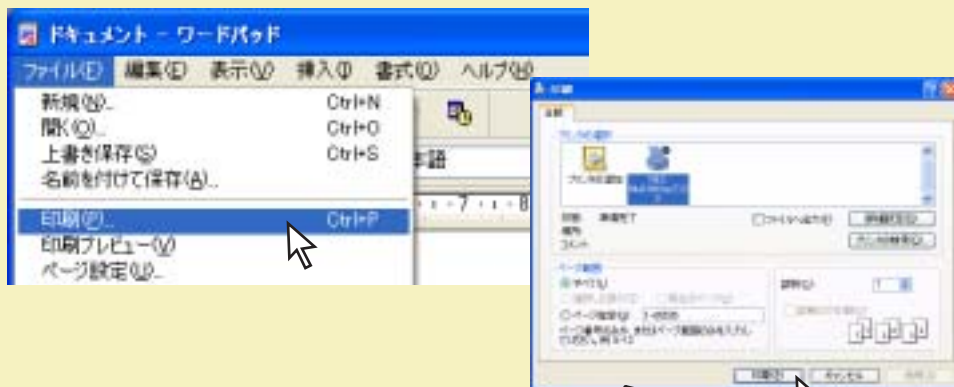
しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

① 一度印刷したデータなら・・・

② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ印刷

しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能（ジョブ結合）

さらに、再印刷する文書でも丁合い＆ジョブセパレートで仕分けされた出力が可能です！

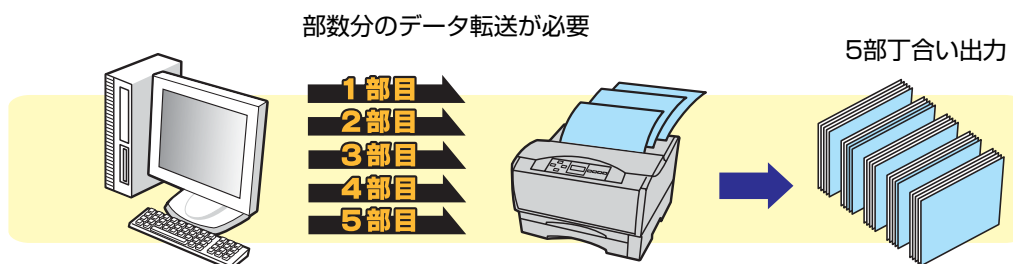
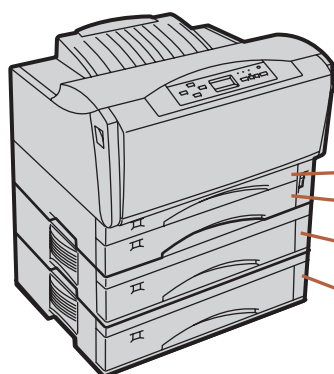
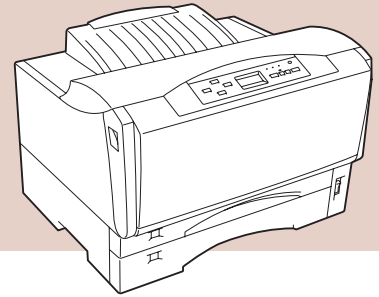
リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。

MOPYING設定ウィンドウで簡単設定

MultiWriter 2130では、印刷開始前にプリンタードライバーのプロパティで設定を忘れても大丈夫。アプリケーションの印刷を選択した後に「MOPYING設定ウィンドウ」が表示される*ので、複数ページ印刷の設定が印刷開始後でも簡単に行えます。これによって、より快適にMOPYINGを実現できます。

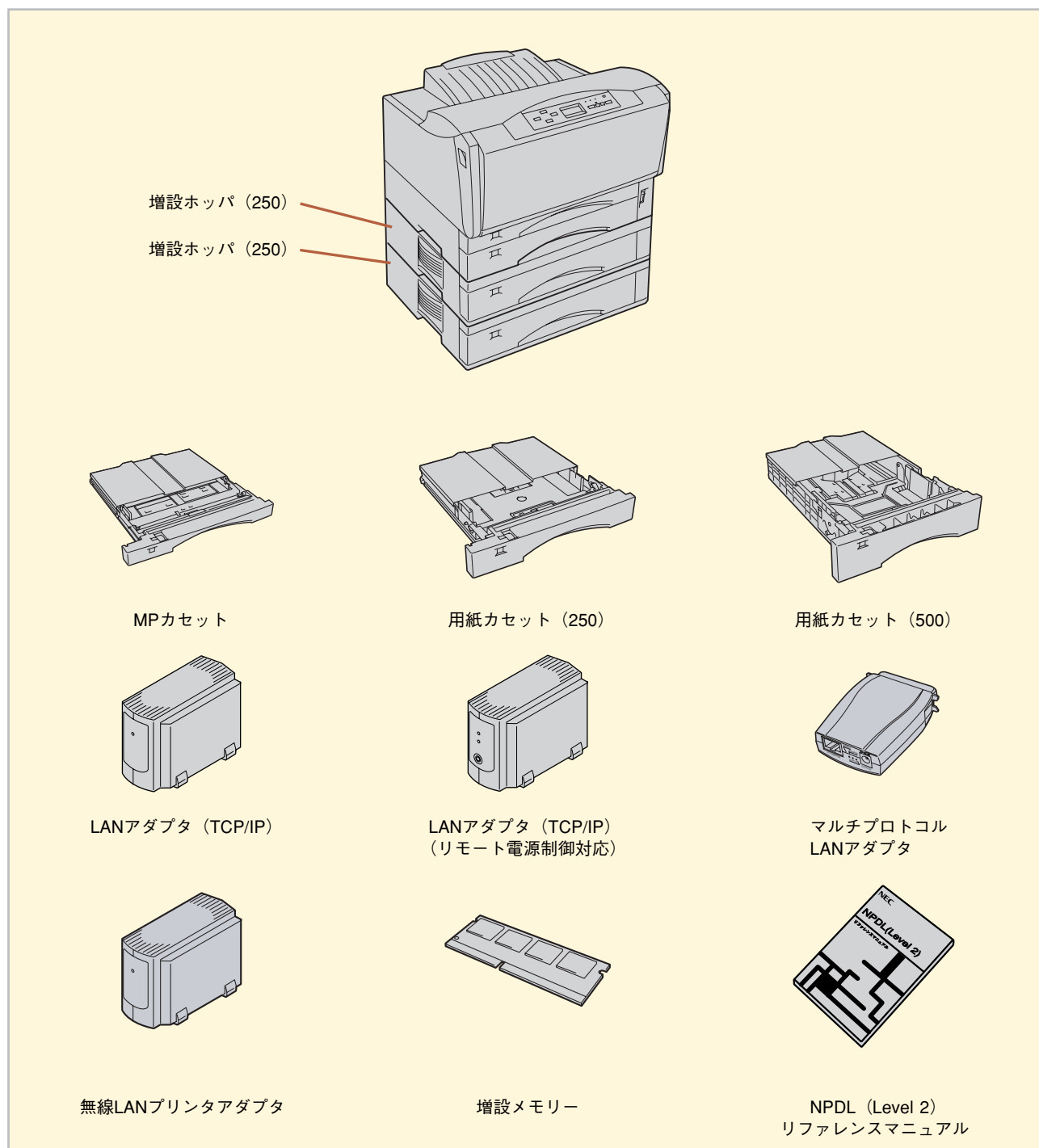
* 標準設定ではMOPYING設定ウィンドウは表示されません。MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、プリンターソフトウエアのインストール時、またはプロパティダイアログボックスで有効にする必要があります。手順については「MOPYING設定ウィンドウ」（151ページ）をご覧ください。

複数ページレイアウト印刷、仕分け印刷などのMOPYINGが簡単にできます！

高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

MultiWriter 2130は、毎分17ページの印刷を実現。しかも、電子ソート機能*1を使えばプリンターのメモリーに印刷データを蓄えて必要部数を印刷するので、パソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です*2。これによって、トータル印刷処理時間が短縮されます。

*1　電子ソート機能を有効にする場合、64MB以上のメモリー増設（オプション）が必要です。
*2　増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

MultiWriter 2130は増設ホッパーを最大2台まで増設が可能です。
増設ホッパー、MPも合わせた用紙容量は最大1,350枚になります！！

1章 オプション

この章では、MultiWriter 2130用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

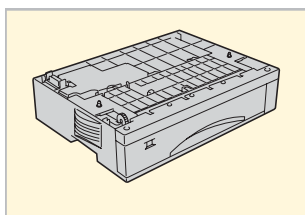
- オプション品の紹介 15ページ
- 増設ホッパー 19ページ
- LANアダプター 28ページ
- 増設メモリー 30ページ
- 使用できるプリンターケーブル 33ページ

増設ホッパ（250）
増設ホッパ（250）
MPカセット
用紙カセット（250）
用紙カセット（500）
LANアダプタ（TCP/IP）
LANアダプタ（TCP/IP）
（リモート電源制御対応）
マルチプロトコル
LANアダプタ
無線LANプリンタアダプタ
増設メモリー
NPDL（Level 2）
リファレンスマニュアル
NEC
NPDL(Level 2)

オプション一覧

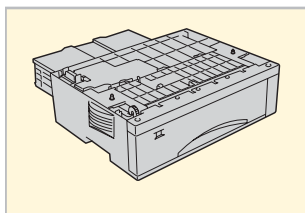
オプション品の紹介

オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

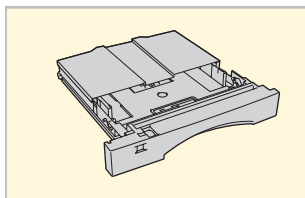
ホッパー・カセット

増設ホッパ（250）（型番 PR-L2360-02）

A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズの用紙（普通紙）を250枚までセットすることができます。PR2000/4R-02、PR2200X-02、PR-L2200X2-02、PR-L2650-02、PR-L2300-02は使用できません。

項目	型番 PR-L2360-02
サイズ	459(W)× 555(D)×104(H) mm (A3、B4サイズセット時、最大) 459(W)× 420(D)×104(H) mm (A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小で突起部含まないサイズ)
質量	約4.3kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4、A5、B5、レター
備考	最大2台まで増設可能

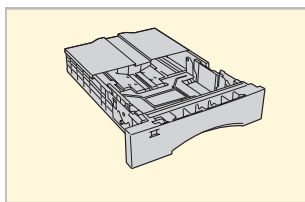
増設ホッパ（500）（型番 PR-L2360-03）

A3、A4、B4、レターサイズの用紙（普通紙）を500枚までセットすることができます。PR2000/4R-03、PR2400-03、PR2200X-03、PR-L2200X2-03、PR-L2650-03、PR-L2300-03は使用できません。

項目	型番 PR-L2360-03
サイズ	459(W)× 562(D) ×139(H) mm (突起部を含まないサイズ)
質量	約5.5kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4、レター
備考	最大2台まで増設可能

用紙カセット（250）（型番 PR-L2300-04）

標準ホッパー、増設ホッパ（250）用の用紙カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意しておき、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換することができて便利です。

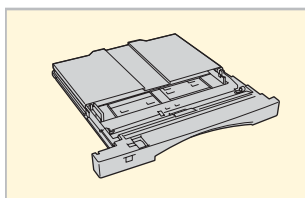
サイズ：414（W）×555（D）×65（H）mm
（A3、B4サイズセット時、最大）
414（W）×420（D）×65（H）mm
（A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小）

質量　：約1.6kg

用紙カセット（500）（型番PR-L2300-05）

増設ホッパ（500）用の用紙カセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

サイズ：414（W）×562（D）×100（H）mm

質量　：約2.5kg

MPカセット(型番PR-L2300-MP)

MP用の増設MPカセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

サイズ：414（W）×546（D）×39（H）mm
（A3、B4サイズセット時、最大）
414（W）×411（D）×39（H）mm
（A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小）

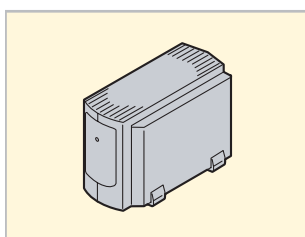
質量　：約1.1kg

MultiWriter 2130のそれぞれが対応しているカセットは以下のとおりです。

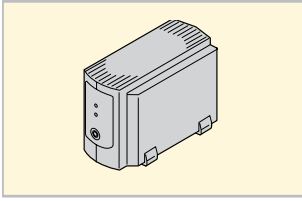
カセット型番	増設ホッパ（250）	増設ホッパ（500）	本体給紙部	
	PR-L2360-02	PR-L2360-03	標準ホッパー	MP
PR-L2300-04	○	×	○	×
PR-L2300-05	×	○	×	×
PR-L2300-MP	×	×	×	○

○：取り付け可
×：取り付け不可

ネットワークオプション

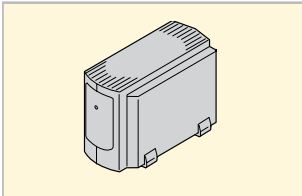
無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）

IEEE802.11b規格に準拠し、転送速度最大11Mbpsの無線LAN環境にプリンターを接続するLANアダプターです。従来の有線LANシステムのようにネットワークケーブルが散乱することなく、ネットワークケーブル敷設工事の必要がないため、安価に、また手軽にLAN環境が構築できます。さらに、MultiWriter 2130と組み合わせることで世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると、無線LAN環境を初めて構築する方や不慣れな方でも、設定項目ごとにウィザード画面上でサポートされている解説や操作手順により、簡単に分かりやすく設定を行なうことができます。

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

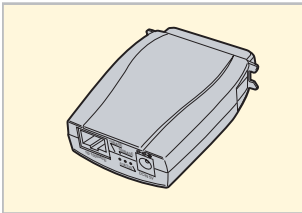
さらに、MultiWriter 2130と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

PrintAgent（プリンタ管理ユーティリティ）のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。詳細は4章の「リモート電源制御」（193ページ）をご覧ください。

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-02T2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

さらに、MultiWriter 2130と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

LANアダプターが対応しているPrinter-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、「LANアダプター」（28ページ）を参照してください。

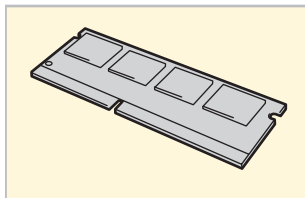
マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、マルチプロトコルに対応している外置きLANアダプターです。NDS、PrintAgentには対応しておりません。本LANアダプターはPrintAgent、SNMP（Printer MIB、Host Resourece MIB）には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

LANアダプターネットワーク環境

<table>
<tr><th colspan="2">PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2</th><th colspan="2">PR-NPX-05</th></tr>
<tr><th>ネットワーク OS</th><th>プロトコル</th><th>ネットワーク OS</th><th>プロトコル</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000</td><td rowspan="6">TCP/IP</td><td>Windows XP</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td rowspan="3">TCP/IP
NetBEUI</td></tr>
<tr><td>Windows Me、Windows 98、Windows 95
（NEC TCP/IP Printing Systemにより対応）</td><td>Windows Me、Windows 98、Windows 95
（NEC Network Printer Portにより対応）</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td><td>Windows NT 4.0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">UNIX</td><td>UNIX</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Netware　3.X/4.X/5.X</td><td>IPX/SPX</td></tr>
</table>

メモリー

増設メモリ（64MB）、（128MB）、（256MB）

（型番PR-MW-M012、PR-MW-M013、PR-MW-M014）

MultiWriter 2130には1枚だけ取り付けることができます。
取り付けることにより次の効果があります。

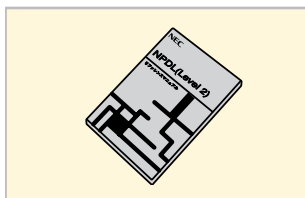
- 電子ソート機能
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大

増設メモリーが対応しているメモリー容量は以下のとおりです。

品名	型番	メモリー容量
増設メモリ（64MB）	PR-MW-M012	64MB
増設メモリ（128MB）	PR-MW-M013	128MB
増設メモリ（256MB）	PR-MW-M014	256MB

リファレンスマニュアル

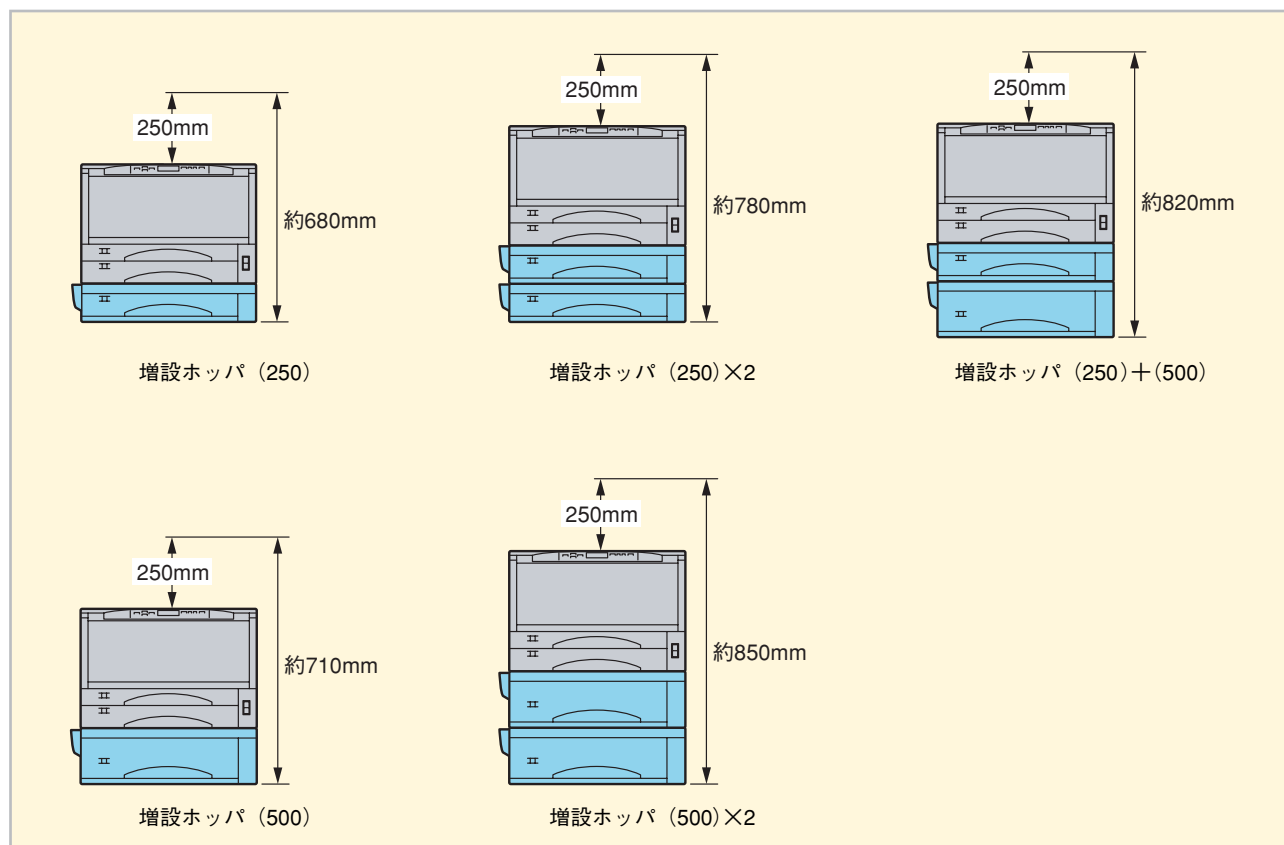
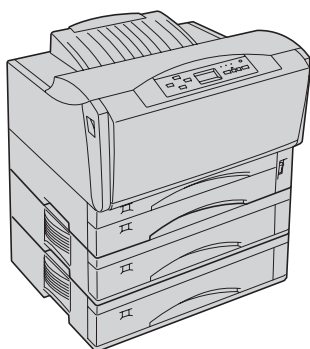
日本語ページプリンタ言語NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル

（型番PC-PRNPDL2-RM）

ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

増設ホッパー

大量印刷をサポートするために、本プリンターには増設ホッパ（250）（型番PR-L2360-02）と増設ホッパ（500）（型番PR-L2360-03）の2種類の増設ホッパーがそれぞれ用意されMultiWriter 2130は最大2台増設が可能です。

増設ホッパーの設置に必要な高さ

増設ホッパーを設置するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要な設置スペースについてはユーザズマニュアルの「1 設置に必要なスペースを用意する」をご覧ください。

増設ホッパーの取り付け

増設ホッパ（250）/（500）は、上から1台目（ホッパー2）、2台目（ホッパー3）のどちらにでも取り付けることができます。
1台目、2台目に取り付ける方法は同じです。ここでは1台目に取り付ける方法を示します。

注意

プリンターを移動する際は、プリンター側面の取っ手を持ち、プリンター前面に手を添えて2人以上で運んでください。プリンターの標準の質量（EPカートリッジ含まず）は約15.2kgです。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。取り付けは2人以上で行ってください。

重要

- 取り付け方法の詳細について、増設ホッパーに添付の取扱説明書を十分にお読みになってから取り付けてください。
- 増設ホッパーに添付の固定用ステーを必ず取り付けてプリンターと増設ホッパーを固定させてください。

❶ プリンターの電源をOFFにする。

❷ 電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

重要

電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま取り外すと故障の原因になることがあります。

❸ プリンターを一時的に移動する。

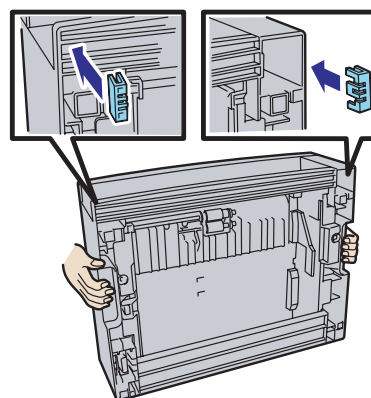
プリンターの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

❹ フットサポートを取り付ける。

重要

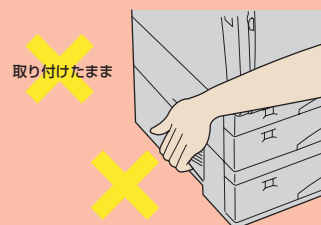
- フットサポートの取り付けは必ず2人以上で行い、増設ホッパー本体を立てたときはしっかりと手で持ち、固定して行ってください。
- フットサポートは最下段の増設ホッパーにのみ取り付けてください。ホッパー間にフットサポートを取り付けると、正しく設置できません。増設ホッパーを追加で取り付ける場合、注意してください。

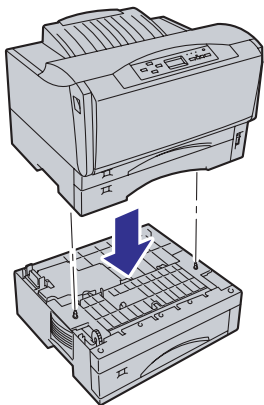
増設ホッパーの本体を立てて、図の位置にフットサポートを取り付けてください。

増設ホッパーを2台以上取り付ける場合は、一番下に設置する増設ホッパーにのみフットサポートを取り付けてください。

❺ プリンターのあった場所に増設ホッパーを置く。

増設ホッパーを置くときは、増設ホッパーの向きに注意してください。

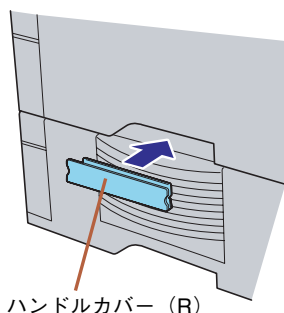
重要

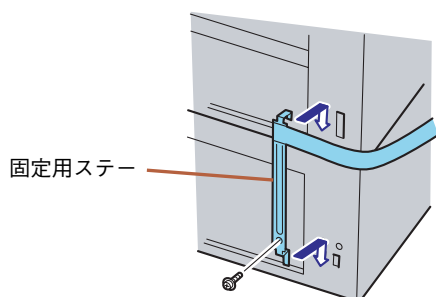
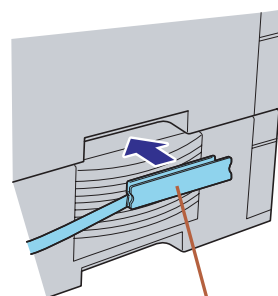
増設ホッパーを運ぶ際は、増設ホッパーの左右の取っ手を持って1段ずつ運んでください。左側にある凸部は持たないでください。

❻ 増設ホッパーの上にプリンターを取り付ける。

取り付けピンに合わせて、プリンターを増設ホッパーの上に静かに置きます。

重要

増設ホッパーを複数台取り付ける場合は、一番下の段の増設ホッパーから順番に一台ずつ載せ、最後にプリンターを載せてください。

❼ ハンドルカバーの面ファスナーのはく離紙をはがし、取り付けた増設ホッパー上段にある両側の取っ手部にハンドルカバー（R）をはめ込む。

ハンドルカバー（R）をプリンター正面右側にはめ込んでください。

❽ ハンドルカバー（L）と固定用ステーを取り付ける。

固定用ステーの突起部を穴に引っかけた後、ネジで1か所固定します。

固定用ステーとつながっているハンドルカバー（L）の面ファスナーのはく離紙をはがし、プリンター正面左側に、はめ込んでください。

チェック

- 固定用ステーとネジは増設ホッパーにそれぞれ添付されており、増設ホッパ（250）用と増設ホッパ（500）用では、長さが異なります。下の段に取り付けた増設ホッパーの固定用ステーをお使いください。
- 固定用ステーは、プリンター背面から見て右側の2列の穴を使って取り付けてください。

❾ 電源コードとプリンターケーブルをプリンターに取り付ける。

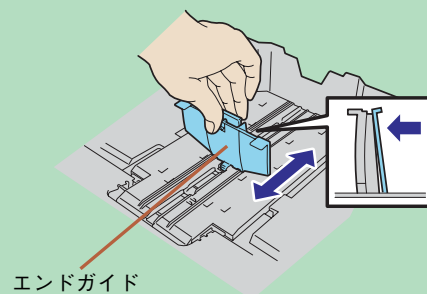
増設ホッパーへの用紙のセット

増設ホッパーへの用紙のセット方法は標準のホッパーと同じです。5章の「ホッパーに用紙をセットする」(210ページ)をご覧ください。

重要

用紙をセットし終えた用紙カセットは重くなっています。増設ホッパーに取り付ける際は増設カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

チェック

- 増設ホッパ(500)にセットできる用紙の種類、量は標準ホッパーとは異なります。増設ホッパ(500)にはA3、B4、A4、レターサイズを500枚までセットできます。また、増設ホッパ(500)の用紙カセットは縮めることはできません。
- 増設ホッパ(500)のエンドガイドは、標準のホッパー、増設ホッパ(250)のエンドガイドと形状が異なります。
- 増設ホッパ(500)のエンドガイドのスライドは、右図のように中央のつまみを前に押しながら行ってください。

プリンターの設定

標準では増設ホッパ(250)に設定されています。次の場合は、プリンターのメモリースイッチ(MSW)の設定を変更する必要があります。該当しない方は、次ページの「ホッパーの切り替え」へ進んでください。

- 増設ホッパ(500)を取り付けたとき
- 増設ホッパ(500)から増設ホッパ(250)に取り換えたとき

位置	取り付けた増設ホッパー	MSWの設定
1台目(ホッパー2)	増設ホッパ(500)	MSW7-4　1
	増設ホッパ(250)	MSW7-4　0
2台目(ホッパー3)	増設ホッパ(500)	MSW7-5　1
	増設ホッパ(250)	MSW7-5　0

次の手順は増設ホッパ（500）を1台目（ホッパー2）に取り付けた場合の操作パネルによるメモリースイッチの設定変更手順です。2台目（ホッパー3）に取り付ける場合も同様の手順で行います。

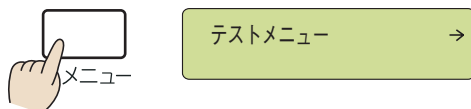
❶ **プリンターの電源をONにする。**

❷ **[印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させる。**

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示します。

テストメニュー　→

❺ **[▲]スイッチを1回押す。**

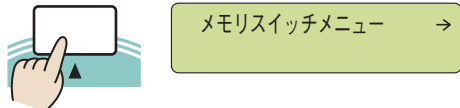
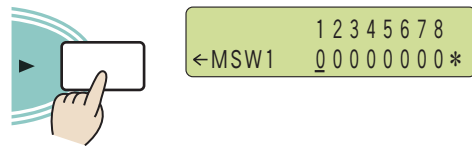
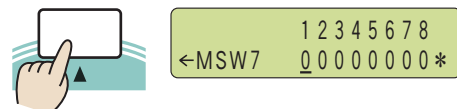
メモリスイッチメニュー　→

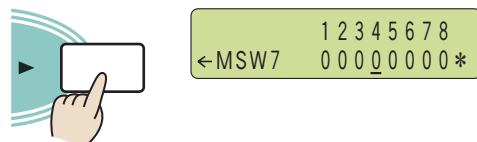
❻ **[▶]スイッチを1回押す。**

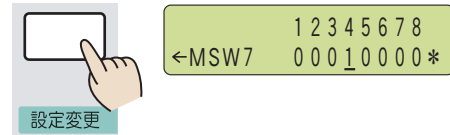
“MSW1”が表示されます。

12345678
←MSW1　00000000*

❼ **[▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押して、“MSW7”を表示させる。**

12345678
←MSW7　00000000*

❽ **[▶]スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動させる。**

12345678
←MSW7　00000000*

❾ **[設定変更]スイッチを押して、MSW7-4を1に変更する。**

12345678
←MSW7　00010000*

❿ **[印刷可]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。

ホッパーの切り替え

取り付けた増設ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ2」、「ホッパ3」にします。

ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターが初期化されるまで維持する方法................................[ホッパ]スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法 ....メニューモードによる切り替え

次ページにそれぞれの選び方について説明します。

プリンターが初期化されるまで維持する方法

操作パネルの[ホッパ]スイッチを使って増設ホッパーを選択します。

❶ **[印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。**

❷ **[ホッパ]スイッチを押し、ディスプレイの表示を “ホッパ2” または “ホッパ3にする。**

```
ホッパ゜2　 A4ヨコ ポ゜ート
```

❸ **[印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

❹ **コンピューターからデータを送る。**

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して “テストメニュー　→” を表示させます。

```
テストメニュー　　　　　→
```

❷ **[▼]スイッチを2回押す。**

“ヨウシメニュー　→” と表示されます。

```
ヨウシメニュー　　　　　→
```

❸ **[▶]スイッチを2回押す。**

ホッパー初期設定の表示になります。

```
ホッパ゜　ショキセッテイ
←　　　　　　ホッパ゜1＊
```

❹ **[設定変更] スイッチを押して、ディスプレイ下段を “←　ホッパ2*” または “←　ホッパ3*” に変更する。**

```
ホッパ゜　ショキセッテイ
←　　　　　　ホッパ゜2＊
```

❺ **[印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

ディスプレイ上段に “ホッパ2××　×××” または “ホッパ3××　×××” と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

```
ホッパ゜2　 A4ヨコ ポ゜ート
　　　　　　　　NPDL
```

この状態は、同じ方法でホッパーの選択を変更しないかぎり維持されます。

テスト印刷

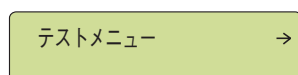
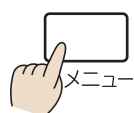
増設ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。以下の手順に従ってテスト印刷をしてください。

❶ **操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。**

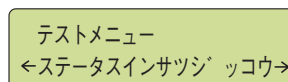
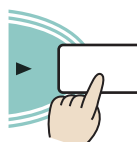
印刷可ランプが消灯します。

❷ **［メニュー］スイッチを押す。**

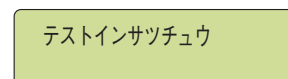
ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❸ **［▶］スイッチを押す。**

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
←ステータスインサツジ゛ッコウ→

❹ **［▶］スイッチを押す。**

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示され、テスト印刷を開始します。

テストインサツチュウ

増設ホッパーを1台取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「ホッパ2」と印刷されます。2台目に取り付けた場合は「ホッパ3」と印刷されます。

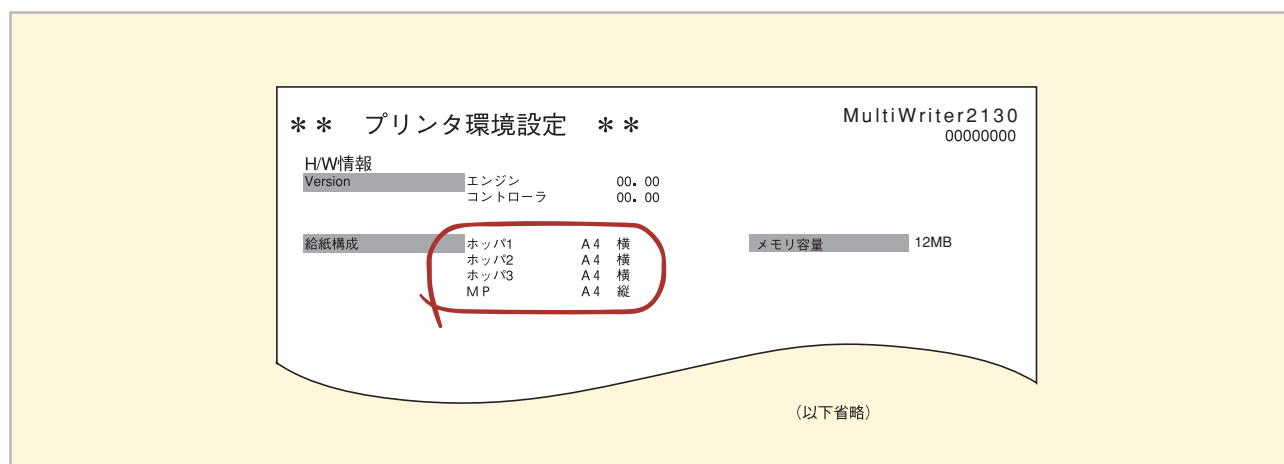
＊＊　プリンタ環境設定　＊＊　　MultiWriter2130
00000000

H/W情報

Version	エンジン	00．00
	コントローラ	00．00

給紙構成	ホッパ1	A4	横
	ホッパ2	A4	横
	ホッパ3	A4	横
	MP	A4	縦

メモリ容量　12MB

（以下省略）

増設ホッパーのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパーの取り付けは完了です。

リレー給紙の設定

リレー給紙とは、印刷を行っている時に給紙先の用紙がなくなった場合に用紙がセットされている別の給紙先に自動的に切り替える機能です。この機能を利用するためには同じサイズおよび同じ用紙種別、同じ方向（A4の場合のみ）の用紙がホッパー、MPもしくは増設ホッパーにセットされていて、プリンターのリレー給紙設定を有効にする必要があります。

チェック

A4用紙サイズをセットした場合は用紙のセット方向を同じにしてください。

A4用紙サイズをセットした場合は用紙のセット方向を同じにしてください。

リレー給紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

Step 1 リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ **操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“リレーキュウシ”をONにする。**

詳しくは、7章「メニューモード」(229ページ)をご参照ください。

チェック

リレー給紙させるホッパーまたはMPすべての“リレーキュウシ”をONにしてください。

リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ　　リレー　　ON＊

❸ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

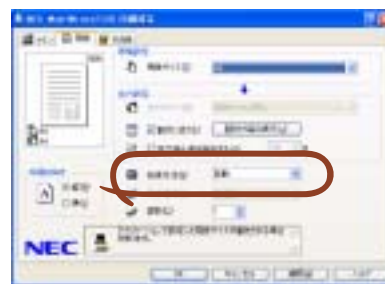
❹ **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはMPの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

Step 2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに、[給紙方法]で[自動]を選択します。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

❷ **ホッパーの給紙方法が[自動]になっていることを確認する。**

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、ユーザーズマニュアル5章「印刷するには」を参照してください。

❸ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外す場合は次の手順で行ってください。1台目、2台目の取り外し方法は同じです。ここでは1台目を取り外す方法を示します。

注意

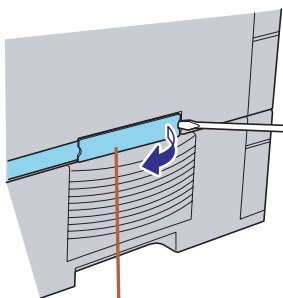
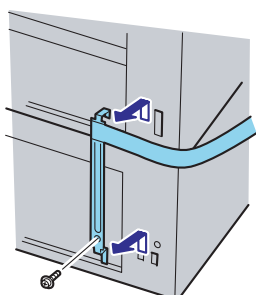
- プリンターを1人で持ち上げないでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。プリンターを移動する時には、必ず2人以上で行ってください。プリンターの標準の質量（EPカートリッジ含まず）は、約15.2kgです。
- プリンターに増設ホッパーを取り付けたまま、運搬、移設しないでください。プリンターや増設ホッパーを落として、破損するおそれがあります。運搬および移設の際は、必ず両側の取っ手部のハンドルカバーと固定用ステーを取り外して、1台ずつ運んでください。ハンドルカバーの取り外しは、すきま部にマイナスドライバーなどを差し込んで、外側に引いてください。

重要

取り外し方法の詳細については、増設ホッパーに添付の取扱説明書を十分にお読みになってから取り外してください。

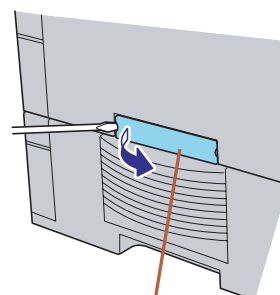
1. **プリンターの電源を OFF にし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

2. **ハンドルカバー（L）と固定用ステーを取り外す。**

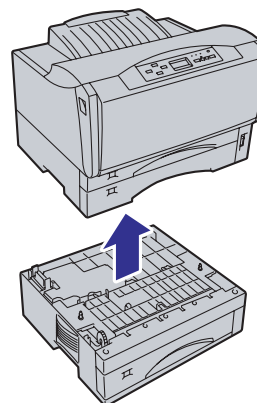
   プリンター正面左側にはめ込まれているハンドルカバー（L）を取り外してください。ハンドルカバーは、すきま部にマイナスドライバーなどを差し込んで外側に引いてください。

1か所のネジを外してから、固定用ステーを取り外します。

重要

取り外した固定用ステーとネジは増設ホッパーと一緒に大切に保管してください。

3. **ハンドルカバー（R）を取り外す。**

   ハンドルカバーは、すきま部にマイナスドライバーなどを差し込んで外側に引いてください。

4. **プリンターを増設ホッパーから取り外し、一時的に台や机の上に置く。**

重要

プリンターを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンターが破損することがあります。

5. **増設ホッパーを外し、プリンターを元の位置に置き、電源コード、プリンターケーブルを接続する。**

LANアダプター

MultiWriter 2130をネットワークに接続するためにLANアダプターはPR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-NPX-05、PR-WL-01の4種類が用意されています。（16～17ページ参照）

LANアダプターの取り付け・取り外し手順を説明します。なお、それぞれの取り付け手順は異なります。詳しくは各LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

IPアドレスなどの設定方法については、3章「ネットワークでの設定」（75ページ）をご覧ください。

チェック

LANアダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。

LANアダプターの取り付け

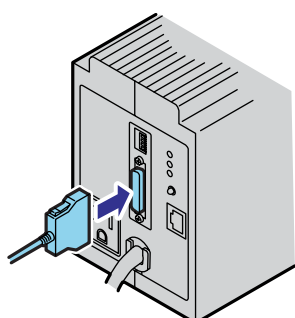
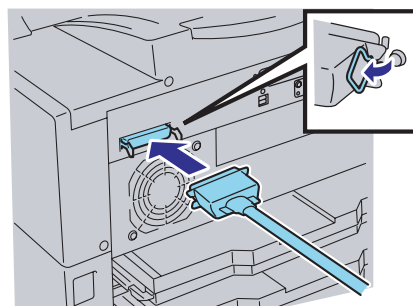
ここでは、PR-NP-02T2を例に取り付け手順を説明します。

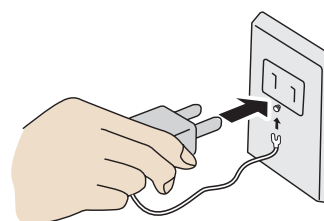
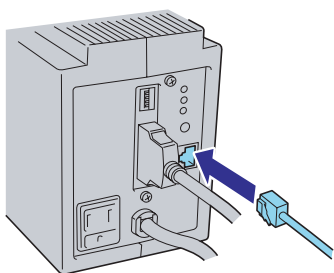
❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

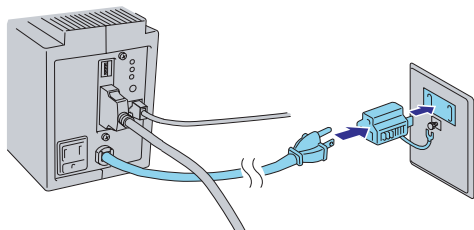
電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❷ **LANアダプターの電源をOFFにし、LANアダプターの電源コードを抜く。**

❸ **LAN アダプターのインターフェース用ソケットとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプター添付のプリンターケーブルで接続する。**

LANアダプター

プリンターの[インタフェース1]コネクター

❹ **プリンターの電源コードをACコンセントに差し込む。**

❺ **ネットワークケーブルのコネクターを LAN アダプターのEthernet用コネクターに差し込む。**

❻ **LAN アダプターの電源コードをコンセントに差し込む。**

チェック

LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2極の壁付きACコンセント（AC100V、電源容量15A以上）に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。

❼ **LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。**

ご使用の際、PR-NT-03TR2の場合は、プリンターのの電源を入れてからLANアダプター前面のスイッチを押して電源を入れてください。

コンフィグレーションページの印刷

以下の手順に従ってコンフィグレーションページを印刷してください。

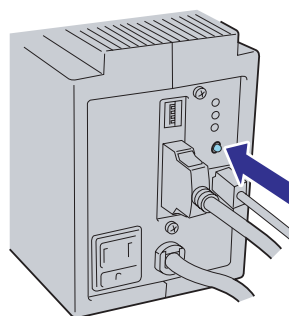
❶ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

チェック

コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「ホッパーに用紙をセットする」（210ページ）を参照してセットしてください。

❷ **LAN アダプター背面のコンフィグレーションページボタンを押す。**

PR-NPX-05でのコンフィグレーションページの印刷方法については、PR-NPX-05に添付のセットアップガイドを参照してください。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、LANアダプターがデータの受信中でないことを確認してから、取り付け手順❻から逆に行ってください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- 電子ソート機能を有効にする
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

重要

指定のSO-DIMMタイプの増設メモリーを使用してください。指定以外の増設メモリーを使用すると、故障の原因となることがあります。

増設メモリーの取り付け

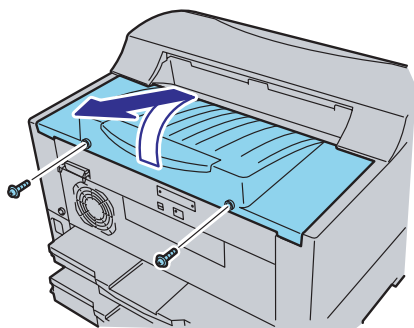
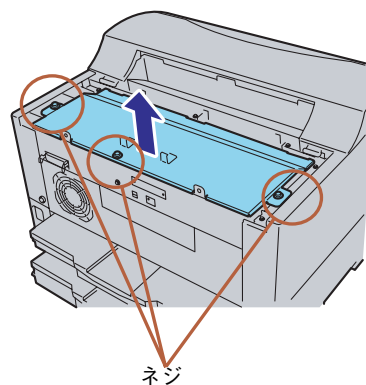
重要

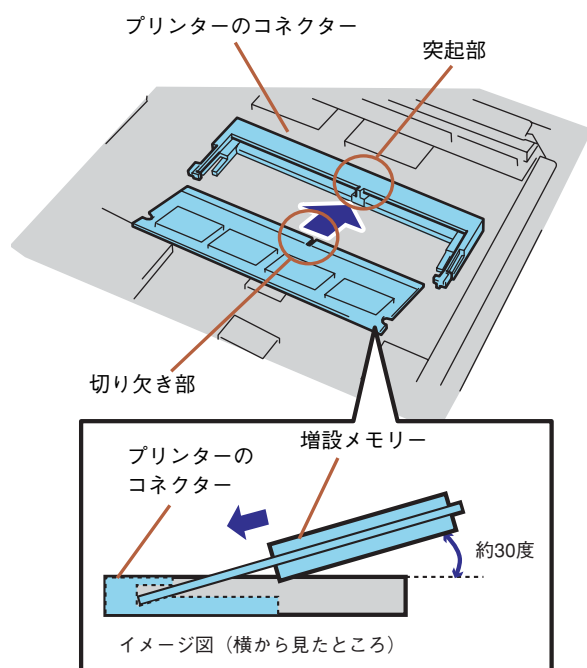
増設メモリーは大変デリケートな電子部品です。増設メモリーを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

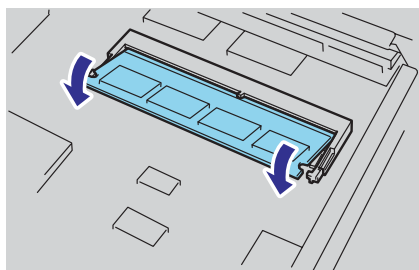
❷ **ネジ2本を外して、プリンター上部にあるリアカバーを取り外す。**

❸ **コントロールカバーに刻印された矢印で示すネジ（3か所）をゆるめ、軽く手前を持ち上げてコントロールカバーを取り外す。**

4 **増設メモリーをプリンタボードの左側にあるコネクターに取り付ける。**

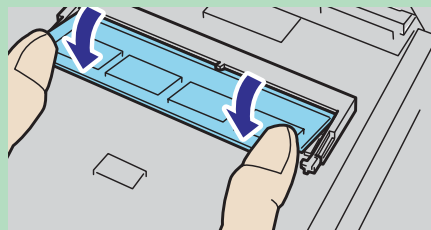
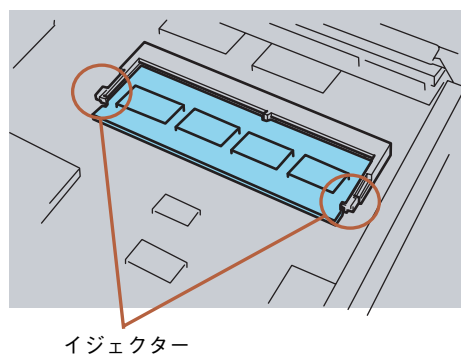
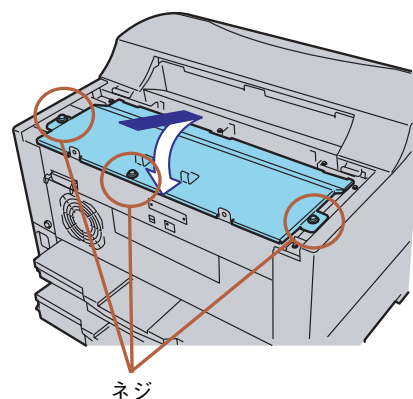
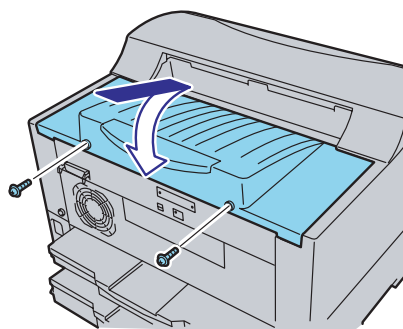
増設メモリーの切り欠き部をプリンターボードのコネクター突起部に合わせ、プリンターのコネクターに対して約30度の挿入角度で増設メモリーの端子が当たるまで挿入します。

重要

増設メモリーの切り欠き部の向きがコネクターの突起部と正しく合っていることを確認してください。逆の場合は増設メモリーの切り欠き部とコネクターの突起部の位置が合わず、挿入することができません。

5 **「カチッ」という音がするまでソケットに倒し込む。**

重要

奥までしっかり倒し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクターまたは増設メモリーを破損するおそれがあります。

チェック

倒し込みが固いときは、増設メモリーの左右の角に親指を添えて倒し込んでください。

6 **イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。**

7 **コントロールカバーを取り付け、表面に刻印された矢印で示すネジ（3か所）で固定する。**

8 **リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。**

9 **電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。**

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。手順については､｢テスト印刷｣（25ページ）を参照してください。

次ページのように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。

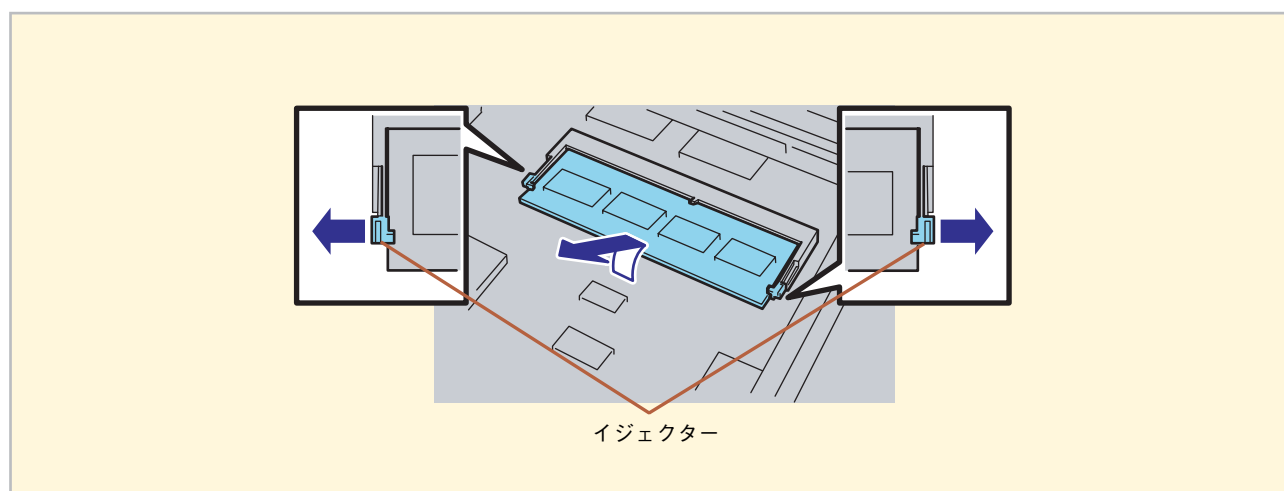
増設メモリーを増設したステータス印刷の例
（標準メモリー 12MBに256MBメモリーを増設した場合）

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設メモリーの取り付けは完了です。

増設メモリーの取り外し

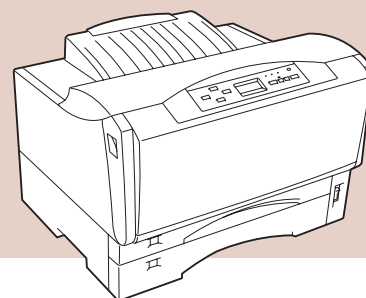
増設メモリーを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

なお、増設メモリーを取り外すときはコネクターのイジェクターを横に押し広げて斜めに引き抜いてください。

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 2130で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		プリンターケーブル*1
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*2 PR-UCX-02*3
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01 PR-UCX-02*3
PC-9800シリーズデスクトップタイプミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp･As･Ae･Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA･BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTiCanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ*5	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	PC-98XA･XL･XL^2･RL*5	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*2
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ*5 SV-98シリーズ	PC-CA202*4 PC-CA204*2
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf･Np･Nx･Nd･Nm･Ne3･Ne2･Nd2 PC-9801NL/A･NS/A	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*4 PC-CA204*2
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*4 PC-CA204*2

*1 他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
*2 PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。
*3 PR-UCX-02のケーブルの長さは2.0m。
*4 ケーブルの長さは1.5m。
*5 ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

2章
プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windows XP*[1]、Windows Me、Windows 98*[2]、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版環境にプリンターソフトウエアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

*1　以下、本書でWindows XPと表記している場合は、Windows XP Home EditionとProfessionalを含みます。
*2　以下、本書でWindows 98と表記している場合は、Windows 98 Second Editionを含みます。

重要

- MultiWriterのプリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」（283ページ）をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

- **フロッピーディスクでインストールする場合**
  本書ではCD-ROMを使った手順を説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクを入れ替えてください。

- **Windows Server 2003をお使いのお客様へ**
  Windows Server 2003をお使いのお客様は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 2130に添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のコンピューター環境に対応した、ソフトウエアを提供しています。

このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。

CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
  プリンターソフトウエアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に対応した、プリンターソフトウエアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
  「MultiWriter 2130 活用マニュアル」の閲覧用（HTML形式）と、印刷用（PDF形式）の2つが収録されています。オンラインマニュアルを閲覧するためにはブラウザー、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」（viページ）またはメニュープログラム内のユーティリティーをご覧ください。
- ユーティリティー
  - iPrinting.DeliveryService
  - ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks（体験版）」
  - NEC Internet Printing System（Windows 98、Windows 95対応版およびWindows NT 4.0対応版）
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
  - 帳票エディタ「帳楽」お試し版
  - EASY設定ユーティリティ
  - 無線LANプリンタ導入ウィザード
  - NEC印刷ログユーティリティ
  - MultiWriterドライバ配信
  - Adobe Acrobat Reader
- バージョンアップ
  CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順については「ご利用の前に」（Update.txt）または4章の「プリンタードライバーのバージョンアップ」（204ページ）をご覧ください。

その他に、MultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウエアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」（Readme.txt）をご覧ください。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 2130に添付のプリンターソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター*1	対応OS	メモリー
パラレルインタフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 95（日本語版） Windows Server 2003（日本語版）*3 Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版）	OSの動作条件に準じます。
	PC-9800シリーズ		
USBインターフェース*4	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows Server 2003（日本語版）*3 Windows 2000（日本語版）	

*1 OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。
*2 Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。
*3 64ビット バージョン Windows Server 2003には対応していません。
*4 USBインターフェース接続において、OSのアップグレードの組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

チェック

メモリーについては、PrintAgentをクライアント－サーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は256Mバイト以上）のメモリーを搭載し運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- オプションのLANアダプターでプリンターがネットワークに接続されている。（対応している型番については1章の「オプション」（13ページ）をご覧ください。）
- 無線LAN環境ではオプションの無線アダプタ（型番 PR-WL-01）で接続されている。
- 共有プリンターの場合（クライアント・サーバー接続）、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするために必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に確認してください。

インストール方法	Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 日本語版	Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約11.5MB	約11.0MB	約12.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約15.0MB	最大 約14.5MB	最大 約15.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約17.0MB	最大 約16.5MB	最大 約17.5MB
プリンタードライバーのみ	約4.0MB	約3.5MB	約4.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下の条件を確認して、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、LANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、「プリンター管理者用インストール」（67ページ）をご覧ください。

- **コンピューターとケーブルで接続する**

USB ケーブルで接続する場合		
ご使用のOSは･･･ Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows Me、 Windows 98、 Windows 2000	⇒	「USBインターフェース接続によるインストール」（45ページ）へ進んでください。
パラレルインターフェースケーブル（プリンターケーブル）で接続する場合		
プリンタードライバーとPrintAgentを共にインストールする	⇒	『「インストールプログラム」からのインストール（40ページ）』へ進んでください。
プラグ・アンド・プレイ*でインストールする	⇒	「パラレルインターフェース接続によるインストール」（53ページ）へ進んでください。

- **ネットワークで接続する**

プリンタードライバーと PrintAgent を共にインストールする		
『「インストールプログラム」からのインストール（40ページ）』へ進んでください。		
プリンタードライバーのみインストールする		
ネットワーク接続に［NEC TCP/IP Port］を使用する	⇒	『「インストールプログラム」からのインストール（40ページ）』へ進み、接続先に［NEC TCP/IP Port］を選択して、PrintAgentのインストール選択手順で［インストールを選択しない］を選択してインストールしてください。
ネットワーク接続にOSがもつLPR機能を使用する	⇒	「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（90ページ）へ進んでください。
ターミナルサービスを使用する		
「ターミナルサービス環境」（113ページ）へ進んでください。		

- **MS-DOS環境でご使用の場合**
  「日本語MS-DOS環境」（74ページ）へ進んでください。

* 「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP、Window Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）をインストールします。

プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

- パラレルインターフェースで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、[ローカルポート]を選択します。
- LANアダプターで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、[NEC TCP/IP Port]を選択します。

ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）のインストール手順を説明します。

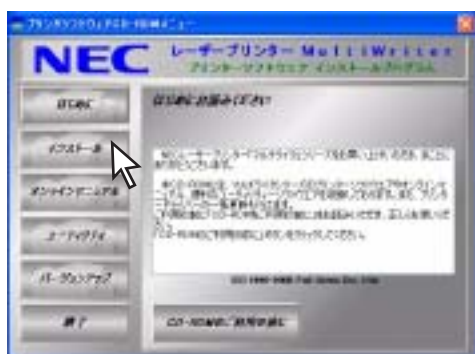
チェック

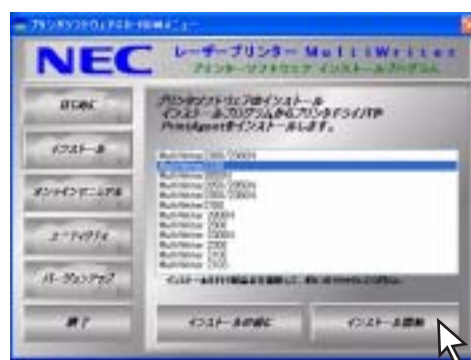
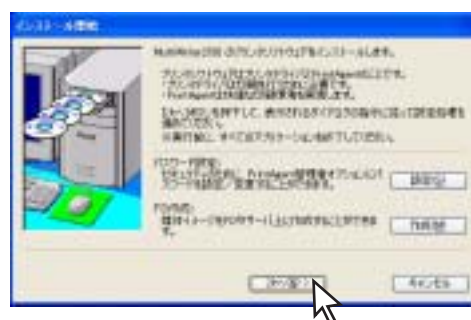
Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]グループのメンバーである必要があります。

❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[インストール]をクリックする。**

❹ **右側のボックスから[MultiWriter 2130]を選んで[インストール開始]をクリックする。**

お使いのOS にインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ **[次へ]をクリックする。**

はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行ないます。

❻ **[プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。**

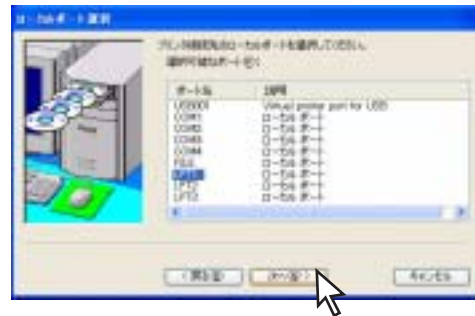
[プリンタドライバをインストールしない]を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックしてください。

MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW2130¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ **プリンターの接続先を選び、[次へ] をクリックする。**

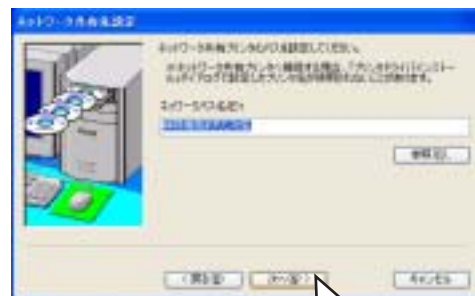
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]を選んだ場合」へ進んでください。

- [ローカルポート]は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、プリンターがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port]は、プリンターがLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。
手順❽へ進んでください。

＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

LANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、[次へ]をクリックする。

IPアドレスまたはホスト名を設定するときは、LANアダプターにIPアドレスまたはホスト名が設定されている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者におたずねください。

IPアドレスを設定する場合

[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ **[次へ]をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順❾へ進んでください。

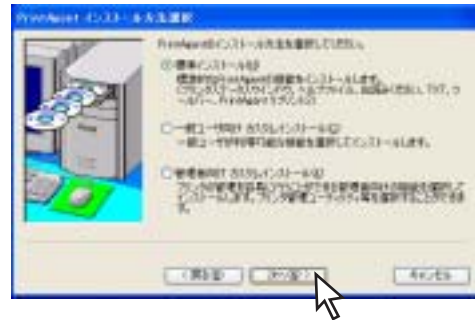
チェック

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

続いて、PrintAgentのインストールを行います。

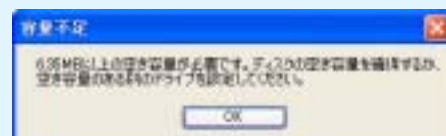
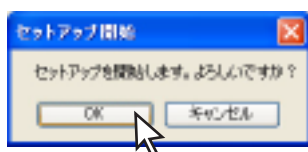
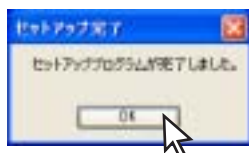
❾ **[PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。**

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

❿ **使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。**

[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

⓫ **PrintAgent のインストール先とスプールファイルの作成先を指定してからフォルダーを確認して[次へ]をクリックする。**

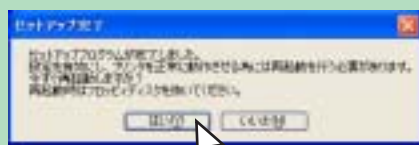
すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⓬へ進んでください。

次のメッセージが表示されたときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更するか不要なファイルを削除してください。

⓬ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

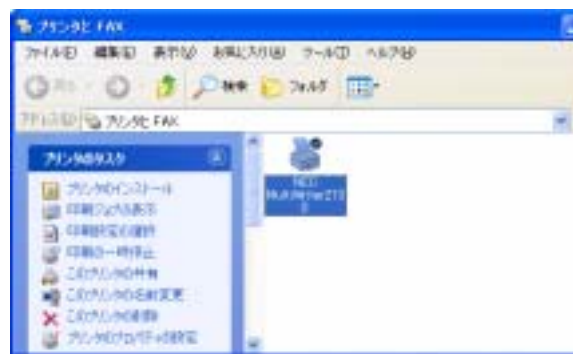
⓭ **[OK]をクリックする。**

⓮ **インストールが終了したら[OK]をクリックする。**

チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⓯ **プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。**

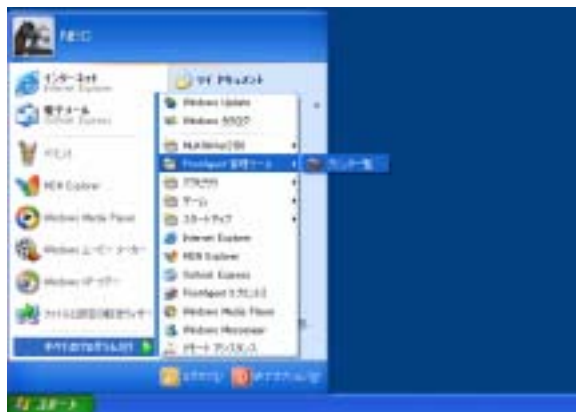
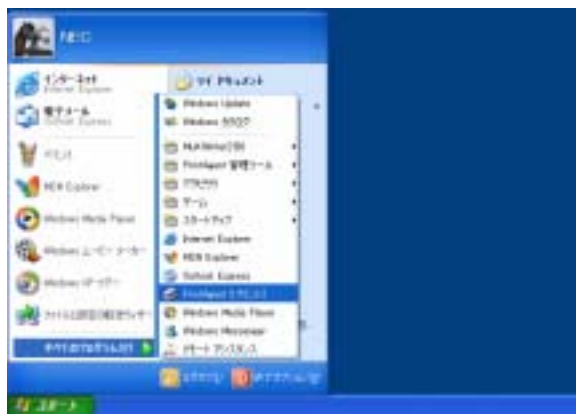
カスタムインストールでインストールした場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ ［プリンタとFAX］フォルダー内に［NEC MultiWriter 2130］アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。

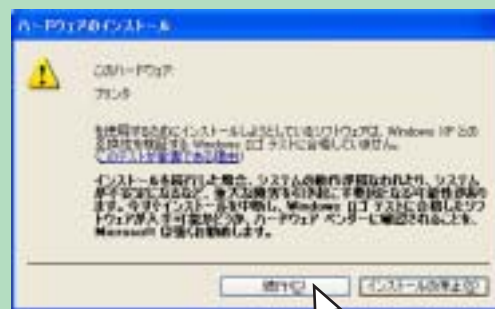
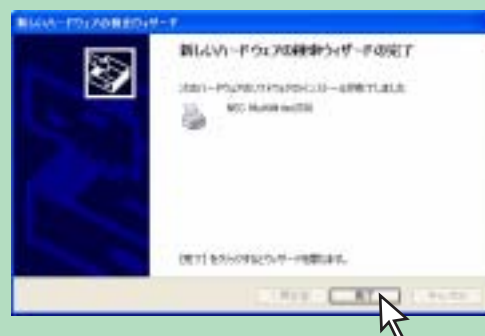
□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[MultiWriter 2130]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

チェック

Windows XP以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

☐ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［PrintAgent管理ツール］というフォルダーが追加され、［プリンター覧］が登録されている。
（カスタムインストールでプリンター覧を選択した場合）

☐ スタートメニューの［すべてのプログラム］の下に［PrintAgentリプリント2］が登録されている。

Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この時は、以下のOSの手順に従ってプリンタードライバーを再びインストールしてください。この場合、［プリンタとFAX］フォルダーに新たなプリンターアイコンは作成されません。
手順は「USBインターフェース接続によるインストール」（45ページ）の手順❶～手順❺を行った後に、以下の手順に従ってください。

6. ［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスで［ディスク使用］をクリックする。
7. プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。
8. ［フロッピーディスクからのインストール］ダイアログボックスでファイルのコピー元を指定して、［OK］をクリックする。
   ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW2130￥DISK4」と入力し、［OK］をクリックします。

9. ［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスで［次へ］をクリックする。
10. ［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスで［続行］をクリックする。

11. ［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスで［完了］をクリックする。

USBインターフェース接続によるインストール

ここでは、USBインターフェースでプリンターに接続したときのプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。パラレルインターフェースで接続した場合の「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ったインストール手順については「パラレルインターフェース接続によるインストール」（53ページ）を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を例にとって説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

❹ **[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

チェック

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **[検索しないでインストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **[プリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **[ディスク使用]をクリックする。**

❽ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❾ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK4」と入力します。

❿ **使用するプリンター名を選び、[次へ] をクリックする。**

インストールを開始します。

チェック

以下の[ハードウエアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ **[完了]をクリックする。**

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（41ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。

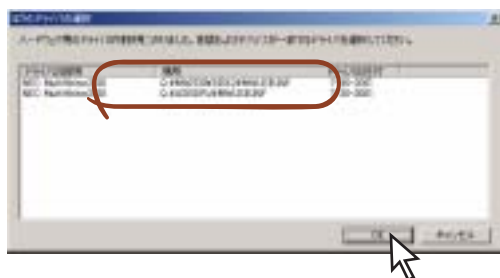
［新しいハードウェア］ダイアログボックスが表示された後、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、次ページの「［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

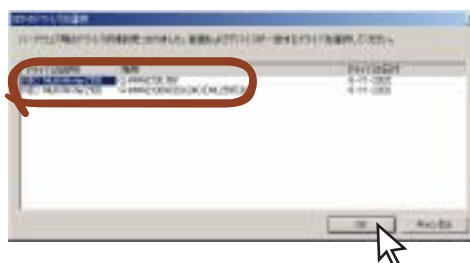
❻ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのドライブでフォルダー名「USBDRV」を選んで、［OK］をクリックする。**

❼ **インストールされたことを確認し、［完了］をクリックする。**

❽ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

✔チェック

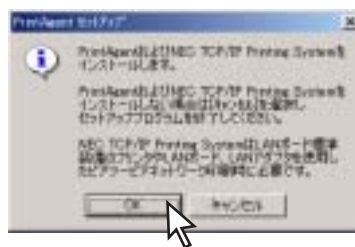
接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❾ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、［OK］をクリックする。**

❿ **プリンター名を確認し、[完了]をクリックする。**

プリンタードライバーのインストールが開始されます。

⓫ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓬ **PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。**

このあとは40ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

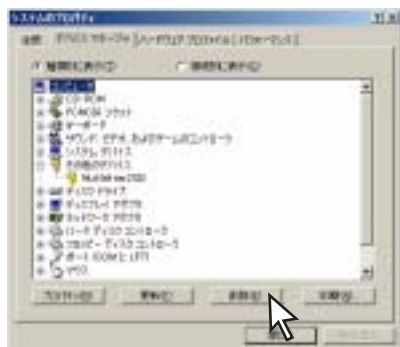
[新しいハードウェアの追加]ダイアログボックスが表示されなかった場合

以下の手順を行った後、再びUSBケーブルを接続する手順を行ってください。

❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

❷ **[システム]アイコンをダブルクリックする。**

❸ **[デバイスマネージャ]シートをクリックする。**

❹ **[その他のデバイス]で？マークの[MultiWriter 2130]を選択し、[削除]をクリックする。**

❺ **USBケーブルを取り外す。**

❻ **削除されたことを確認して、USB ケーブルを接続する。**

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版を起動します。

USBデバイス検出画面が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、前のページの「[新しいハードウェアの追加]ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

❻ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する] を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **USBドライバーの検索場所を指定し、[次へ]をクリックする。**

[検索場所]をチェックし、CD-ROMのドライブ名、「¥USBDRV」を入力します。

❽ **デバイス名を確認し、[次へ]をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。

❾ **[完了]をクリックする。**

❿ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

✔チェック

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

⓫ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

⓬ **選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。**

⓭ **[次へ]をクリックする。**

⓮ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

プリンタードライバーのインストールが始まります。

⓯ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓰ **PrintAgent をインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは40ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

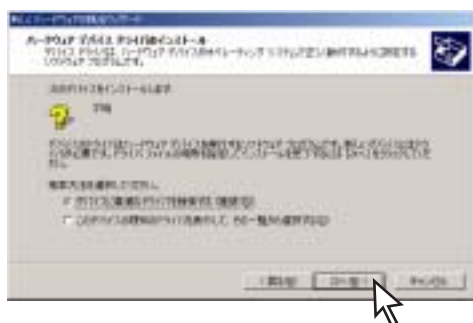
Windows 2000 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。

❹ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **[デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

既に一度プリンタードライバーをインストールしたコンピューターの場合［NEC MultiWriter2130］が表示されます。

❻ **[場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW2130￥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、[次へ]をクリックする。**

インストールを開始します。

❿ [完了]をクリックする。

✔チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（41ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

パラレルインターフェース接続によるインストール

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を例にとって説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

❹ **[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[検索しないでインストールするドライバを選択する] を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **[プリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **[ディスク使用]をクリックする。**

❽ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❾ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK4」と入力します。

❿ **使用するプリンター名を選び、[次へ] をクリックする。**

インストールを開始します。

✔チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ **[完了]をクリックする。**

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（41ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **[適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。

✔チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❻ **選択項目の中の[場所]がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、[OK]をクリックする。**

❼ **プリンターの名前を確認して、[完了] をクリックする。**

❽ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

❾ **PrintAgent をインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは40ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版を起動します。

❹ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

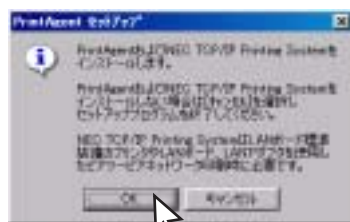
❼ **選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。**

❽ **[次へ]をクリックする。**

❾ **プリンターの名前を確認して、[完了] をクリックする。**

❿ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓫ **PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。**

このあとは40ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ プリンターケーブルを接続する。

❷ MultiWriter 2130の電源をONにする。

❸ コンピューターの電源をONにする。

Windows 95 日本語版を起動すると[デバイスドライブウィザード]か[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

✔チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

手順❹に進んでください。

<[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された場合>

[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

手順❾に進んでください。

❹ [完了]をクリックする。

❺ プリンターの名前を確認して、[完了] をクリックする。

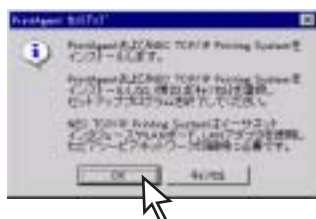
❻ [OK]をクリックする。

❼ [ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK2」と入力します。プリンタードライバーがインストールされます。

❽ **PrintAgent をインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは40ページページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストール手順を終了します。

❾ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❿ **［ファイルのコピー元］を指定して、［OK］をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK2」と入力します。

⓫ **プリンターの名前を確認し、［完了］をクリックする。**

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ **PrintAgent をインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは40ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 2000 日本語版を起動します。

❹ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、40ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **[場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、[次へ]をクリックする。**

インストールを開始します。

❿ **[完了]をクリックする。**

✔チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（41ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

プリンタードライバーの削除

必要なファイルを削除してしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除（アンインストール）してから行います。ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。

重要

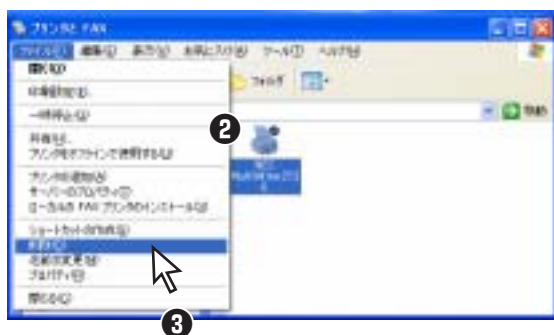
- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- MultiWriter 2130が印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

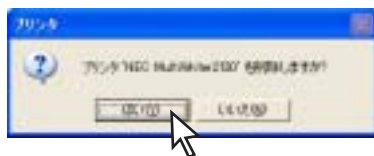
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

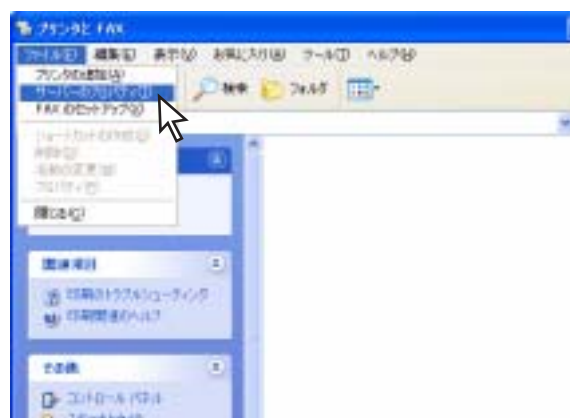
❶ **[プリンタとFAX]フォルダーを開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ **[NEC MultiWriter2130]アイコンをクリックする。**

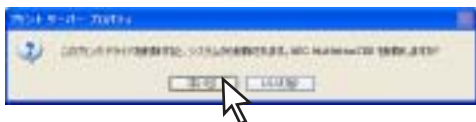
❸ **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**

❹ **[はい]をクリックする。**

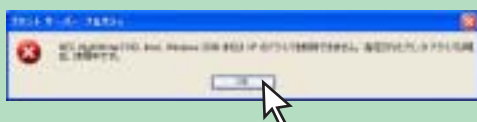
MultiWriter 2130のプリンタードライバーが削除されます。

❺ **[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。**

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。

❻ **[ドライバ]タブをクリックする。**

❼ **[インストールされたプリンタドライバ]から[NEC MultiWriter2130]をクリックする。**

❽ **[削除]をクリックする。**

❾ [はい]をクリックする。

✔チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows XPの再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ [インストールされたプリンタドライバ]から[NEC MultiWriter2130]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]を閉じます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版

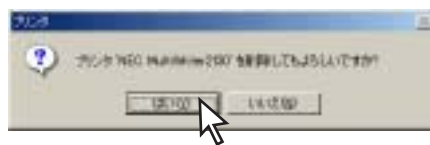
❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

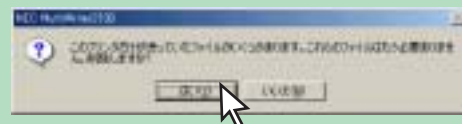
インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter2130]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 2130のプリンタードライバーが削除されます。

✔チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

Windows 2000 日本語版

❶ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ **[NEC MultiWriter2130]アイコンをクリックする。**

❸ **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**

❹ **[はい]をクリックする。**

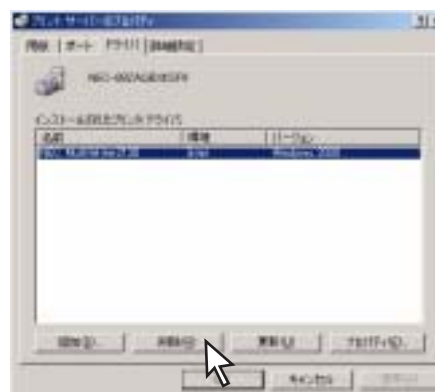
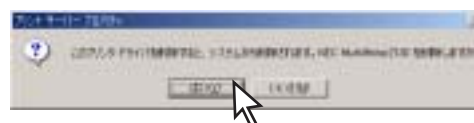
MultiWriter 2130のプリンタードライバーが削除されます。

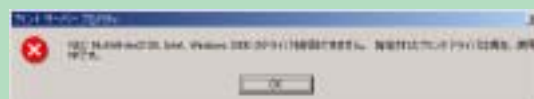
❺ **[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。**

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。

❻ **[ドライバ]タブをクリックする。**

❼ **[インストールされたプリンタドライバ]から[NEC MultiWriter2130]をクリックする。**

❽ **[削除]をクリックする。**

❾ **[はい]をクリックする。**

チェック

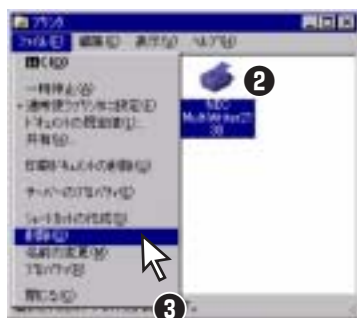
次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows 2000の再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ **[インストールされたプリンタドライバ]から[NEC MultiWriter2130]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。**

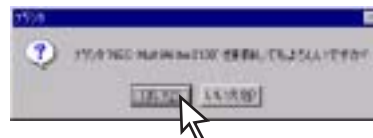
[プリントサーバーのプロパティ]と[プリンタ]フォルダーを閉じます。

Windows NT 4.0 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

❷ [NEC MultiWriter2130]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 2130のプリンタードライバーが削除されます。

PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 2130のプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

重要

- 追加・削除の手順を始める前に「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」（283ページ）をお読みください。

❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

❷ **[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。**

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

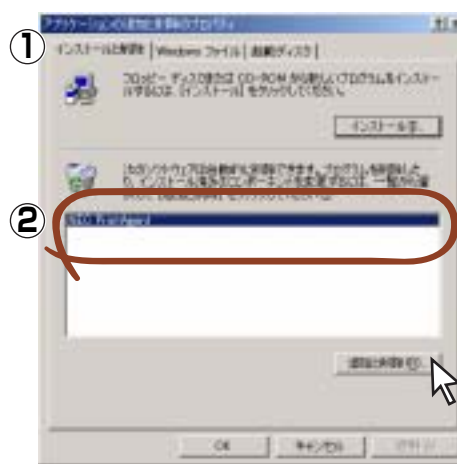
❸ **[PrintAgentオプション選択]ダイアログボックスを開く。**

<Windows XP/Server 2003/2000の場合>

① 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。

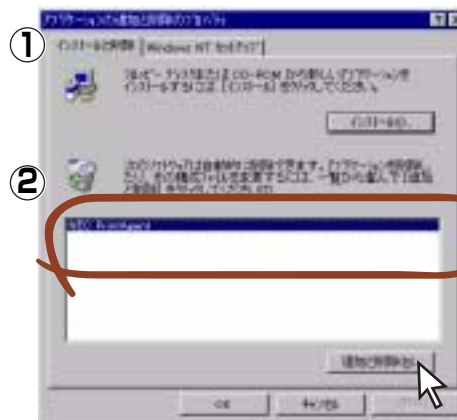
② [NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]をクリックする。

<Windows Me/98/95の場合>

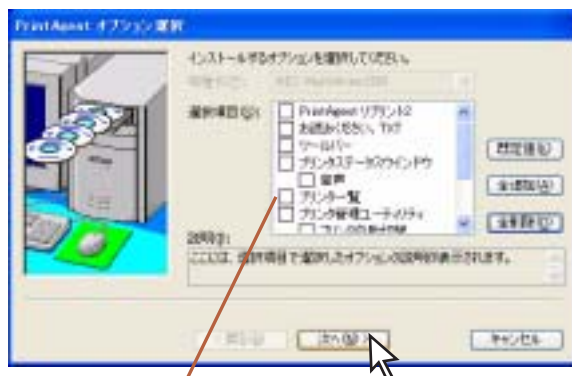
① [インストールと削除]シートを開く。

② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

<Windows NT 4.0の場合>

① [インストールと削除]シートを開く。

② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

❹ **対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ] をクリックする。**

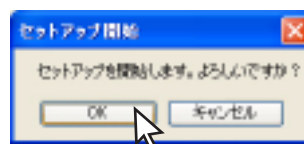
チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。

また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は
選択できるオプションが異なります。

チェック

- 他のMultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブにセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❺ **[完了]をクリックする。**

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

❻ **[OK]をクリックする。**

❼ **追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❽ **すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。**

プリンター管理者用インストール

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

以下は、ネットワーク環境でMultiWriter 2130を使用するときに便利な機能です。

- プリンターを一元に管理する
- プリンターを自動切替で利用する
- 印刷ログを出力する
- e-mailメンテナンスを利用する
- Web PrintAgentを利用する

以上を設定するには、プリンターソフトウエアを管理者向けでインストールする必要があります。インストールの手順は次ページを参照してください。

プリンター管理者のみ選択可能なオプション

Web PrintAgent
ブラウザーを使ってプリンターの状況を見ることができます。

プリンタ管理ユーティリティ
LANアダプターのリモート設定、プリンタ自動切替機能、保守情報のメール通知機能が利用できます。

印刷ログ
印刷の履歴状況を出力することができます。

- □ PrintAgent リプリント2
- □ Web PrintAgent*[1]
- □ お読みください．TXT
- □ ツールバー
- □ プリンタステータスウィンドウ
  - □音声
- □ プリンタ一覧
- □ プリンタ管理ユーティリティ
  - □プリンタ自動切替
  - □メール通知*[2]
- □ ヘルプファイル
- □ 印刷ログ*[3]

＊1　プリントサーバーにWeb サーバーがインストールされている必要があります。詳しくは各OS のヘルプをご覧ください。
＊2　ネットワーク設定にTCP/IP プロトコルがインストールされている必要があります。詳しくは各 OSのヘルプをご覧ください。
＊3　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 で選択できます。

また、プリンターを管理する方は以下の機能も利用することができます。

- パスワードの設定（73ページ）
  プリンター管理者以外の人による「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の使用や、プリンターソフトウエアの削除から保護するためのパスワードの設定が可能です。

- FD作成（インストール媒体の作成）（307ページ）
  プリンターソフトウエアCD-ROMからインストール用のフロッピーディスクを作成します。また、ファイルサーバーのハードディスクなど任意の媒体にコピーすることができます。プリンター管理者がハードディスクなどにコピーし、複数台のコンピューターにプリンターソフトウエアを指定した内容で短時間にインストールしたい場合などに便利です。

インストール手順

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に9章の「PrintAgentを動作させる前に」(283ページ)を参照してから確認してください。

インストール方法	Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000 日本語版	Windows Me Windows 98 Windows 95 日本語版	Windows NT4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約11.5MB	約11.0MB	約12.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け(最大)	最大 約15.0MB	最大 約14.5MB	最大 約15.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約17.0MB	最大 約16.5MB	最大 約17.5MB
プリンタードライバのみ	約4.0MB	約3.5MB	約4.5MB

ここでは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応したプリンターソフトウエアをプリンター管理者としてインストールする手順をWindows XPを例に説明します。

❶ Windows XP 日本語版を起動する。

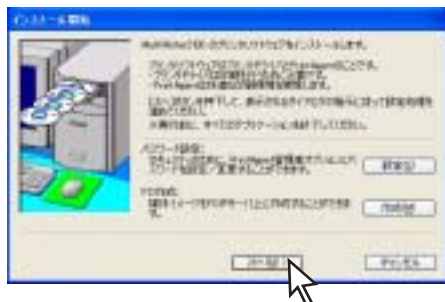
❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸［インストール］をクリックする。

❹ 右側のボックスから［MultiWriter2130］を選んで［インストール開始］をクリックする。

お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ ［次へ］をクリックする。

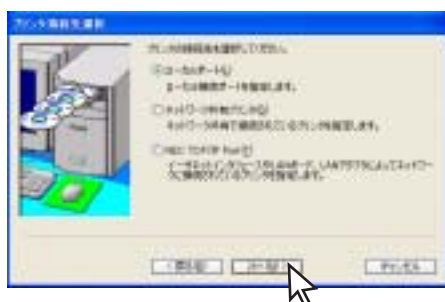
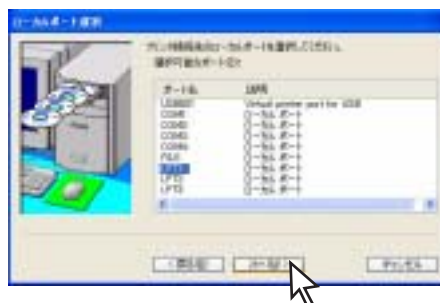
❻ ［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

［プリンタドライバをインストールしない］を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックしてください。

MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW2130¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ プリンターの接続先を選ぶ。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリンサーバー上に共有されているときに選びます。
- ［NEC TCP/IP Port］は、プリンターがLANアダプターを接続して、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<［ローカルポート］を選んだ場合>

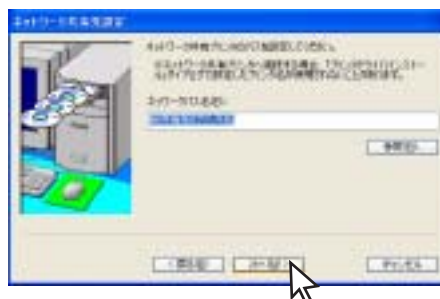
希望するポートを選び、［次へ］をクリックする。

手順❽へ進んでください。

<［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。

手順❾へ進んでください。

<［NEC TCP/IP Port］を選んだ場合>

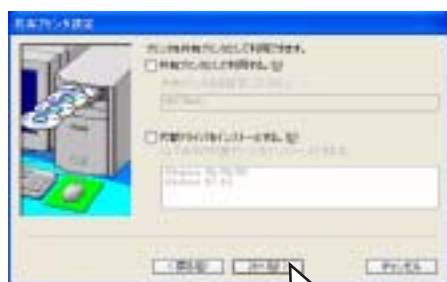
LANアダプターのIPアドレスあるいはホスト名を設定して［次へ］をクリックする。

IPアドレスを設定する場合

［検索］をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、［OK］をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

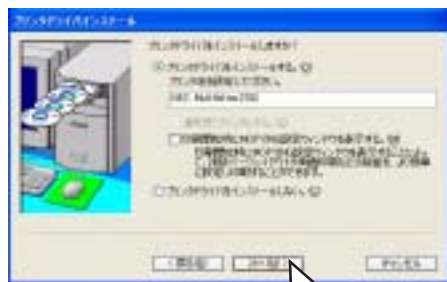
❽ ［次へ］をクリックする。

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

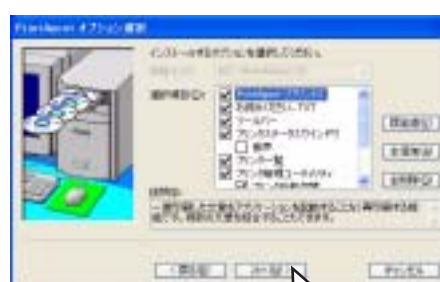
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順⓭へ進んでください。

チェック

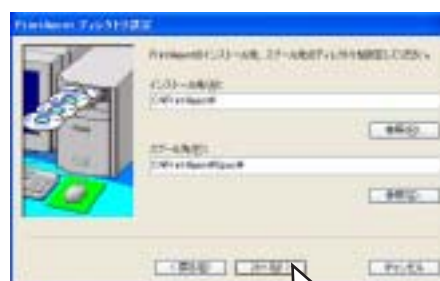
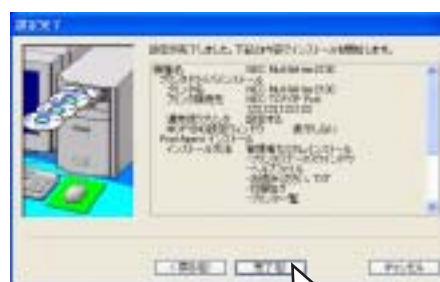
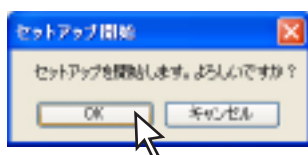
すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

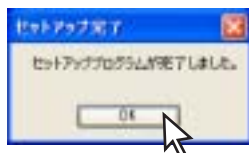
❾ ［PrintAgentをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

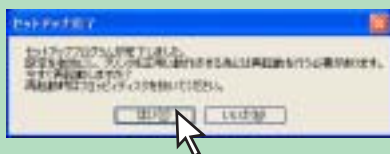
［PrintAgentをインストールしない］を選んだときは、手順⓭へ進んでください。

❿ ［管理者向けカスタムインストール］を選び、［次へ］をクリックする。

⓫ 任意の機能を選び、［次へ］をクリックする。

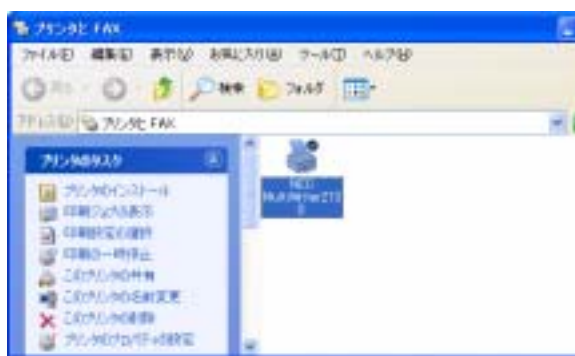
［全追加］をクリックすると、すべてチェックされます。［全削除］をクリックすると、すべてチェックが外れます。

⓬ PrintAgent のインストール先とスプールファイルの作成先を指定し、［次へ］をクリックする。

すでに他のMultiWriterのPrintAgentがインストールされている場合は、このダイアログボックスは表示されません。

⓭ 設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。

⑭ **［OK］をクリックする。**

ソフトウエアのインストールが開始されます。

⑮ **インストールが終了したら、［OK］をクリックする。**

チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⑯ **プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。**

管理者向けカスタムインストールで選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

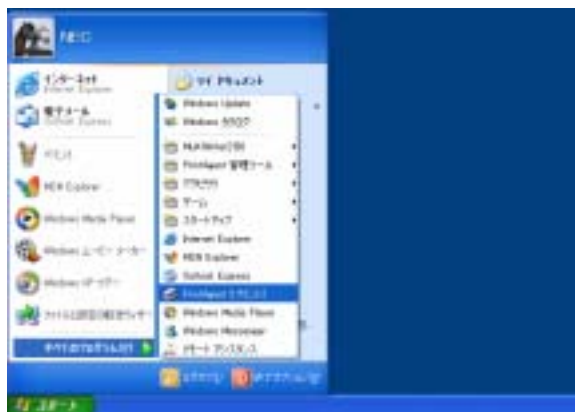
□ ［プリンタとFAX］フォルダー内に、［NEC MultiWriter2130］アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、［PrintAgent システム］アイコンが登録されている。

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［MultiWriter2130］というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

チェック

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、スタートメニューの［プログラム］から確認することができます。

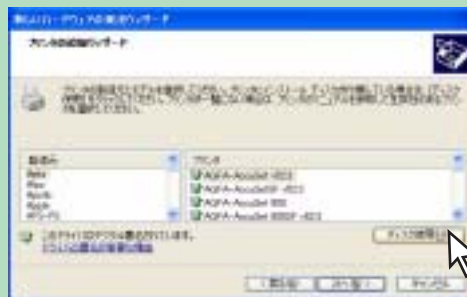
□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［PrintAgent管理ツール］というフォルダーが追加され、その下に［プリンタ管理ユーティリティ］と［プリンタ一覧］が登録されている。

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［PrintAgent リプリント2］が登録されている。

チェック

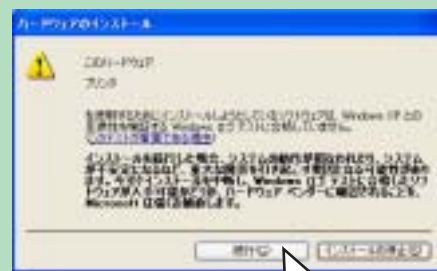
Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この時は、以下のOSの手順に従ってプリンタードライバーを再インストールしてください。この場合、[プリンタとFAX] フォルダーに新たなプリンターアイコンは作成されません。

1. [一覧または特定の場所からインストールする] を選び、[次へ] をクリックする。

2. [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選び、[次へ] ををクリックする。

3. [ディスク使用]をクリックする。

4. ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW2130￥DISK4」と入力します。

5. 使用するプリンター名を選び、[次へ]をクリックする。

6. [続行]をクリックする。

7. [完了]をクリックする。

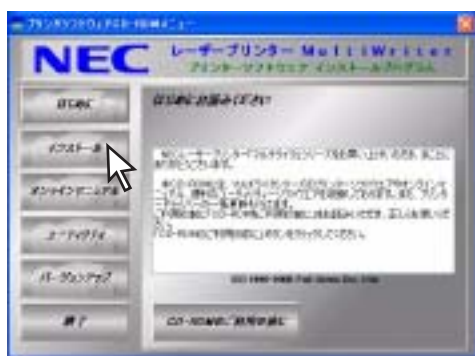
パスワードの設定

プリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールした場合、パスワードを設定できます。以下の手順で設定します。Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応しています。

チェック

- パスワードで保護される機能はPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの起動、プリンターソフトウエアの削除です。
- 設定したパスワードはPrintAgentに対応した機種で共通に使用されます。

❶ **プリンターソフトウエア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

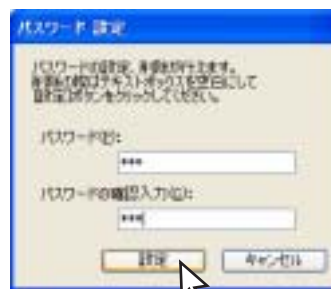
お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください

❷ **［インストール］をクリックする。**

❸ **右側のボックスから［MultiWriter2130］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

❹ **パスワード設定の［設定］をクリックする。**

❺ **パスワードとパスワードの確認を入力し、［設定］をクリックする。**

半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードを設定しない場合は空白のまま［設定］をクリックします。すでに入力しているパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、［設定］をクリックします。

日本語MS-DOS環境

ここでは、日本語MS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

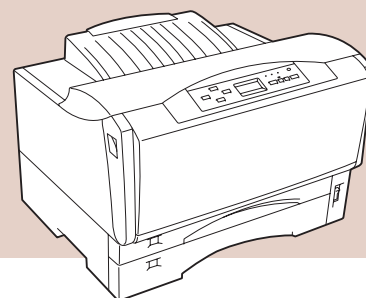
プリンターを選択する

使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては機能の一部が使用できないことがあります。）

優先順位	プリンター名称	動作モード*3
1	MultiWriter 3650N、2850N、2850、2350N、2350、2800N、2800、2300N、2300、2100、210S	ページプリンター（もしくは、レーザープリンター）
2	MultiWriter 2650M、2250H、2650E、2650、2250、2050	
3	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2、2200X	
4	MultiWriter 2400X、2400、2000X、2000FW、2200NW2、PC-PR2000/6W	
5	MultiWriter 2000E、2000NW、PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W、PC-PR4000W/4、PC-PR4000/4	
6	MultiWriter 1400X、1250、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4およびNPDL Level 2	
7	PC-PR2000、PC-PR1000、PC-PR602およびNPDL	
8	PC-PR201シリーズ	201PLエミュレーション
9	PC-PR101シリーズ	

*1　A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。
*2　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定の優先順位を変更してください。
*3　ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは201PLエミュレーションモード（お買い上げ時の設定）のままご使用になれます。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、メニューモードを使ってプリンターを設定します。
メニューモードの操作方法、メニューツリーおよび各設定項目については7章「メニューモード」(229ページ）を参照し
てください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションと本プリンターを次のような設定が標準です。

ソフトウエア：　シートフィーダー付き、単票（カット紙）、連続送り
プリンター：　201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

3章
ネットワークでの設定

この章では、ネットワークに接続してお使いになる場合のネットワーク設定について説明しています。また、無線LANアダプター使用時の注意事項についても説明しています。無線LANアダプターをお使いの方は、設定を行う前にお読みください。

ここでは、LANアププター PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-WL-01についての設定方法を説明します。PR-NPX-05については添付のセットアップガイドを参照してください。なお、PR-NPX-05はPrintAgentには対応していません。

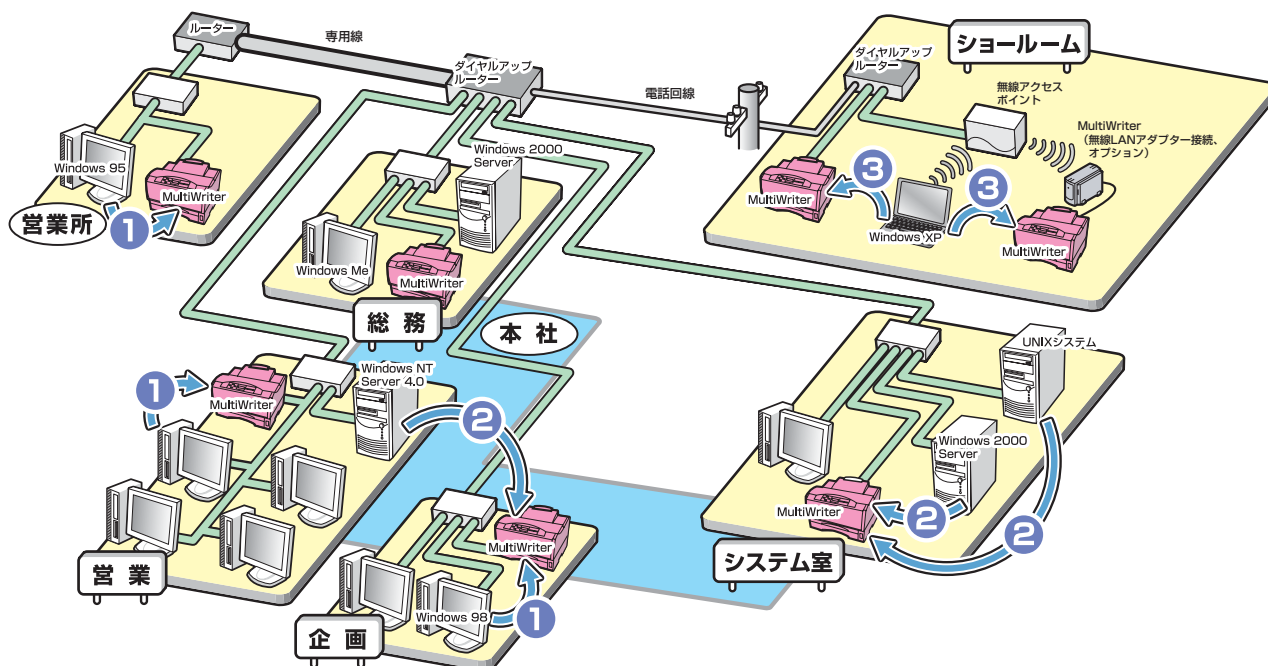
LANアダプターをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

1. ユーティリティーによるネットワークの設定
   LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスクなどの設定は、LANボードの設定と同様に行えます。詳しくは、各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してください。

2. 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

Windows Server 2003をお使いのお客様へ
Windows Server 2003をお使いのお客様は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

MultiWriterを使ったネットワーク印刷

以下にMultiWriterをネットワークプリンターとして使用する場合の例を示します。

❶ PrintAgent
PrintAgentは部門内、ワークグループでの使用に適した印刷管理ソフトウエアです。
丁合い、リプリント、ジョブセパレートなどの機能によりMOPYINGを快適に利用できます。

❷ LPR
UNIXシステムネットワークで標準の1つとして利用されている印刷プロトコルです。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に標準で搭載されています。

❸ NEC TCP/IP Printing System（NEC Network Port）
NEC製のプリンターやネットワークオプションが使用できるプリンターで共通して使用できる印刷方式です。
PrintAgentソフトウエアと共に使用することでプリンターとの双方向通信を実現します。

無線LANアダプターに関する安全上のご注意

ここでは、無線LANアダプターを安全にお使いいただくための注意事項について説明します。注意事項の内容をよく読んでご理解いただき、無線LANアダプターをより安全にご活用ください。

- 心臓ペースメーカーに近づけない

  植え込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANアダプターをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。
- 使用禁止区域では使用しない

  心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANアダプターの使用を禁止した区域では、無線LANアダプターを使用しないでください。

  また、医療機関側が無線LANアダプターの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源を切ってください。

  無線LANアダプターの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。
- 飛行機内では使用しない

  飛行機内では、無線LANアダプターと接続したプリンターの電源を切ってください。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANアダプターもその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがありますので、詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。
- ぬれた手で触らない

  無線LANアダプターがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANアダプターやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

ユーティリティーによるネットワークの設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、LANアダプターにIPアドレスやサブネットマスクなどを設定する必要があります。ここでは、PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-WL-01を使用する際に必要な設定方法を説明します。
PR-NPX-05については、PR-NPX-05に添付されているセットアップガイドを参照してください。
以下のいずれかの方法で設定してください。また、DHCPを使用して設定する場合は、「より便利なネットワーク機能」（120ページ）を参照してください。

- EASY設定ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。簡単にIPアドレスなどの設定ができます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールすると使用できます。
  IPアドレスやサブネットマスクの設定方法について説明します。
  ユーティリティーの詳細については、LANアダプターに添付されている取扱説明書を参照してください。
- 無線LANプリンタ導入ウィザード .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。簡単に無線LANアダプターの設定ができます。設定に関する解説や操作手順がウィザードの画面上に表示されます。
- UNIXコマンド .... UNIXコマンド「ping」と「arp」を使用して設定します。
- プリンターの操作パネル .... プリンターの操作パネルで IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
- WWWブラウザー .... 汎用の WWW ブラウザーを使用してプリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。詳細については、LANアダプターに添付されている取扱説明書を参照してください。
- Telnet .... Telnetで接続し、プリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。詳細については、LANアダプターに添付されている取扱説明書を参照してください。

ユーティリティーでIPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANアダプターのMACアドレスを確認してください。コンフィグレーションページの印刷については、「コンフィグレーションページの印刷」（127ページ）を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピューターのOSについて設定が必要です。各OSの設定方法については、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（90ページ）を参照してください。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。このユーティリティーはWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの［EASY］フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

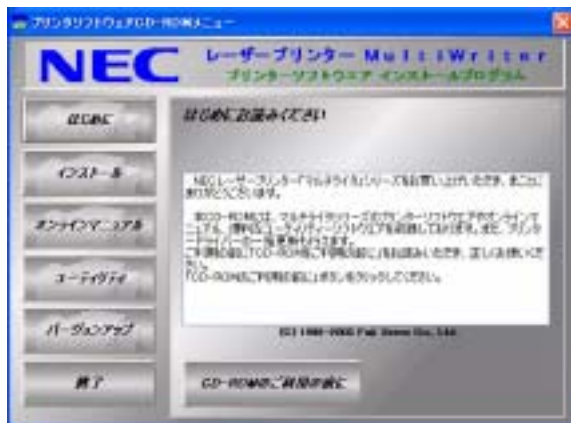
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

Windows XP上での手順を例にとって説明します。

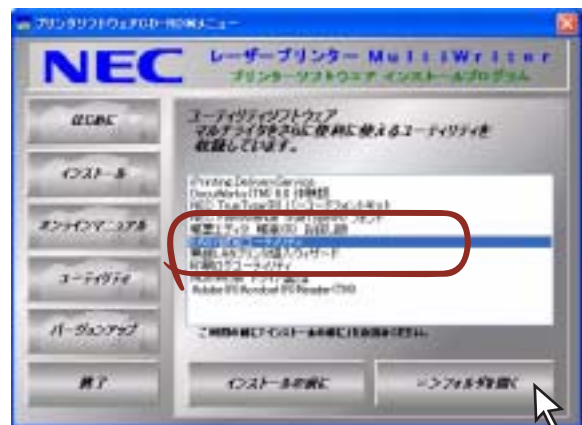
❶ Windows XPを起動する。

❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

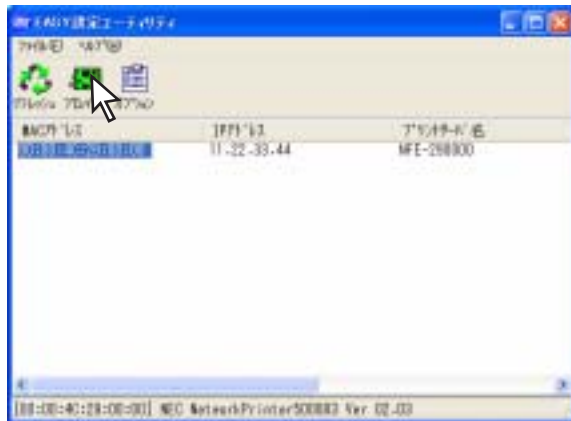
お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸［ユーティリティ］をクリックする。

❹［EASY設定ユーティリティ］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。

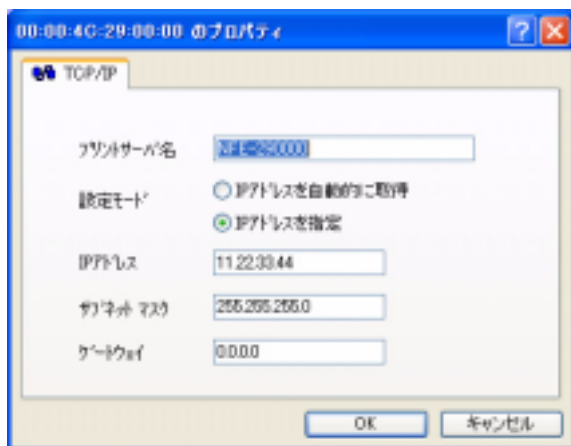
プリンターソフトウエアCD-ROM内の［EASY］フォルダーが開きます。

❺［NICSET］アイコンをダブルクリックする。

［EASY設定ユーティリティ］ウィンドウが表示されます。

❻ **一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］をクリックする。**

［TCP/IP］タブが表示されます。

一覧にプリンターが表示されない場合は、［リフレッシュ］ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

❼ **プリントサーバー名を確認する。**

ネットワーク上から見たプリンターの名前が［プリントサーバ名］ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

❽ **［設定モード］で［IPアドレスを指定］を選択する。**

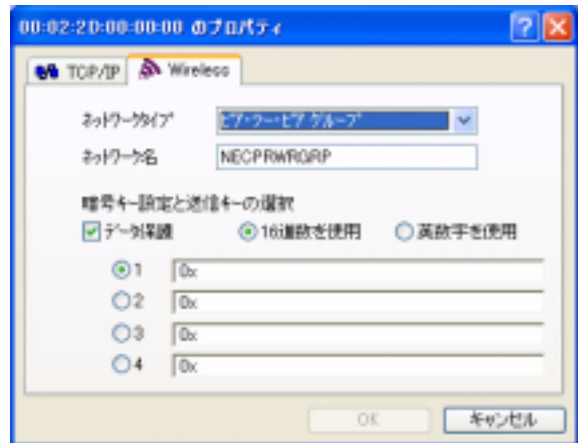
❾ **［IPアドレス］と［サブネットマスク］を入力する。**

❿ **［ゲートウェイアドレス］を設定する。**

ゲートウェイ（ルーター）を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

LANアダプターを使用している場合は、手順⓯に進んでください。

⓫ **無線LANアダプターの場合、［Wireless］タブをクリックする。**

［Wireless］シートが表示されます。

⓬ **［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。**

- ピア・ツー・ピアグループ
  ネットワーク名（ESS-ID）を入力設定する無線LANカード（NEC無線LANカードなど）を使用したコンピューターとピア・ツー・ピア グループ接続します。

チェック

アドホックタイプでご使用の場合は、無線LANアダプタ（PR-WL-01）の取扱説明書を参照してください。

アドホックは、無線通信に使用するチャネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャネルバンドが「チャネル1」固定になります。

- アクセスポイント
  NEC無線LANアクセスポイント（PK-WL002H）経由でネットワークに無線接続します。
- アクセスポイントN
  IEEE802.11b準拠のアクセスポイント経由でネットワークに接続します。
  NEC無線LANアクセスポイントN（PK-WL003）、無線LANアクセスポイントE（PK-WL005）、または無線LANアクセスポイントS（PK-WL007）、無線LANアクセスポイントEX（PK-WL-010）経由でネットワークに接続する場合は、この項目を選択します。

⓭ **ネットワーク名（ESS-ID）を入力する。**

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

⓮ データ保護を設定する。

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは、次のように使用します。

- 無線 LAN プリンターが受信する無線メッセージを復号します。4つ設定することができます。
- 無線 LAN プリンターが送信する無線メッセージを暗号化します。番号1～4の左側にあるラジオボタンのマークされた1つが暗号キーとして使用されます。マークしたキーは、必ず設定する必要があります。

暗号キーは、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANプリンターにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。

使用できる文字は、半角英数字と文字記号（「*」アスタリスクを除く）。

暗号キーの5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数のみで設定することができます。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANアダプターを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⓯ ［OK］をクリックして、EASY 設定ユーティリティを終了する。

以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。IPアドレスの設定以外にもネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続や監視に必要な各種パラメーターを設定したりすることができます。インストールについては2章の「プリンター管理者用インストール」の「インストール手順」(68ページ)を参照してください。また、操作方法などの詳細については、LANアダプターに添付されている取扱説明書をご覧ください。

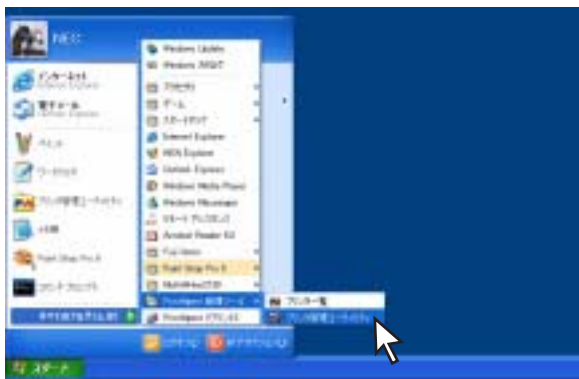
重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

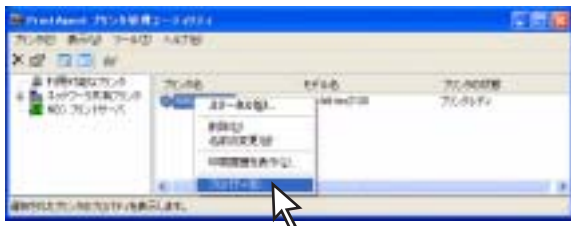
Windows XP上での手順を例にとって説明します。

❶ **プリンタ管理ユーティリティを起動する。**

［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

Windows XP以外の場合は、［プログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。

❷ **ウィンドウの左側ボックスから［NEC　プリントサーバ］を選択する。**

プリンターがまだ登録されていないときは、［プリンタ］メニューから［プリンタの登録］をクリックしてプリンターを登録してください。

❸ **ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンターを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。**

❹ **［TCP/IP］タブをクリックする。**

❺ **［マニュアルで設定する］を選択する。**

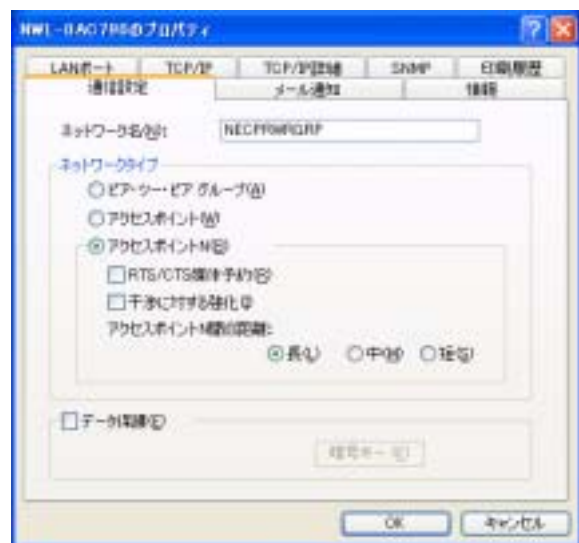
重要

- ［マニュアルで設定する］を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、［UNIXコマンドで設定する］を選んでください。
- 無線LANアダプターは、UNIXコマンドによる設定には対応していません［UNIXコマンドで設定する］は選択しないでください。

❻ **IPアドレスとサブネットマスクを入力する。**

LANアダプターを使用している場合は、手順⓫に進んでください。

❼ **無線LANアダプターを使用している場合は、［通信設定］タブをクリックする。**

［通信設定］シートが表示されます。

❽ **［ネットワーク名］を入力する。**

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

❾ **［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。**

各項目についての説明は、無線LANアダプターに添付されている取扱説明書をご覧ください。

❿ **データ保護を設定する。**

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

各項目についての説明は、無線LANアダプターに添付されている取扱説明書をご覧ください。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANアダプターを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⓫ **［OK］をクリックして終了する。**

以上で設定は完了です。

無線LANプリンタ導入ウィザード

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると無線LANアダプターを簡単に設定することができます。ここではWindows XP上での手順を例にとって、無線LANプリンタ導入ウィザードの起動方法までを説明します。

重要

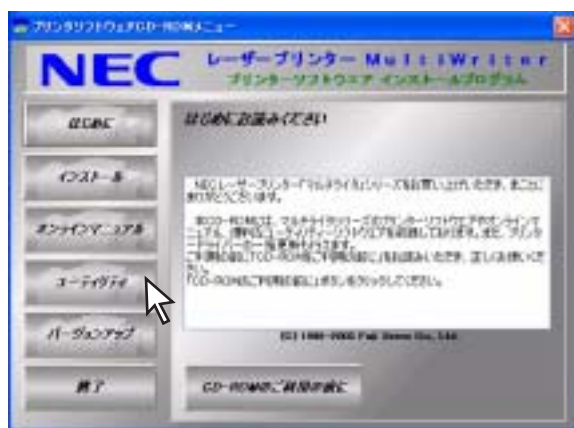
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000または、Windows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターに IP アドレスを設定する場合は、プリンターに IP アドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- 800×600ピクセル以上の解像度、High Color（16ビット色）以上を推奨します。

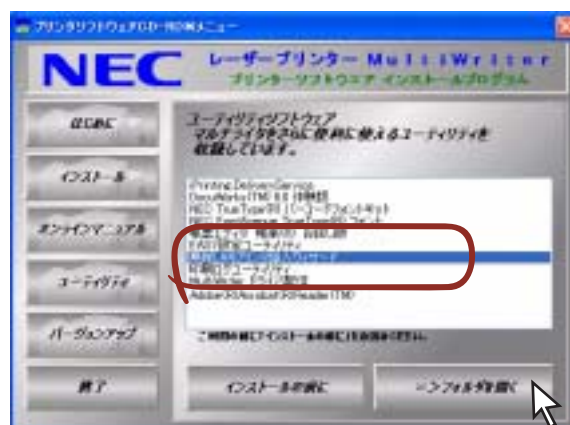
❶ **Windows XPを起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **［ユーティリティ］をクリックする。**

❹ **［無線LANプリンタ導入ウィザード］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の［Wireless］フォルダーが開きます。

❺ **［SetupWiz.EXE］アイコンをダブルクリックする。**

［無線LANプリンタ導入ウィザード］が起動します。

❻ **［次へ］をクリックする。**

［設定方法の選択］が表示されます。

設定方法の選択

- 初期設定 .... プリンターが出荷時の状態の場合または無線LANアダプターの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。
- 設定変更 .... パソコン・プリンター間の通信が可能な状態から無線LANアダプターの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。
- 通信確認 .... 設定後の通信確認のために、現在のパソコン設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の手順については、無線LANプリンタ導入ウィザードに従って設定を行ってください。

UNIXコマンド

UNIXコマンドを使ってIPアドレスを設定する方法を説明します。

重要

- ここで示す方法で IP アドレスを設定すると、LAN アダプターの設定を初期化するまで同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（127ページ）参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

ここでは、設定例としてコンピューターのIPアドレスを「123.123.123.1」、プリンターに設定するIPアドレスを「123.123.123.123」とします。

❶ プリンターの電源をOFFにし、再度電源をONにする。

❷ コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。

```
>route add 11.22.33.44 <コンピューターのIPアドレス>
```

（実行例）

```
>route add 11.22.33.44 123.123.123.1
```

❸ pingコマンドを実行する。

```
>ping 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
```

❹ arpコマンドを実行する。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Interface: 123.123.123.1
Internet Address     Physical Address     Type
11.22.33.44          00.-00-4C-29-00-00   dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンターのMACアドレスが表示されます。複数のプリンターが接続されている場合には、その中の1つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンターの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

❺ IPアドレスをコンピューターへ登録する。

以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s ＜プリンターに設定するIPアドレス＞＜設定するプリンターのMACアドレス
＞
```

（実行例）

```
>arp -s 123.123.123.123 00-00-4C-29-00-00
```

❻ pingコマンドを実行する。

```
>ping　＜プリンターに設定するIPアドレス＞
```

（実行例）

```
>ping 123.123.123.123
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

コンフィグレーションページを印刷して、IPアドレスが正しく設定されたことを確認してください（127 ページの「コンフィグレーションページの印刷」を参照）。

続いて他のプリンターのIPアドレスを変更する場合は、以下のコマンドを実行後、手順❸から設定を行ってください。

```
>arp -d 11.22.33.44
```

プリンターの操作パネル

プリンターの操作パネルを使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。プリンターの操作パネルによる設定では、あらかじめ、メニューモードでI/F設定の「双方向設定」を「ECP」に設定しておく必要があります。設定するIPアドレス、サブネットマスクの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）を使用している場合はプリンターの操作パネルから設定できません。マルチプロトコルLANアダプタに添付されているセットアップガイドをご覧ください。

I/F設定をECPに変更する

❶ **操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

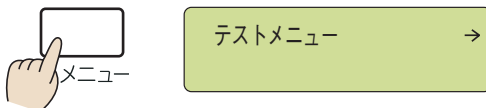
❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

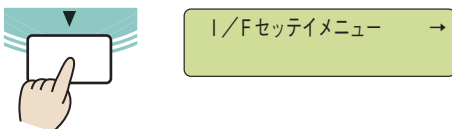
○データ

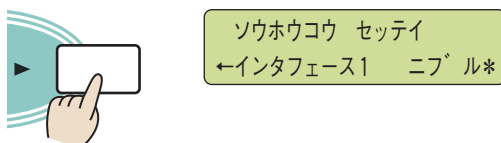
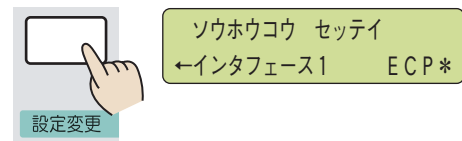
❸ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示します。

テストメニュー　→

❹ **ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー”と表示されるまで［▼］スイッチを数回押す。**

メニューの内容については「メニューツリー」（234～240ページ）を参照してください。

I／Fセッテイメニュー　→

❺ **［▶］スイッチを2回押して、ディスプレイ下段に“←インタフェース1　ニブル＊”を表示させる。**

ソウホウコウ　セッテイ
←インタフェース1　ニブル＊

❻ **［設定変更］スイッチを1回押して、ディスプレイ下段に“←インタフェース1　ECP＊”を表示させる。**

ソウホウコウ　セッテイ
←インタフェース1　ECP＊

❼ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

❽ **プリンターの電源をOFFにする。**

［ソウホウコウ　セッテイ］のセッテイの変更を有効にするためにプリンターの電源をいったんOFFにする必要があります。

❾ **プリンターの電源をONにする。**

プリンターの電源を再投入することによって、設定が有効になります。

次に、「IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する」に進んでください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

❶ 操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

❸［メニュー］スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示します。

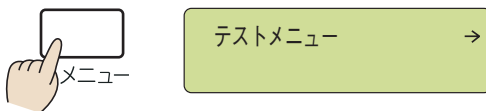
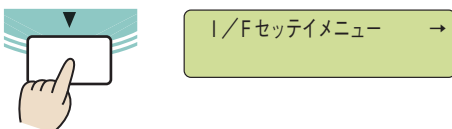
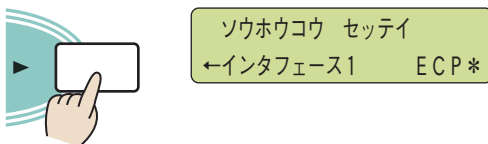
テストメニュー　→

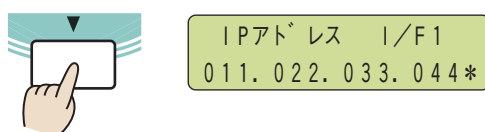
❹ ディスプレイに“Ｉ／Ｆセッテイメニュー”と表示されるまで［▼］スイッチを数回押す。

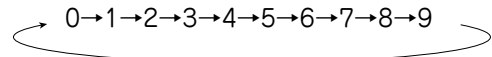
メニューの内容については「メニューツリー」（234〜240ページ）を参照してください。

Ｉ／Ｆセッテイメニュー　→

❺［▶］スイッチを2回押して、ディスプレイ下段に“←インタフェース1　ECP＊”を表示させる。

ソウホウコウ　セッテイ
←インタフェース1　　ECP＊

❻［▼］スイッチを1回押し、ディスプレイに“IPアドレス　I／F1”を表示させる。

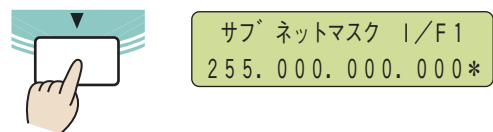
ＩＰアト゛レス　Ｉ／Ｆ１
011．022．033．044＊

❼ IPアドレスを設定する。

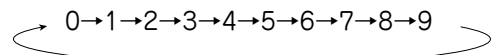
［設定変更］スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには［▶］スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら［◀］スイッチを押し、手順❻に戻って入力し直してください。

❽［▼］スイッチを押す。

ディスプレイに“サブネットマスク　I/F 1”と表示されます。

サフ゛ネットマスク　Ｉ／Ｆ１
255．000．000．000＊

❾ サブネットマスクを設定する。

［設定変更］スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには［▶］スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら［◀］スイッチを押し、手順❻に戻って入力し直してください。

❿［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

❾ コンフィグレーションページを印刷する。

LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧になり、コンフィグレーションページを印刷してください。

❿ コンフィグレーションページの印刷例（127 ページ）を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

ここでは、各OSへの設定について説明しています。印刷方法にはLPR、PrintAgentがあります。設定方法はOSごとに異なります。使用しているOSのページを参照してください。

重要

PrintAgentは、LPRプロトコルに対応していません。LPRを使用する場合は、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、9章を参照してください。

- Windows XP、Windows Server 2003 日本語版............................90ページ
- Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版..................99ページ
- Windows 2000 日本語版..101ページ
- Windows NT 4.0 日本語版..109ページ
- UNIX環境の設定...116ページ

OSの設定を行った後に、ネットワークを介しての印刷がうまくいかなかったときは9章「故障かな？と思ったら」の「ネットワークで思うように印刷できないときは」を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XPからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows XP、Windows Server 2003から印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）................添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR）..........................Windows XP、Windows Server 2003に標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR)......................Windows XP、Windows Server 2003に標準で実装されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。IPアドレスの設定方法については78ページを参照してください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（40ページ）を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタとFAX］フォルダーの［NEC MultiWriter2130］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［利用可能なポートの種類］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。**

❺ **［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **［OK］をクリックする。**

❼ **［閉じる］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

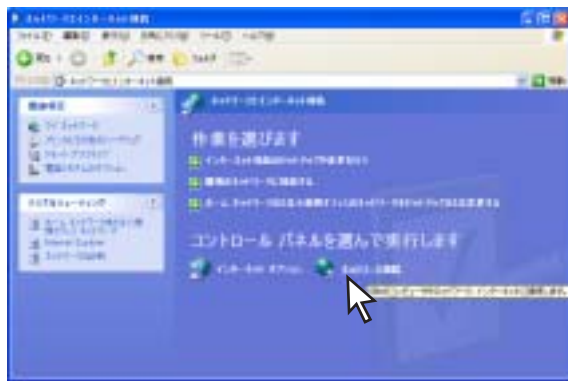
UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows XPのヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **Windows XPのCD-ROMをセットする。**

❷ **コントロールパネルの［ネットワークとインターネット接続］をクリックする。**

❸ **［ネットワーク接続］をクリックする。**

❹ **［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。**

❺ **［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。**

❻ **［UNIX用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。**

［オプション ネットワーク コンポーネントウィザード］ダイアログボックスに戻ります。

❼ **［次へ］をクリックする。**

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**
［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

❷ **［終了］をクリックする。**
プリンターソフトウエアを終了します。

❸ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

❹ **［プリンタのインストール］をクリックする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**

❻ **［このコンピュータに接続されているローカル　プリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して［次へ］をクリックする。**

❼ **［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。**
［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。

❽ **［次へ］をクリックする。**

❾ **［LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。**

❿ **［ディスク使用］をクリックする。**

⓫ **［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。**

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK4」と入力します。

⓬ **使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。**

⓭ **［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。**

⓮ **［完了］をクリックする。**

チェック

以下の［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ **［プリンタと FAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。**

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷するには

Windows XPの環境でLPRを使用してプリンタードライバーのインストール手順から印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

- 従量課金回線でご使用の場合は、［SNMPステータスを有効にする］のチェックを外してください。課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

❶ プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ ［終了］をクリックする。

❸ ［プリンタとFAX］フォルダーを開く。

❹ ［プリンタのインストール］をクリックする。

❺ ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。

❻ ［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。

［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

❼ ［次へ］をクリックする。

❽ ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。

チェック

DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順❿へ進んでください。
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順❾へ進んでください。

❾［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。

❿内容を確認し、［完了］をクリックする。

⓫［ディスク使用］をクリックする。

⓬［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK4」と入力します。

⓭使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

⓮［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓯［完了］をクリックする。

✔チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶［プリンタと FAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷［ポート］タブをクリックする。

❸［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。
次にLPRバイトカウント機能を有効にします。次の手順で設定してください。

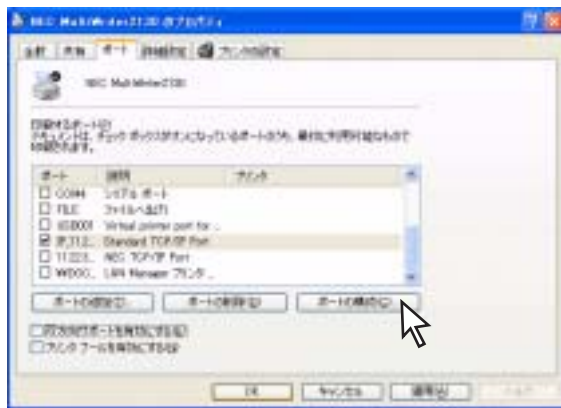
LPRバイトカウント機能

LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

❶ [プリンタ] フォルダー内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

❷ [ポート] タブをクリックする。

❸ [ポートの構成] をクリックする。

❹ [LPRバイトカウントを有効にする] をチェックして、[OK] をクリックする。

❺ [OK] をクリックして、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを閉じる。

以上で設定は完了です。

Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版

ここでは、Windows Meからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定方法について説明します。Windows 98、Windows 95の設定方法も同じです。

Windows Me、Windows 98、Windows 95から印刷するためには、NEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）を使用します。NEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（78ページ）を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

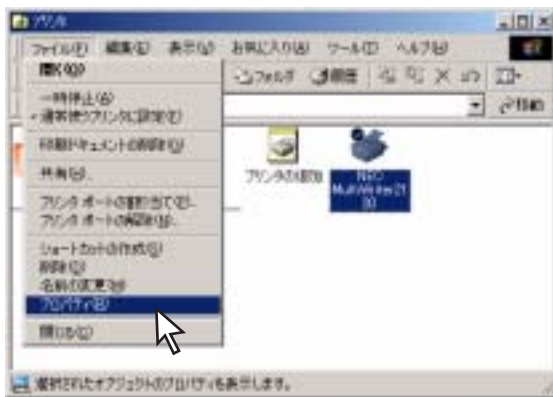
NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

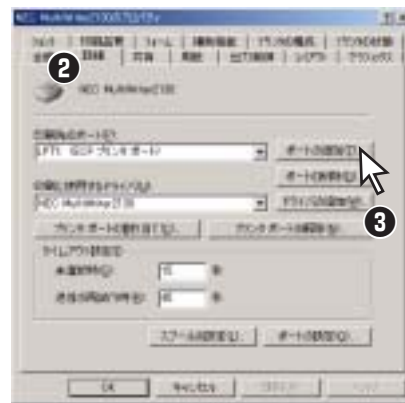
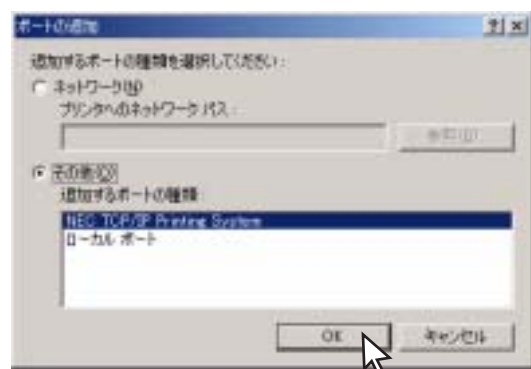
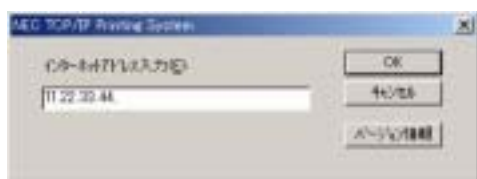
NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（40ページ）を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶［MultiWriter2130 のプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2130］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷［詳細］タブをクリックする。

❸［ポートの追加］をクリックする。

❹［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC TCP/IP Printing System］を選び、［OK］をクリックする。

❺ **［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **［OK］をクリックする。**

［MultiWriter2130のプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。
ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

重要

ドメインネームとして入力可能な文字の最大は、127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 2000から印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）...........添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR）.....................Windows 2000に標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR）...............Windows 2000に標準で実装されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（78ページ）、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（40ページ）を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2130］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［利用可能なポートの種類］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。**

❺ **［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **［OK］をクリックする。**

❼ **［閉じる］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

まず、使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows 2000のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **コントロールパネルの［ネットワークとダイアルアップ接続］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。**

❸ **［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。**

❹ **［UNIX用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。**

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

❷ **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックする。**

❸ **［ローカル プリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して［次へ］をクリックする。**

❹ **［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。**

［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［LPD　を提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK4」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

❿ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓫ ［完了］をクリックする。

✔チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でLPRを使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

- 従量課金回線でご使用の場合は、［SNMPステータスを有効にする］のチェックを外してください。課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❸ ［ローカルプリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。

❹ ［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。

［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

❺ ［次へ］をクリックする。

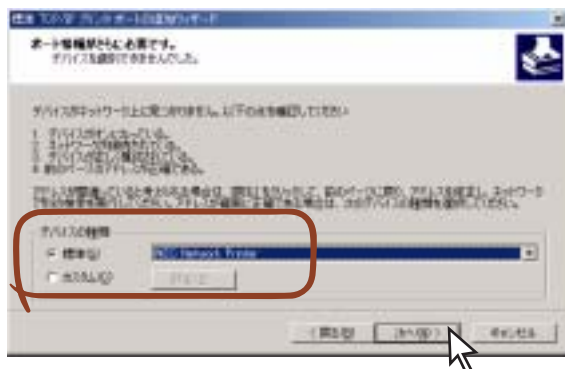
❻ ［プリンタ名または IP アドレス］ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。

チェック

DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順❽へ進んでください。
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順❼へ進んでください。

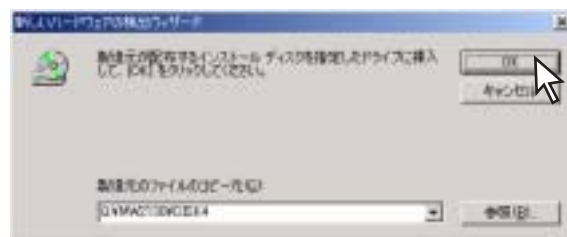
❼ ［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。

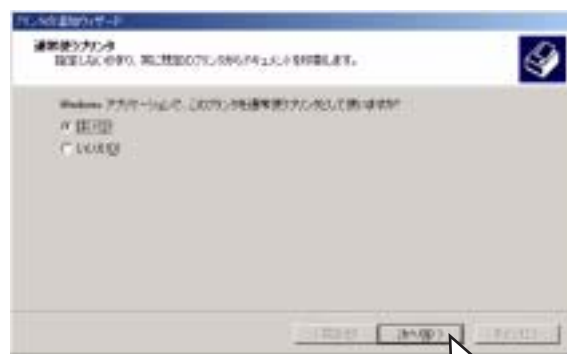
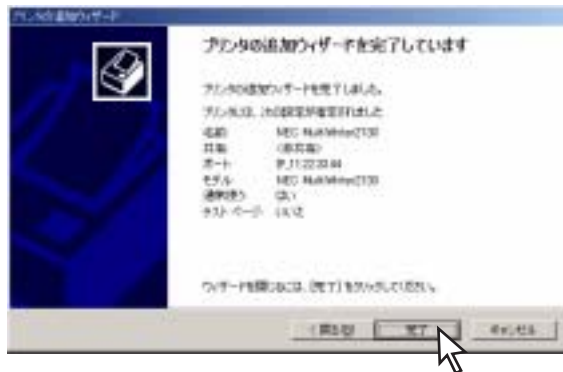
この画面が表示されなかった場合は、次の手順に進んでください。

❽ 内容を確認し、［完了］をクリックする。

画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了してください。次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

❾ ［ディスク使用］をクリックする。

❿ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK4」と入力します。

⓫ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

⓬ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓭ ［完了］をクリックする。

チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

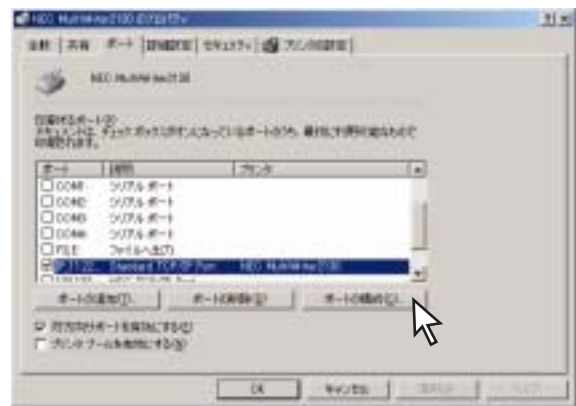
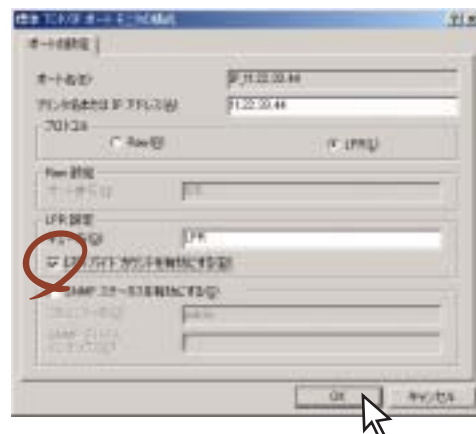
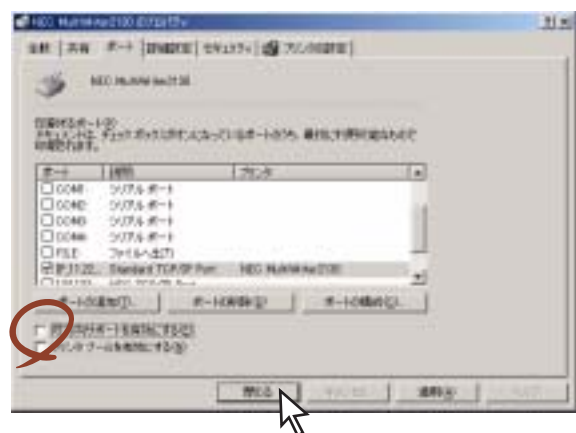
LPRバイトカウント機能

LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［ポートの構成］をクリックする。

❹ ［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックする。

❺ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［閉じる］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows NT 4.0から印刷するためには、以下の2つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）................ 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- Microsoft TCP/IP印刷（LPR)...................... Windows NT 4.0に標準で実装されているTCP/IP印刷サービスのLPRプロトコルを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（78ページ）、またはLANアダプターの取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（40ページ）を参照してください。

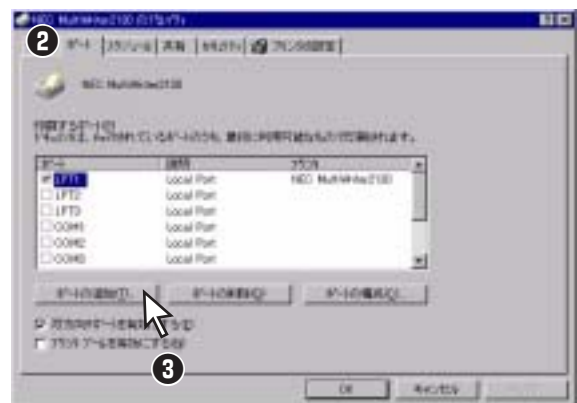
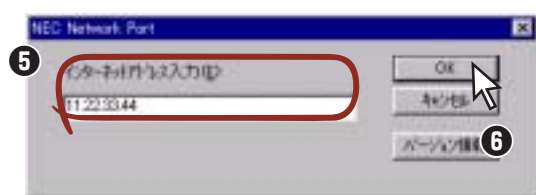
印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2130］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［利用可能なプリンタポート］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。**

❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメンネームを入力する。

❻ ［OK］をクリックする。

❼ ［閉じる］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用して印刷するには

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うための方法を説明します。

重要

- Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 4.0にLPR（OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス）をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている場合は「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

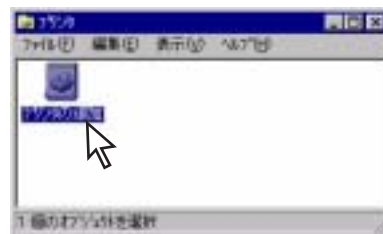
Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NT 4.0のヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール方法について説明します。

1. **コントロールパネルの［ネットワーク］ダイアログボックスを開く。**
2. **［サービス］を選択し、［追加］をクリックする。**
3. **［ネットワークサービス］の一覧から［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックする。**

4. **画面に表示される指示に従ってインストールを完了する。**

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

1. **［プリンタ］フォルダーを開く。**
2. **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。**

3. **［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックする。**

4. **［ポートの追加］をクリックする。**
5. **［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックする。**

   ［LPR Port］が表示されない場合は、［Microsoft TCP/IP 印刷］サービスをインストールしてください。

6. **［lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

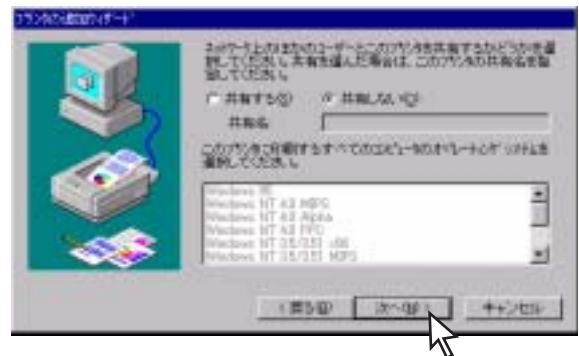
❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK3」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

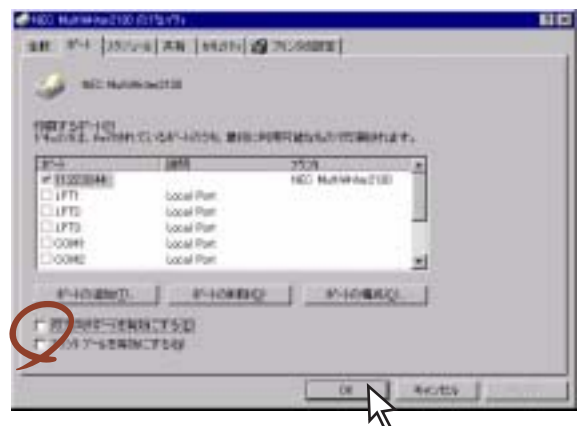
❿ ［次へ］をクリックする。

⓫ 必要に応じて共有設定をして、［次へ］をクリックする。

⓬ ［完了］をクリックして、終了する。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

ターミナルサービス環境

Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0で動作しているターミナルサービス環境でMultiWriterを利用する場合は、ターミナルサービス用プリンタードライバーをインストールします。

対応するOSは、以下のとおりです。

- Microsoft Windows Server 2003 ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows 2000 Server ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition（日本語版）

チェック

- PrintAgentは、ターミナルサービス環境、Windows XPのリモートデスクトップ環境には対応していません。
- ターミナルサービス用プリンタードライバーは、PrintAgentに対応していません。

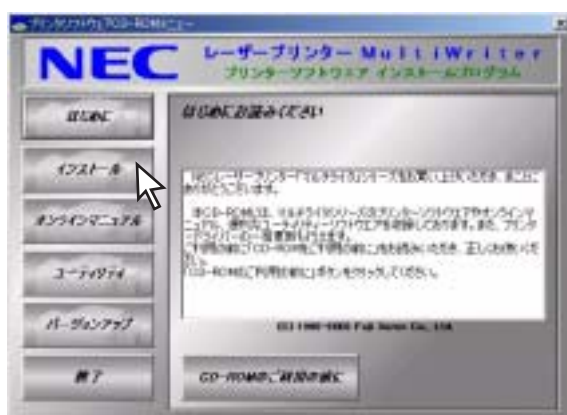
ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール

プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってターミナルサービス用のプリンタードライバーをインストールします。
プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

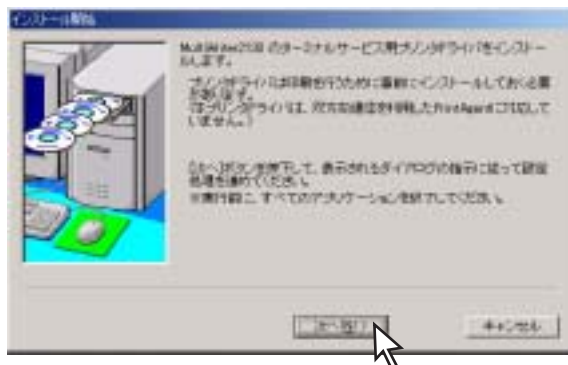
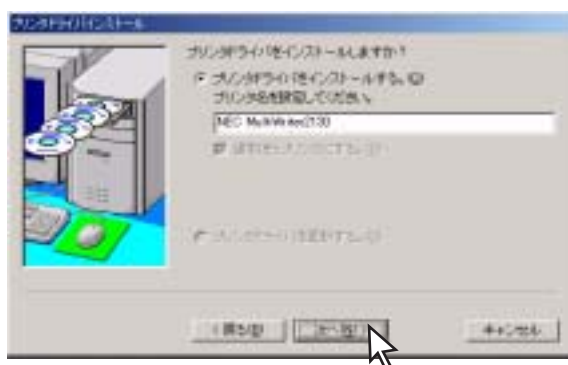
ここではWindows 2000 Server ターミナルサービス 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエアのインストール手順を説明します。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **［インストール］をクリックする。**

❸ **右側のボックスから［MultiWriter2130（ターミナルサービス用プリンタドライバ）］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

Windows NT 4.0は［MultiWriter2130（Terminal Server Edition用プリンタドライバ）］を選択します。

❹［次へ］をクリックする。

❺［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

❻プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。

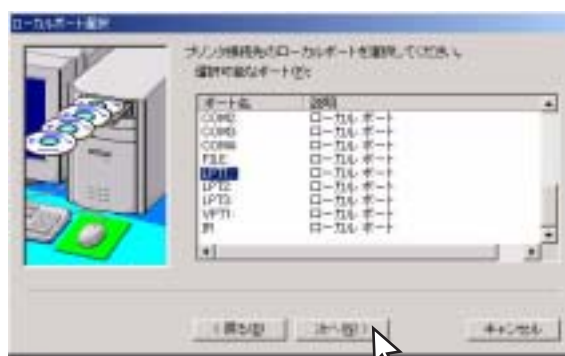
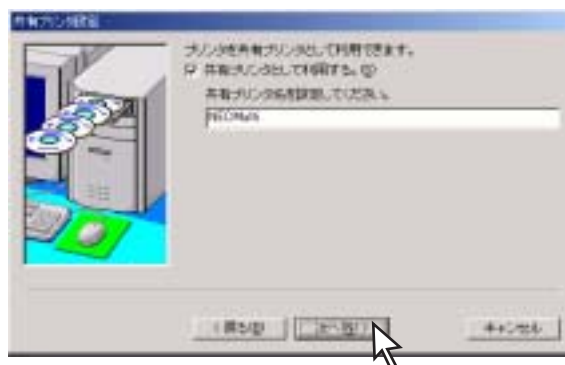
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。

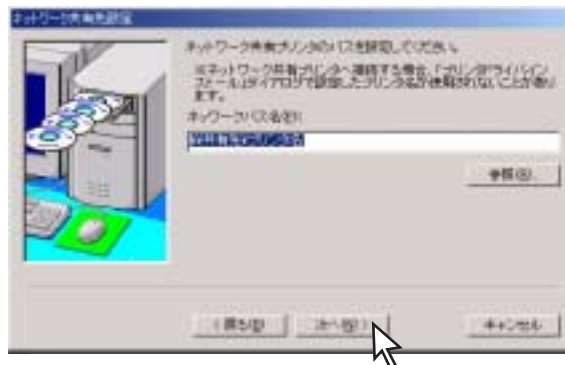
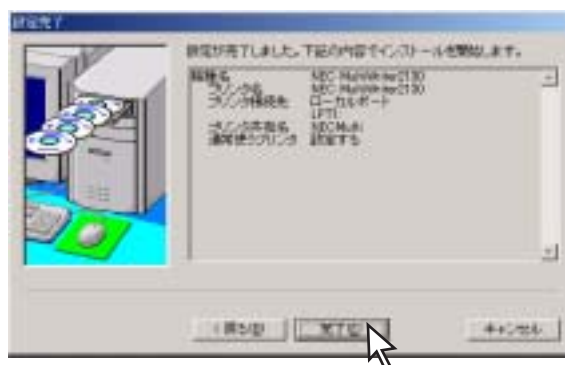
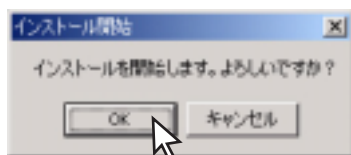
チェック

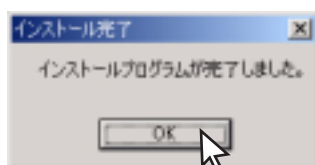
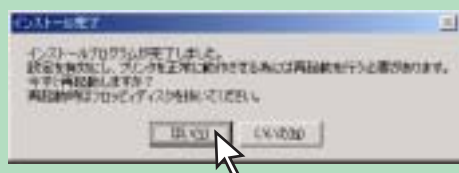
ネットワークポートに接続する場合は、一度ローカルポートに接続してインストールを行い、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（90ページ）を参照して変更してください。

<［ローカルポート］を選んだ場合>

①希望するポートを選び［次へ］をクリックする。

②共有プリンターとして設定する場合は［共有プリンタとして利用する］をチェックして［次へ］をクリックする。

<［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。

❼設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。

❽ ［OK］をクリックする。

❾ インストールが終了したら［OK］をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合、画面のメッセージに従ってコンピューターを再起動してください。

❿ プリンタードライバーが正常にインストールされていることを確認する。

［プリンタ］フォルダー内に、［NEC MultiWriter2130］アイコンが登録されている。

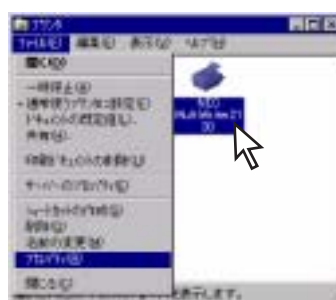
⓫ オプション機器の設定を行う。

＜Windows Server 2003、Windows 2000の場合＞

［プリンタ］フォルダー内の［NEC MultiWriter2130］アイコンをクリックし、ファイルメニューから［NEC MultiWriter2130］プロパティを開く。

［プリンタの設定］シートで、プリンターの構成を設定する。

＜Windows NT 4.0の場合＞

プリンタフォルダー内の［NEC MultiWriter2130］アイコンをクリックし、ファイルメニューから［NEC MultiWriter2130］プロパティを開く。

［プリンタの設定］シートで、プリンターの構成を設定する。

UNIX環境の設定

UNIX環境で設定および印刷する方法について説明します。

IPアドレスの設定

UNIXマシンからIPアドレスを設定する方法には、主に「arp」コマンドと「ping」コマンドを使って設定する方法とTelnetの2つがあります。
Telnetを使ったIPアドレスの設定方法についてはLANアダプターに添付されている取扱説明書を参照してください。

ここでは、「ping」コマンドを使った設定方法について説明します。あらかじめ、ホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにプリンターのARPエントリーを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

以下の手順に従ってください。

チェック

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANボードを初期化しないと同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（127ページ）参照）。
- LANボードの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。クリアする前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」（127ページ）参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

❶ エディターを使用して、ホストコンピューターの「/etc/hosts」ファイルにプリンターのIPアドレスとホスト名を追加する。

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はプリンターの変更したいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンター名を入力してください。

重要

設定されるプリンターのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。
プリンターのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

```
:         :                 :
192.9.200.20                pr2130  #MultiWriter2130
:         :                 :
:         :                 :
```

「192.9.200.20」はプリンターのIPアドレスです。
「pr2130」はプリンターのホスト名です。
「#MultiWriter2130」はコメント文です。

❷ **ホストコンピューターのアドレス変換テーブルにプリンターのエントリーを追加する。**

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順1で指定したプリンターのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィグレーションページのMAC Addressの値を入力してください。

＜実行例＞

```
arp -s pr2130 00:00:4C:29:00:00
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

❸ **pingコマンドを実行する。**

新しいIPアドレスに変更されます。

＜実行例＞

```
ping pr2130
```

❹ **コンフィグレーションページを印刷してIPアドレスが変更されたことを確認する。**

手順については、「コンフィグレーションページの印刷」（127ページ）を参照してください。

以上で設定は完了です。

ホストコンピューター側のセットアップ

「lprコマンド」か「ftpコマンド」のどちらを使用する場合も、プリンターのIPアドレスとホスト名のhostsファイルに登録する必要があります。

hostsファイルにIPアドレスを登録すると、ftpコマンドを使用できるようになります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピューター側のprintcapファイルでリモートプリンターとなるプリンターを定義する必要があります。また、プリンターが持つフィルターを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルターは以下のフィルター名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルター名	機　能	
lpb	フィルターなし：	バイナリーファイルの転送に使います。
lpa	LF→CR+LF：	改行コードLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。
lpbf	lpb+FF：	ファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
lpaf	lpa+FF：	LFをCR+LF（0B0A）に変換しファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
euc	EUC→JIS：	EUCコードをプリンターJISコードに変換します。
EUC	EUC→JIS： LF→CR+LF +FF	EUCコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と FFコード（0C）付加を行います。
sjis	Shift-JIS→JIS：	Shift-JISコードをプリンターJISコードに変換します。
SJIS	SJISShift-JIS→JIS： LF→CR+LF +FF	Shift-JISコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と FFコード（0C）付加を行います。

その他未登録のフィルター名はlpbとみなされます。

（BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例）

```
pt0¦no convert:¥
   :lp=:rm=<ホスト名>:¥
   :sd=/usr/spool/lpd0:
pt1¦ascii file:¥
   :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:¥
   :sd=/usr/spool/lpd1:
pt2¦binary with FF:¥
   :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbf:¥
   :sd=/usr/spool/lpd2:
pt3¦ascii with FF:¥
   :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaf:¥
   :sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピューターの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピューターからプリンターへのファイルの転送には、以下の2つの方法があります。

- ftpコマンドによる転送
- lprコマンドによる転送

ftpコマンドによる転送

ftp（file transfer protocol）コマンドとは、通常UNIX上でコンピューター間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。

プリンターは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバー機能をサポートしています。

印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンターに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機　　能
binary	転送されたファイルはそのままプリンターへ送られます。
ascii	プリンターでLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。デフォルトはこのモードです。
put（send）	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとして「FEED」あるいは「feed」と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

（ftpコマンドによるファイル転送例）

```
olive%ftp pr2130 （[Enter] キーを押してftpコマンドを起動します。）

Connected to pr2130

220 NEC Network Interface Version 02.02 FTP Service Ready

Name(pr2130:) （[Enter] キーを押します。）

230 NEC Printer Log-In Complete.

ftp>binary （[Enter] キーを押してファイルの形式を指定します。）

200 Type set to BINARY.

ftp>put data.plt （[Enter] キーを押してdata.pltファイルを転送します。）

200 PORT command successful

250 Requested file Action okay,completed

13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)

ftp>quit （ftpコマンドを終了します。）

221 Services closing control connection

olive%
```

チェック

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピューター用ソフトウエアによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能（lprコマンド）を使ってプリンターにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンターにフィルターを登録しておくと、そのプリンターを指定するだけでプリンターに登録されたフィルターを使用してデータの出力を行うことができます。
フィルターを指定しない場合は、ホストコンピューターから受信したデータを無変換のままプリンターに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンターに合わせておく必要があります。

プリンター名は、ホストコンピューターの/etc/printcapファイルにプリンターを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピューターのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピューターからは、次のようなコマンドを入力し、「Enter」キーを押してファイルを転送します。

＜表示例＞

```
lpr -Ppt0 <ファイル名>
```

チェック

ファイルの転送方法は、ソフトウエアまたはコンピューターによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

より便利なネットワーク機能

ここでは、より便利なネットワーク機能として、DHCPを使用したIPアドレスやサブネットマスクを設定する方法について説明します。

DHCP

DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。DHCPを使用すると、DHCPサーバー（Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server）からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバーにIPアドレスの登録を行うだけで個々のLANインターフェースに対するIPアドレスの設定が不要となります。

重要

- LANアダプターの工場出荷時の設定では、［DHCPは使用しない］に設定されています。次に説明する方法で設定を変更してから使用してください。
- LANアダプターおよび無線LANアダプターに割り当てるIPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンターに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ずDHCPサーバーでIPアドレスの予約をしてください（「DHCPサーバーの設定」（122ページ）参照）。すでにIPアドレスが設定されている環境では、WWWブラウザーまたはTelnetを使用してDHCPをオンにすることができます。

DHCPの設定

DHCPの設定方法には、主に以下の2つの方法があります。それぞれについては次ページで説明します。

- EASY設定ユーティリティ
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］をクリックすると表示される［TCP/IP］シート上で［IPアドレスを自動的に取得］を選択してください。

<LANアダプターの場合の表示例>

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターアイコンを選択して［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［TCP/IP］シート上で、［DHCPサーバから取得する］を選択してください。詳しくは、LANアダプターに添付されている取扱説明書をご覧ください。

<LANアダプターの場合の表示例>

DHCPサーバーの設定

DHCP機能を使用するためには、DHCPサーバーとしてWindows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server 4.0、またはUNIX Serverが必要です。ここではWindows Server 2003、Windows 2000 ServerとWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバーの設定について説明します。

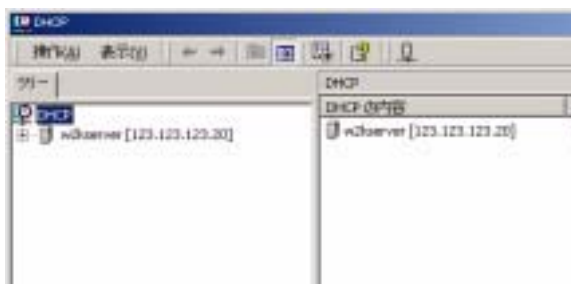
✔チェック

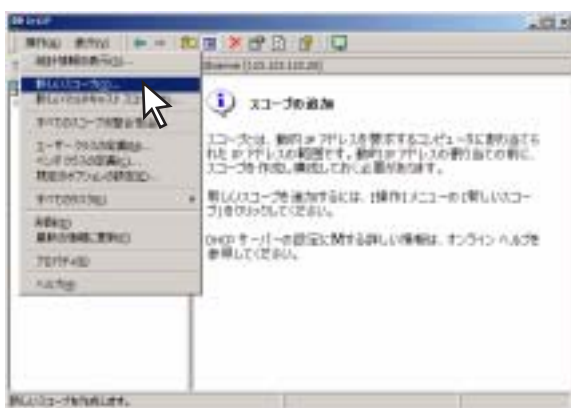
- Windows 2000 Professional、Windows NT WorkstationはDHCPサーバー機能をサポートしていません。
- UNIXサーバーについては、OSのマニュアルを参照してください。

Windows Server 2003、Windows 2000の場合

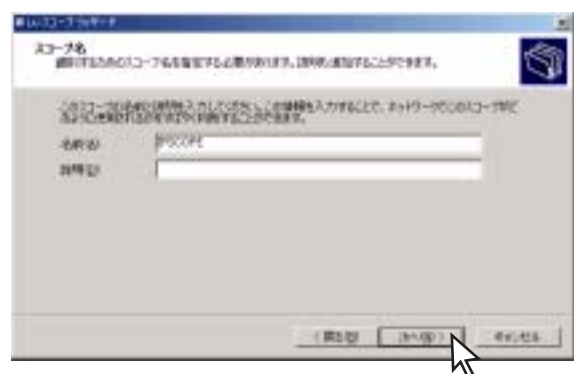
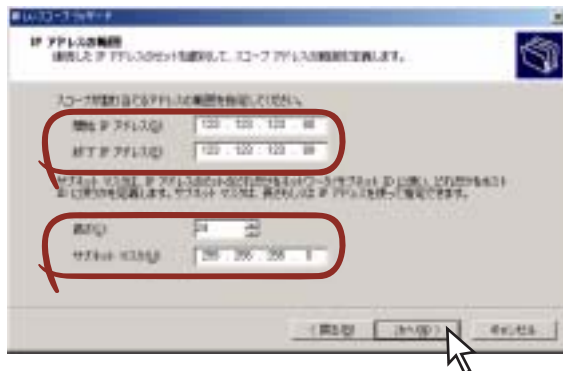
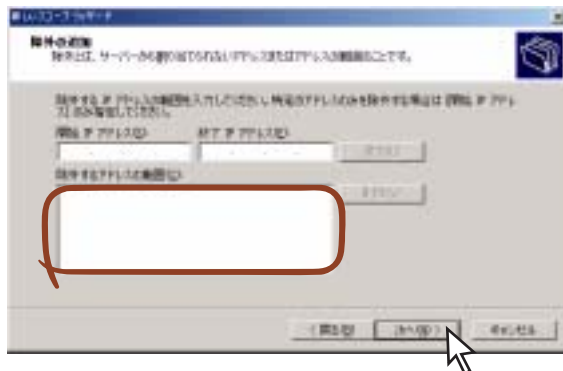
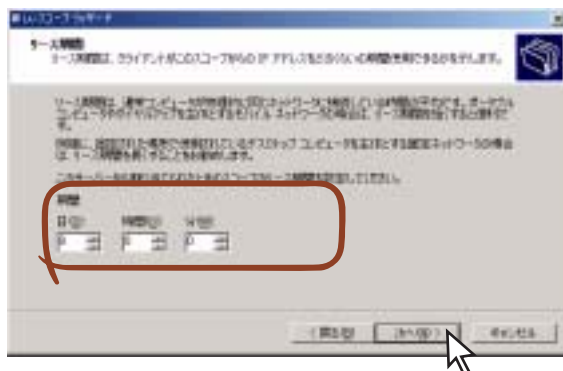
ここでは、Windows 2000の場合を例にとって説明します。Windows Server 2003においても同じ手順で設定できます。
DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows 2000 Serverに「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバー」のインストールについては、Windows 2000 Serverのヘルプを参照してください。

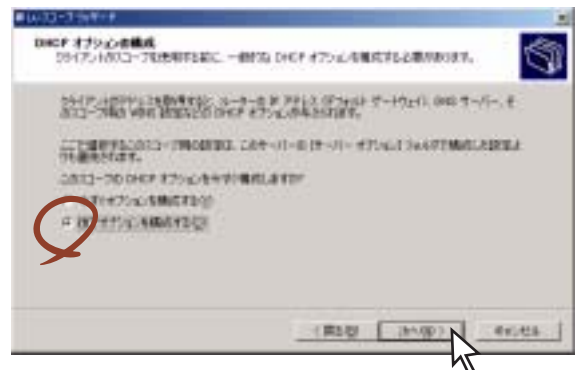
❶ **DHCPを起動する。**

［スタート］メニューから［プログラム］－［管理ツール］の順でポイントし、［DHCP］をクリックします。

❷ **DHCPサーバー（ここでは「w2kserver」）を選択し、［操作］メニューから［新しいスコープ］をクリックする。**

新しいスコープウィザードが起動します。

❸ **［次へ］をクリックする。**

❹ **任意のスコープ名を［名前］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。**

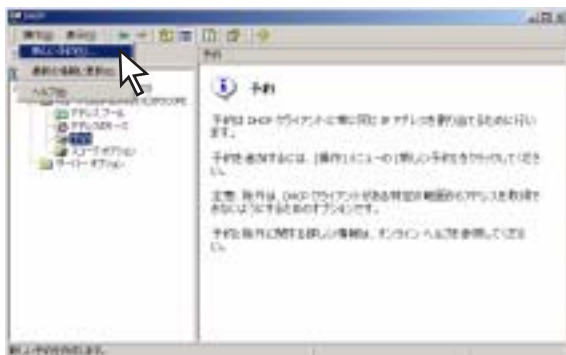
ここでは、例として「IPSCOPE」と入力します。

❺ DHCP サーバーが割り当てる IP アドレスの範囲とサブネットマスクを入力し、［次へ］をクリックする。

❻ 手順❺で入力したIPアドレスの範囲で、割り当てに使用したくないIPアドレスがあれば［除外するアドレスの範囲］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。

❼ LAN インターフェースに割り当てられた IP アドレスが使用できる期間を設定し、［次へ］をクリックする。

❽ ［後でオプションを構成する］を選択し、［次へ］をクリックする。

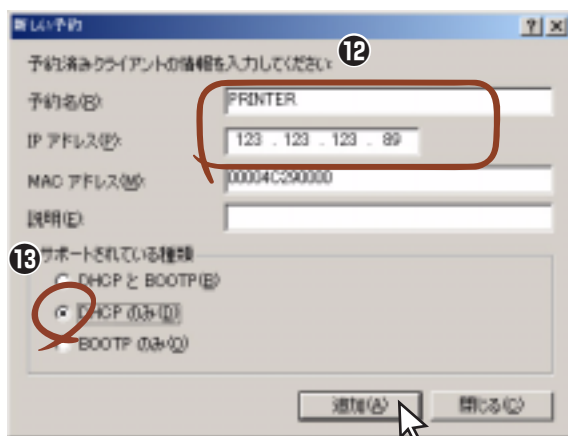
ここで、オプションの設定を行う場合は、［今すぐオプションを構成する］を選択し、ウィザードの指示に従ってください。

❾ ［完了］をクリックして、ウィザードを終了する。

❿ ［スコープ］（ここでは「スコープ［123.123.123.0］IPSCOPE」）上で右クリックし、［アクティブ化］をクリックする。

手順❾までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」をアクティブにするために必要な手順です。

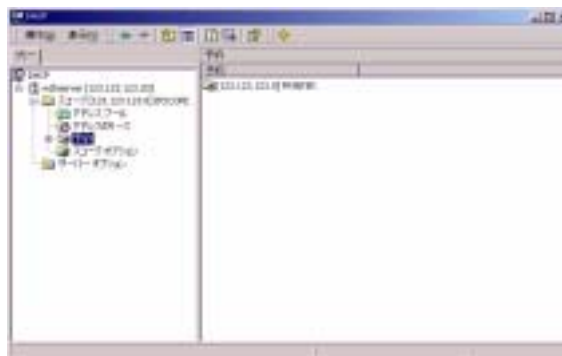
⓫ **手順❾までの手順で作成した［スコープ］（ここでは「スコープ［123.123.123.0］IPSCOPE」）上の［予約］を選択し、［操作］メニューから［新しい予約］をクリックする。**

LANインターフェースに常時、同じIPアドレスが割り当てられるようにするために必要な手順です。

⓬ **LAN インターフェースに割り当てたい IP アドレスを入力し、［予約名］ボックスに任意の名前を入力する。**

ここでは、例として「PRINTER」と入力します。

⓭ **［サポートされている種類］で［DHCP のみ］を選択する。**

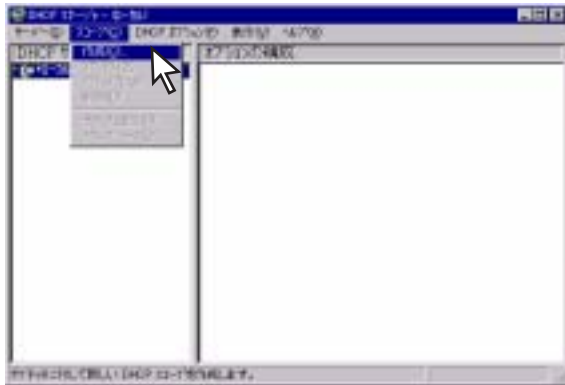
⓮ **［追加］をクリックする。**

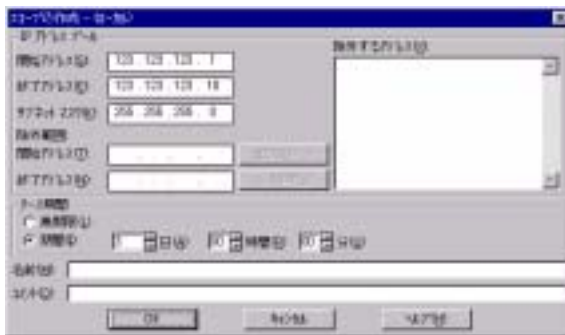
⓯ **［閉じる］をクリックする。**

以上で設定は完了です。設定後は、以下のような画面が表示されます。

Windows NT Server 4.0の場合

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows NT Server 4.0に「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。DHCPサーバーのインストールについては、Windows NT Server 4.0のヘルプを参照してください。

❶ ［ネットワーク管理］グループのDHCPマネージャを起動する。

❷ メニューバーの［スコープ］メニューから［作成］をクリックし、スコープを作成する。

❸ ［スコープの作成］ダイアログボックスで以下の設定を入力する。

- IPアドレスプールの開始アドレス（必須）
- IPアドレスプールの終了アドレス（必須）
- サブネットマスク（必須）
- 除外範囲の開始アドレス（必要時）
- 除外範囲の終了アドレス（必要時）
- ソース期間の設定（必要時）

❹ ［OK］をクリックし、［スコープの作成］ダイアログボックスを閉じる。

❺ ［DHCPマネージャ］ダイアログボックスのメニューバーの［スコープ］メニューから［予約の追加］を選択する。

［予約クライアントの追加］ダイアログボックスが開きます。

チェック

DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANインターフェースには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、LANインターフェースの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANインターフェースに割り当てることができるようになります。

❻ 以下の情報を入力する。

- IPアドレス：　LANインターフェースのIPアドレス（必須）
- 一意のID：　LANインターフェースのMACアドレス（必須）
- クライアント名：任意の名前（必須）
- クライアントコメント：任意のコメント（必要時）

チェック

IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内で設定してください。

❼ ［追加］をクリックし、［予約クライアントの追加］ダイアログボックスを閉じる。

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

LANインターフェースおよび無線LANインターフェースのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバーが必要です。LANインターフェースおよび無線LANインターフェースに電源が供給されると、DHCPサーバーを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバーが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバーと通信し、IPアドレスのリース（貸し出し）を受けます。LANインターフェースおよび無線LANインターフェース用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバーのみのネットワーク環境で使用してください。

チェック

- IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバーからIPアドレスがリースされるとLANインターフェースおよび無線LANインターフェースは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下のどちらかを行ってください。
  - DHCP設定を1度無効にする。
  - LANインターフェースおよび無線LANインターフェースの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（127ページ）参照）。
- DHCPはルーターを越えたネットワーク上のDHCPサーバーと通信することができます。ルーターを使用している場合は、ルーターのリレーエージェントの設定を確認してください。

DHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバーが検索されなかった場合*、LANインターフェースは1分周期でDHCPサーバーの検索を継続します。

チェック

一度DHCP機能を有効にしたLANインターフェースおよび無線LANインターフェースの設定を無効にする場合は、以下のどちらかを行ってください。

- LANインターフェースおよび無線LANインターフェースの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（127ページ）参照）。
- DHCPを無効（120ページ参照）にして、IPアドレスを再設定する。

* DHCPサーバーからIPアドレスが設定された後に、DHCPサーバーのないネットワークに接続を切り替えた場合を含む。

ネットワーク設定の初期化

LANアダプター、無線LANアダプターに設定されたネットワーク設定情報を初期化します。
初期化の方法については、LANアダプターおよび無線LANアダプターに添付されている取扱説明書を参照してください。

コンフィグレーションページの印刷

コンフィグレーションページとは、LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷です。ネットワークケーブルを接続したとき、ネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い、設定内容の確認をしてください。以下にコンフィグレーションページの印刷方法について説明します。

チェック

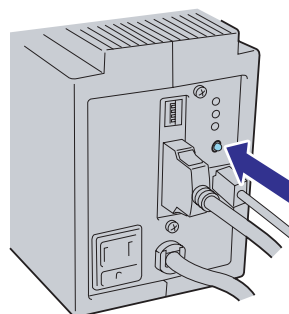
マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）のコンフィグレーションページ印刷の手順については、マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）に添付されているのセットアップガイドを参照してください。

❶ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

チェック

コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「ホッパーに用紙をセットする」（210ページ）を参照してセットしてください。

❷ **LAN　アダプター背面のコンフィグレーションページボタンを押す。**

MultiWriter 2130にLANアダプターを接続した場合のコンフィグレーションページの印刷例

```
          NEC NIC Configuration Page

            <LAN Card information>

              ROM Version            :    02.06
*1            ID Number              :    NFE-290000
              Printer Name           :    NFE-290000
*1            MAC Address            :    00:00:4C:29:00:00
              H/W Description        :    NEC NetworkPrinter500083
              10Base/100Base         :    "Auto (10Base)"
              Half/Full Duplex       :    "Auto (Full Duplex)"

            <TCP/IP parameters>

*2            IP Address             :    11. 22. 33. 44
*2            Subnet Mask            :    255.  0.  0.  0
              Gateway Address        :    0.  0.  0.  0
              Auto IP Address        :    "On"
              Max. Number of Session :    64
              Session Timeout        :    120
              Keep Alive             :    "On"
              FTP Timeout            :    10
              DHCP                   :    "Off"
              e-Mail Service         :    "Off"
                                     :    0
            <TCP/IP network connection>

             Current Active Session  :    0

            <Print Status Information>

             Printing Log            :    "Off"
             Status Monitor          :    50

            <Self-Diagnosis>

             Link Test               :    "OK"
             LAN Card Status         :    "OK"
```

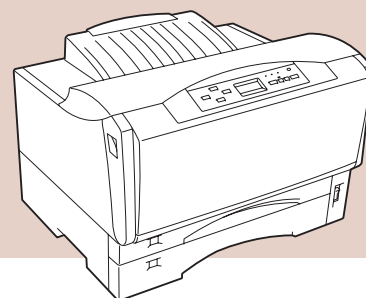
＊1　ID NumberおよびMAC AddressはLANインターフェース個々の情報を示します。
＊2　IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。

> ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
ROM Version	LANアダプターのファームウエアバージョンです。
ID Number	LANアダプター固有のIDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
10Base/100Base	「Auto」では10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。
Half/Full Duplex	「Auto」では通信方式を自動判別し、全二重（Full Duplex）、半二重（Half Duplex）のどちらかに決定します。
IP Address	IPアドレスを表します。
SubnetMask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1〜64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残少時のメール通知設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Status Monitor	デバイスIDの確認周期です。
Link Test	Link状態を表します。
LAN Card Status	ハードウエアテストの結果を表します。

MultiWriter 2130に無線LANアダプターを接続した場合のコンフィグレーションページの印刷例

```
      NEC NIC Configuration Page [200-04]
       <LAN Card Information>

        ROM Version            :    02.03 00000.0000000000
*1      ID Number              :    NWL-000000
        Printer Name           :    NWL-000000
*1      MAC Address            :    00:02:2D:00:00:00
        H/W Description        :    NEC WirelessLAN100003
        Network Type           :    "Peer to peer"
        Network Name           :    NECPRWRGRP
        Link Quality           :    No Connection
        Access Point Name      :    ?
        Channel                :    01
        Encryption             :    "Off"
        Medium Reservation     :    "Off"
        Interference Robustness:    "Off"
        Distance Between APs   :    "Large"

       <TCP/IP parameters>

*2      IP Address             :    11. 22. 33. 44
*2      Subnet Mask            :    255.  0.  0.  0
        Gateway Address        :      0.  0.  0.  0
        Auto IP Address        :    "On"
        Max. Number of Session :    64
        Session Timeout        :    120
        Keep Alive             :    "On"
        FTP Timeou             :    10
        DHCP                   :    "Off"
        e-Mail Service         :    "Off"

       <TCP/IP network connection>

        Current Active Session :    0

       <Print Status Information>

        Printing Log           :    "Off"
        Status Monitor         :    50

       <Self-Diagnosis>

        Link Test              :    "No connection"
        LAN Card Status        :    "OK"
```

＊1　ID NumberおよびMAC AddressはLANインターフェース個々の情報を示します。
＊2　IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。

ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
ROM Version	無線LANアダプターのファームウエアバージョンです。
ID Number	固有IDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
Network Type	無線LANプリンターの接続している無線LAN環境の接続形態です。
Network Name	認証機能に使用されるESS-IDとして設定されているネットワーク名です。半角英数文字が使用可能です。
Link Quality	無線通信対象との通信品質です。「Good」と表示される場所への無線プリンターの設置をお勧めします。
Access Point Name	無線通信対象のアクセスポイント名です。一部のアクセスポイントは対応しておらず、その場合はブランクとなります。
Channel	無線通信対象と使用している無線チャンネルバンドです。
Encryption	データ保護（暗号化）の設定状況です。
Medium Reservation	RTS/CTS 媒体予約の設定状況です。
Interference Robustness	干渉に対する強化の設定状況です。
Distance Between APs	アクセスポイント間の距離の設定状況です。
IP Address	IPアドレスを表します。
Subnet Mask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてIPアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残量少時のメール通信設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Status Monitor	デバイスIDの確認周期です。
Link Test	Link状態を表します。
LAN Card Status	ハードウエアテストの結果を表します。

4章
より進んだ使い方

この章では、MultiWriter 2130の便利な機能の紹介とその使い方について説明します。
MultiWriter 2130がもつ様々な機能を組み合わせて使うことにより、MOPYINGをより快適に使用することができ、印刷コストの削減も図れます。この章をよくお読みになり、MultiWriter 2130を使いこなしてください。

Windows Server 2003をお使いのお客様へ

Windows Server 2003をお使いのお客様は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

機能の紹介

ここでは、本プリンターのもつ便利な機能の概要と設定方法について説明しています。詳細については、本書およびヘルプをご覧ください。
太枠線で囲んで記載している機能は、ネットワーク環境で使用するときに便利な機能です。本プリンターを一元管理することができます。設定方法については、本書、またはヘルプをご覧ください。

ヘッダー／フッターを使用する
.... 163ページ
便利な機能
ヘッダー／フッター機能
○○//××//AAA
○○//××//AAA
○○//××//AAA

ページ単位で給紙する
.... 166ページ
1
2
3
4
表紙はこのホッパーから
本文はこのホッパーから
裏表紙はこのホッパーから

OHP
OHPに合い紙を入れる
.... 168ページ
便利な機能
OHP合紙機能
OHP

操作パネルにユーザー名を表示させる
.... 170ページ
便利な機能
ユーザー名表示
インサツチュウ
NEC

再
リプリントする....... 171ページ
便利な機能
PrintAgent リプリント2
アプリケーションを
立ち上げないで
一度印刷した文書を
再印刷

文書を結合する....... 177ページ
便利な機能
PrintAgent リプリント2
一度印刷した別々の文書を
自由に・・・
組み合わせたり
結合したり

文書を結合する....... 246ページ
便利な機能
PrintAgent リプリント2
一度印刷した別々の文書を
自由に・・・
組み合わせたり
結合したり

PA
「PrintAgent」ツールバー
.... 179ページ
再印刷
ボタン操作ひとつで・・・
PrintAgentの機能を呼び出す

プリンターの状態や印刷状況を見る
.... 180ページ
便利な機能
プリンタステータスウィンドウ
プリンターの状態を
印刷できます。
パソコンに表示する

プリンターを自動切り替えする
.... 184ページ
プリンターAを使いました。
自動的に
C
B
A
空いてるプリンターに

パソコンから電源を入れる ... 193ページ
便利な機能　リモート電源
ON!
パソコンで
ON
電源を入れる

印刷履歴状況を出力する ... 196ページ
便利な機能　PrintAgentによる印刷ログ出力
プリントサーバー
2月は
Aさんが100枚
Bさんが300枚
出力しています。

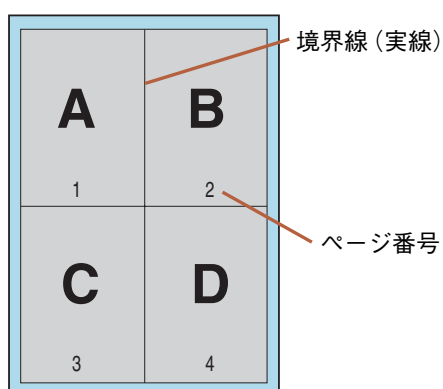
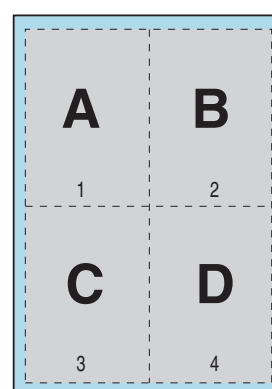
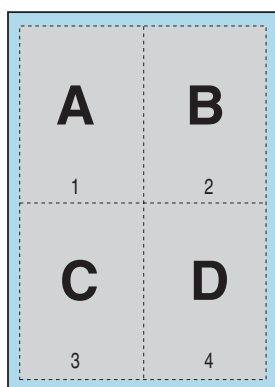
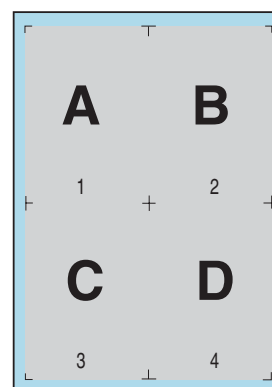
保守情報をメール通知する
.... 200ページ
便利な機能　NEC e-mailメンテナンス
保守情報を
トナー切れです
メールで通知

ブラウザーでプリンターの状況を見る
.... 203ページ
便利な機能　Web PrintAgent
Web PA
ブラウザを使って
ネットワーク
プリンターの状態を見る

プリンタードライバーをバージョンアップする 204ページ
VERSION UP
便利な機能　MultiWriterドライバ配信機能
CD-ROMから
サーバーから
最新の
プリンター
ドライバーに
更新

複数ページ印刷

複数ページ印刷では、連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。さらに境界線や、ページ番号を次のとおり設定することができます。
他の印刷機能とも組み合わせることができるのでドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

境界線（実線）の場合

境界線（破線）の場合

境界線（点線）の場合

境界線（カットマーク）の場合

境界線のイメージ（ページ数“4ページ→1ページ”、配置Zに設定した場合）

設定方法

以下に設定方法を説明します。

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開き、［複数ページ印刷］を選択する。**

Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］の［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［複数ページレイアウト］を選択します。

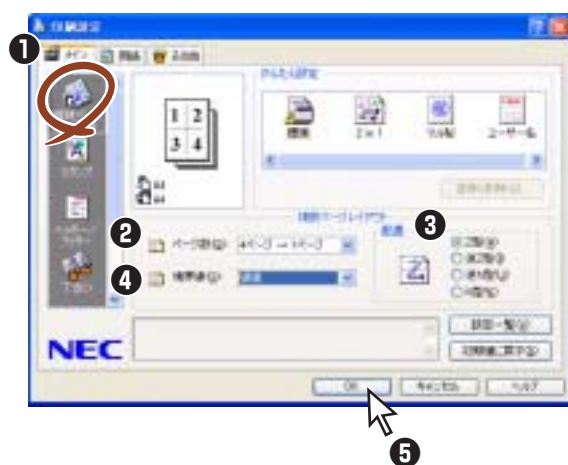
❷ **［ページ数］から縮小配置するページ数を選択する。**

❸ **［配置］から配置方法を選択する。**

❹ **必要に応じて、［境界線］を選択する。**

❺ **［OK］をクリックする。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

<Windows Me/98/95の場合>

仕分け印刷

MultiWriter 2130では印刷時の仕分け機能として、丁合い機能、ジョブセパレート機能、丁合い印刷を高速にする電子ソート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。ここではそれぞれの機能と、丁合い機能、ジョブセパレート機能、電子ソート機能を組み合わせた場合の便利な使い方について説明します。

重要

これらの機能を使用するにはOSスプールの設定が双方向通信機能をサポートする設定になっていることが必要です。双方向通信を有効に設定していない場合、または双方向通信ができない場合は、部単位ごとの仕分け印刷ができない場合があります。詳しくは、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（286ページ）をご覧ください。

丁合い機能

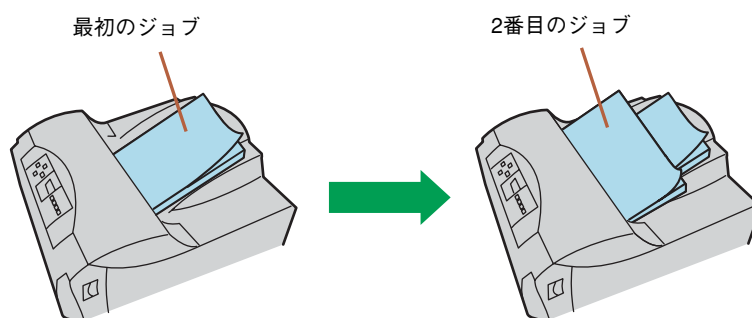
丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ ·2ページ ·3ページ····）に印刷する機能のことです。

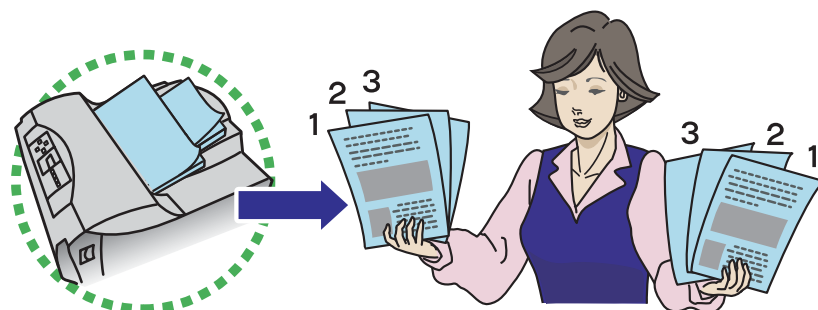
丁合い機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentを正しく動作させるために」（283ページ）をご覧ください。

また、双方向通信が無効な環境の場合には、メモリーを増設して電子ソート機能を有効にすることにより利用できます。（電子ソート機能については140ページをご覧ください。）

ジョブセパレート機能

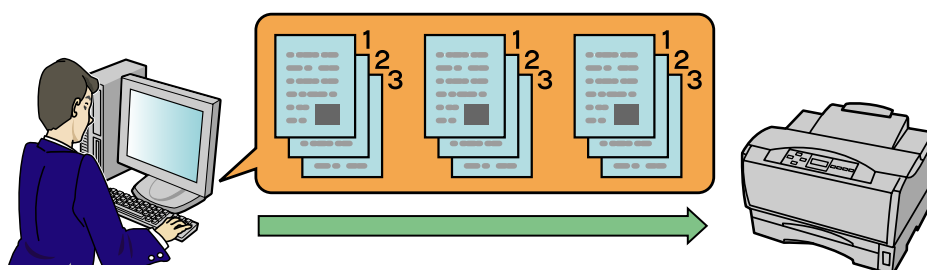
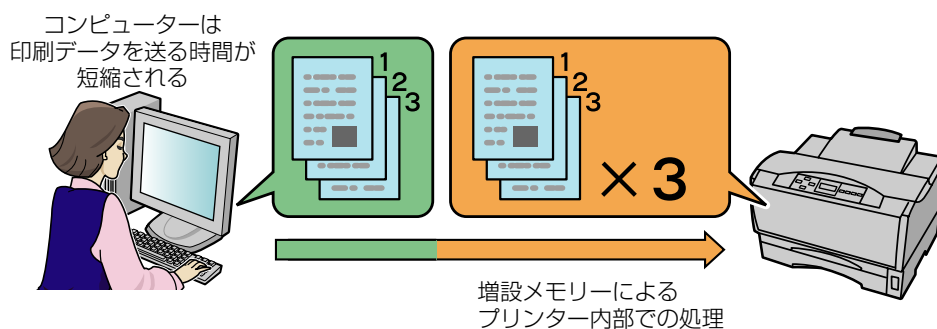
A4サイズの用紙をお使いの場合、印刷ジョブ（ひとつの文書）ごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、排出される用紙をスタッカー上で仕分ける機能です。ホッパー、MP、あるいは増設ホッパーにA4用紙が縦方向と横方向にセットされている必要があります。ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。

MultiWriter 2130のプリンタードライバーは標準でジョブセパレート機能が有効になっています。

ジョブセパレートを使った仕分け印刷

ジョブセパレートを使った仕分け印刷とは、ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた場合の使い方のことです。ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使用すると、部単位ごとに印刷するとともに、用紙を縦置き、横置きと交互にスタッカー上に仕分けて排出します。

電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数を印刷する場合にコンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンターで印刷データ処理を行う機能*のことです。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。（電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表については382ページを参照してください。）

これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができ、コンピューターの印刷処理を早期に解放できます。また2部目以降はプリンター内で印刷データを高速に処理されて印刷でき、複数部数印刷時の高速化が可能です。また、丁合い機能、ジョブセパレート機能と組み合わせてお使いになると複数の文書を高速に印刷することができるので、さらに便利です。

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。（双方向通信有効時）

普通の丁合い印刷での印刷データの送り方

電子ソート機能を使った丁合い機能での印刷データの送り方

設定方法

以下の3つの機能の設定方法について説明します。

- ジョブセパレート機能 141ページ
- 丁合い機能 143ページ
- 電子ソート機能 145ページ

それぞれの機能を組み合わせて仕分け印刷を行う場合、各機能の設定をよくお読みになり、組み合わせたい機能をそれぞれ設定した後に印刷を行ってください。

ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0が動作しているコンピューターで利用できます。

チェック

- ジョブセパレート機能は、同じ種類の用紙（A4サイズ）を縦置き、横置きに2か所以上セットしたときに機能します。A4サイズ以外の用紙では機能しません。
- MPにA4用紙をセットした場合は、プリンターの操作パネルでメニューモードの用紙種類を［普通紙］に設定してください。設定されていないと、ジョブセパレート機能は動作しません。
- ネットワーク環境で複数のクライアントが1台のプリンターを共有して使用している場合にジョブセパレート機能を実現するためには、すべてのクライアントにおいて、［ジョブセパレート機能を使用する］および［給紙方法］の項目が［自動］に設定されている必要があります。
- プリンターと双方向通信が無効な場合、ジョブセパレートを使った仕分け印刷ができない場合があります。
9章の「PrintAgentを正しく動作させるために」（283ページ）を参照して、双方向通信を有効にしてください。

❶ **ホッパー、MP、あるいは増設ホッパーにA4用紙を縦置き、横置きにそれぞれセットする。**

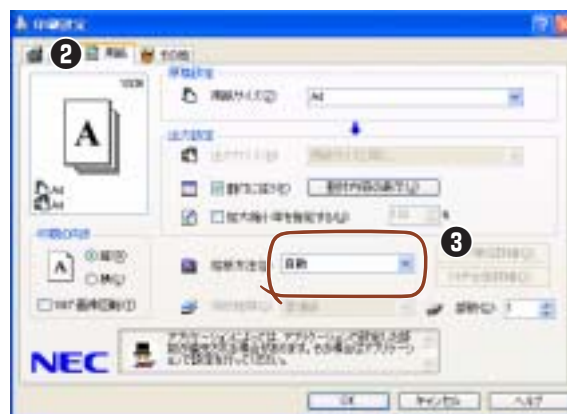
チェック

- 縦置き、横置きにセットする用紙の種類が同じことを確認してください。
- A4用紙をセットする場合は用紙のセット方向（縦置き、横置き）を用紙サイズ設定ダイヤルで確認してください。

❷ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

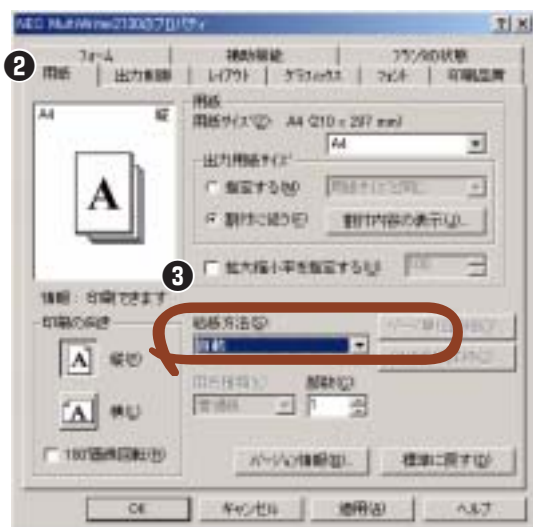
❸ **給紙方法が［自動］になっていることを確認する。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

- Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。
- Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。

チェック

MPを使用してジョブセパレート機能を行う場合は、［その他］シートの［用紙サイズエラー］を［検出する］に設定されている必要があります。

<Windows Me/98/95の場合>

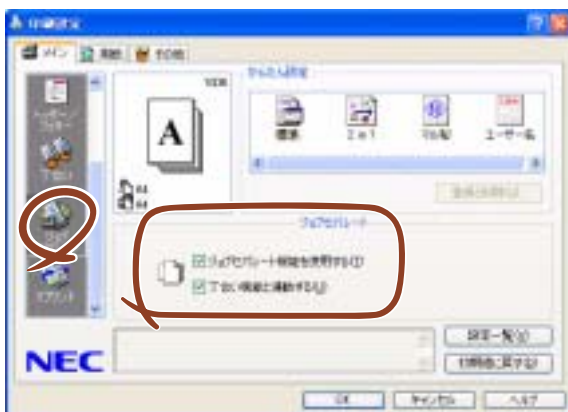
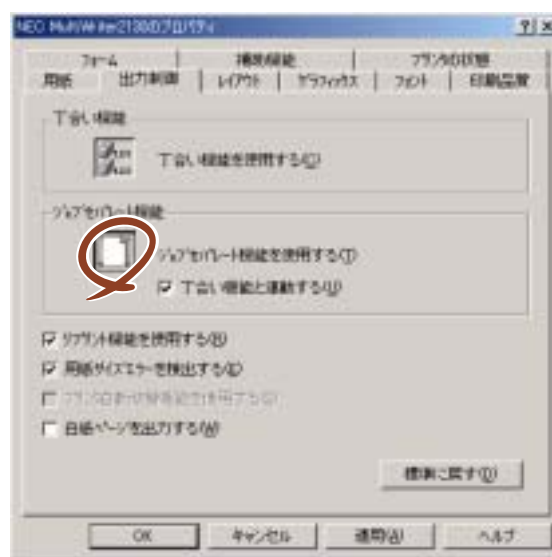
- Windows Me、Windows 98、Windows95は［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。

✔チェック

MPを使用してジョブセパレート機能を行う場合は、［出力制御］シートの［用紙サイズエラーを検出する］がチェックされている必要があります。

❹ ジョブセパレート機能を有効にする。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

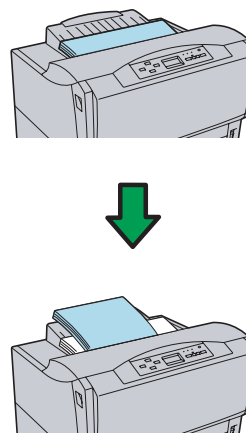
①Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［ジョブセパレート］ボタンを選択します。
②［ジョブセパレート］の［ジョブセパレート機能を使用する］をチェックします。

<Windows Me/98/95の場合>

Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、ジョブセパレート機能の［ジョブセパレート機能を使用する］ボタンをクリックします。

❺［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。

印刷が始まり、給紙設定されている（プリンターのディスプレイに表示されている）給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

❻ 次の文書の印刷部数を指定して印刷する。

前に印刷された用紙の置き方と別の向きにセットされている給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

丁合い機能

丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・）に印刷する機能のことです。

丁合い機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentを正しく動作させるために」（283ページ）をご覧ください。

チェック

丁合い機能の設定はプロパティダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合い*、部数の指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションで丁合い、部数の指定をしないでください。

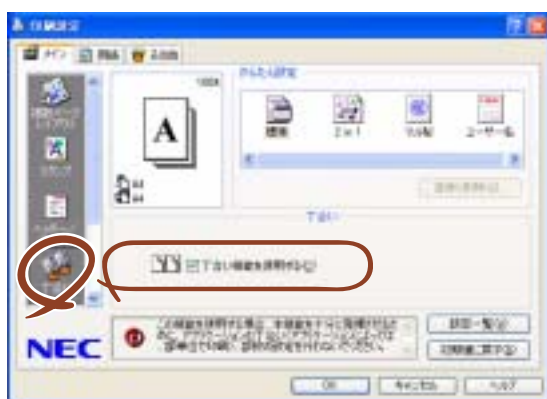
また、アプリケーションによってはアプリケーションで設定した部数が優先される場合があります。その場合はアプリケーションで設定を行ってください。

* アプリケーションによっては、「部単位で印刷」という表示になっている場合があります。

❶ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、丁合い機能を有効にする。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

① Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［丁合い］ボタンを選択します。
② ［丁合い］の［丁合い機能を使用する］をチェックします。

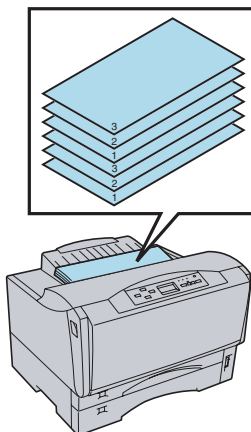
<Windows Me/98/95の場合>

Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、［丁合い機能を使用する］ボタンをクリックします。

［丁合い機能と連動する］ボタンについて

［ジョブセパレート機能］で［丁合い機能と連動する］をチェックしておくと［丁合い機能を使用する］ボタンと［ジョブセパレート機能を使用する］ボタンが連動してON/OFFできるようになります。

❷［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。

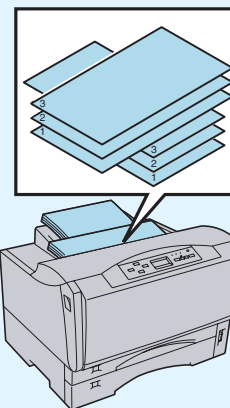
部単位（1ページ･2ページ･3ページ、1ページ･2ページ･3ページ････）に仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた使い方

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使うと、部単位ごとに用紙が縦置き、横置きに仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

ジョブセパレート機能と丁合い機能は標準で有効になっています。

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使う場合、丁合い機能の設定と141～142ページの「ジョブセパレート機能」手順❶～❹の設定をしてから印刷を行ってください。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションの丁合い機能は使用せずにプリンターのプロパティで丁合い機能を有効にしてください。

電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数の印刷を行う場合、コンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンター内部で印刷処理を行う機能*のことです。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。（増設メモリーの取り付けは30ページを参照してください。）

*　増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。

重要

MultiWriter 2130を双方向通信が無効な環境でお使いの場合には、プリンター本体に装備したメモリー容量をプリンタードライバーで設定する必要があります。次の手順に従って、メモリー容量を設定してください。ただし、双方向通信が有効な環境ではPrintAgentの機能により自動的に設定されます。

電子ソート機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターで利用できます。

また、増設メモリーによる印刷保証枚数については、「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」（382ページ）を参照してください。

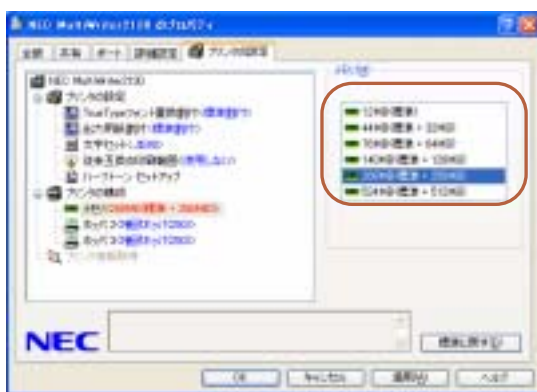
電子ソート機能を有効にするためには、プリンターに64MB以上のメモリーを増設してください。

プリンタードライバーでの増設メモリーの設定方法

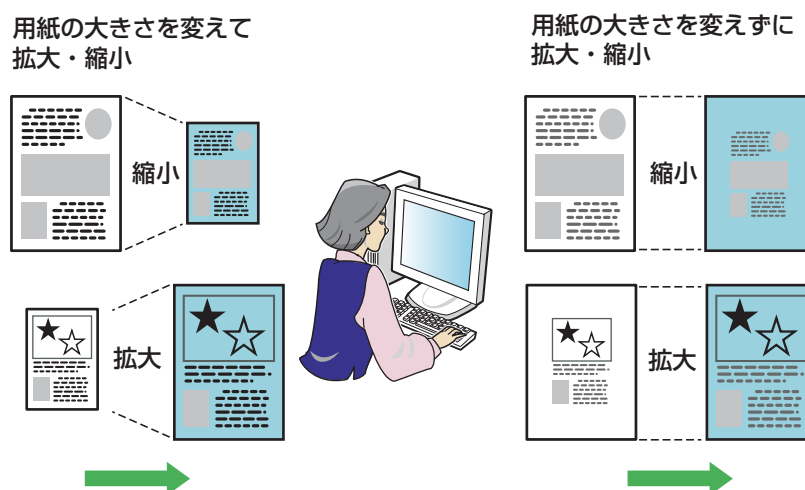
双方向通信が無効な環境の場合、以下のダイアログボックスの［プリンタの構成］シートを開き、［メモリ］を増設したメモリーの構成に合わせます。

＜Windows XP/2000/NT 4.0の場合＞

- Windows XP、Windows 2000は［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの設定］シート
- Windows NT 4.0は［プロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの設定］シート

＜Windows Me/98/95の場合＞

Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの構成］シート

拡大・縮小印刷

用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。

用紙の大きさを変えて拡大・縮小

- 出力用紙サイズを指定する 147ページ
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

  アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。

- 拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する 150ページ
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

  アプリケーションの用紙サイズを拡大・縮小印刷対応用紙サイズ（「A4×2→A4」など）に指定します。この設定はプリンターの機能を利用して印刷を行います。

用紙の大きさを変えないで拡大・縮小

- 拡大・縮小率を指定する 149ページ
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。
  任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。

  後述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

設定方法

出力用紙サイズを指定する

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ **［用紙サイズ］ボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。**

ユーザ定義を選択した場合の設定は「定形外用紙サイズの用紙に印刷」（155ページ）を参照してください。

❸ **［出力用紙サイズ］に任意の出力用紙サイズを設定する。**

出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

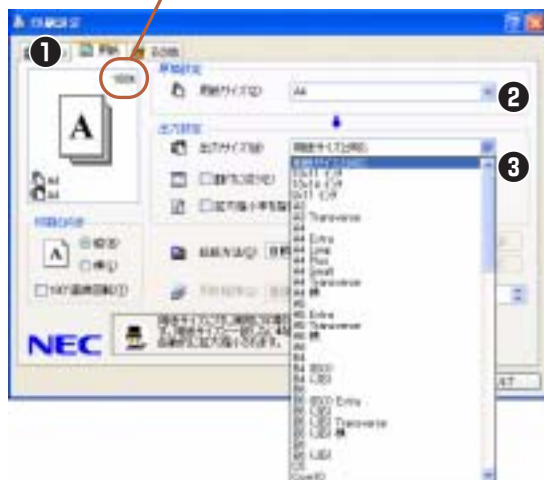
- サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合→　-(a)
- すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合→　-(b)

❸-(a)

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

［出力設定］の［割付に従う］のチェックを外し、［出力サイズ］ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。手順❻に進んでください。

［用紙サイズ］と［出力サイズ］に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小率が表示されます。

<Windows Me/98/95の場合>

［出力用紙サイズ］で［指定する］を選び、［出力用紙サイズ］ボックスから任意の出力用紙サイズを選択します。手順❻に進んでください。

❸-(b)［割付に従う］をチェックする。

現在［用紙サイズ］で選択されている用紙サイズに割り付けてあるサイズが、出力用紙サイズとして自動的に設定されます。

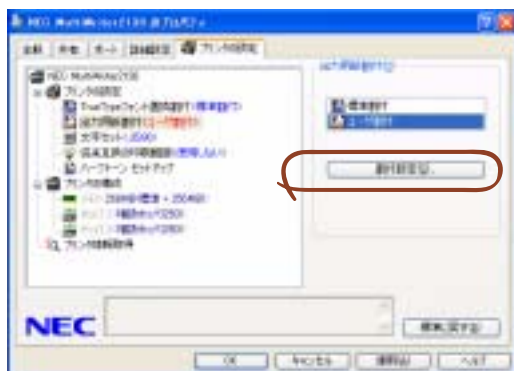
割り付けの設定を変更したい場合は手順❹に進んでください。変更しない場合は手順❻に進んでください。

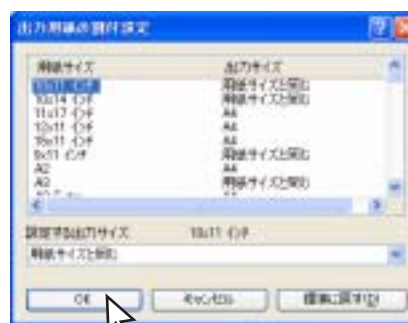
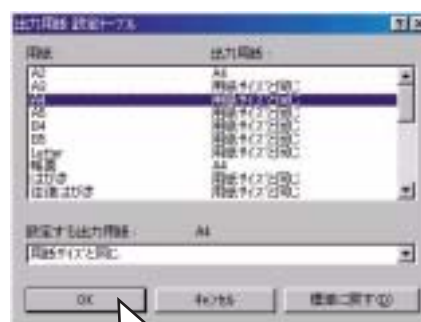
❹ **出力用紙の割付設定をするダイアログボックスを開く。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスを開きます。［プリンタの設定］シートの［出力用紙割付］で［ユーザ割付］を選び、［割付設定］をクリックします。

［用紙］シートの［割付内容の表示］をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。

<Windows Me/98/95の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスを開きます。［用紙］シートの［出力用紙の設定］をクリックします。

❺ **設定したい出力用紙サイズを選択し、［OK］または［閉じる］をクリックする。**

Windows XP/2000/NT 4.0

Windows Me/98/95

❻ **［用紙］シートの［OK］をクリックする。**

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［プリンタの設定］シートの［OK］をクリックし、［用紙］シートの［OK］をクリックします。

✔チェック

- 以下の用紙サイズを指定した場合は［出力用紙サイズ］が固定となり、［出力用紙サイズ］で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

- ［給紙方法］に増設ホッパ（500）が設定されている場合はA5、B5は指定できません。

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

- ［レイアウト］*1シートで複数ページ印刷を設定している
- ［フォーム］*2シートでフォーム印刷を設定している
- ［用紙］シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

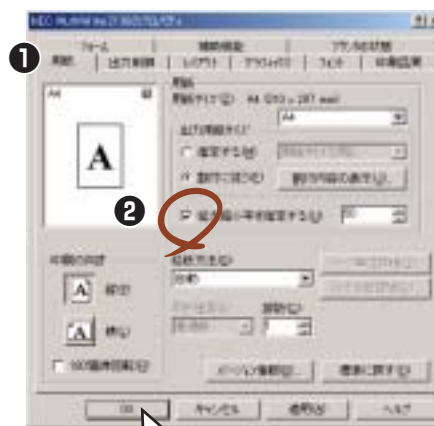
*1　Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［メイン］シートの［複数ページレイアウト］シートになります。
*2　Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［その他］シートになります。

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ **［拡大縮小率を指定する］をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。**

❸ **［OK］をクリックする。**

Windows XP/2000/NT 4.0

Windows Me/98/95

拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する

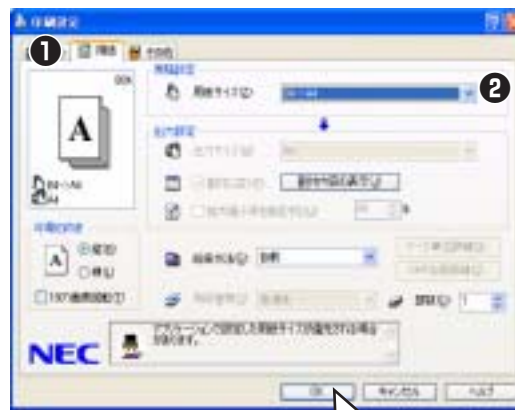
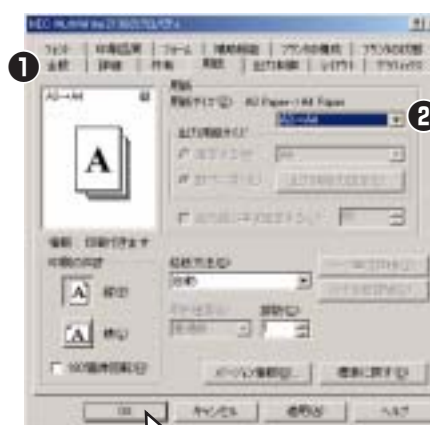
プリンターの拡大・縮小モードを設定します。

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

- Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。
- Windows NT 4.0［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ ［用紙サイズ］ボックスから用紙サイズ（下記の拡大・縮小率）を選ぶ。

A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

❸ ［OK］をクリックする。

Windows XP/2000/NT 4.0

Windows Me/98/95

MOPYING設定ウィンドウ

本プリンターのプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGを実現するために、MOPYING設定ウィンドウがあります。複数ページ印刷などの設定を簡単に行うことができます。

MOPYING設定ウィンドウは、一部のアプリケーションのみ対応しております。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「MW2130¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

設定方法

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

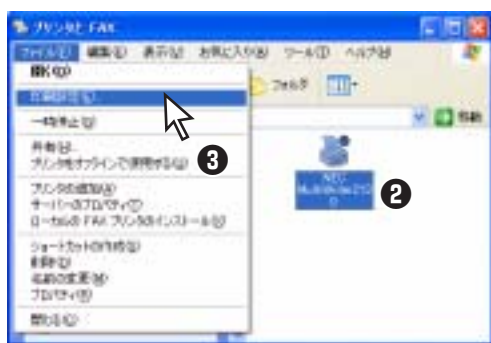
Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

MOPYING設定ウィンドウを表示するため、設定を有効にします。

❶ **［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プリンタ］フォルダー）を開く。**

❷ **［NEC MultiWriter2130］アイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［印刷設定］*をクリックする。**

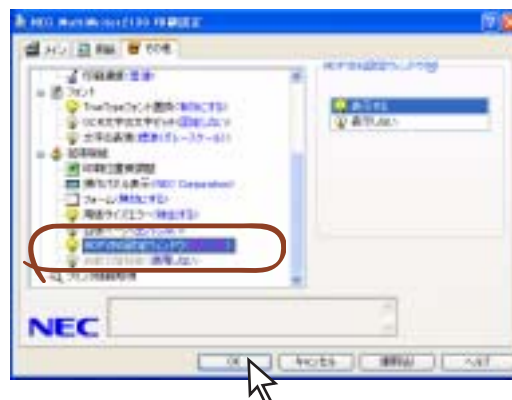
プロパティダイアログボックスが表示されます。

* Windows Me/98/95の場合は［プロパティ］、
Windows NT 4.0の場合は［ドキュメントの既定値］になります。

❹ **MOPYING設定を有効にする。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

［その他］シートをクリックします。

［拡張機能］の下の［MOPYING設定ウィンドウ］を選び［表示する］を選択し、［OK］をクリックします。

<Windows Me/98/95の場合>

［補助機能］シートを開きます。［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックし、［OK］をクリックします。

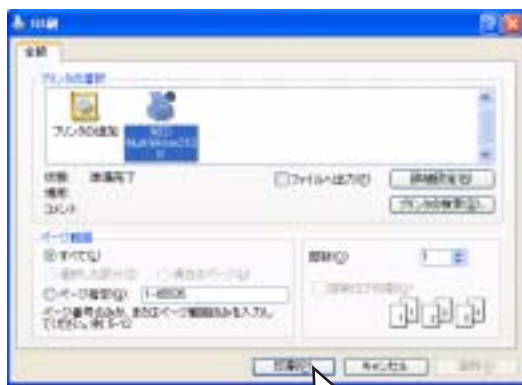
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ **アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［印刷］ダイアログボックスの［印刷］をクリックする。**

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。

❸ **複数ページレイアウト印刷などの設定をし、［印刷開始］をクリックする。**

印刷が開始されます。

設定を解除する

MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

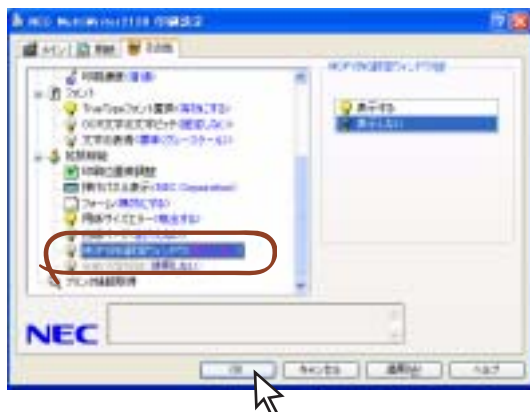
❶ **151ページの手順❶～❸を行い、プロパティダイアログボックスを開く。**

❷ **MOPYING設定を解除する。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

［その他］シートをクリックします。

［拡張機能］で［MOPYING設定ウィンドウ］を選び、［表示しない］を選択し、［OK］をクリックします。

<Windows Me/98/95の場合>

［補助機能］シートを開きます。［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］のチェックを外し、［OK］をクリックします。

チェック

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、［今後、このウィンドウを表示しない］をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

「かんたん設定」の使い方

「かんたん設定」はWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでご利用になれます。［印刷設定］ダイアログボックスおよび［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

ここでは、「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ4つの印刷方法が設定された［プリンターで登録済みの設定］アイコンがあります。それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表のとおりです。

- 各アイコンをクリックすると、以下の表のとおりに各機能が設定されます。
- 各機能のいずれかの設定が変更された場合には、アイコンに⚠マークが表示されます。

		［プリンターで登録済みの設定］アイコン			
		標準	2 in 1	マル秘	ユーザー名
設定内容	解像度	600dpi	600dpi	600dpi	600dpi
	グレースケールの網点	細かく	細かく	細かく	細かく
	複数ページレイアウト	1ページ→1ページ	2ページ→1ページ	1ページ→1ページ	1ページ→1ページ
	配置	Z型	左→右型	Z型	Z型
	境界線	なし	なし	なし	なし
	スタンプを印刷する	しない	しない	する	しない
	スタンプ名	マル秘	マル秘	マル秘	マル秘
	ヘッダー / フッターを印刷	しない	しない	しない	する
	印刷項目	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名
	位置	右上	右上	右上	右上
	ブラシパターン	拡大	拡大	拡大	拡大

設定方法

ユーザー設定の登録

❶ **任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。**

設定内容を確認したい場合は［設定一覧］をクリックして、［設定一覧］ダイアログボックスを表示させせます。

❷ **［メイン］シートを開く。**

❸ **［登録と削除］をクリックする。**

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスが表示されます。

❹ **名前を入力し、任意のアイコンを選択する。**

名前は必ず入力してください。名前の入力文字は全角/半角に関係なく、15文字までです。

登録する設定の簡単な説明を全角/半角に関係なく、127文字まで［コメント］ボックスに入力することができます。

❺［追加］をクリックする。

❻ 設定内容が表示されるので、確認して［OK］をクリックする。

［印刷設定］ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は、赤で表示されています。

❼［登録一覧］リストビューに登録したアイコンが追加されたことを確認し、［OK］をクリックする。

アイコンの表示順は、アイコンを直接ドラッグすることで変更できます。

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

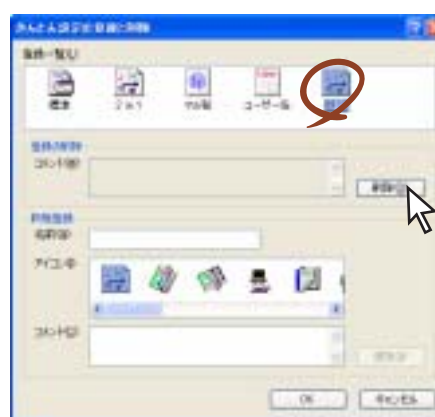
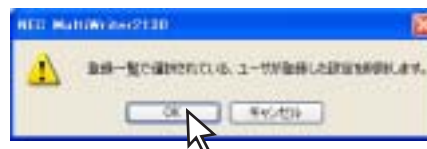
ユーザー設定の削除

❶［メイン］シートを開く。

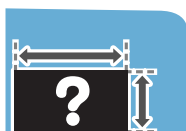
❷［登録と削除］をクリックする。

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスが表示されます。

❸ 削除したいアイコンを選択し、［削除］をクリックする。

［プリンターで登録済みの設定］アイコンは削除できません。

❹［OK］をクリックする。

❺［登録一覧］リストビューから登録していたアイコンが削除されたことを確認し、［OK］をクリックする。

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

定形外用紙サイズの用紙に印刷

設定方法

定形外用紙（ユーザー定義）の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。
Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする
Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する
Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

重要

- MPカセットに定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については付録の「用紙の規格」（313ページ）をご覧ください。）MPカセットにセットできる用紙サイズは、幅100～297mm、高さは148～420mmです。
- 定形外用紙の注意事項については5章「用紙のセット」の「用紙をセットする時の注意」（216ページ）を参照してください。

Step 1　定形外用紙をセットする

以下の手順に従ってMPカセットに用紙をセットします。

チェック

定形外用紙をセットする際の注意は、5章の「用紙をセットする時の注意」（216ページ）を参照してください。

❶ **MPカセットに用紙をセットする。**
手順は、5章の「MPに用紙をセットする」（213ページ）を参照してください。

❷ **MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」（アスタリスク）に設定する。**
このとき、操作パネルの［MP］スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

チェック

新しい用紙サイズを作成する場合の幅、高さはプリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅100～297mm、高さ148～420mm）を設定してください。プリンターにセットできる用紙以外の大きさを設定した場合は、その用紙は使用できません。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ ［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP以外の場合は、［プリンタ］フォルダー）を開く。

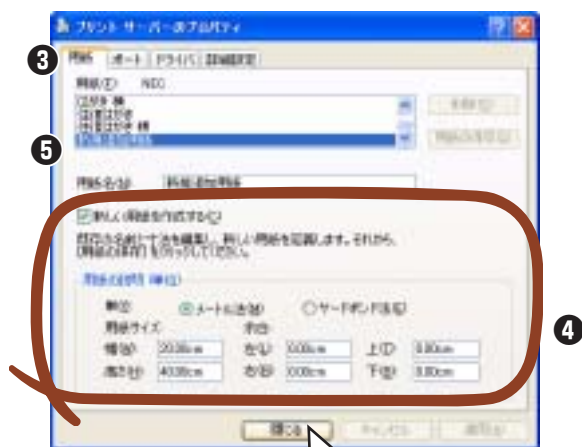
❷ ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックする。

❸ ［用紙］シートを開く。

❹ ［新しい用紙を作成する］をチェックして、［用紙名］に任意の用紙名、［寸法］にサイズを入力する。（Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、［用紙の保存］をクリックする。）

チェック

プリンターにセットできる用紙サイズ（幅100～297mm、高さ148～420mm）を設定してください。

❺ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して［閉じる］をクリックする。

Windows XP/2000

Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows Me/98/95の場合>

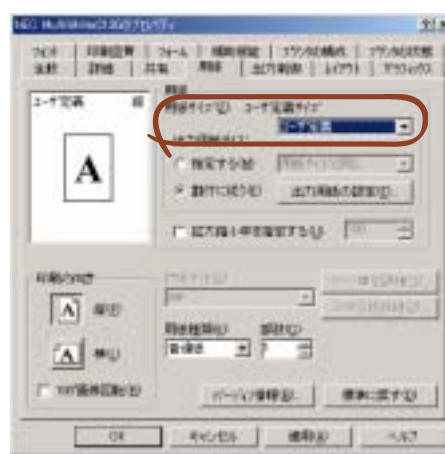
❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

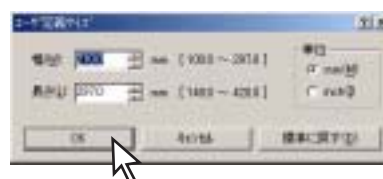
❸ ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。
［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❹ ［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから［ユーザ定義］を選ぶ。

チェック

［ユーザー定義］を選択すると給紙方法で［ホッパ］は選択できません。

❺ 用紙の［幅］と［長さ］を入力し、［OK］をクリックする。

チェック

プリンターにセットできる用紙サイズ（幅100～297mm、高さ148～420mm）を設定してください。

❻ ［OK］をクリックし、［プロパティ］ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

Step2で設定した用紙サイズで印刷する手順を説明します。
なお、アプリケーションによっては手順が異なる場合があります。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP以外は［プリンタ］フォルダー）から開く方法があります。アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP以外は、［プリンタ］フォルダー）から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ **アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。**

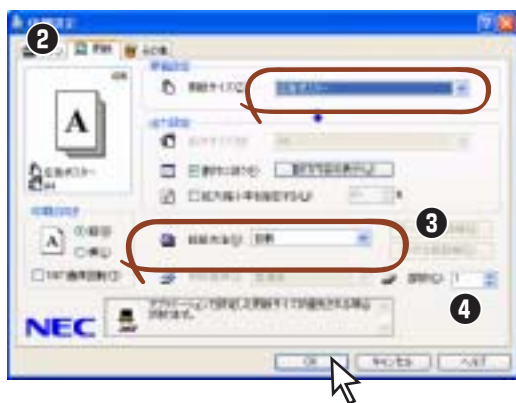
アプリケーションによっては、この手順後に［印刷］ダイアログボックスの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。**

チェック

- 定形外用紙を選択すると給紙方法で［ホッパ］は選択できません。
- 坪量81.4g/m^2（連量70kg）を超える用紙の場合［用紙種類］ボックスで［厚紙］を指定してください。

❸ **給紙方法と用紙種類を指定する。**

❹ **印刷部数を指定して、［OK］（または［印刷］）をクリックする。**

<Windows Me/98/95の場合>

❶ **アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。**

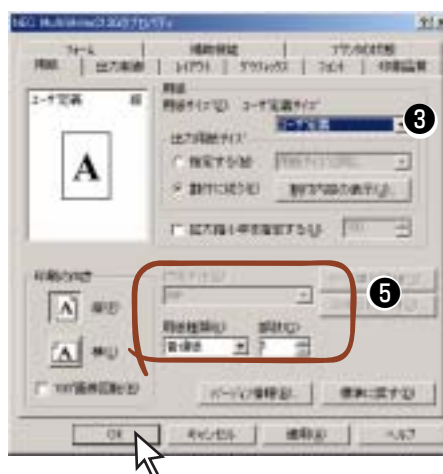
❷ **［プロパティ］をクリックする。**

❸ **［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから、［ユーザ定義］を選択する。**

チェック

- ［ユーザ定義］を選択すると給紙方法で［ホッパ］は選択できません。
- 坪量81.4g/m^2（連量70kg）を超える用紙の場合［用紙種類］ボックスで［厚紙］を指定してください。

❹ **［ユーザー定義サイズ］ダイアログボックスで［幅］と［長さ］を確認し、［OK］をクリックする。**

❺ **給紙方法と用紙種類を指定する。**

❻ **印刷部数を指定して、［OK］をクリックする。**

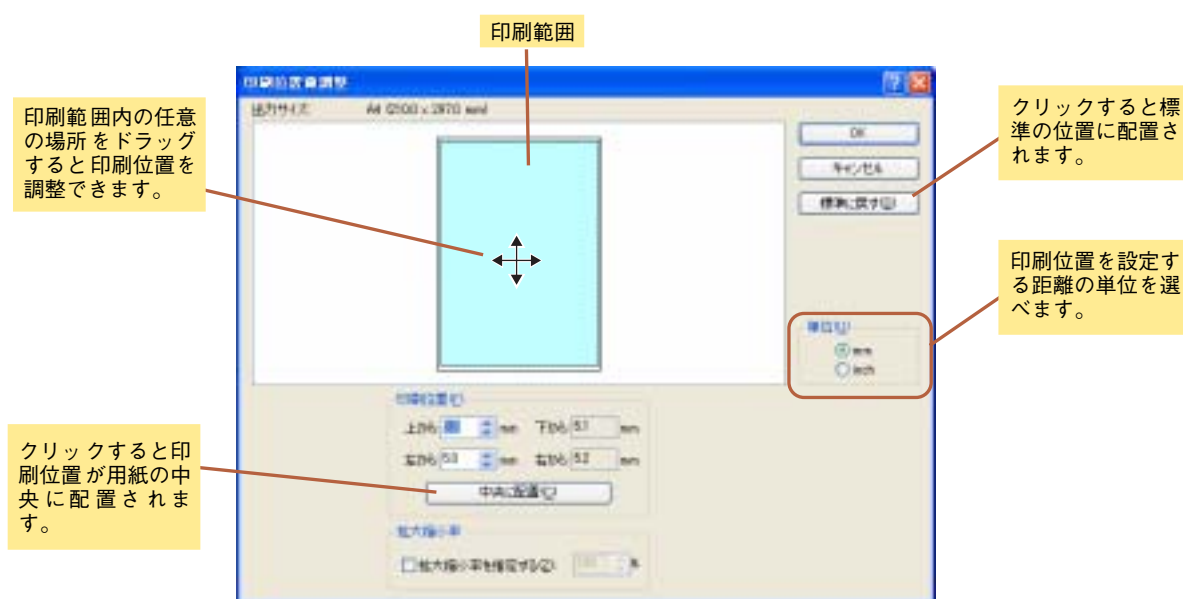
MPカセットから給紙する場合について

MPカセットから定形外用紙の印刷を行う場合、プリンターの電源を入れた後、初めて定形外用紙をセットし、印刷を行うと「MP　テイケイガイ　ホキュウ」のアラームが表示されます。このとき、MPカセットの用紙が定形外用紙であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。印刷が再開されます。
また、次回異なる用紙サイズの定形外用紙の印刷を行った場合、もしくはプリンターの電源を再投入した後、定形外用紙の印刷を行った場合は、MPカセットの用紙確認のため、プリンターは「MP　テイケイガイ　ホキュウ」のアラームを表示します。［印刷可］スイッチを押して、印刷を再開してください。

印刷位置の調整

OSごとに以下のダイアログボックスで印刷位置を細かく調整します。

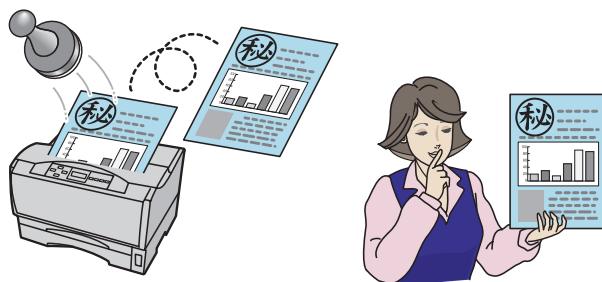
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0：
  ［その他］シートの［拡張機能］ツリービューの［印刷位置微調整］ダイアログボックス
- Windows Me、Windows 98、Windows 95：
  ［レイアウト］シートの［詳細設定］ダイアログボックス

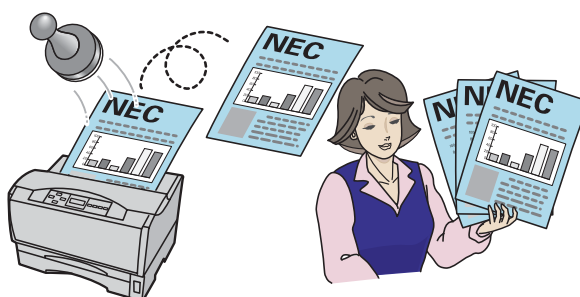
印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します（ボックスに入力はできません）。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「感覚的」に位置調整することも可能です。

［印刷位置微調整］ダイアログボックス（Windows XP/2000/NT 4.0）

［詳細設定］ダイアログボックス（Windows Me/98/95）

スタンプ機能

スタンプ機能は、ドキュメントの作成をサポートする機能として「コピー禁止」や「社外秘」などを同時に印刷する機能です。スタンプ機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

- 重要な機密情報文書等の書類を印刷する場合、アプリケーションデータを加工することなく、「取扱注意」や「マル秘」などの情報を加えて資料を印刷することで機密文書を区別できます。

- 「DRAFT」や「回覧」 などの情報を加えて資料を印刷することで、文書の取り扱いレベルを設定することができます。

- 会社の社印やシンボルマークなどを、あらかじめスキャナーで読み取ってビットマップファイルにしておき、資料を印刷する際にアプリケーションデータを加工することなく、これらの図柄を重ねて印刷することができます。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

Step 1　スタンプ機能を有効にする
Step 2　スタンプ名を選択する
Step 3　必要に応じてスタンプの編集や追加をする
Step 4　文字またはビットマップをスタンプとして登録する。

Step 1　スタンプ機能を有効にする

チェック

スタンプを印刷する場合は、［その他］シートの［印刷モード］で［標準］を選択してください。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスを開く。

❷ [メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[スタンプ]ボタンを選択する。

❸ [スタンプ]の[スタンプを印刷する]をチェックする。

スタンプは、標準で「マル秘」、「外秘」、「CONFIDENTIAL」、「取扱注意」、「複写禁止」、「持出禁止」、「重要」、「DRAFT」、「回覧」、「至急」を登録しています。

<Windows Me/98/95の場合>

❶ [プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開く。

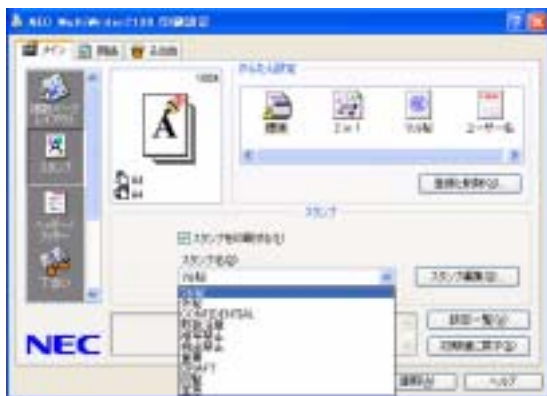
❷ [スタンプを印刷する]をチェックする。

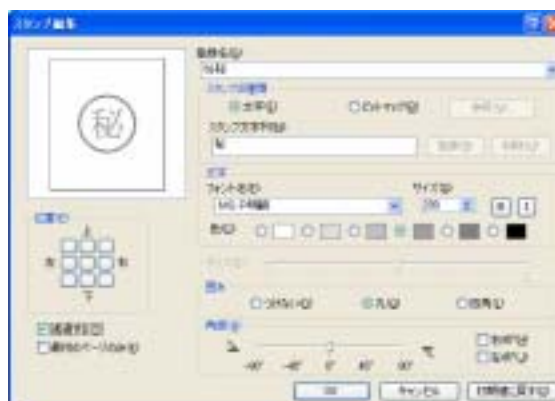
スタンプは、標準で「マル秘」、「外秘」、「CONFIDENTIAL」、「取扱注意」、「複写禁止」、「持出禁止」、「重要」、「DRAFT」、「回覧」、「至急」を登録しています。

Step 2　スタンプ名を選択する

[スタンプ名]ボックスから任意のスタンプ名を選択します。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

<Windows Me/98/95の場合>

Step 3　必要に応じて、スタンプの編集や追加をする

[スタンプ編集]ボタンを選択して、[スタンプ編集]ダイアログボックスを開きます。

チェック

スタンプイメージは、実際の印刷結果とは完全に一致しません。([用紙] シートで用紙サイズを変更しても、スタンプイメージは変わりません。)
[用紙] シートの [印刷の向き] の設定に対応して、スタンプイメージの用紙の向きが表示されます。
[スタンプ文字列] の文字数や [サイズ] の組み合わせによっては、用紙範囲から大きくはみ出るようなスタンプが設定されます。このような場合、スタンプが印刷されない場合があります。(スタンプイメージにもスタンプは表示されません。)指定したスタンプを正しく印刷するためには、スタンプイメージにスタンプが表示されるように [スタンプ文字列] の文字数や [サイズ] を変更してください。

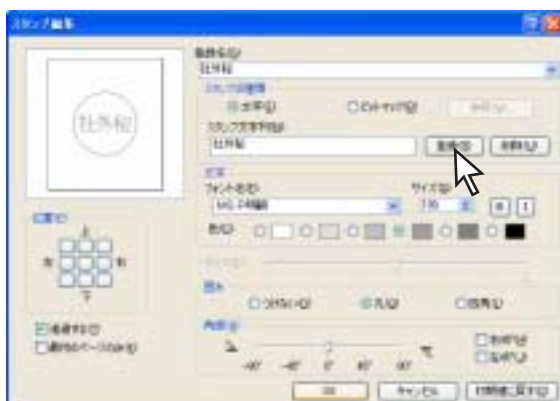
Step 4　文字またはビットマップをスタンプとして登録する

スタンプに文字を印刷させる場合

❶ [スタンプの種類]で[文字]をチェックする。

❷ [スタンプ文字列] ボックスにスタンプとして印刷したい文字列を入力する。

❸ [登録名]ボックスに登録名を入力したあと、[登録]ボタンをクリックする。

スタンプが登録されます。

スタンプにビットマップを印刷させる場合

❶ [スタンプの種類]で[ビットマップ]をチェックする。

❷ [参照]ボタンおよび[ファイル名]ボックスでスタンプとして印刷したいビットマップファイルを設定する。

チェック

コンピューターのメモリーが少ない場合に、大きなファイルサイズのビットマップを選択すると、スタンプが印刷されない場合があります。このような場合は、[サイズ]でスタンプのサイズを小さく設定してください。

❸ [登録名]ボックスに登録名を入力したあと、[登録]ボタンをクリックする。

スタンプが登録されます。

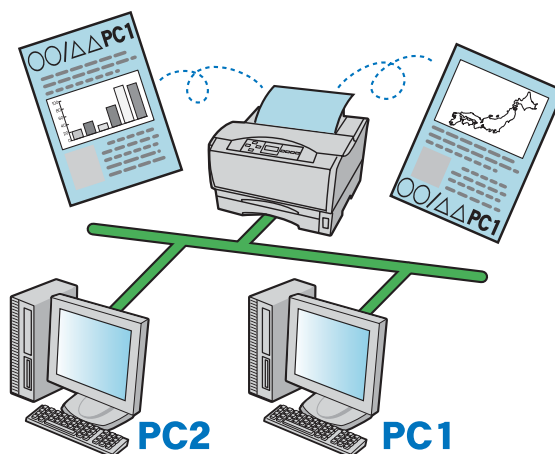
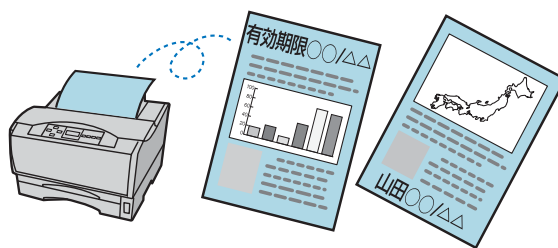
❹ [OK]をクリックし、[スタンプ編集]ダイアログボックスを閉じる。

チェック

- アプリケーションの印刷プロパティから、スタンプを新規登録することができます。登録した情報は、アプリケーションを終了しても保持されます。
- 複数ページレイアウト時でもスタンプは設定可能です。ただし、その場合は論理ページごとにスタンプが印刷されます。

ヘッダー／フッター

ヘッダー／フッター機能は、あらかじめ日付や作成者などを設定して、文章と同時に印刷する機能で、文章の区別、仕分けなど簡単に識別できる便利な機能です。ヘッダー／フッター機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

- ヘッダー／フッター機能がないアプリケーションから印刷を行う場合にも、「ユーザー名」、「コンピューター名」をヘッダー／フッター印刷することができ、共有のネットワークプリンターなどにおいて「だれが」、「どこから」印刷したものかを容易に判別できて、印刷元を明らかにすることができます。

- 「文字列（例：有効期限*** 等)」、「日付」を設定して印刷することで印刷ドキュメントの管理・有効性を高めることができます。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

Step 1　ヘッダー／フッター機能を有効にする
Step 2　印刷位置と印刷項目を選択する
Step 3　ヘッダー／フッターに任意の文字列を入力する場合

Step 1　ヘッダー／フッター機能を有効にする

ヘッダー／フッターを印刷する場合は、［その他］シートの［印刷モード］で［標準］を選択してください。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[メイン]シートを開く。

❷ 左側の[機能選択]バーから[ヘッダー／フッター]ボタンを選択します。

❸ [ヘッダー／フッター]の[ヘッダー／フッターを印刷する]をチェックする。

<Windows Me/98/95の場合>

❶ [プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開く。

❷ [ヘッダー／フッターを印刷する]をチェックする。

Step 2　印刷位置と印刷項目を選択する

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ [位置] ボックスからヘッダー／フッターを印刷する位置を選択する。

❷ [印刷項目] ボックスからヘッダー／フッターに印刷する項目を選択する。

<Windows Me/98/95の場合>

❶ [レイアウト]シートの［ヘッダー／フッター印刷］をクリックする。

[ヘッダー／フッター印刷設定]ダイアログボックスを表示されます。

❷ [位置] ボックスからヘッダー／フッターを印刷する位置を選択する。

❸ [印刷項目] ボックスからヘッダー／フッターに印刷する項目を選択する。

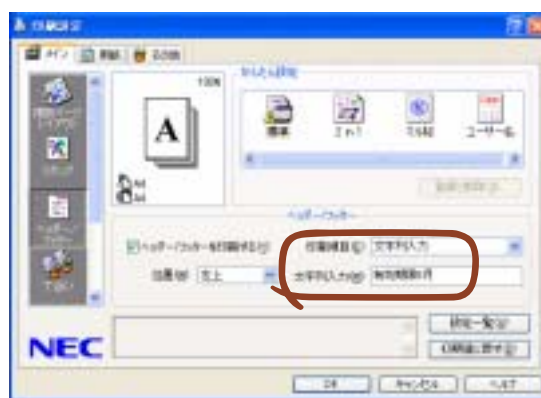
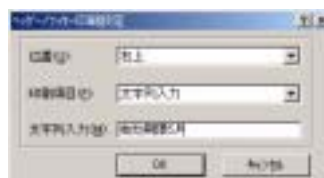
ヘッダー／フッターとして印刷できる項目は、「ユーザー名」「コンピュータ名」、「ユーザー名／コンピュータ名」、「日付」、「時刻」、「日付／時刻」、「ドキュメント名」、「ページ番号」もしくは任意の文字列です。任意の文字列を印刷する場合は、Step3の手順に進んでください。

Step 3　ヘッダー／フッターに任意の文字列を入力する

❶ [印刷項目]ボックスから[文字列入力]選択し、[文字列入力]ボックスに印刷する文字列を入力する

- 入力できる文字列は、全角文字で最大32文字、半角文字で最大64文字までです。
- アプリケーションの印刷プロパティから［ヘッダー／フッター］を設定した場合、アプリケーションが開いている間は設定が保持されます。
- 文字サイズは、MS Ｐゴシック10.5pt固定になります。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

<Windows Me/98/95の場合>

❷ [OK]をクリックする。

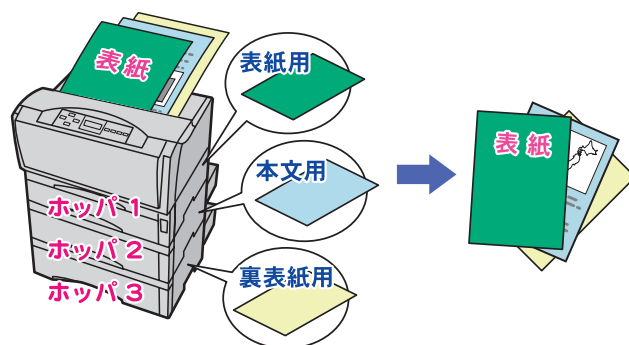
Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、[ヘッダー／フッター印刷設定]ダイアログボックスの[OK]をクリックし、[レイアウト]シートの[OK]をクリックします。

✔チェック

複数ページレイアウト時でもヘッダー／フッターは設定可能です。ただし、その場合は論理ページごとにヘッダー／フッターが印刷されます。

ページ単位の給紙方法

いろいろな用紙の組み合わせで印刷できる便利な給紙方法の機能です。ページ単位の給紙方法指定機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

- マニュアル／テキスト／しおり などの作成で表紙・本編・裏紙をそれぞれ別の「用紙」で印刷したい時に使用します。

- 月末処理などで「大量印刷」を行う場合に、ジョブ単位の区切りを分かりやすくする場合に使用します。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

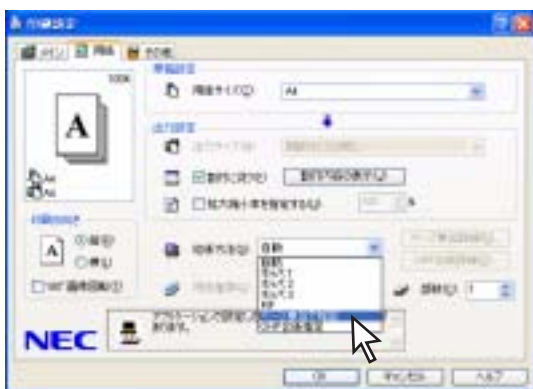
Step 1 給紙方法をページ単位で指定する
Step 2 詳細な設定をする

Step 1 給紙方法をページ単位で指定する

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

❷ [給紙方法]ボックスの[ページ単位で指定]を選択する。

<Windows Me/98/95の場合>

❶ [プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]を開く。

❷ [給紙方法]ボックスの[ページ単位で指定]を選択する。

Step 2 詳細な設定をする

❶ ページ単位の詳細設定ダイアログボックスを開き、給紙方法を設定し、[OK]をクリックする。

- **1ページ目の前もしくは最終ページの後に差紙（白紙ページ）を挿入する場合**
  [1ページ目の前に差紙をする]もしくは[最終ページの後に差紙をする]をチェックしてください。合わせて給紙先を選択してください。
- **1ページ目の給紙先を指定する場合**
  [1ページ目の給紙方法]を指定してください。
- **2ページ目の給紙先を指定する場合**
  [2ページ目の給紙方法]を指定してください。
- **2ページ目以降のページの給紙先を指定する場合**
  [その他のページの給紙方法]を指定してください。

給紙先は、給紙する用紙サイズが「封筒」、「はがき」、「往復はがき」、「ユーザ定義」、用紙種別が「厚紙」、「OHP」の場合は「その他の給紙方法」で「ホッパ」は選択できません。

チェック

設定後、このダイアログを表示させない場合は[以降、このダイアログをポップアップさせない]をチェックしてください。再びこのダイアログを開き設定を行う場合は、[用紙]シートの[ページ単位詳細]ボタンをクリックしてください。

OHPに合い紙を挿入する

OHP合紙機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

OHPフィルムに印刷を行う場合、各ページに普通紙（合い紙）をはさみ込むことにより、フィルム同士がくっつかずに取り扱い、保管が容易になります。OHP合紙機能を使うと、印刷時に自動で合い紙を入れることができます。また、合い紙は白紙か同じ文章の印刷かが選択できます。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

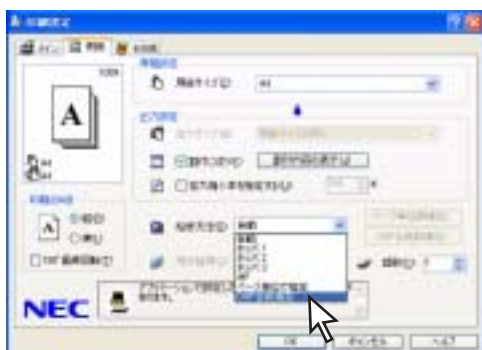
Step 1　給紙方法をOHP合紙で指定する
Step 2　詳細な設定をする

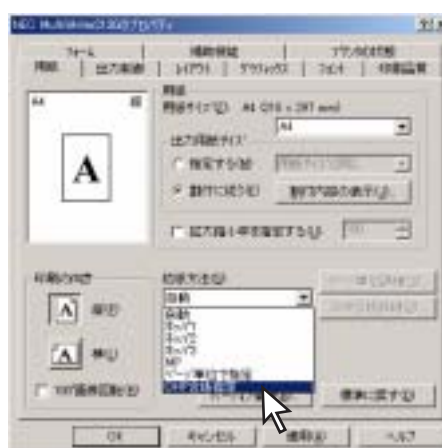
Step 1　給紙方法をOHP合紙で指定する

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

❷ [給紙方法]ボックスの[OHP合紙指定]を選択する。

<Windows Me/98/95の場合>

❶ [プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

❷ [給紙方法]ボックスの[OHP合紙指定]を選択する。

Step 2 詳細な設定をする

❶ ［OHP合紙の詳細設定］ダイアログボックスで、OHPと合紙の給紙先を設定する。

❷ ［OK］をクリックする。

白紙の合紙を挿入する場合は、［合紙にプリントしない(白紙挿入)］をチェックします。

挿入する合紙にOHPと同じ文章を印刷して出力する場合は、［合紙にプリントする］をチェックします。

チェック

- 設定後、このダイアログボックスを表示させない場合は[以降、このダイアログをポップアップさせない]をチェックしてください。再びこのダイアログボックスを開き設定を行う場合は、［用紙]シートの[OHP合紙詳細]をクリックしてください。
- ［MP］から給紙したい場合は、使用する給紙先に印刷したい用紙がセットされていることを確認してから、以下のいずれかの設定を行ってください。
  - ［その他］シートの［用紙サイズエラー］で［検出する］を選択する。
  - プリンターの操作パネルで［MP］を選択する。
- ユーザー定義の用紙を含むデータを印刷する場合に、［その他］シートの［用紙サイズエラー］で［検出する］が選択されている時は、［検出しない］を選択してください。［検出する］が選択されていると、選択したユーザー定義の用紙で印刷されない場合があります。
- ［用紙］シートの［用紙種類］で［厚紙］、［OHP］を選択した場合は、［その他のページの給紙方法］は［MP］のみが選択できます。
- ［ページ単位で指定］が選択された場合、アプリケーションの丁合い（アプリケーションによっては、部単位で印刷）の設定を行わないでください。
- ［ページ単位で指定］が選択された場合の選択できる給紙方法は、［プリンタの設定］シートで設定された給紙構成に従います。
- ［1ページ目の前に差紙をする］、［最終ページの後に差紙をする］を利用する場合、プリンターのメモリースイッチ4-4をOFFにしてください（工場出荷時の設定）。
- 複数ページレイアウトを設定した場合、複数のページを並べて印刷する1枚の用紙が各ページとなります。
- ［用紙］シートの［用紙種類］で［厚紙］、［OHP］を選択した場合は、［OHPの給紙方法］は［MP］のみが選択できます。
- OHPおよび合紙で選択できる給紙方法は、［プリンタの設定］シートで設定された給紙構成に従います。
- OHPと合紙の用紙は同じ向きで給紙先にセットしてください。

ユーザー名を表示する

プリンターがデータを受信中、処理中、印刷中に操作パネルのディスプレイ（下段）にユーザー名または任意の文字を表示する機能です。Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用になれます。

インサツチュウ
ヤマダ

設定方法

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[その他]シートを開く。

❷ [その他]シートで［操作パネル表示］を選択する。

<Windows Me/98/95の場合>

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［補助機能］シートを開く。

❷ ［操作パネル表示］を選択する。

❸ ［OK］をクリックする。

［操作パネル表示］について

- ［なし］
  ディスプレイには何も表示されません。
- ［ユーザ名］
  ネットワーク上にログインしたときのユーザー名がディスプレイに表示されます。［ユーザ名］を選ぶと［表示文字列］テキストボックスでユーザー名が確認できます。
- ［指定文字列］
  ［表示文字列］テキストボックスに入力された文字列（半角で16文字まで）が表示されます。入力できる文字は次の英数カナ文字です。

ｽﾍﾟｰｽ	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
		^	|	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾞ	ﾟ		｢	｣
､	｡	･							

リプリント機能

リプリント（再印刷）は、一度印刷したデータをアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷する機能です。MultiWriter 2130ではコピー機感覚で操作できる「PrintAgent リプリント2」を提供しています。

PrintAgent リプリント2

この機能をご利用になるには、あらかじめPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。（PrintAgentのインストール方法について2章の「プリンターソフトウエアのインストール」（35ページ）をご覧ください）。「PrintAgent」ツールバーを使えば、PrintAgent リプリント2を簡単に呼び出し、再印刷することができます。

PrintAgent リプリント2では以下の便利な機能を備えています。

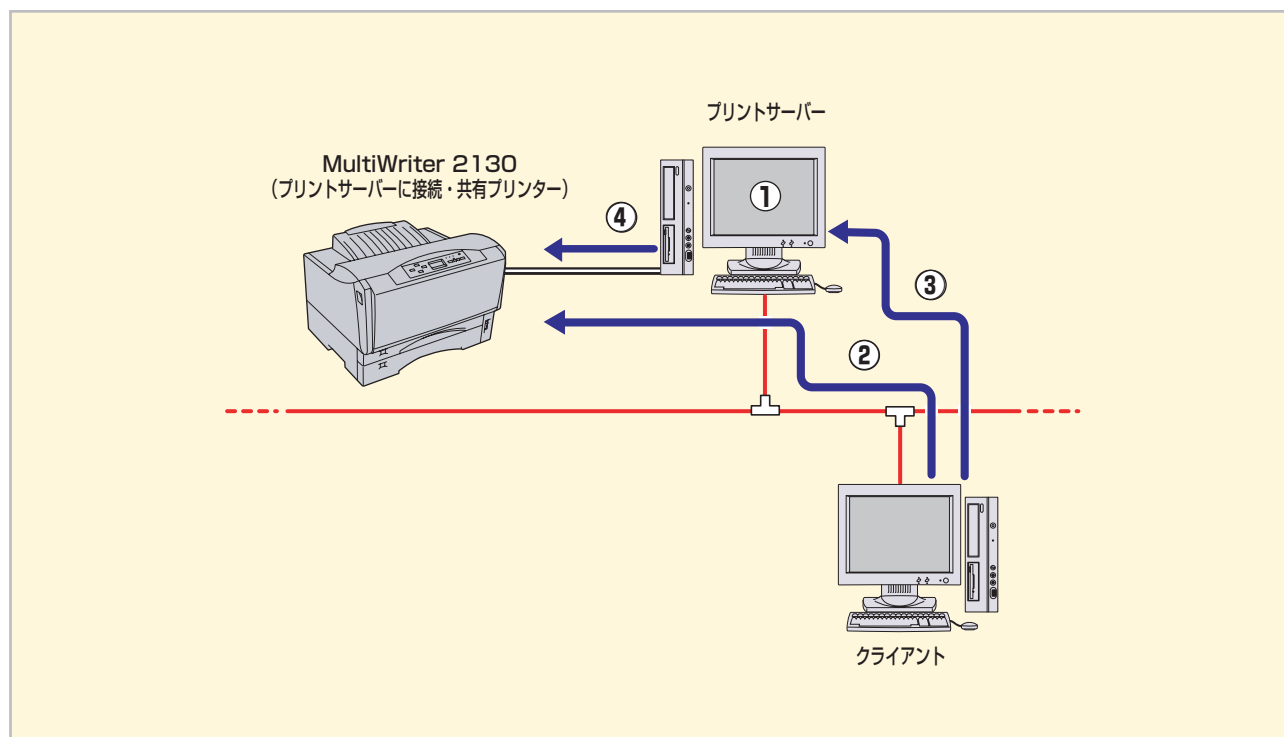
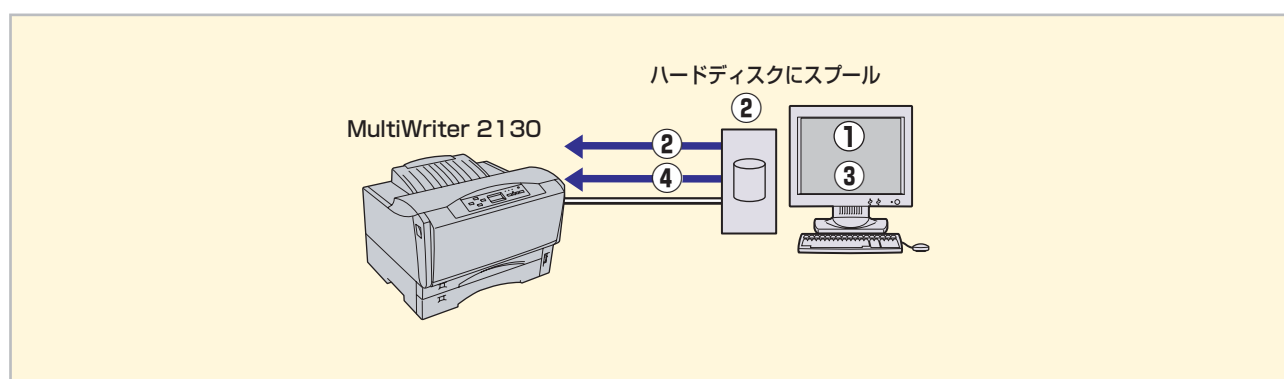
- 標準モード：　再印刷する文書に対して丁合い機能、ジョブセパレート機能を選択して仕分け印刷をすることができます。
- ジョブ結合モード：　一度印刷された複数の文書を結合し、一文書として再印刷することができます。（ジョブ結合の概要については「文書を結合する」（177ページ）をご覧ください。）

PrintAgent リプリント2を起動するには、以下のとおり「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックします。

PrintAgentおよびPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。PrintAgent リプリント2はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できますが、そのためにはPrintAgentをインストールする際に「PrintAgent リプリント2」オプションをチェックしておく必要があります。

設定方法

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0が動作しているコンピューターで利用できます。リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

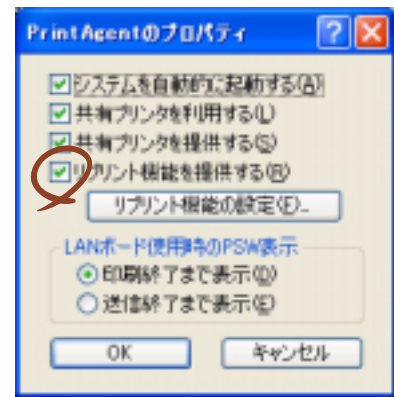
Step 1　リプリント機能を設定する（リプリント機能の提供）
Step 2　印刷する（リプリント用ファイルのスプール）
Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ（スプールファイルの選択）
Step 4　リプリントする（スプールファイルの出力）

クライアントサーバーの場合

ローカル接続の場合

Step 1　リプリント機能を設定する

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーの「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニューからPrintAgentのプロパティを開くか、あるいはPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、［リプリント機能を提供する］をチェックする。

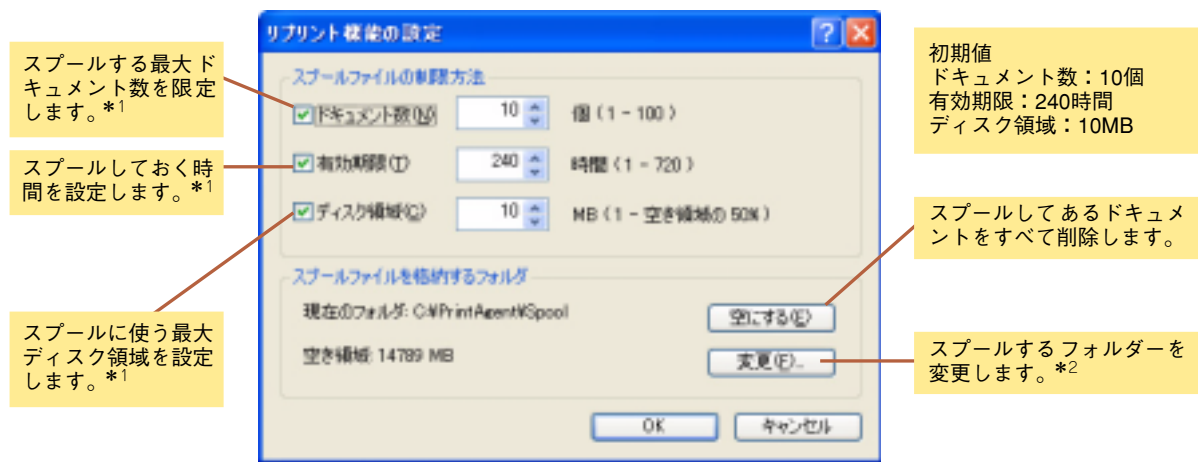
重要

この設定が行えるのは、以下のユーザーのみです。

- プリントサーバーがWindows XPの場合、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である。
- プリントサーバーがWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administratorsの権限がある。

［リプリント機能を提供する］

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには［リプリント機能の設定］ボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。プリントサーバーのハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

［リプリント機能の設定］ボタン

このボタンをクリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。

*1　ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。

*2　空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

Step 2　印刷する

❶ **リプリント機能を利用するプリンターのプロパティダイアログボックスを開き、［リプリント機能を使用する］をチェックする。**

リプリント機能は標準で有効になっています。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

［印刷設定］（Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］）ダイアログボックスの［メイン］シートの［機能選択］バーで［リプリント］ボタンを選択

<Windows Me/98/95の場合>

プリンターのプロパティの［出力制御］シート

❷ **アプリケーションでドキュメントを印刷する。**

チェック

［MOPYING設定ウィンドウを表示する］が有効になっている場合は、MOPYING設定ウィンドウで「リプリント機能を使用する」を有効にすることができます。

Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ

❶ **「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックする。**

❷ **［標準］シートを開く。**

❸ **［PrintAgent　リプリント2］でリプリントしたいドキュメントを選ぶ。**

チェック

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは173ページを参照してください。

Step 4　リプリントする

再印刷するドキュメントの印刷部数、丁合い、ジョブセパレートを設定して印刷する。

印刷部数は、999部まで設定できます。

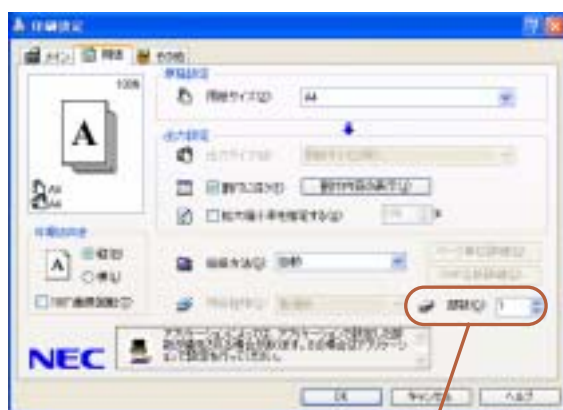
次ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。

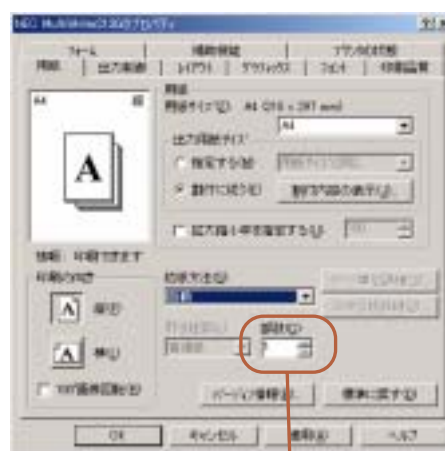
リプリント機能を使用するときの注意事項

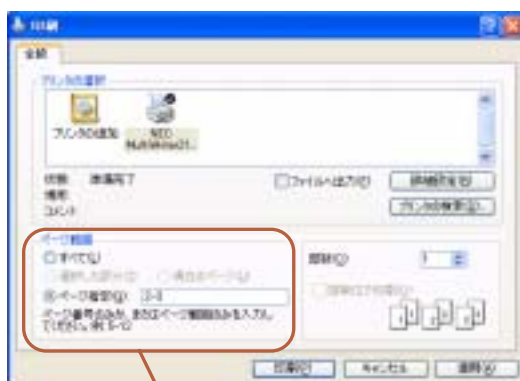
リプリント機能を利用するにあたっては、以下の内容を参考にしてください。

- リプリントされるページは、最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。
  たとえば給紙方法や縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などはそのままの設定で印刷されます。

部数、丁合い、ジョブセパレートの設定は初期化されますので、再設定が必要です。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

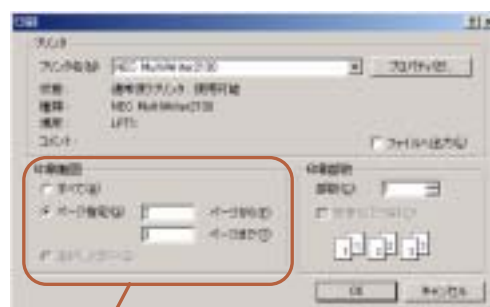
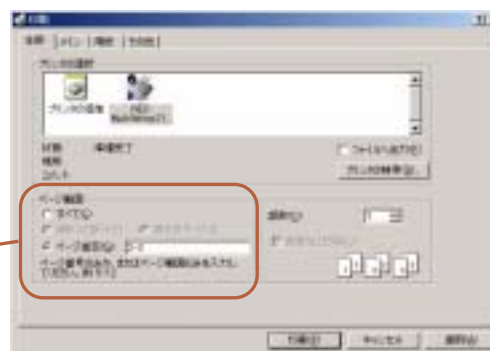
<Windows Me/98/95の場合>

リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

- リプリント機能で印刷できるページはアプリケーションで実際に印刷したページのみです。
  たとえば10ページある文書の中から下の［印刷］ダイアログボックスのように2〜3ページを印刷した場合、1ページと4〜10ページをリプリントすることはできません。

<Windows XPの場合>

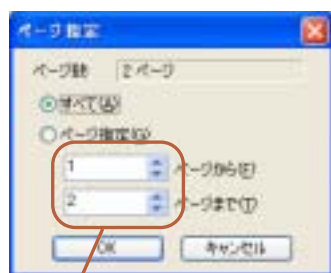
リプリントに有効なページは2〜3ページです。

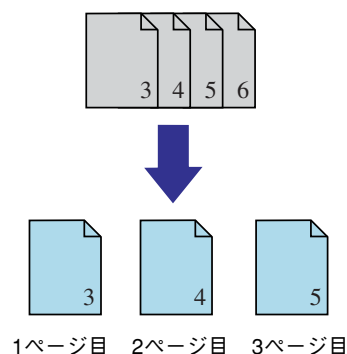
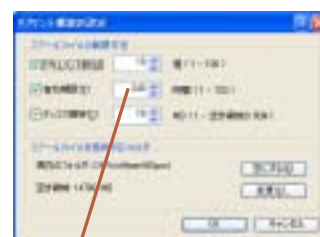
<Windows Me/98/95/NT 4.0の場合>

リプリントに有効なページは2〜3ページです。

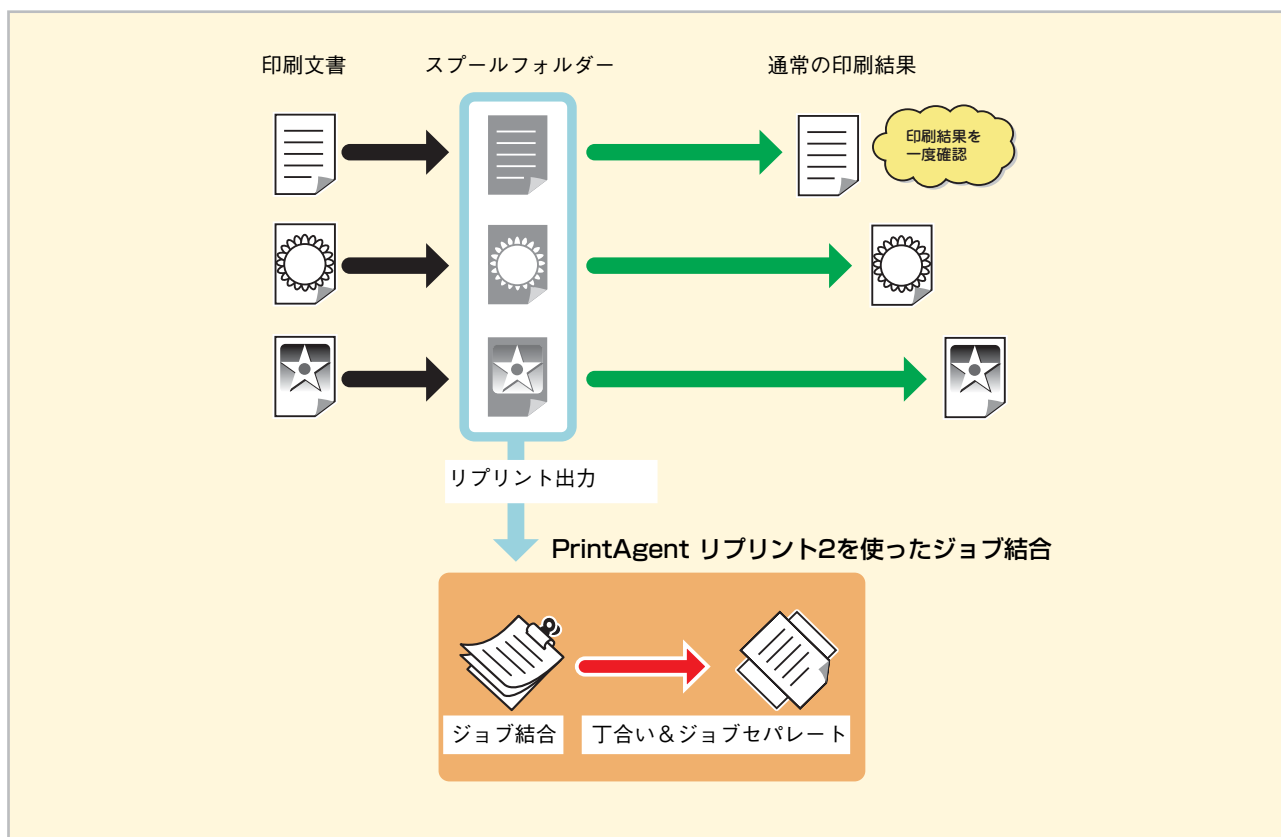
<Windows 2000の場合>

リプリントに有効なページは2〜3ページです。

- リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。
  たとえばアプリケーションで文書の3〜6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

PrintAgent リプリント2の場合

リプリント機能での印刷：［1］ページから［3］ページまで

1ページ目　2ページ目　3ページ目

- サーバー／クライアント環境での印刷ファイルはプリントサーバーにスプールされます。
  スプールされたファイルは［リプリント機能の設定］ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。

スプールファイルの有効期限

文書を結合する

PrintAgent リプリント2を使い、一度印刷した複数の異なる文書を結合する（ジョブ結合）ことができます。

ジョブ結合

PrintAgentリプリント2で実現する機能です。一度印刷した複数の文書を選択した順番で自由に組み合わせ、ひとつのジョブとして再印刷することができます。さらにジョブ結合した文書に対しても丁合い出力やジョブセパレート出力による仕分け印刷ができます。コピー作業のように原稿を並べ替える必要はありません。すべてパソコンのデスクトップ上で原稿を並び替えることができ、しかもオリジナルでの出力（MOPYING）が可能です。

設定は［PrintAgent リプリント2］の［ジョブ結合］シートで行います。

＊1　印刷データがA4サイズでジョブセパレート機能が有効な場合、選択できます。

設定方法

ジョブ結合設定の最初の手順は、PrintAgent リプリント2でリプリントする場合と同じです。

❶ **PrintAgentでリプリント機能の設定をする。**

PrintAgentリプリント2を使用するために、PrintAgentのプロパティでリプリント機能の設定をします。（詳細は173ページ）

❷ **アプリケーションから印刷する。**

リプリント機能を使用する設定でアプリケーションからドキュメントを印刷します。（詳細は174ページ）

❸ **「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックする。**

PrintAgent リプリント2が起動します。

❹ **［ジョブ結合］シートを開く。**

❺ **ジョブ結合したいドキュメントを選択する。**

チェックした順に印刷順が指定されます。印刷順を変えたい場合は［前へ］ボタンまたは［後へ］ボタンをクリックして変更してください。

❻ **必要に応じて丁合い、ジョブセパレート機能を選択して、印刷仕上がりを設定する。**

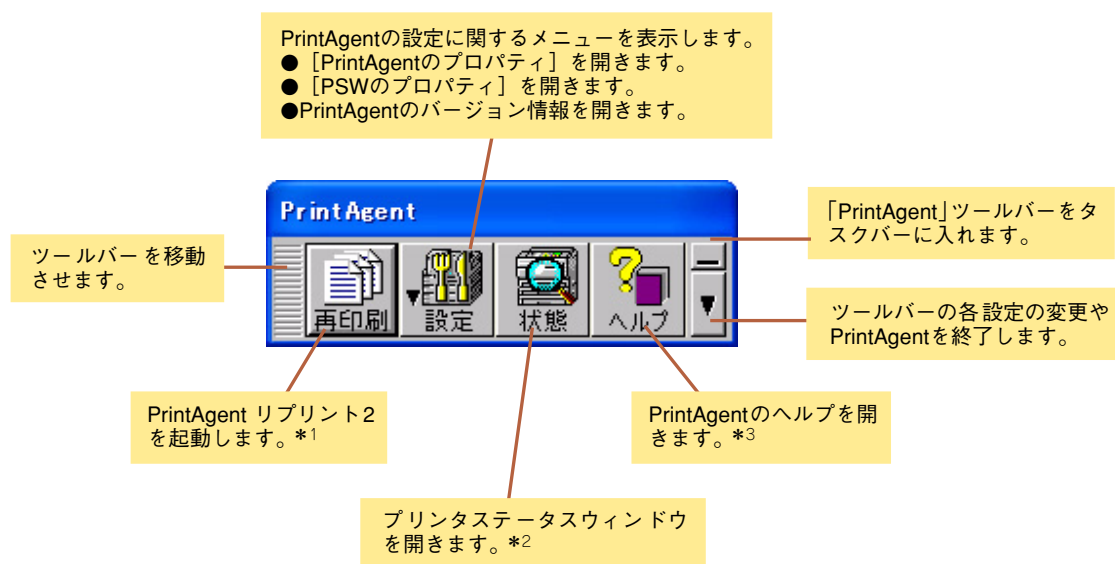
❼ **再印刷するドキュメントの印刷部数を設定し［スタート］ボタンをクリックする。**

「PrintAgent」ツールバー

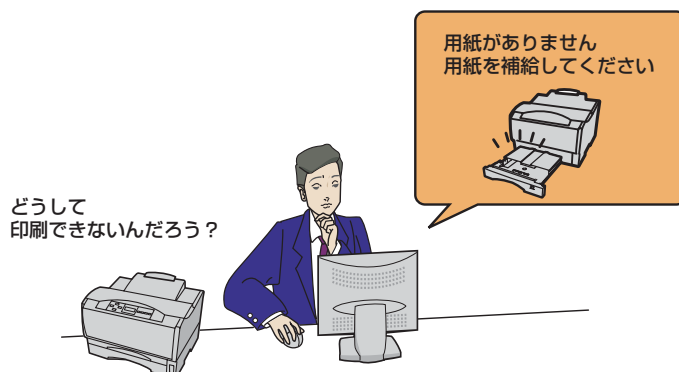
「PrintAgent」ツールバーでは、ボタン操作ひとつで簡単にPrintAgentの機能を呼び出すことができます。このツールバーはPrintAgentオプションの「ツールバー」をインストールすると、お使いになれます。

「PrintAgent」ツールバーを表示させるには、次のような方法があります。

- タスクバーのPrintAgentアイコンを左または右クリックし、［ツールバーを表示］をクリックする。
- タスクバーのPrintAgentアイコンをダブルクリックする。
  前回ツールバーを表示した状態でPrintAgentを終了した場合、「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの起動と同時に表示されます。

「PrintAgent」ツールバーの詳しい説明は、「PrintAgent」ツールバーのヘルプをご覧ください。

*1 PrintAgent リプリント2がインストールされていない場合、［再印刷］ボタンはご利用になれません。
*2 PrintAgent対応プリンタでない場合、［状態］ボタンはご利用になれません。
*3 ヘルプがインストールされていない場合、ヘルプボタンとツールバー設定ボタンメニューの［ヘルプ］ボタンはご利用になれません。

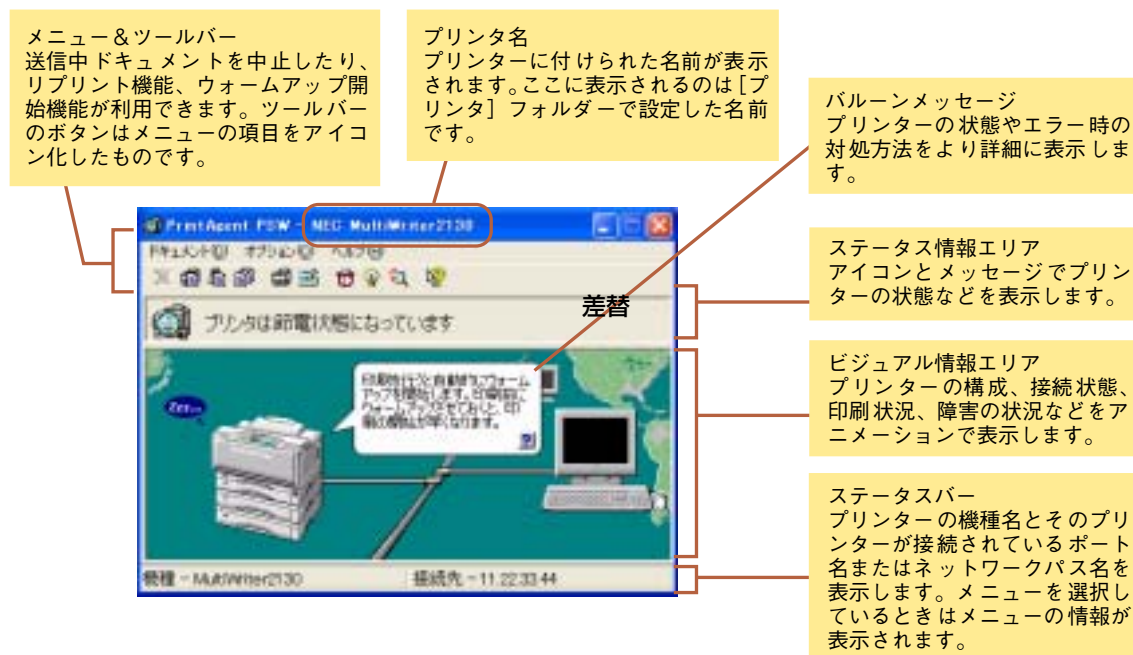
PrintAgentおよびツールバーがインストールされている必要があります。「PrintAgent」ツールバーはWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できますが、そのためにはPrintAgentをインストールする際に「PrintAgent」ツールバーオプションをチェックしておく必要があります。

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*によるメッセージで通知します。

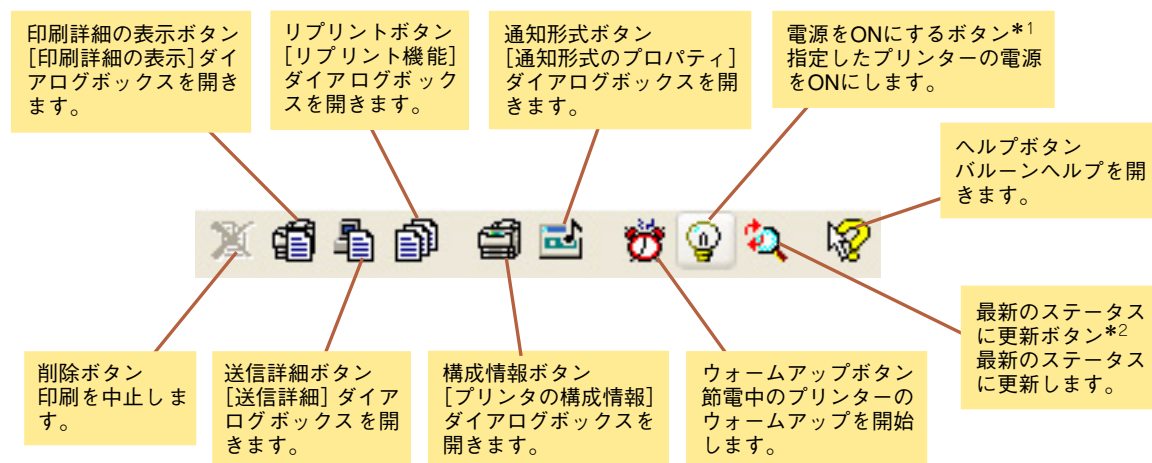
*　音声は標準ではインストールされません。

通常プリンターが印刷を開始したり、印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。手動で起動する方法は次の3種類です。

- 「PrintAgent」ツールバーから起動する
- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。

PrintAgentがインストールされている必要があります。PrintAgentはWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できます。プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。

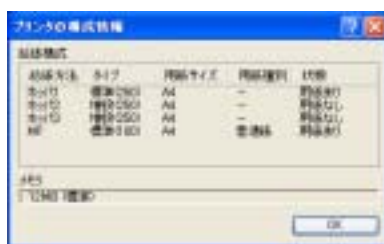
ツールバー

プリンタステータスウィンドウには、次のような機能があります。それぞれの機能はツールバーのボタンをクリックして設定、または実行できます。
また常に情報取得をするか、ウィンドウ表示するかどうかなどを選択できます。

*1 プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ（型番PR-NP-03TR2）に接続されている状態で、電源制御の設定が有効な場合に表示されます。

*2 初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得できるようにするには、次ページの「通知形式を変更する」をご覧ください。

送信中のドキュメントの印刷を中止する

「送信中ドキュメント情報」に表示されているドキュメントの印刷を中止する機能です。
［削除］ボタンをクリックします。

プリンターの構成情報を見る

プリンターの構成情報（給紙構成、メモリー）を確認するダイアログボックスです。

このダイアログボックスを表示させるには［構成情報］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［プリンタの構成情報］を選択します。ただし、常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

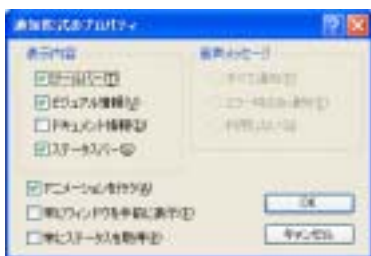
最新の情報に更新するにはツールバーの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択してください。

常に最新の情報を取得したい場合は［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスで［常にステータスを取得］をチェックしてください。［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスの開き方については次ページの「通知形式を変更する」を参照してください。

チェック

プリンターとコンピューターで双方向通信機能を無効に設定しているときは、各OSごとに以下のダイアログボックスの「プリンタの構成」の内容が表示されます。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000：［プリンタのプロパティ］ダイアログボックス
- Windows Me、Windows 98、Windows 95：［プロパティ］ダイアログボックス
- Windows NT 4.0：［プロパティ］ダイアログボックス

通知形式を変更する

プリンタステータスウィンドウの表示内容を選択します。必要とする項目だけを表示させることで、ウィンドウをコンパクトにすることができます。また、プリンタステータスウィンドウのアニメーションを行うかどうか、常にステータスを取得するかどうかなどの設定ができます。

このダイアログボックスを表示させるためには、［通知形式］ボタンをクリックするか［オプション］メニューの［通知形式］を選択します。

チェック

［常にステータスを取得］について

- ［常にステータスを取得］をチェックすると印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。
- ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーで設定してください。
  Windows XPの場合、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］であるユーザーのみが設定を変更できます。
  Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administrators権限のユーザーのみが設定を変更できます。
- プリンタ自動切替機能をご利用の場合、グループを構成するプリンターではプリンターの状態を常に監視しているため設定の変更はできません。

ウォームアップを行う

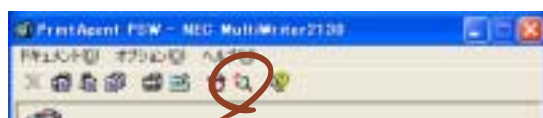
［ウォームアップ開始］ボタンをクリックするか［オプション］メニューの［ウォームアップ開始］を選択すると節電状態のプリンタのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。
なお、節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はプリンターの操作パネルによるメニューモードで設定できます。

プリンターの電源をONにする

［電源をONにする］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択すると指定したプリンターの電源をONにすることができます。リモート電源制御機能を有効にするためには、「リモート電源制御」（193ページ）をご覧ください。

チェック

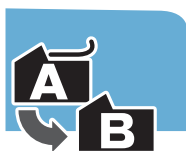
プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

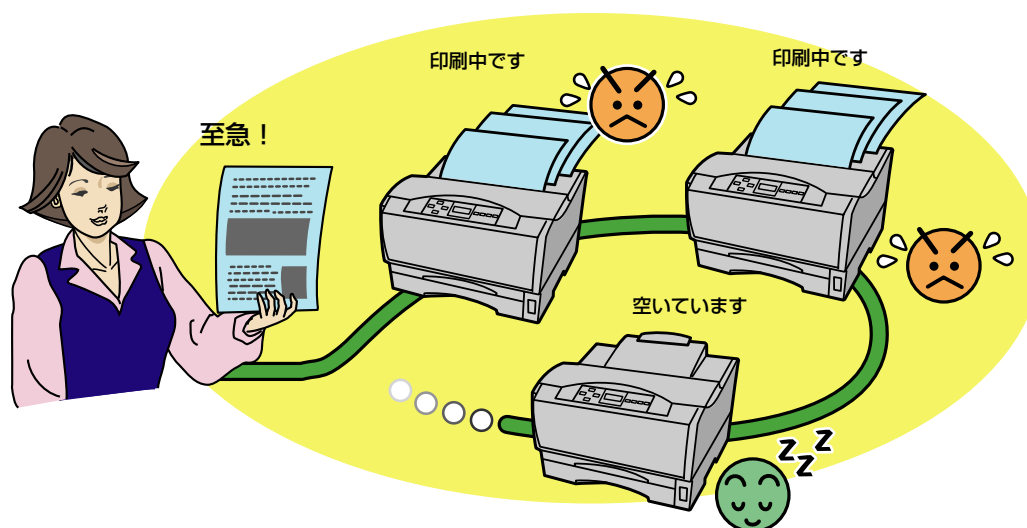
最新のステータスに更新する

初期設定では、印刷していない時はプリンターの状態を定期的に監視していません。最新のステータスを取得するには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択してください。

リプリント機能を使う

このダイアログボックスは［リプリント］ボタンをクリックするか、［ドキュメント］メニューの［リプリント機能］を選択すると表示されます。

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータであればアプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷（リプリント）できるようになります。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2をご利用になると、より多くの機能がご利用できます。PrintAgent リプリント2をお使いになることをお勧めします。PrintAgent リプリント2の使用方法については、171ページをご覧ください。

プリンターの自動切替

複数のプリンターをグループ化することにより、自動的に空いているプリンターへ出力する機能です。ネットワーク共有プリンターとして設定することにより、ネットワーク内のクライアントも利用することができます。設定方法については、186ページをご覧ください。

なお、グループプリンタとして設定可能なプリンターはMultiWriter系のプリンターです。次ページの「グループプリンタとして設定可能なプリンター」を参照してください。

グループプリンタの構成に使用するプリンタードライバーによって、グループ化できるプリンターの機種は異なります。お使いのプリンターの種類によってグループプリンタの構成に使用するプリンタードライバーを以下の表に従って選択してください。

グループプリンタとして設定可能なプリンター

使用するプリンタードライバー	グループ設定可能なプリンターの機種
NEC MultiWriter2130	MultiWriter 2130
NEC MultiWriter2360/2360N	MultiWriter 2360N、2360
NEC MultiWriter2850/2850N	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850
NEC MultiWriter3650N	MultiWriter 3650N
NEC MultiWriter2350/2350N NEC MultiWriter 2300N	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2300N
NEC MultiWriter 2800N NEC MultiWriter 2800 NEC MultiWriter2150	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2800N、2800 MultiWriter 2300N MultiWriter 2150
NEC MultiWriter 2300	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2300N、2300
NEC MultiWriter 2100	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2150 MultiWriter 2300、2100
NEC MultiWriter 210S	MultiWriter 2130 MultiWriter 210S
NEC MultiWriter 2650M	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2150 MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H
NEC MultiWriter 2250H	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2300N、2300 MultiWriter 2250H
NEC MultiWriter 2650 NEC MultiWriter 2650E NEC MultiWriter 2250 NEC MultiWriter 2050	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350、2150 MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H MultiWriter 2650、2650E MultiWriter 2250、2050

使用条件

- プリンター管理者が複数のMultiWriterをグループプリンタとして登録することが必要です。
- Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。
- プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。
- グループプリンタに設定するには、管理者向けインストールで「プリンタ自動切替」オプションを選択してインストールする必要があります。
- MultiWriter 2130やグループ可能なMultiWriterをプリントサーバーコンピューター上で複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95をお使いの場合、プリントサーバーコンピューター上でグループプリンタとして登録できるプリンターは2台までです。

設定方法

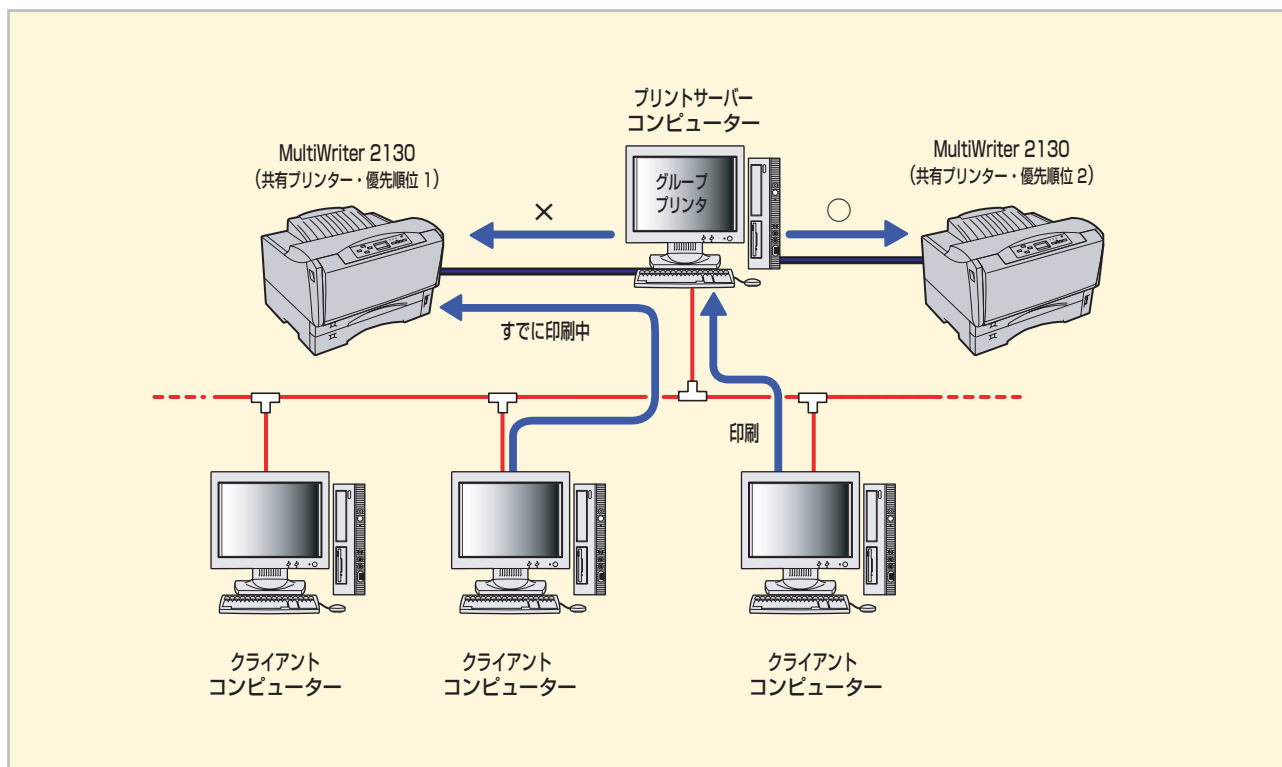
プリントサーバーで管理する複数台のMultiWriter 2130をグループプリンタとしてグループ化することで、印刷ジョブを自動的に切替えて印刷する「プリンタ自動切替」機能を利用することができます。また、グループプリンタを共有化することで、ネットワーク上のクライアントコンピューターからも利用することができます。グループプリンタとして設定可能なプリンターは「グループプリンタとして設定可能なプリンター」を参照してください。(プリントサーバーのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合、グループ化できるプリンターは2台までです。)
プリンターの切替は、プリンターの状態（印刷中など）、用紙サイズ、優先順位（プリンター管理者が設定します）の要素から決定し、印刷を行います。以下の図はプリンタ自動切替機能を利用した構成例を表したものです。
また、設定は次の手順で行ってください。

Step 1　グループプリンタの設定
Step 2　グループプリンタを共有プリンタにする
Step 3　共有されたグループプリンタに接続する
Step 4　グループプリンタへ出力する

重要

Step2、Step3を行なう場合、プリントサーバーに以下のことが必要です。

- ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ以下のネットワークコンポーネントをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。
  - Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合：「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
  - Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合：「Microsoft ネットワーク共有サービス」
  - Windows NT 4.0の場合：「サーバー」
- ネットワーク環境で LAN プリンターとしてお使いになるためには、あらかじめコンピューターのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

プリンタ自動切替機能を利用した構成例（MultiWriter 2130）

Step 1　グループプリンタの設定

ここでは、グループプリンタの作成・編集方法を説明します。グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについては、「グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ」をご覧ください。
グループプリンタを作成するには、次の手順が必要です。

1 グループプリンタを作成する前に確認する
2 場所を設定する
3 グループプリンタを作成する
4 グループプリンタを編集する

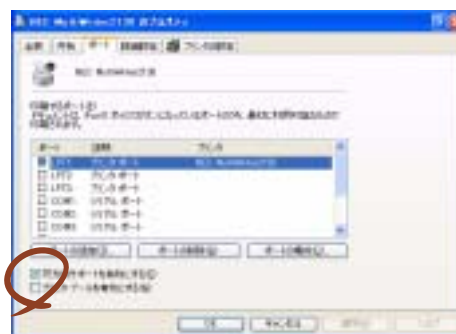
1　グループプリンタを作成する前に確認する

グループプリンタを作成する前に、以下の点を確認してください。

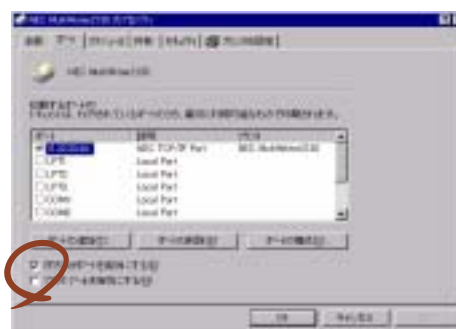
グループを構成できるプリンターについて

グループを構成できるプリンターは次の条件をすべて満たしているプリンターです。

- 「グループプリンタとして設定可能なプリンター」（185ページ）を参照してグループ化できるプリンターであることを確認してください。
- 双方向通信していること

【Windows XP/Server 2003/2000の場合】
［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

【Windows Me/98/95の場合】
プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］シートで［プリンタスプールの設定］ダイアログボックスを表示させ、以下の項目がチェックされていることを確認します。

Windows Meの場合：　［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］
Windows 98/95の場合：　［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］

【Windows NT 4.0】
［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

- 双方向通信が可能なポートに接続していること
  それぞれの接続形態において双方向通信が可能な以下のポートを使っていることを確認してください。

接続先がプリントサーバーの共有プリンターの場合はグループを構成できません。

OS	プリンターケーブル接続	LAN プリンター接続	USB 接続
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	USBxxx:
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	USBxxx*
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	—

* Windows 95は対応していません。

［設置場所の表示について］

グループプリンタの印刷が終了すると利用者には、印刷の終了を通知するダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスに［設置場所］が設定されていると、どこのどのプリンターで印刷されているのかが利用者に表示されるので設定しておくと便利です。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を使って［利用可能なプリンタ］に［設置場所］を設定することができます。設定方法については、次ページをご覧ください。Windows XPの場合は、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］のユーザーであるとき、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、Administratorsの権限で［設置場所］を設定することができます。詳しくは、それぞれのOSのヘルプをご覧ください。

2　場所を設定する

プリンターの設置場所を設定しておくと、PrintAgentの機能を使ってプリンターの状況を確認するときや印刷終了通知を受け取ったときにプリンターの場所が参照できて便利です。Windows XPの手順を例にとってプリンターの場所を設定します。

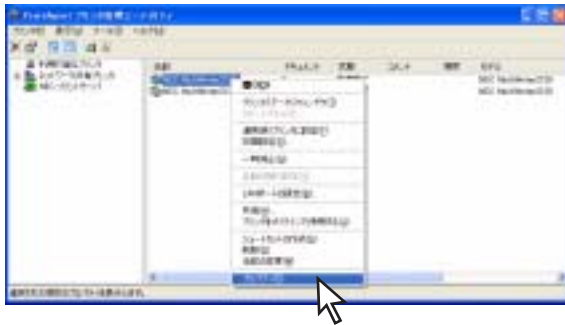
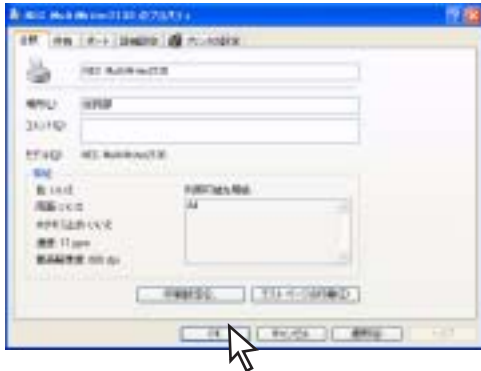
❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

❹ **リストビューから対象のプリンターを右クリックし［プロパティ］を選ぶ。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は［場所の設定］を選択し、［場所の設定］ダイアログボックスを表示させます。

❺ **場所を設定し、［OK］をクリックする。**

3　グループプリンタを作成する

以下の手順でグループプリンタを作成します。

❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

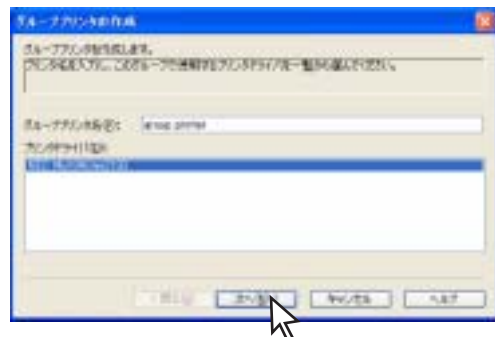
❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

❹ **［自動切替プリンタの作成］ウィザードを起動する。**

［プリンタ］メニューの［新規作成］をポイントし、［自動切替プリンタ］をクリックします。

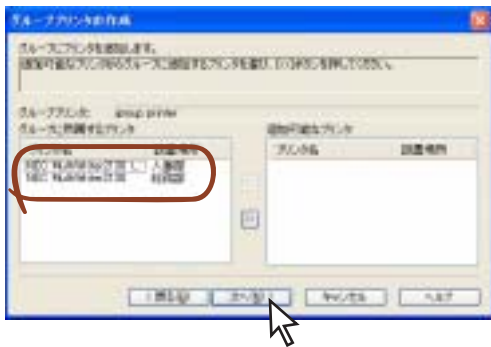
> ✔チェック
>
> グループプリンタを設定するためには、あらかじめ管理者インストールで、自動切替オプションがインストールされている必要があります。(PrintAgentの追加・削除については67ページを参照してください。)

❺ **［グループプリンタ名］を入力し、基本となる［プリンタドライバ］を選択し、［次へ］をクリックする。**

> ✔チェック
>
> 基本となるプリンタードライバーによって、選択できる構成プリンターが異なります。詳細な組み合わせは「グループプリンタとして設定可能なプリンター」（185ページ）を参照してください。

❻ **グループを構成するプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

［追加可能なプリンタ］ボックスから希望のプリンターを選び［<<］をクリックします。

チェック

Windows Me、Windows 98、Windows 95をプリントサーバーのOSとして使用する場合、追加できるプリンターは2台までです。

❼ **印刷の優先順位を設定し、［完了］をクリックする。**

希望のプリンター名を選び、［優先順位］の［▲］か［▼］をクリックして順位を変更します。

また、ここでグループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの［印刷ドキュメント一覧］で表示できる最大ドキュメント数も設定できます。（設定可能範囲は1～100）

4 グループプリンタを編集する

以下の手順でグループプリンタを編集します。

❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

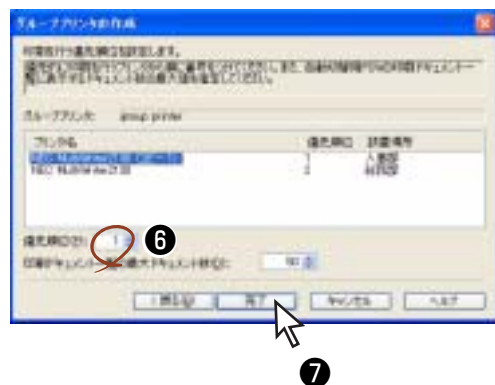
❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

❹ **リストビューから希望のグループプリンタを右クリックし、［自動切替の設定］をクリックする。**

❺ **必要に応じてプリンターを追加・削除する。**

［次へ］をクリックすると、［グループプリンタの編集］ダイアログボックスが表示されます。

❻ **必要に応じて印刷の優先順位や最大ドキュメント数を変更する。**

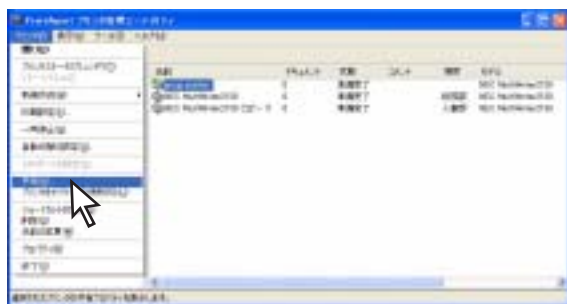
グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの［印刷ドキュメント一覧］で表示できる最大ドキュメント数も変更できます。（設定可能範囲は1～100）

❼ **［完了］をクリックする。**

Step 2　グループプリンタを共有プリンタにする

❶ ［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから［利用可能なプリンタ］のグループプリンタを選ぶ。

❹ ［プリンタ］メニューの［共有］をクリックする。

共有設定については、各OSのヘルプをご覧ください。

Step 3　共有されたグループプリンタに接続する

❶ クライアントコンピューター上の接続先で［ネットワークコンピュータ］を選択し、プリンターソフトウエアをインストールする。

プリンターソフトウエアのインストールについては、ユーザーズマニュアルの2章「プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。

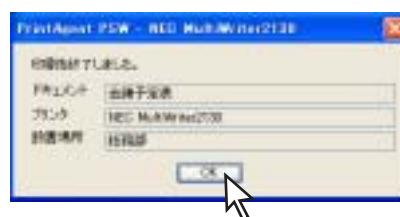
Step 4　グループプリンタへ出力する

ここでは、グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについて説明します。

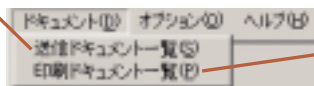
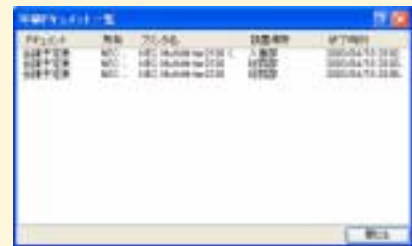
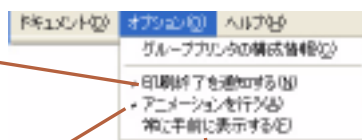
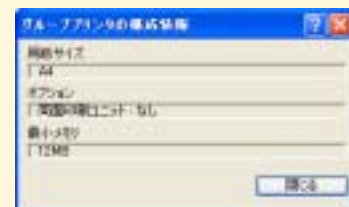
印刷方法

❶ 共有プリンタを接続先としてインストールしたプリンターを指定して、アプリケーションから印刷する。

❷ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して［OK］をクリックする。

印刷が終了すると、このような「印刷終了通知」が表示されます。

グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ

グループプリンタ使用時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、通常のプリンター用のプリンタステータスウィンドウを簡略したものが表示されます。このプリンタステータスウィンドウは複数台のプリンターステータスを扱うので、印刷ジョブの削除などプリンター個別の処理は［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］か［プリンタ一覧］で行ってください。

- ［ドキュメント］

- ［オプション］

リモート電源制御

ネットワーク上にあるLANプリンターの電源をプリンタステータスウィンドウからONすることができます。この機能を利用するためには次の手順が必要です。Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用になれます。

チェック

プリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

1 電源制御の設定をする
2 プリンターの電源をONにする

1 電源制御の設定をする

OSごとに次の手順で設定します。

チェック

LANアダプターの設定が正しく行われていることを確認してください。（設定方法はLANアダプターの取扱説明書またはLANアダプターに添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。）

<Windows XPの場合>

❶ ［プリンタと FAX］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

チェック

アカウントの種類が［コンピュータの管理者］のユーザーが設定してください。

❷ ［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

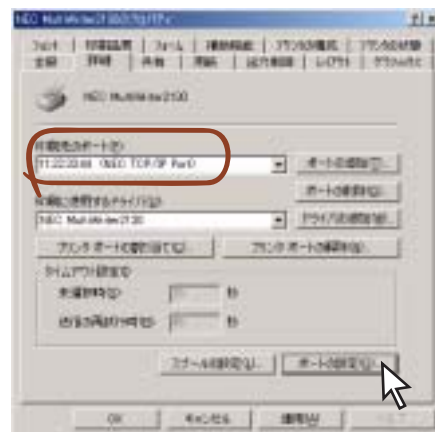
❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

<Windows Me/98/95の場合>

❶ ［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

❷ ［詳細］シートの［印刷先のポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの設定］を選択し、［NEC TCP/IP Printing System］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ **LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。**

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

<Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

❶ **［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。**

チェック

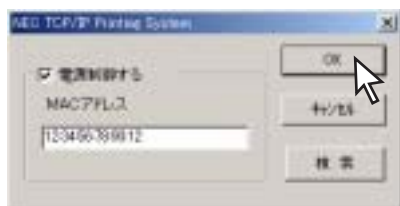
Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

❷ **［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。**

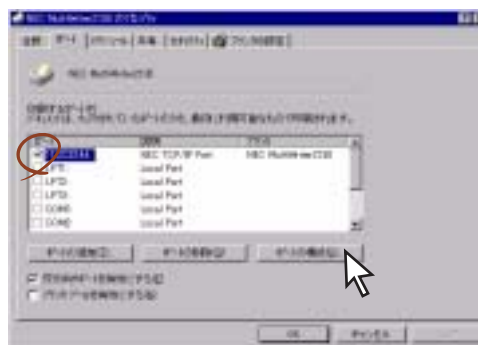
❸ **［電源制御する］をチェックする。**

❹ **LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。**

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

<Windows NT 4.0の場合>

❶ **［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。**

Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

❷ **［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。**

❸ **［電源制御する］をチェックする。**

❹ **LANアダプターの［MACアドレス］を入力し［OK］をクリックする。**

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

2 プリンターの電源をONにする

プリンタステータスウィンドウの［リモート電源ON］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択します。

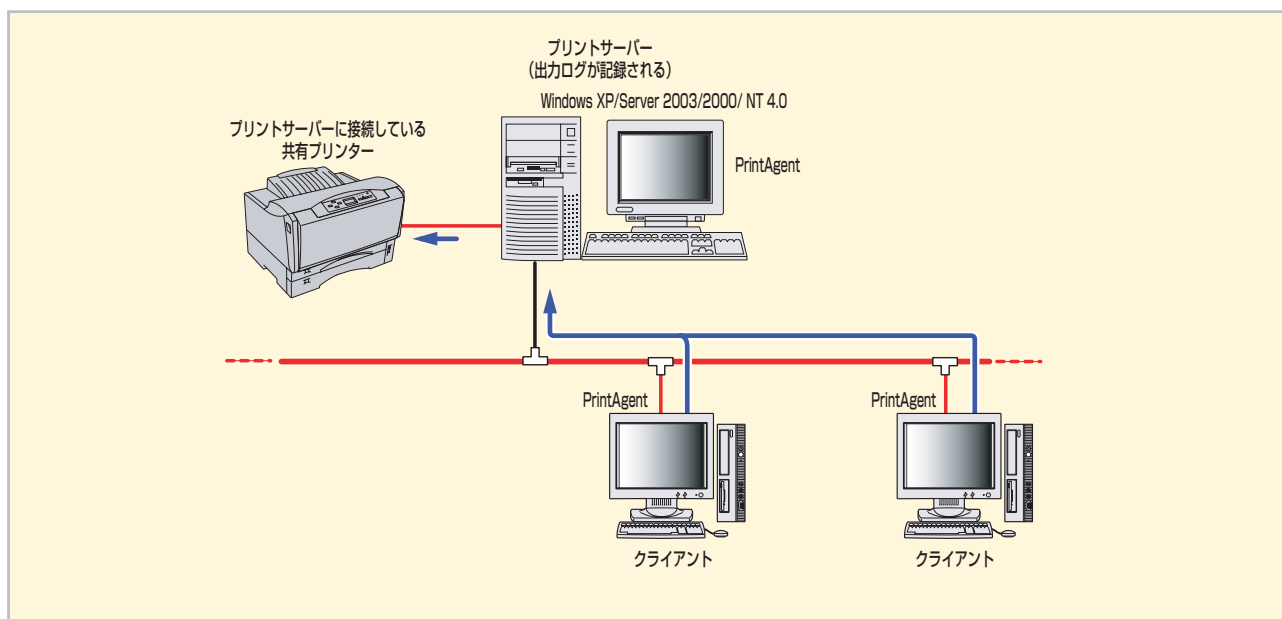
チェック

プリンタステータスウィンドウからプリンターの電源をOFFにすることはできません。プリンターの電源をOFFにするには、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを利用すると行えます。

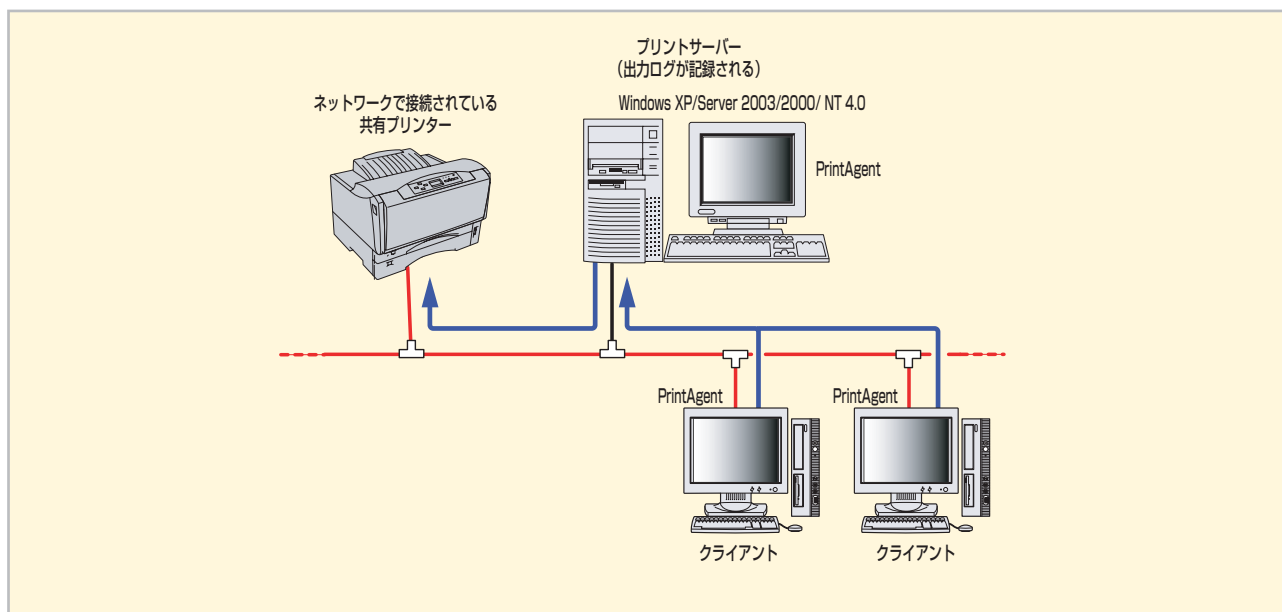
PrintAgentによる印刷ログの出力

PrintAgentがインストールされたプリント サーバーで管理されているプリンターが、どのくらい印刷したかを確認できるように、印刷履歴を残すことができる機能です。本機能はPrintAgentの機能で、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000とWindows NT 4.0に対応しています。
この機能を利用するにはPrintAgentがインストールされたプリントサーバーとMultiWriter 2130が以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

プリントサーバーが、直接接続されているMultiWriter 2130を共有プリンターに設定している例です。

ローカル接続されたプリンターの共有

ネットワーク接続

プリントサーバーが、ネットワークに接続されているMultiWriter 2130を共有プリンターに設定している例です。

ネットワークに直接接続されたプリンターの共有

設定方法

チェック

この設定が行えるのは以下の場合のみです。

- プリントサーバーがWindows XPの場合、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である。
- プリントサーバーがWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administratorsの権限がある。

1 印刷ログ出力機能を設定する
2 印刷ログファイルを出力する

1 印刷ログ出力機能を設定する

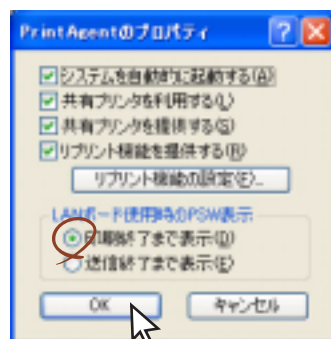
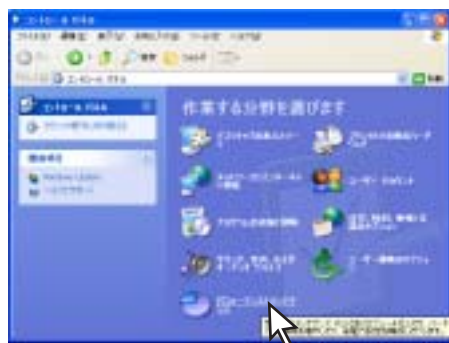
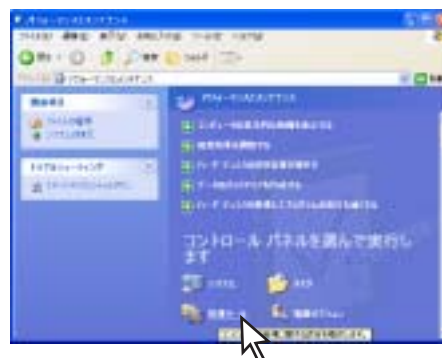
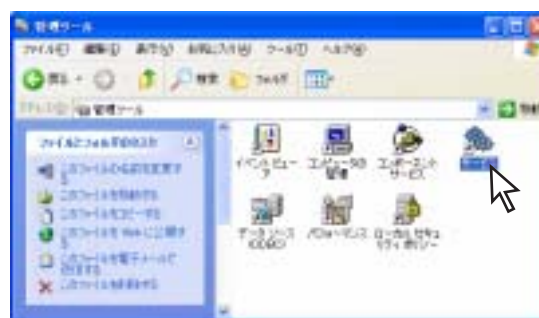
❶ **PrintAgentのプロパティを開く。**

「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニュー、または［スタート］メニューから［プログラム］を選び、［MultiWriter2130］の［PrintAgentシステムメニュー］から開きます。

❷ **［LANボード使用時のPSW表示］を［印刷終了まで表示］を選び、［OK］をクリックする。**

LANボード接続されているプリンターを共有している場合のみ、［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで設定してください。

この後の手順❸以降はOSごとに説明します。

<Windows XP/Server 2003の場合>

❸ **［コントロールパネル］の［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをダブルクリックする。**

❹ **［管理ツール］アイコンをダブルクリックする。**

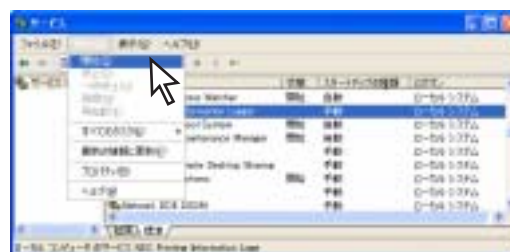
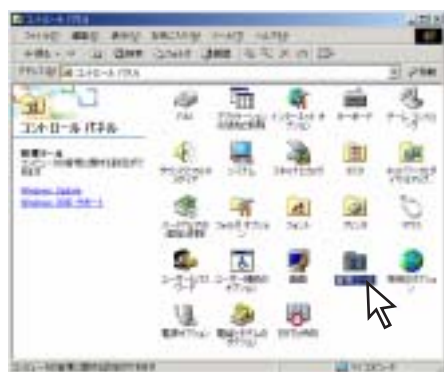
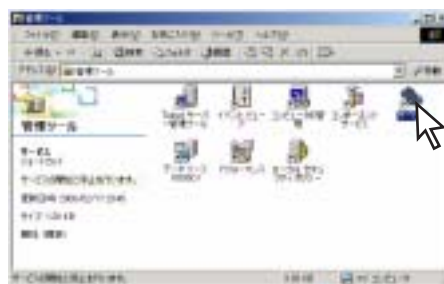
❺ **［サービス］アイコンをダブルクリックする。**

❻ **リストビューから［NEC Printing Information Logger］を選び、［操作］メニューの［開始］をクリックする。**

❼ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① ［操作］メニューから［プロパティ］を開く。

② ［全般］シートの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

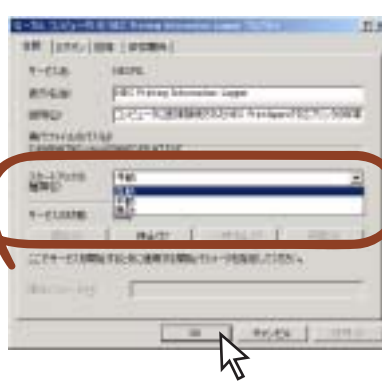
＜Windows 2000の場合＞

❸ ［コントロールパネル］の［管理ツール］アイコンをダブルクリックする。

❹ ［サービス］アイコンをダブルクリックする。

❺ リストビューから［NEC Printing Information Logger］を選び、［操作］メニューの［開始］をクリックする。

❻ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① ［操作］メニューから［プロパティ］を開く。

② ［全般］シートの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

＜Windows NT 4.0の場合＞

❸ ［コントロールパネル］の［サービス］アイコンをダブルクリックする。

❹ リストボックスから［NEC Printing Information Logger］を選んで、［開始］をクリックする。

❺ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① ［スタートアップ］をクリックする。

② ［サービス］ダイアログボックスの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

❷ 印刷ログファイルを出力する

印刷ログ出力機能を有効にする設定をして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というフォルダーが作成されます。

また、印刷が行われると、そのフォルダー内に「NEC MultiWriter 2130.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

PrintAgentをインストールした時、インストール先フォルダーをデフォルトのWindowsインストールドライブにインストールし印刷を行ったとき、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。なお、ログファイルのファイルネームはプリンタフォルダーに登録した名前になります。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 2130.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”，“ドキュメント名”，“ドキュメント所有者名”，印刷開始日，印刷開始時刻，印刷終了日，印刷終了時刻,印刷枚数,

（例） ログファイルの内容

```
"NEC MultiWriter 2130", "アドレス一覧 - メモ帳", "白井", 2003/06/23, 13:28:46,2003/06/23, 13:28:58, 2,
"NEC MultiWriter 2130", "「PrintAgent」ツールバーとは？", "井口", 2003/6/24, 13:29:11, 2003/6/24, 13:29:15, 1,
"NEC MultiWriter 2130", "W2Kprlog", "竹本", 2003/06/25, 13:30:09, 2003/06/25, 13:30:18, 1,
"NEC MultiWriter 2130", "会議資料", "川村", 2003/06/27, 13:30:38, 2003/06/27, 13:30:54, 4,
```

✔チェック

ログファイルについて

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".000", ".001"...のようになります。
- OSによっては、日付、時間の記録形式が上記の例とは異なる場合があります。

保守情報のメール通知

保守情報のメール通知機能は、設定されたプリンターのトナーが少なくなったときや、定期保守が必要になった時に自動的に電子メールを送信して管理者にプリンターの状態を通知する機能です。

メール通知の設定は、ご利用のコンピューターで［利用可能なプリンタ］としてインストールされたプリンターのみに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターとグループプリンタには設定できません。

To：xxxx@yyy.zzzz
From：日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Reply-To：日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Cc：zzzz@xxxx.yyyy
Subject：[PA Report]保守情報の自動通知

NEC MultiWriter PrintAgent メール通知
通知概要：EPカートリッジ交換
プリンタ名：NEC MultiWriter2130
通知アラーム：76 トナーナシ
通知アラーム検出：2003/06/20　00:00

入り口近くの柱の脇にあるプリンターです。
EPカートリッジを交換してください。
****
NEC ☆※部
日電太郎
東京都○×区△1丁目2番3号
□■ビル 1F
03-XXXX-XXXX
****

保守情報の通知例

設定方法

❶ ［PrintAent プリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから［利用可能なプリンタ］の［MultiWriter2130］を選ぶ。

❹ ［ツール］メニューの［メール通知の設定］をクリックする。

［メール通知の設定］ダイアログボックスが表示されます。

❺ **メール送信情報と、ユーザー情報を入力する。**

✔チェック

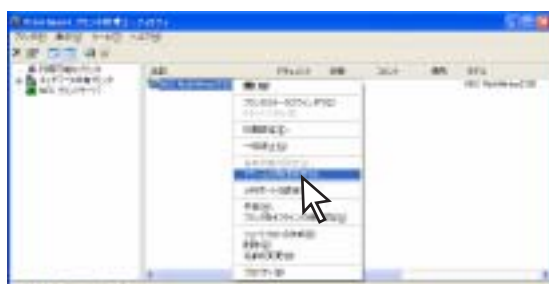
メール送信元情報の項目は必須です。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のすべてが入力されていないと設定が終了できません。

このダイアログボックスの設定は、メール通知設定の共通設定です。このダイアログボックスで各種設定を行っておくと、複数のプリンターのメール通知設定のときに複写でき、便利です。

［メール送信情報］シート

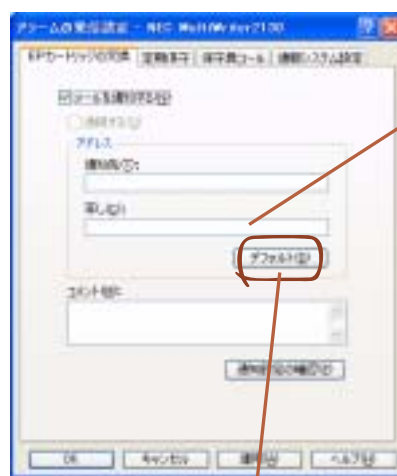
［ユーザ情報］シート

❻ **リストビューから希望のプリンターを右クリックし、メニューの［アラームの発信設定］をクリックする。**

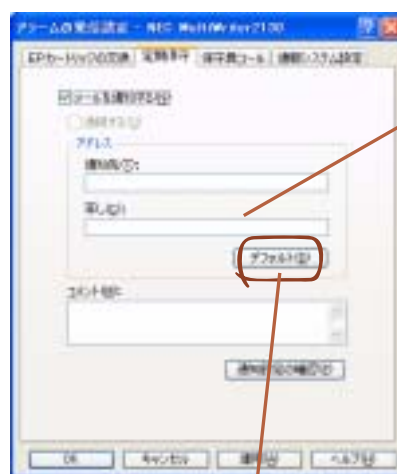
［アラームの発信設定］ダイアログボックスが表示されます。

❼ **必要に応じて EP カートリッジの交換と定期保守の設定の通知先情報を入力する。**

［通知設定の確認］をクリックして送信されるメールのイメージを確認してください。

✔チェック

- 保守員コール、通報システム設定シートの設定は、お客様はご利用頂けません。設定は行わないでください。
- 通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。
- 「定期保守通知」は印刷枚数が 10万、20万、30万、40万、50万ページに達したら、その都度一回だけ発信されます。

このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので、改めてここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

［EPカートリッジの交換］シート

このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので、改めてここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

［定期保守］シート

このチェックはしないでください。
［保守員コール］シートは将来の保守サービス用です。お客様の設定は必要ありません。

［保守員コール］シート

このチェックはしないでください。
［通報システム設定］シートは将来の保守サービス用です。お客様の設定は必要ありません

［通報システム設定］シート

メール通知ログファイルの出力

PrintAgentでは、保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）で通知したメールの履歴をログ情報としてプリントサーバーの［PrintAgent］フォルダーに出力し、記録させることができます。

メール通知が行われると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というサブフォルダーが作成され、そのサブフォルダー内に「PAMail.log」というログファイルが作成されます。
また、PrintAgentをインストールした時のインストール先ディレクトリーを変更せずに（Cドライブ）にインストールした場合、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥PAMail.log

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要

エラーが検出されメール通知が行われなかった場合には次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時 ：通知先：写し：プリンター名：通知概要：エラー情報

Web PrintAgent

Web PrintAgentとは、ネットワーク上のクライアントコンピューターの汎用ブラウザーを利用して、プリントサーバーが管理しているプリンターの状態や設定を参照することができる機能です。

次の手順でWeb PrintAgentの準備をします。

❶ **プリントサーバーのコンピューターに Web サーバーをインストールする。**
Webサーバーはマイクロソフト社のホームページからダウンロードするかOSに添付のものを使用してください。

❷ **クライアントのコンピューターにブラウザーソフトウエアをインストールする。**

❸ **プリントサーバーのコンピューターに、Web PrintAgentをインストールする。**
プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールします。（詳しくは2章の「プリンター管理者用インストール」（67ページ）を参照してください。）

お使いのブラウザーで次の場所を指定して開くと、以下のトップページ画面が表示されます。詳細なWeb PrintAgentの使い方についてはWeb PrintAgentの「ヘルプ」を参照してください。

```
http://xxx.xxx.xxx.xxx/webpa/
```

下線部はWebサーバーをインストールしたコンピューターのIPアドレスか、IPアドレスと対応させたコンピューター名です。

上記の画面はMicrosoft Internet Explorer 6.0 日本語版で表示したときの例です。お使いのブラウザーの種類、バージョンによって画面の表示が多少異なります。また、画面のデザインはソフトウエアの改版によって変更されることがあります。

プリンタードライバーのバージョンアップ

MultiWriterには、プリンターソフトウエアCD-ROMからとネットワーク上のサーバ-クライアント環境で自動的にクライアントへプリンタードライバーの自動配信を行う機能があります。これにより、プリンタードライバーの更新の手間を大幅に軽減します。

プリンターソフトウェアCD-ROMからの更新

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバー（OSに収録されているプリンタードライバーも含む）について、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタードライバーのバージョンが新しい場合に、自動的にバージョンアップ（更新）することができます。

動作環境

以下のOSで使用が可能です。

- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows 95 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0 日本語版

設定方法

ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

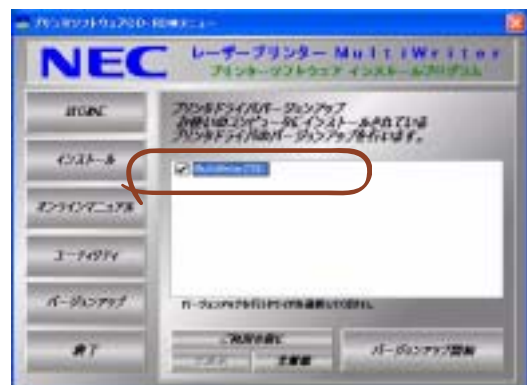
❶ **プリンターソフトウエア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **画面左側の［バージョンアップ］をクリックする。**

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバーの内、バージョンアップの対象となる製品名が表示されます。

❸ **製品名のチェックボックスをクリックし、バージョンアップを行う製品を選択する。**

または［全追加］［全削除］をクリックすることで、対象製品をすべて選択したり、解除することができます。

❹ ［バージョンアップ開始］をクリックし、プリンタードライバーをバージョンアップする。

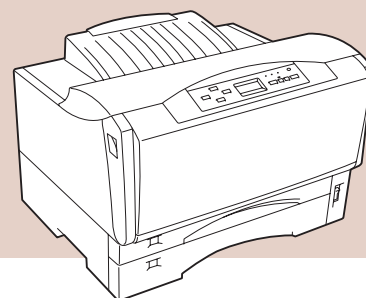
確認メッセージが表示されます。［OK］をクリックするとバージョンアップが開始されます。

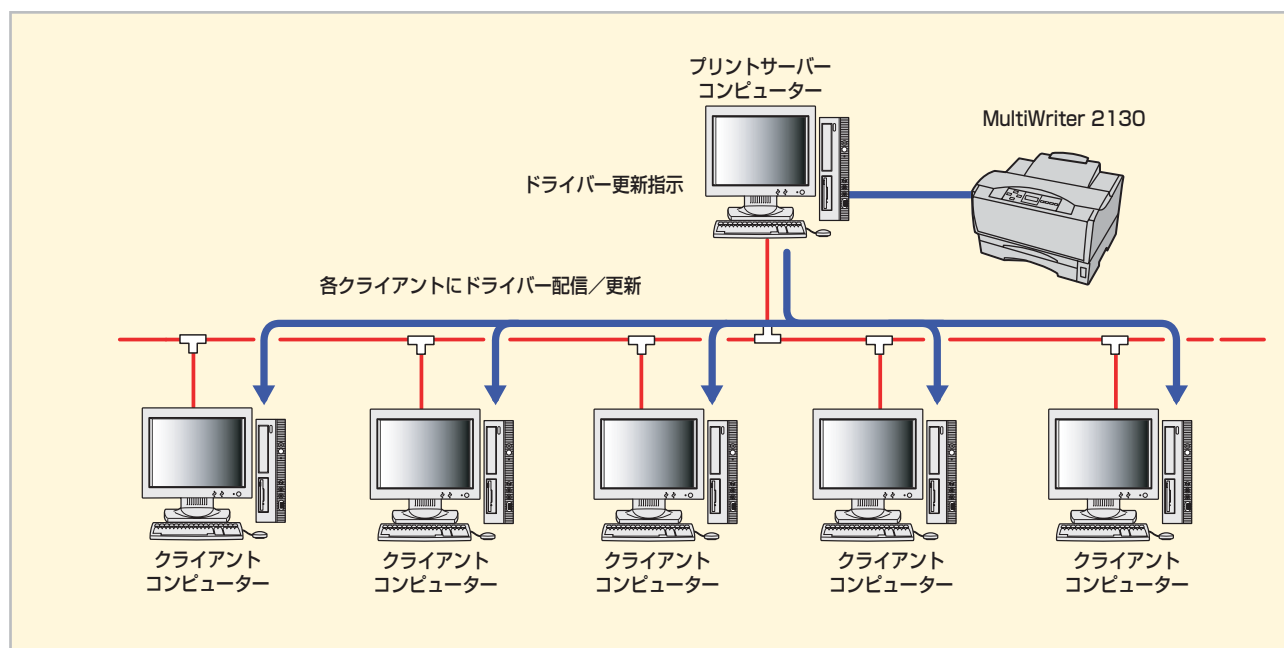
バージョンアップが終了すると、終了メッセージが表示されます。

チェック

OSの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージが表示されます。表示された場合は、再起動を行ってください。再起動しない場合は、正しくプリンタードライバーの更新が行えない場合があります。

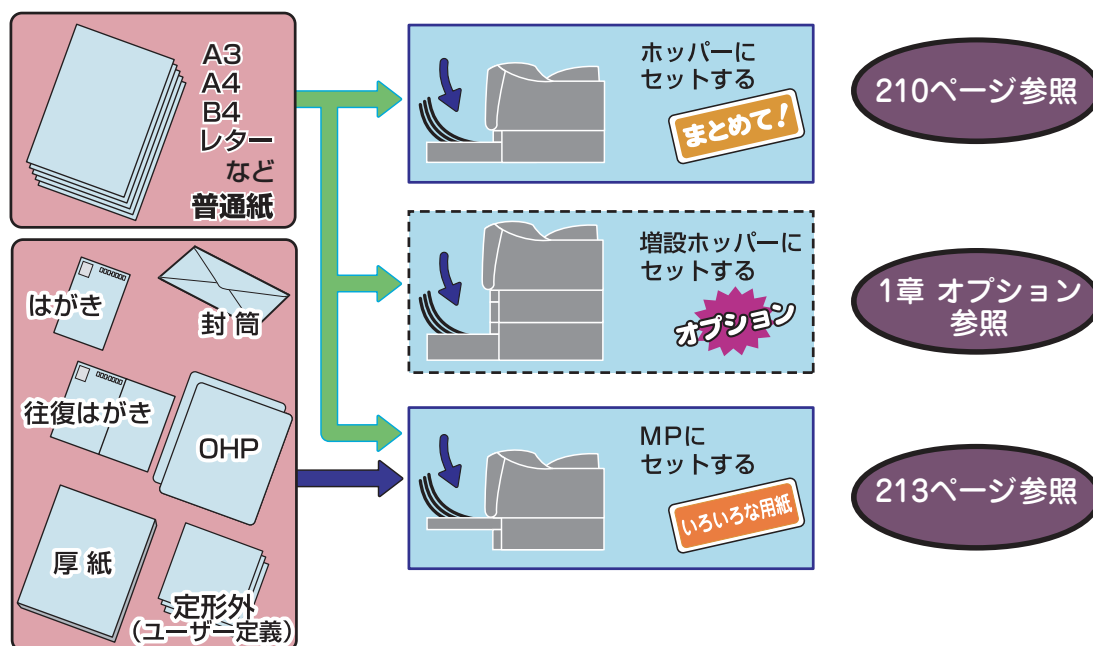
使用上の注意事項

- バージョンアップを行えるのはプリンタードライバーのみです。PrintAgentのバージョンアップは行えません。
- OS に添付されているプリンタードライバーをインストールされている場合も自動バージョンアップの対象となります。この場合は、CD-ROMに格納されているプリンタードライバーに置き換わります。
- Windows XP、Windows Server 2003にインストールしようとしている時に、他のユーザーがそのコンピューターにログオンしている場合は、インストールできません。すべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPでご使用になる場合には、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］の権限を持ったユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0 でご使用になる場合には、Administratorsの権限を持ったユーザー名でログオンしてください。Administrators権限を持たないユーザー名でログオンした場合にはバージョンアップを行えません。

MultiWriter ドライバ配信機能

ネットワーク上のサーバークライアント環境で自動的にクライアントコンピューターへプリンタードライバーの配信を行い、更新を行う機能です。

詳しくは、プリンターソフトウェアCD-ROMの¥MWDUPフォルダーのReadme.txtおよび¥MWDUP¥MANUALフォルダーのオンラインマニュアル（HTML形式）を参照してください。

5章
用紙のセット

この章では、本プリンターで使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。
本プリンターは、豊富な給紙機構（ホッパー、MP）を持つプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

本プリンターでは大量給紙をするのに便利なリレー給紙機能がご利用できます。ホッパー、MP、増設ホッパーに用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については1章の「リレー給紙の設定」（26ページ）をご覧ください。

用紙について

ここでは本プリンターで使用できる用紙、用紙のセット方向について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については付録 「技術情報」（311ページ）を参照してください。

給紙口	セットできる用紙		
	種類	サイズ	枚数*3
標準ホッパー	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250
	ラベル紙	A4、B4	30
MP	普通紙*1（乾式PPC用紙）	ー　A3、B4、A4、B5、A5、レター ー　定形外用紙（100～297×148～420mm）	100
	厚紙*2		ー
	ラベル紙	A4、B4	30
	はがき	はがき、往復はがき	30
	OHPフィルム	A4	30
	封筒	洋形4号	10
増設ホッパ（250）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250
増設ホッパ（500）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、レター	500

*1　坪量64.0～81.4g/m²（連量55～70kg）の用紙です。
*2　坪量81.4～128g/m²（連量70～110kg）の用紙です。
*3　坪量64.0g/m²（連量55kg）の用紙を使用した場合です。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、定形外用紙をセットする際の注意事項については216～218ページに記載していますので、併せてお読みください。

- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
  - 無塵紙
  - 裏写り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
  - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
  - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
  - ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ミシン目のある用紙、穴あき用紙
  - 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
  - シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
  - ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - のりが付いている封筒
  - 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
  - 次のような状態のラベル紙
    台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
  - すでに一度印刷した用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙も含む）

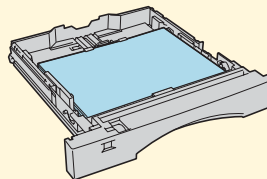
- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。

用紙のセット方向

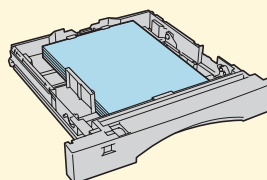
標準ホッパー、MPにはA4サイズの用紙を横置き、縦置きのどちらの方向でもセットできます。また、MPには往復はがきを横置き、縦置きのどちらの方向でもセットできます*。

横置き

右図のように横置きにセットできる用紙サイズは次の5種類です。

B5、A5、A4、レター、往復はがき

縦置き

右図のように縦置きにセットできる用紙サイズは次の6種類です。

A3、B4、A4、はがき、往復はがき、封筒

* 往復はがきをMPにセットする場合は、あらかじめ「用紙をセットする時の注意」の「はがき、往復はがき」（216ページ）をお読みください。

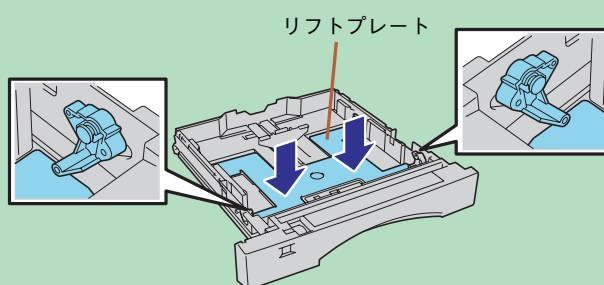
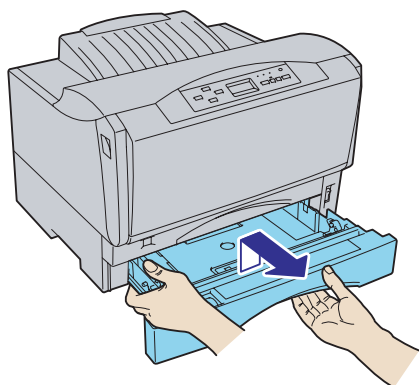
ホッパーに用紙をセットする

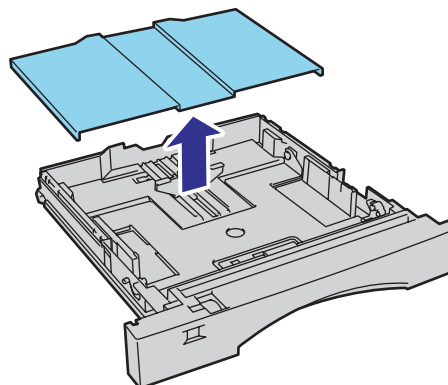
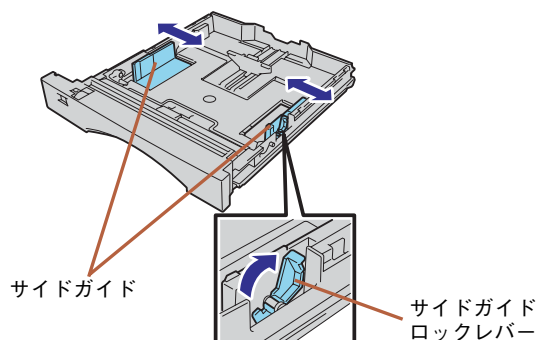
ホッパーから印刷するには、標準カセットに用紙をセットします。用紙は坪量64.0g/m^2（連量55kg）の普通紙なら250枚までセットできます。

重要

- ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 標準カセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

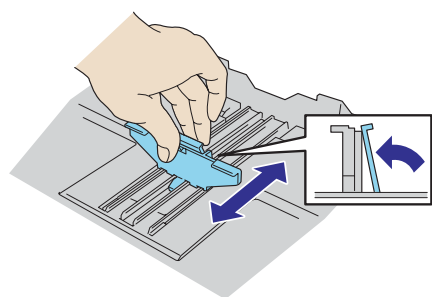
チェック

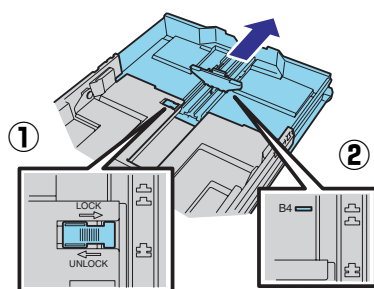
- 標準カセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、標準カセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。
- 出荷時の用紙サイズ設定ダイヤルは「A4 ヨコ」に設定されています。

❶ **標準カセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

❸ **サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。**

❹ **エンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。**

<B5、A5、A4、レターサイズの場合>

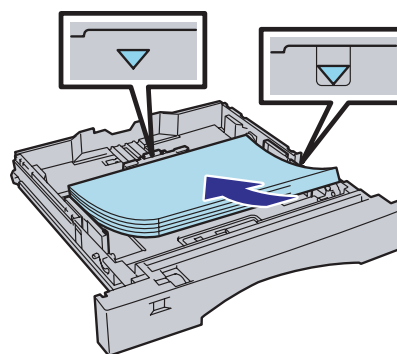
エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

<B4、A3サイズの場合>

① スライドカセットロックを左に動かして、“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。

② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、“B4”または“A3”表示に合わせます。

❺ **印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。**

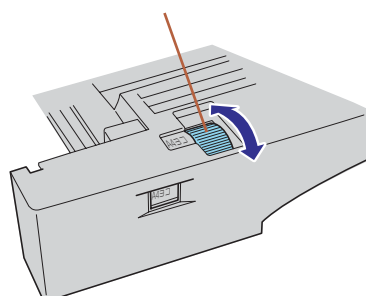
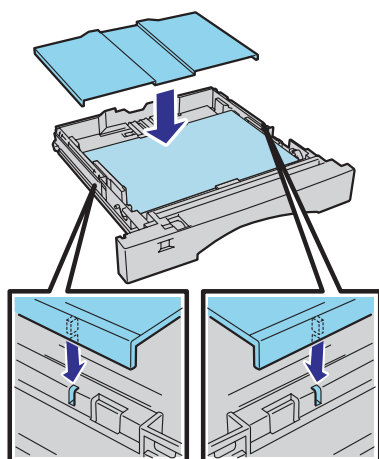
用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

チェック

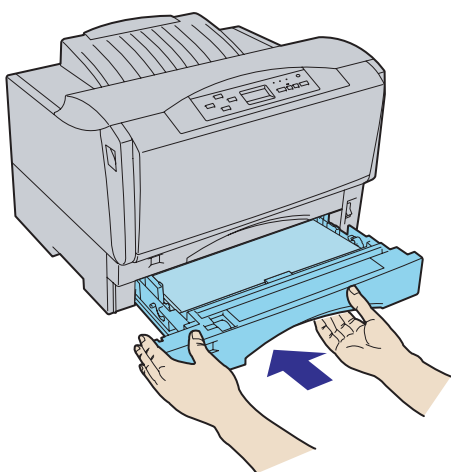
- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示（▽）を越えないようにしてセットしてください。
- 1　つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

❻ **用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせる。**

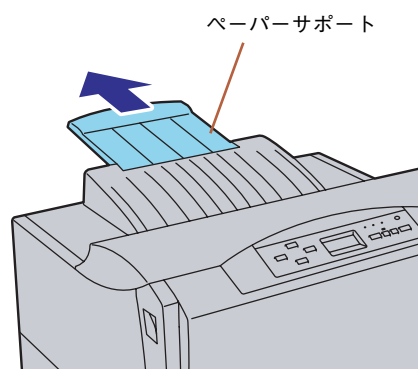
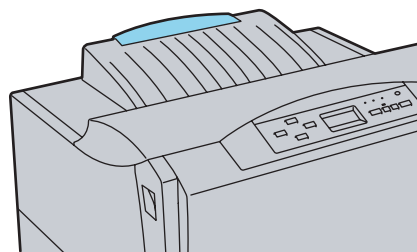
重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

用紙サイズ設定ダイヤル

❼ 用紙カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて取り付ける。

❽ 標準カセットを両手でゆっくり取り付ける。

重要

用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

❾ ペーパーサポートを引き出す。

A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。

A3、B4サイズ以外の場合は、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど、癖がつかないように平らな場所に水平にして保管してください。

MPに用紙をセットする

MPとは「マルチパーパス（多用途）」のことで、いろいろな種類の用紙をセットすることができる給紙機構を指します。MPから印刷するには、MPカセットに用紙をセットします。MPカセットには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

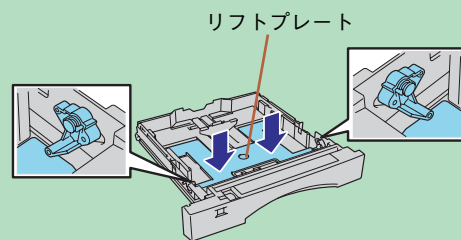
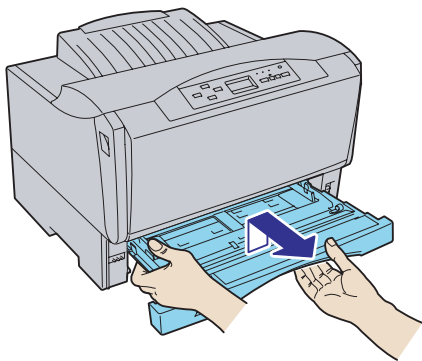
MPカセットの容量は坪量64.0g/m^2（連量55kg）の普通紙で約100枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙は約30枚、封筒は約10枚セットすることができます。

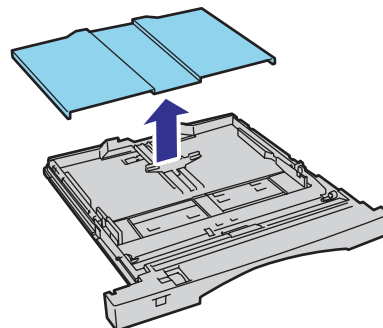
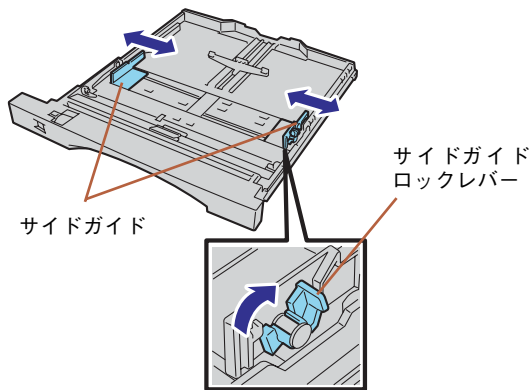
厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」-「ヨウシシュベツ」-「MPヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は「メニューモード」（229ページ）を参照してください。厚紙は坪量81.4～128.0g/m^2（連量70～110kg）までセットすることができます。

重要

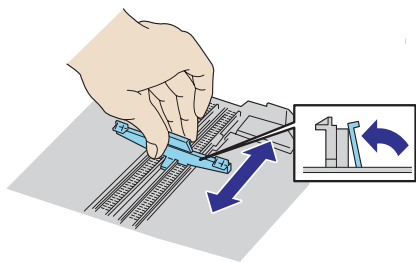
- MPカセットにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）をMPカセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- MPカセットにレターサイズ、はがき、往復はがき、および封筒をセットした時は、MPカセットの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は6章「操作パネル」（219ページ）を参照して、[MP]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。
- MPカセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

チェック

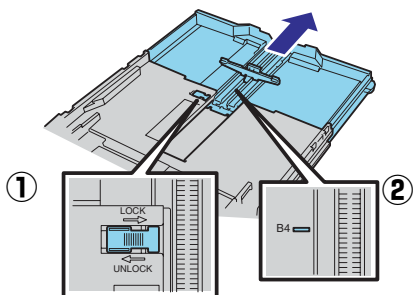
- MPカセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、MPカセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。
- 出荷時の用紙サイズ設定ダイヤルは「A4 タテ」に設定されています。

❶ **MP カセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

❸ サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。

❹ エンドガイドを使用する用紙サイズに合わせる。

<B5、A5、A4、レターサイズ、はがき、封筒、往復はがきの場合>

エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

<B4、A3サイズもしくはA4縦以上の定形外用紙の場合>

① スライドカセットロックを左に動かしに“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。

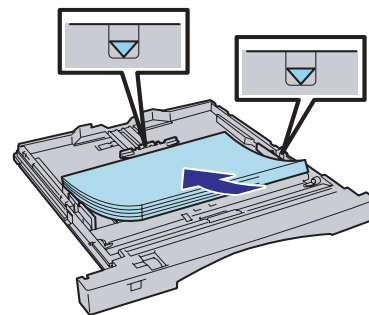
② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズの表示に合わせます。

❺ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

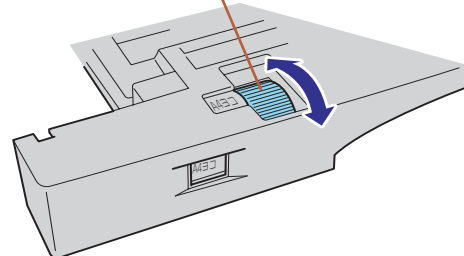
A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

A4サイズ、OHPフィルム、往復はがきは縦置き、横置きどちらでも用紙をセットできます。

用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

チェック

- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示（▽）を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

❻ 用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに設定する。

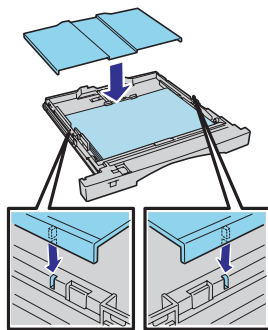
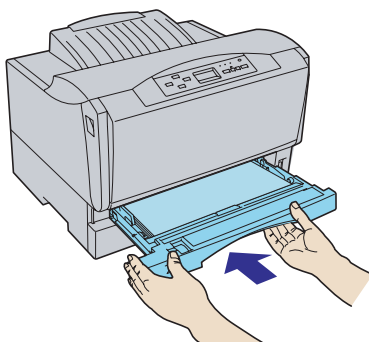
はがき、往復はがき、封筒、レターサイズ、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルの表示を「＊」に設定してください。

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

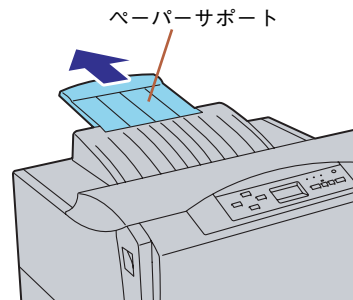
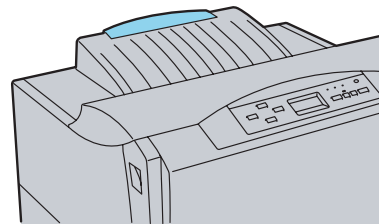
❼ はがき、往復はがき、封筒、レターサイズをセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する。

操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[MP]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。（操作パネルの詳細は219ページ参照。）

> **チェック**
>
> - 用紙サイズ設定ダイヤルをあらかじめ「＊」に設定していないと、[MP]スイッチによる用紙サイズ設定はできません。
> - 定形外用紙の場合は用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定してください。

❽ 用紙カセットカバーをMPカセットの溝に合わせて取り付ける。

❾ MPカセットを両手でゆっくり取り付ける。

> **重要**
>
> 用紙をセットしたMPカセットは、重くなっています。取り付ける際はMPカセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

❿ ペーパーサポートを引き出す。

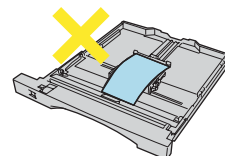
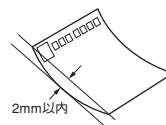
A3、B4サイズ、またはA4縦以上の定形外用紙の場合、ペーパーサポートを引き出します。

上記以外の場合、そのままお使いください。

> **残った用紙の保管方法**
>
> 残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。
>
> - 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
> - キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
> - 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

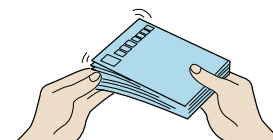
用紙をセットする時の注意

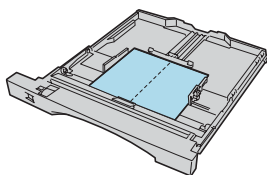
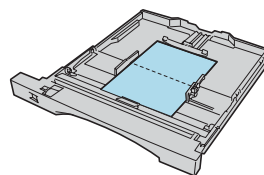
はがき、往復はがき

重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でMPカセットにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が 2mm 以内になるように反りを直してください。反りがある用紙をMPカセットにセットする場合は、反りの方向を直して（反っている凸面を下にして）セットしてください。

- 印刷所で印刷を施された官製はがき（年賀状など）には裏写り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。

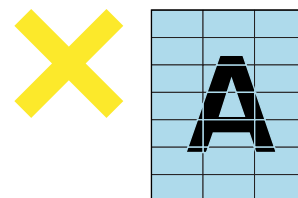
- はがきをまとめて MP カセットにセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。

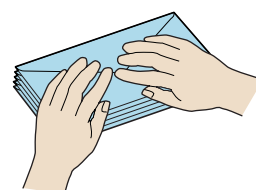
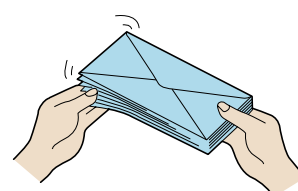
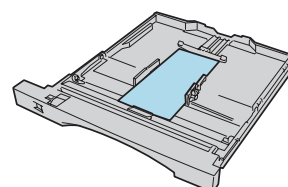
- 往復はがきを MP カセットにセットする場合は、横置き、縦置きのどちらでもセットできます。横、縦置きにセットできる向きを、それぞれ下図に示します。操作パネルで設定する際にご注意ください。

往復はがき　横置き

往復はがき　縦置き

OHPフィルム、ラベル紙

- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、MPに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

封筒

重要

フラップ（封筒の折り返し部分）面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

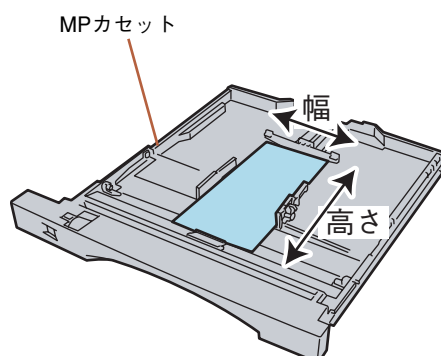
- 封筒は、洋形4号、内カマス、のりなしをご使用ください。
ただし、封筒の材質により、ご使用になれない場合があります。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ（封筒の折り返し部分）をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。

- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。

- MPカセットにセットする場合は、印刷する面を上にして縦方向にセットしてください。

定形外用紙

重要

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

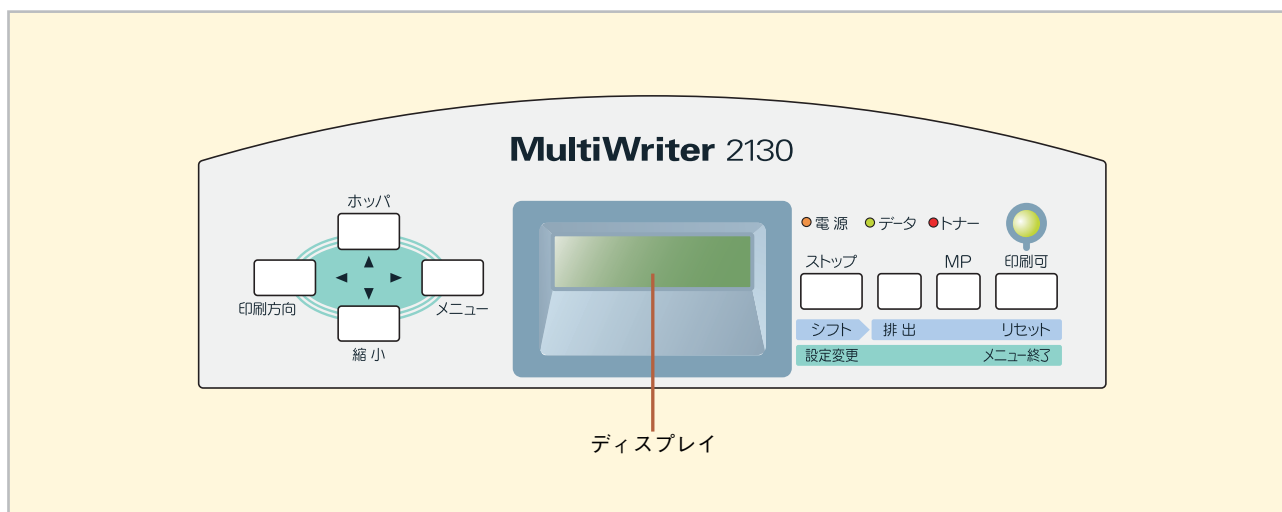
チェック

Windows環境以外から印刷を行う場合、メニューモードの「用紙メニュー」で「テイケイガイヨウシ」を「ON」にする必要があります。詳細は7章の「メニューモード」（229ページ）を参照してください。

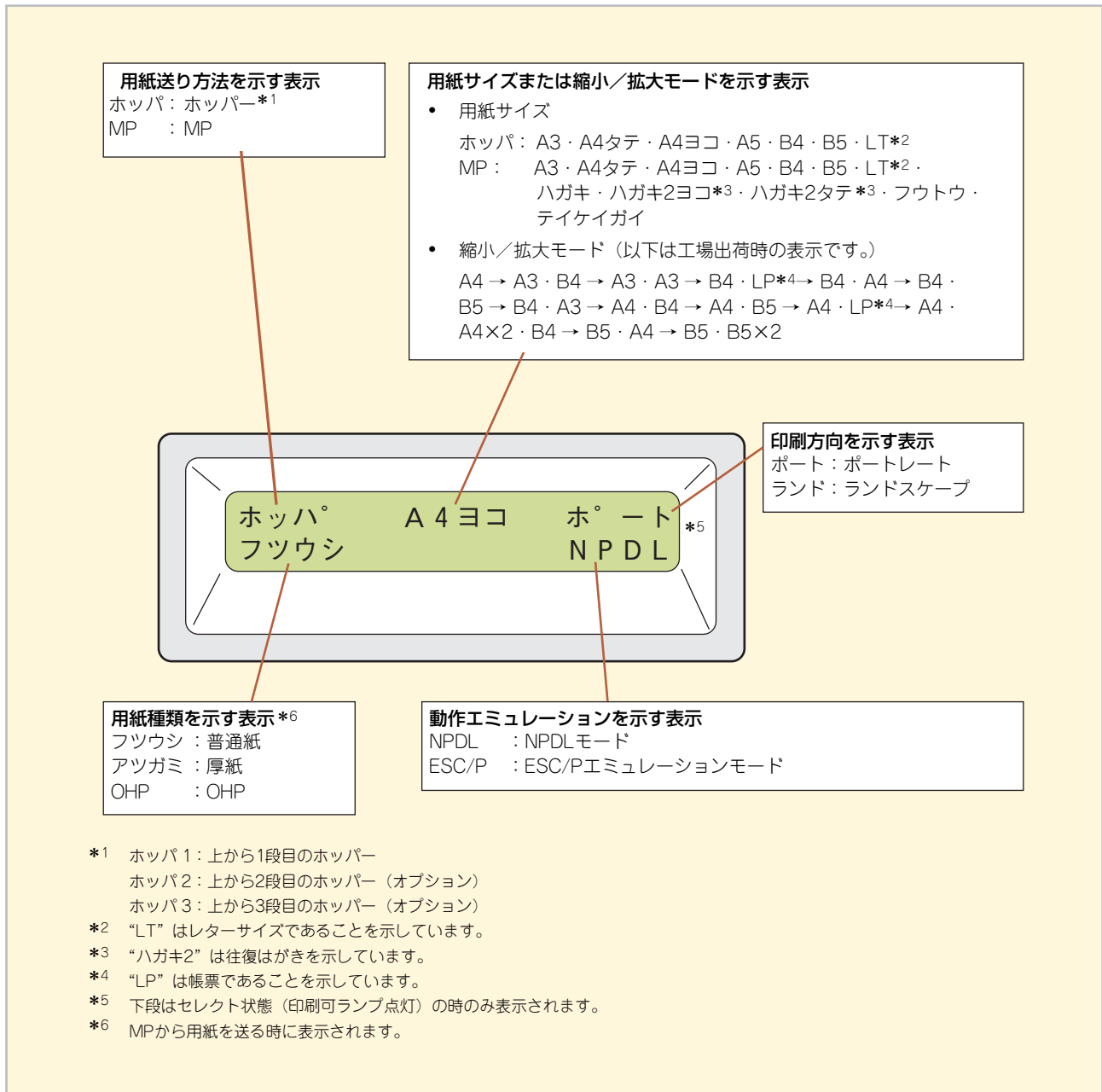
- 対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。
- 定形外用紙の用紙サイズについて
  幅は100～297mm、高さは148～420mmです。

6章
操作パネル

この章では、操作パネルにあるスイッチやランプについて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主にNPDL（Level 2）で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

ESC/Pエミュレーションでは、一部機能が異なります。詳しくは232～233ページの表をご覧ください。

操作パネル

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については本書の9章の「アラーム表示が出ているときは」（270ページ）、「メニューツリー」（234～240ページ）または、「ディスプレイ表示一覧」（375ページ）をご覧ください。

ランプ

印刷可ランプ（緑／赤）

点灯（緑）　プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。

点滅（赤）　点滅を繰り返し、30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。

カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については本書の9章「アラーム表示が出ているときは」（270ページ）をご覧ください。

消灯　プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。（ただし、I/F設定がECPモード中は印刷データを受信します。）

○電 源

電源ランプ（緑）

点灯　プリンターの電源がONになっています。

消灯　プリンターの電源がOFFになっています。

○データ

データランプ（橙）*

* I/F設定がECPモード中にディセレクト状態でデータ受信しているときはデータランプは点滅/点灯しません。

点灯
- プリンター内に印刷データが残っています。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

点滅　プリンターが印刷データを受信中です。

消灯
- プリンター内にデータが残っていません。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

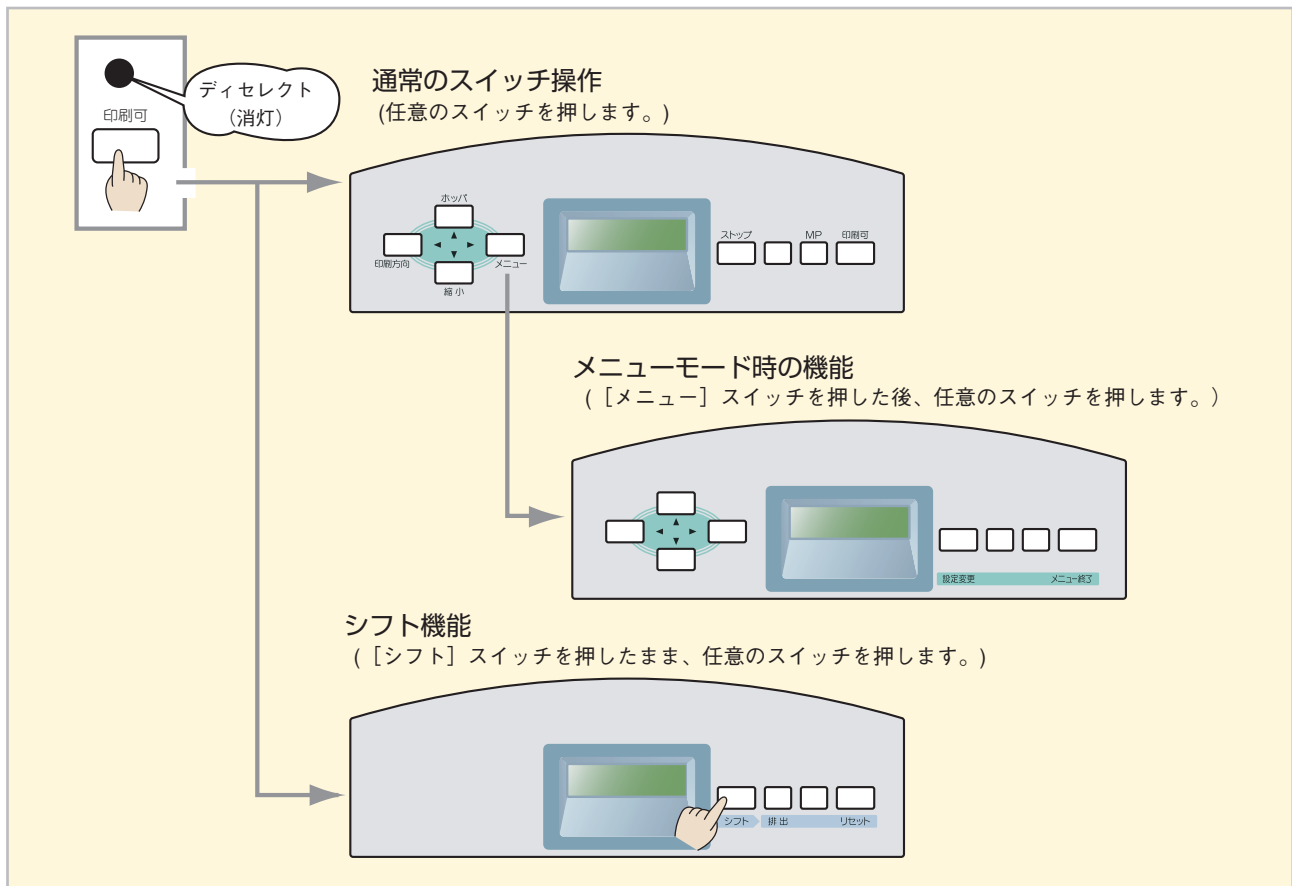
○トナー

トナーランプ（赤）

点灯　EPカートリッジのトナーの残量が少ない、またはEPカートリッジの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については8章「EPカートリッジの交換」（259ページ）をご覧ください。

消灯　EPカートリッジのトナーが十分にあります。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。

スイッチのモード

通常のスイッチ機能	—	[印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になって初めて機能します（[ストップ]スイッチを除く)。
メニューモード時のスイッチ機能	—	[メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
シフト時のスイッチ機能	—	[シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。

✔チェック

- 印刷可ランプが赤に点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(270ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルにおいて、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

通常のスイッチ機能

[印刷可] スイッチ

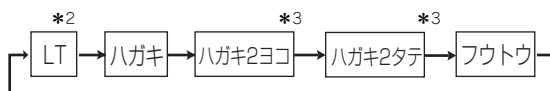
このスイッチはプリンターが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。
スイッチを押すごとにデータを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯）と受信できない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）に交互に切り替わります。

[MP] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先をMPにする。＊1
ホッパーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、MPから用紙を給紙する状態に切り替わります。

MP給紙の用紙サイズを変更する。
MPにA3、A4、A5、B4、B5をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズの設定をしますが、レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定し、このスイッチを押して用紙サイズを設定します。このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

チェック

MPに用紙をセットした後は、用紙サイズ設定ダイヤル、および[MP]スイッチで用紙サイズを変更してください。

＊1 ［ホッパ］スイッチでもMP給紙を選択することができます。
＊2 「LT」は「レター」を意味します。
＊3 「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

[ストップ] スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。
印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。

受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。

印刷を再開するときは、［印刷可］スイッチを押します。

アラーム音を止める。
アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。

[メニュー] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

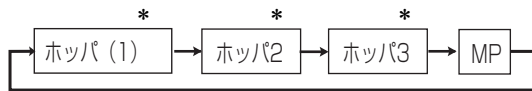
メニューモードに入る。
このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

[ホッパ] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を選択する（ホッパーを使用しているとき）。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパー /MPを次のように切り替えます。（選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。）

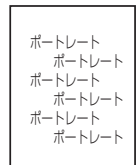
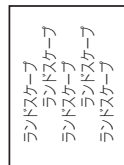
このスイッチを押したときの用紙サイズは、指定された給紙口の用紙サイズ設定ダイヤルにより自動設定されます。ただし、MP給紙で用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定した場合は[MP]スイッチで設定した用紙サイズとなります。

＊　増設ホッパー装着時のみ表示されます。

[印刷方向] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

[縮小] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド（FS f c 1 c2 c3）によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル」をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小／拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 →（繰り返し）

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 [*1] → A3→A4 → A4×2 [*2] → B5→A4 → A4 →（繰り返し）

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 [*1] → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 →（繰り返し）

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 [*3] → B5 →（繰り返し）

---

*1　LPは帳票サイズ（136桁×66行）を意味します。
*2　A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。
*3　B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

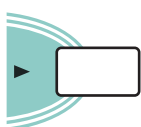
メニューモード時のスイッチ機能

[メニュー終了] スイッチ

メニューモードを終了させる。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

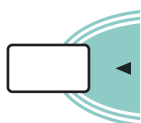
[設定変更] スイッチ

設定変更したい項目（レベル3）を選択する。
メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。

なお、メニューモードのレベルについては、234～240ページの「メニューツリー」を参考にしてください。

[▶] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[→]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル（レベル2またはレベル3）の項目を選択することができます。

[▲] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↑]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

[◀] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[←]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル（レベル1またはレベル2）の項目を選択することができます。

[▼] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↓]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」（234～240ページ）をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

[シフト] スイッチ

このスイッチが押されている間、[MP]スイッチおよび[印刷可]スイッチの2つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

[排出] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している（ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている）ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

［シフト］スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、インタフェース設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。

チェック

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

[リセット] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

［シフト］スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態（電源スイッチON直後の状態）になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態（電源ON直後の状態）に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は「NPDLの初期状態」（331ページ）をご覧ください。

7章
メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

操作パネルでの設定方法

メニューモードの設定変更のしかた

❶ **［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

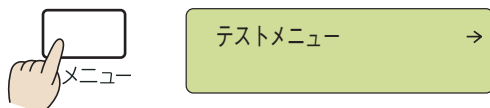
❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

データ

❸ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示します。

テストメニュー　→

❹ **メニューモードの設定を変更する。**

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および234～240ページの「メニューツリー」を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

［◀］、［▼］、［▶］、［▲］スイッチ：

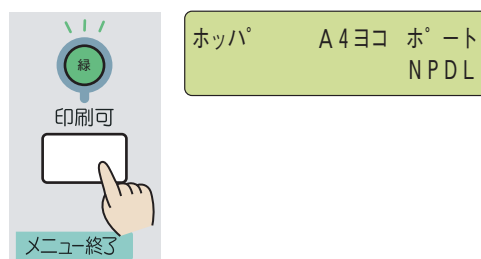
このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。

［設定変更］スイッチ：

押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。

ﾎｯﾊﾟ　　A4ﾖｺ　ﾎﾟｰﾄ
NPDL

メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、2段目にオプションの増設ホッパ（500）を取り付けた場合のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「7-4」です。

❶ **プリンターの電源をONにする。**

❷ **［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○ データ

❹ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示します。

テストメニュー　→

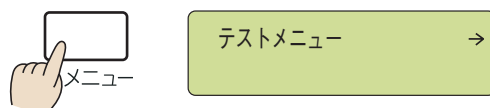
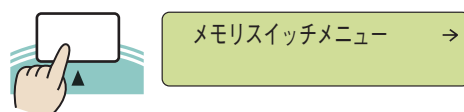
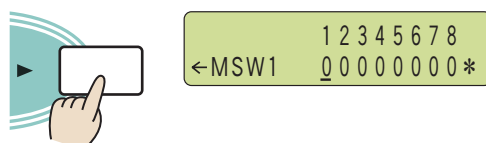
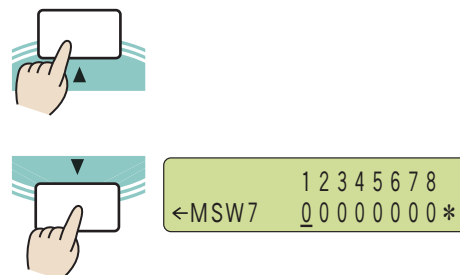
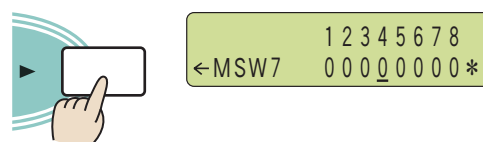
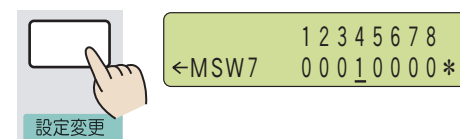
❺ **［▲］スイッチを1回押す。**

ディスプレイに“メモリスイッチメニュー　　→”と表示します。

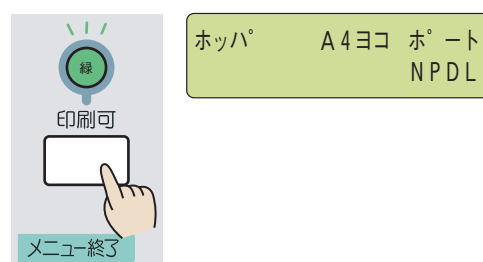
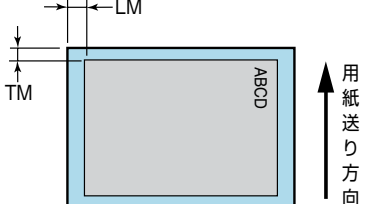
メモリスイッチメニュー　→

❻ **［▶］スイッチを1回押す。**

“MSW1”が表示されます。

12345678
←MSW1　00000000*

❼ **［▲］スイッチ、または［▼］スイッチを押して、“MSW7”を表示させる。**

❽ **［▶］スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動する。**

❾ **［設定変更］スイッチを1回押して、MSW7-4を“1”に変更する。**

❿ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。

ﾎｯﾊﾟ　A4ﾖｺ　ﾎﾟｰﾄ
NPDL

メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定の一部はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

メニューモード設定項目一覧

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、プリンターの状態が印刷されます。	×	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。	×	○
	印字濃度	印字濃度を5段階の中から設定できます。	×	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、MP設定を選択します。	×	○
	MPの用紙種別	MPで使用する用紙の種別を選択します。	×	○
	MP定形外用紙	MPで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	×	○
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整	ホッパー、MPの印刷位置を調整します。	×	○
	ホッパ2微調整*1		×	○
	ホッパ3微調整*1		×	○
	MP微調整	LM　TM　ABCD　用紙送り方向	×	○
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○
	節電時間設定*2	節電するまでの時間を設定します。	×	○
	自動排出*3	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○
	メモリー設定*4	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○
	総印字枚数*5	プリンターの総印字枚数を表示します。	×	×

＊1　増設ホッパー装着時のメニューです。

＊2　節電機能有効時のみ表示されます。

＊3　コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大 30 秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

＊4　64MB 以上のメモリーを増設した時の初期設定は異なります。

＊5　本メニューは変更できません

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>説　明</th><th>メモリースイッチ(MSW)</th><th>ESC/Pエミュレーション</th></tr>
<tr><td rowspan="6">フォントメニュー</td><td>1バイト系ゼロ</td><td>1バイト系ゼロの字体を切り替えます。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>2バイト系ゼロ</td><td>2バイト系ゼロの字体を切り替えます。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ANK</td><td>1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>漢字</td><td>標準フォント（2バイト文字）を選択します。</td><td>×</td><td>○*1</td></tr>
<tr><td>文字セット</td><td>2バイト系文字セットを選択します。</td><td>×</td><td>1983固定</td></tr>
<tr><td>国別</td><td>各国文字セットを選択します。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作メニュー</td><td>動作エミュレーション</td><td>［インタフェース1］、［USB］で個別にプリンターの動作エミュレーションを設定します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>動作自動切り替え</td><td>エミュレーションの自動切り替えを設定します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">NPDL設定メニュー</td><td>A4ポートレート桁数</td><td>用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>エミュレーション</td><td>ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>136桁モード設定</td><td>136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。</td><td>○</td><td>○*2</td></tr>
<tr><td>I/F設定メニュー</td><td>インタフェース1*3</td><td>動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、なし）とLANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">設定初期化メニュー</td><td>初期化</td><td>メニュー項目を初期設定に戻します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>呼び出し</td><td>設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>記憶</td><td>メニューモード内の各種機能設定と［MP］スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>メモリースイッチメニュー</td><td colspan="2">メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。（MSW1〜10）</td><td>○</td><td>249〜255ページ参照</td></tr>
</table>

*1　「ミンチョウ」「ゴシック」はESC/Pコマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。

*2　ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。

*3　I/F設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。
また、I/F設定メニューの動作双方向が「ECPモード」に設定されていて、［インタフェース1］にLANアダプター（型番PR-NP-02T2、型番PR-NP-03TR2、型番PR-WL-01）が接続されている場合、IPアドレスとサブネットマスクが有効になります。

メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（紫色の部分は出荷時の設定値です。）
「注」で示す補足的な説明は240ページにあります。

A
B
C
D
ヨウシメニュー
←リレーキュウシ セッテイ →
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜ リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜ リレー ON ＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜1 リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜1 リレー ON ＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜2 リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜2 リレー ON ＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜3 リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜3 リレー ON ＊
リレーキュウシ セッテイ
←MP リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←MP リレー ON ＊
注2
ヨウシメニュー
←ジ゛ョブ゛セパ゜レートキノウ→
ジ゛ョブ゛セパ゜レートキノウ
← ムコウ＊
ジ゛ョブ゛セパ゜レートキノウ
← ユウコウ＊
注3
インジ゛イチセッテイメニュー→
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜ ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←TM ＋3．9ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←TM −3．9ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←LM ＋3．9ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←LM −3．9ミリ＊
注4
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←TM ＋3．9ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←TM −3．9ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←LM ＋3．9ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←LM −3．9ミリ＊
E
F
G
H

E
F
G
H
注5
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜2　ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜2　ビ゛チョウセイ
←TM　+3.9ミリ*
ホッパ゜2　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
ホッパ゜2　ビ゛チョウセイ
←TM　−3.9ミリ*
ホッパ゜2　ビ゛チョウセイ
←LM　+3.9ミリ*
ホッパ゜2　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
ホッパ゜2　ビ゛チョウセイ
←LM　−3.9ミリ*
注6
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜3　ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜3　ビ゛チョウセイ
←TM　+3.9ミリ*
ホッパ゜3　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
ホッパ゜3　ビ゛チョウセイ
←TM　−3.9ミリ*
ホッパ゜3　ビ゛チョウセイ
←LM　+3.9ミリ*
ホッパ゜3　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
ホッパ゜3　ビ゛チョウセイ
←LM　−3.9ミリ*
インジ゛イチセッテイメニュー
←MP　ビ゛チョウセイ→
MP　ビ゛チョウセイ
←TM　+3.9ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←TM　−3.9ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←LM　+3.9ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←LM　−3.9ミリ*
I
J

I
J
ウンヨウメニュー →
ウンヨウメニュー ←セツデンキノウ →
注7
セツデンキノウ ← ムコウ*
セツデンキノウ ← ユウコウ*
注8
ウンヨウメニュー ←セツデンジカン セッテイ→
セツデンジカン セッテイ ← 5フン*
セツデンジカン セッテイ ← 10フン*
セツデンジカン セッテイ ← 30フン*
セツデンジカン セッテイ ← 60フン*
セツデンジカン セッテイ ← 90フン*
ウンヨウメニュー ←ジドウ ハイシュツ →
ジドウ ハイシュツ ← ムコウ*
ジドウ ハイシュツ ← 5ビョウ*
ジドウ ハイシュツ ← 15ビョウ*
ジドウ ハイシュツ ← 30ビョウ*
ウンヨウメニュー ←メモリ セッテイ →
メモリワリアテ ← ヒョウジュン*
メモリワリアテ ← デンシソートユウセン*
注9
ウンヨウメニュー ←ソウインジ マイスウ →
ソウインジ マイスウ ← 000000*
フォントメニュー →
フォントメニュー ←1バイトケイ ゼロ 0*
フォントメニュー ←1バイトケイ ゼロ Ø*
注10
フォントメニュー ←2バイトケイ ゼロ 0*
フォントメニュー ←2バイトケイ ゼロ Ø*
フォントメニュー ←ANK ヒョウジュン*
フォントメニュー ←ANK イタリック*
フォントメニュー ←ANK クーリエ*
フォントメニュー ←ANK ゴシック*
フォントメニュー ←カンジ ミンチョウ*
フォントメニュー ←カンジ ゴシック*
フォントメニュー ←モジセット JIS1978*
フォントメニュー ←モジセット JIS1983*
フォントメニュー ←モジセット JIS1990*
K
L
M

K
L
M
フォントメニュー ←クニベ゛ツ ニッポ゜ン*
フォントメニュー ←クニベ゛ツ アメリカ*
フォントメニュー ←クニベ゛ツ イギ゛リス*
フォントメニュー ←クニベ゛ツ ト゛イツ*
フォントメニュー ←クニベ゛ツ スウェーデ゛ン*
注11
ト゛ウサメニュー →
ト゛ウサメニュー ←ト゛ウサ エミュレーション →
ト゛ウサ エミュレーション ←インタフェース1 NPDL*
ト゛ウサ エミュレーション ←インタフェース1 ESC/P*
ト゛ウサ エミュレーション ←USB NPDL*
ト゛ウサ エミュレーション ←USB ESC/P*
ト゛ウサメニュー ←ト゛ウサシ゛ト゛ウ キリカエ→
ト゛ウサシ゛ト゛ウ キリカエ ←インタフェース1 OFF*
ト゛ウサシ゛ト゛ウ キリカエ ←インタフェース1 ON *
ト゛ウサシ゛ト゛ウ キリカエ ←USB OFF*
ト゛ウサシ゛ト゛ウ キリカエ ←USB ON *
ト゛ウサシ゛ト゛ウ キリカエ ←タイムアウト 5ビ゛ョウ*
ト゛ウサシ゛ト゛ウ キリカエ ←タイムアウト 15ビ゛ョウ*
ト゛ウサシ゛ト゛ウ キリカエ ←タイムアウト 30ビ゛ョウ*
注12
NPDLセッテイメニュー →
NPDLセッテイメニュー ←A4ポ゜ートレート ケタスウ→
A4ポ゜ートレート ケタスウ ← 78ケタ*
A4ポ゜ートレート ケタスウ ← 80ケタ*
注13
NPDLセッテイメニュー ←エミュレーション →
エミュレーション ← 201 エミュレーション*
エミュレーション ←ペ゜ーシ゛プ゛リンタモート゛*
注14
注15
NPDLセッテイメニュー ←136ケタモート゛ セッテイ→
136ケタモート゛ セッテイ ← ムコウ*
136ケタモート゛ セッテイ ← ユウコウ*
注16
136ケタモート゛ セッテイ ←ヨウシイチ ヒダ゛リ*
136ケタモート゛ セッテイ ←ヨウシイチ チュウオウ*
注17
N
O
P

N
O
P
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ヒダリ 1*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ヒダリ15*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ミギ 1*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ミギ 15*
注18
I/Fセッテイメニュー →
I/Fセッテイメニュー ←インタフェース1 セッテイ →
ソウホウコウ セッテイ ←インタフェース1 ニブル*
ソウホウコウ セッテイ ←インタフェース1 ECP*
ソウホウコウ セッテイ ←インタフェース1 ナシ*
注19
IPアドレス I/F1 000.000.000.000*
サブネットマスク I/F1 000.000.000.000*
注20
セッテイショキカメニュー →
セッテイショキカメニュー ←メニューショキカ ジッコウ
セッテイショキカメニュー ←ヨビダシ ジッコウ→
セッテイショキカメニュー ←キオク ジッコウ→
初期化実行
呼び出し実行
記憶実行
メモリスイッチメニュー →
12345678 ←MSW1 00000000*
12345678 ←MSW2 00000000*
12345678 ←MSW3 00000000*
12345678 ←MSW4 00000000*
12345678 ←MSW5 00000000*
12345678 ←MSW6 00000000*
12345678 ←MSW7 00000000*
12345678 ←MSW8 00000000*
12345678 ←MSW9 00000000*
12345678 ←MSW10 00000000*

注1　装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーを増設していない場合は“ホッパ1”が“ホッパ”と表示されます。
注2　“ホッパ　リレー”はホッパーを増設していないとき表示されます。
注3　ホッパーを増設していないときのみ表示されます。
注4　オプションの増設ホッパーを1段以上装着しているときのみ表示されます。
注5　オプションの増設ホッパーを1段以上装着しているときのみ表示されます。MSW7-4＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-4＝0で250枚用の値を表示・設定します。
注6　オプションの増設ホッパーを2段以上装着しているときのみ表示されます。MSW7-5＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-5＝0で250枚用の値を表示・設定します。
注7　MSW6-7と同期します。
注8　「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。
注9　メモリーを増設している場合、工場設定値が「電子ソート優先」に変わります。
注10　MSW2-1と同期します。
注11　MSW1-1～MSW1-3と同期します。
注12　動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定がONのときのみ表示されます。
注13　MSW2-7と同期します。
注14　MSW2-2と同期します。
注15　201エミュレーションモード時のみ表示されます。
注16　MSW3-7と同期します。
注17　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。
注18　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1～MSW3-5と同期します。
注19　「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
注20　オプションのLANアダプターが装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。

メニューの詳細

テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- 連続印刷
- 16進ダンプ印刷

連続印刷（テスト印刷）は自動的に印刷を終了しません。［ストップ］スイッチを押した後、［シフト］スイッチを押しながら［リセット］スイッチを2回押してください。
プリント結果については付録の「テスト印刷のプリント結果」（377ページ）をご覧ください。A4普通紙を使用してください。

印刷設定メニュー

1.　コピー枚数

コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。
プリンターをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウエアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウエアで設定したコピー枚数が優先します。

2.　印字濃度

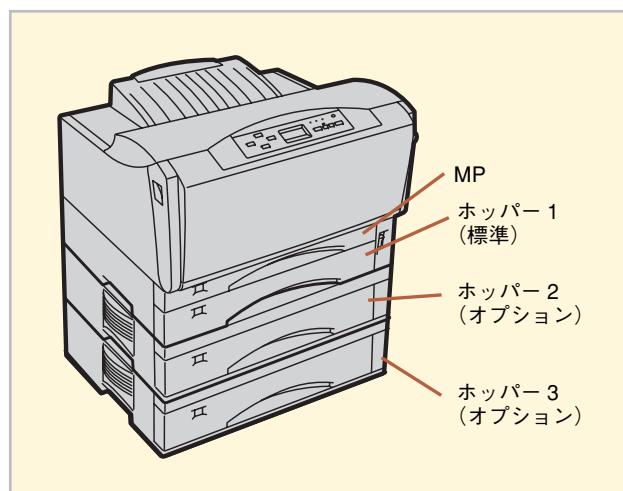
印字濃度を「淡い」、「やや淡い」、「普通」、「やや濃い」、「濃い」の5段階の中から設定できます。

用紙メニュー

1.　ホッパー初期設定

電源投入時およびリセット時に指定されるホッパー、MP*を選択します。
ホッパー 2〜3は増設ホッパー（オプション）が取り付けられている時のみ表示されます。

* MPとは「マルチパーパス」のことでいろいろなサイズの用紙をセットすることのできる給紙機構を指します。

- ホッパー 1
- ホッパー 2
- ホッパー 3
- MP

2.　用紙種別（MP）

MPで使用する用紙の種別を「普通紙」、「厚紙」、「OHP」の3種類から設定します。
ここで指定した種別はすべての用紙サイズで有効です。

3.　定形外用紙（MP）

MPでの定形外用紙の使用を有効または無効にします。

4. リレー給紙設定

リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。
指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパーかMPに同じサイズ、同じ用紙種別で同じセット方向（「A4タテ」など）の用紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。
リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパーやMPがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上のホッパーやMPがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能を使用するホッパーやMPの内、2つ以上に同じサイズ、同じ用紙種別で同じセット方向の用紙をセットしている。

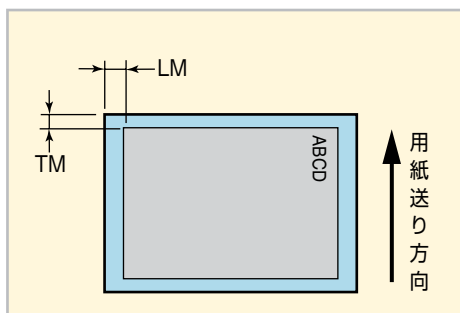
チェック

- MPに用紙をセットして、リレー給紙機能を使用するには、「用紙メニュー」の「用紙種別」で「普通紙」に設定する必要があります。
- Windows環境で印刷する場合は、「リレー給紙の設定」（26ページ）を参照してください。

5. ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。ジョブセパレート機能の詳細については4章「仕分け印刷」（139ページ）をご覧ください。

印字位置設定メニュー

ホッパー、MPの印刷位置を調整します。
メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン（TM）とレフトマージン（LM）を測定して調整します。
調整できる範囲は、「−3.9ミリ」〜「＋3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。
［設定変更］スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「−3.9ミリ」を越えると「＋3.9ミリ」になります。

チェック

この設定は、プリンターやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。
また、この機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

運用メニュー

1.　節電機能

節電機能を有効にするか無効にするかを選択します。

2.　節電時間設定

節電機能に入るまでの時間を選択します。

チェック

- プリンターの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に消費電力を20W以下にする機能です。
- 節電機能を使用しているときは、プリンターは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

3.　自動排出

自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウエアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

4.　メモリー設定

プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。

- 標準
通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファーにメモリーを最適に割り当てます。通常はこのままの設定でお使いください。

- 電子ソート優先
64MB以上のメモリーを増設した場合に設定できます。電子ソートのために使用されるメモリーに優先してメモリーを割り当てます。電源投入時に64MB以上のメモリー増設が認識された場合、メモリー設定は自動的に電子ソート優先に変更されます。

増設メモリーと電子ソート機能の最低保証枚数の関係は以下のとおりです。

増設メモリーと電子ソート機能使用時の最低保証枚数

用紙サイズ	増設メモリー容量		
	+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	3枚	11枚	28枚
B4片面	5枚	15枚	37枚
A4片面*	7枚	23枚	56枚
	3枚	11枚	28枚

* 上段はプリンタードライバーなどでジョブセパレート：OFFとして印刷した場合
下段はプリンタードライバーなどでジョブセパレート：ON（プリンタードライバーの初期設定）として印刷した場合

5.　総印字枚数

プリンターの総印字枚数を表示します。本メニューは変更できません。また、設定初期化メニューの初期化実行では、初期化されません。

枚数のカウント方法について

用紙サイズがA4、B5、A5、レター、はがき、往復はがき、封筒の場合「1」、A3、B4では「2」とカウントします。また、定形外用紙の場合は、用紙サイズがB4用紙より小さいサイズの時は「1」、B4用紙より大きなサイズの場合は「2」としてカウントします。

フォントメニュー

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「文字の種類」（314ページ）をご覧ください。

1. 1バイト系ゼロ

1バイトコード系の数字ゼロの字体（0またはØ）を選択します。
メモリースイッチ2-1でも選択できます。

2. 2バイト系ゼロ

2バイトコード系の数字ゼロの字体（0またはØ）を選択します。

3. ANK

ANK文字（アルファベット、数字、カタカナ）のフォントを選択します。

- 標準
- イタリック
- クーリエ
- ゴシック

4. 漢字

標準フォント（2バイト系文字）の書体を明朝体／ゴシック体から選択します。

5. 文字セット

2バイト系の文字セットを選択します。

- JIS1978
- JIS1983
- JIS1990

6. 国別

各国文字セットを選択します。
メモリースイッチ1-1～1-3でも選択できます。

- 日本
- アメリカ
- イギリス
- ドイツ
- スウェーデン

動作メニュー

1.　動作エミュレーション

［インタフェース1］および［USB］のインターフェースポートで個別にプリンターの動作モードを設定します。

- NPDLモード
- ESC/Pエミュレーションモード

MS-DOSなどのアプリケーションで、NPDLや201PLエミュレーションでの印刷ができない場合には、動作モードをESC/Pエミュレーションに切り替えて印刷を行ってください。

2.　動作自動切り替え

この機能をONにすると、送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。また、自動切り替えがうまく行えなかった場合は、「ドウサ　エミュレーション」で設定されたエミュレーションで印刷を行います。
この設定は各ポート（[インタフェース1]、[USB]）単位で行えます。

また、どれか１つのポートでもONにすると、各ポートを切り替えるタイムアウト時間が設定できるようになります。これは、１つのポートでデータを受信している時は、他のポートは使用不能状態になっており、データの受信が終了して一定時間、何も送られてこないと他のポートも使用可能な状態にします。このデータ受信終了から他のポートを使用可能にするまでの時間をタイムアウト時間として、30秒、15秒、5秒のいずれかから選択することができます。工場出荷時は30秒に設定されています。

タイムアウトをあまり短い時間に設定していると、コンピューターからのデータ送信が設定した時間以上停止した場合ポートが切り替わってしまい、思ったような印刷結果が得られないことがあります。

NPDL設定メニュー

1.　A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。
メモリースイッチ2-7でも選択できます。

2.　エミュレーション

ページプリンターモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。
メモリースイッチ2-2でも選択できます。

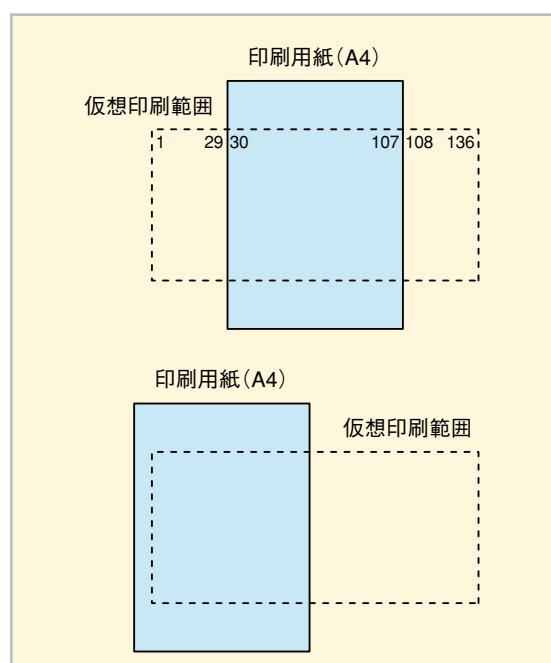
3.　136桁モード設定

- 136桁モード
  136桁モードの有効・無効を選択します。
  メモリースイッチ3-7でも選択できます。

- 用紙位置
  136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリースイッチ3-6でも選択できます。

  – 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。

  – 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。

- 微調整
  136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
  メモリースイッチ3-1～3-5の組み合わせで選択することもできます。

インターフェース設定メニュー

インターフェース1

- インターフェース通信モード
  パラレルインターフェースポートの通信モードを設定します。本メニューでの通信モード名とパソコン側で一般的に呼ばれているモード名は以下のように対応しています。コンピューターの設定と異なる場合、正しく印刷できない場合があります。

通信モード名	パソコン側での呼び方	
	PC98-NX（パラレルモード）	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 対応機）
ECP	ECP	Extended Capabilities Port (ECP) Mode
ニブル	双方向	Standard and Bidirectional Mode
なし（コンパチブル）	出力のみ	

✔チェック

通信モードを変更した場合には、電源を入れ直してください。設定は、電源再投入後に有効となります。

- IPアドレス、サブネットマスク
  LANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクの設定ができます。
  設定手順については、ユーザーズマニュアルの1章「10　ネットワークに接続する」をご覧ください。

✔チェック

本設定項目は、［インタフェース1］の場合、インターフェース通信モードが「ECP」に設定されていてLANアダプターが取り付けられている時に有効となります。

設定初期化メニュー

この機能を利用するとメニューモード内の設定（コピー枚数を除く）および操作パネルで設定したMPの用紙サイズをまとめて記憶させ、必要なときに呼び出すことができます。下記項目は実行後、ただちにメニューモードを終了します。

- 初期化実行
- 呼び出し実行
- 記憶実行

設定初期化を実行すると、プリンターは初期設定に戻ります。設定呼び出しを実行すると、プリンター内部の不揮発メモリーで記憶されている内容を呼び出します（初期設定に戻すこともできます）。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定をまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

✔チェック

［インタフェース1］の場合、「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスクはLANアダプターへ記憶されます。「LAN初期化実行」、「全初期化実行」を行っても設定された内容は初期化されません。

設定を記憶できるメニューモードの項目と初期設定は次のとおりです。

メニューモードの項目と初期設定

設定記憶 / 呼び出し可能な項目	初期設定
印刷設定メニュー	
コピー枚数	1
印字濃度	普通
用紙メニュー	
ホッパーの初期設定	ホッパー 1
MPの用紙種別	普通紙
MP定形外用紙設定	OFF
リレー給紙設定（MP、ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3）	無効
ジョブセパレート機能	無効
印字位置設定メニュー	
ホッパー微調整	0（TM、LM）
MP微調整	0（TM、LM）
運用メニュー	
節電機能	有効
節電までの時間	10分
自動排出	無効
メモリー割り当て設定	標準
フォントメニュー	
1バイト系ゼロの書体	0
2バイト系ゼロの書体	0
ANKフォントの切り替え	標準
漢字フォントの切り替え	明朝
文字セットの切り替え	JIS1978
国別文字の切り替え	日本
動作メニュー	
［インタフェース1］の動作エミュレーション	NPDL
［USB］の動作エミュレーション	NPDL
［インタフェース1］の動作自動切り替え	OFF
［USB］の動作自動切り替え	OFF
タイムアウト	30秒
NPDL 設定メニュー	
A4ポートレート桁数	78桁
エミュレーション	201エミュレーションモード
136桁モード設定	136桁モード：無効 用紙位置　　：左 微調整　　　：0
インターフェース設定メニュー	
［インタフェース1］双方向設定	ニブル
メモリースイッチメニュー	
249～250ページの一覧表を参照してください。	

メモリースイッチの内容

メモリースイッチ設定項目一覧

メニューモードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。メモリースイッチは1（ON）か0（OFF）を選択することによって、以下の表に示されている項目を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります（未使用のスイッチもあります）。

メモリースイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるものもあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。以下の表中の太文字は、工場出荷時の設定を示しています。詳細については、「メモリースイッチの詳細」をご覧ください。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/P モードでの動作
1-1 1-2 1-3	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。 **すべて0（日本語）**		○
1-4	グレースケールの網点の切り替え	**粗い**	細い	×
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR＋その他	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え	**0**	Ø	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PL エミュレーション**	ページプリンター（NPDL）	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×
2-4〜2-5	（未使用）			−
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	○
3-1 3-2 3-3 3-4	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位） **すべて0（0インチ）**		○
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	**左**	右	○
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	**左端合わせ**	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	×
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○
4-1〜4-2	（未使用）			−
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	**反時計回り**	時計回り	○
4-6〜4-8	（未使用）			−
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え*1	**無効**	有効	○
5-2〜5-8	（未使用）			−

*1　本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容（続き）

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/P モードでの動作
6-1	（未使用）			−
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	**停止する**	解像度を下げて印刷	○
6-3〜6-6	（未使用）			−
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-8	（未使用）			−
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング［インタフェース1］	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○
7-2、7-3	（未使用）			−
7-4	ホッパー 2に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ（250）**	増設ホッパ（500）	○
7-5	ホッパー 3に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ（250）**	増設ホッパ（500）	○
7-6	（未使用）			−
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×
8-1、8-2	ビジィアクノリッジ（BUSY－$\overline{ACK}$）のタイミング［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY－ACKのタイミングを切り替えます。 **タイミングA**　（8-1：0、8-2：0）		○
8-3、8-4	アクノリッジ（$\overline{ACK}$）の幅［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、$\overline{ACK}$の幅を切り替えます。 **1μs**（8-3：0、8-4：0）		○
8-5〜8-8	（未使用）			−
9-1〜9-4	（未使用）			−
9-5	節電モードの選択＊1	**節電モード0**	節電モード1	○
9-6	（未使用）			−
9-7	印刷向き180度回転	**回転しない**	回転する	○
9-6〜9-8	（未使用）			−
10-1〜10-8	（未使用）			−

＊1　節電モードの内容は以下のとおりです。
節電モード0（9-5:0）：標準設定です。消費電力は20W以下です。
節電モード1（9-5:1）：節電モード0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は15W以下です。ウォームアップ時間は、15秒以下（室温20℃）になります。

メモリースイッチの詳細

1-1～1-3　各国文字の切り替え

3つのメモリースイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
＜日本＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。
表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「国別相違点」（317ページ）をご覧ください。

1-4　グレースケールの網点の切り替え

グレースケールのパターンを切り替えます。ただし「細かく」を選定した場合、印刷の階調性は低くなります。

1-5　DC1、DC3の有効／無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

1-6　自動復帰改行の切り替え

バッファーフル印刷を行うとき、「復帰のみ」か、「復帰改行」かを切り替えます。

1-7　印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8　CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1　1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え

1バイト（8ビット）コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2　エミュレーションモードの切り替え

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター（NPDL）にするかを切り替えます。

2-3　グラフィックモードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

2-6　7ビット／8ビットデータの切り替え

インターフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。
ページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）時は8ビット有効に固定されます。

2-7　A4ポートレート印刷桁数の切り替え

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

2-8　B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの［縮小］スイッチまたは制御コード（FS f）を使って「B4→A4縮小モード」を指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1～3-4　印刷開始位置の調整

印刷開始位置の調整を行います。
エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）の時には、レフトマージン量の設定になります。
レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第一印刷位置までの距離です。
レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
エミュレーションモードが201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）の時には、用紙位置の調整量の設定になります。
印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。
用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
調整方向はメモリースイッチ3-5で切り替えます。

レフトマージン量／用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
＜0インチ＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

3-5

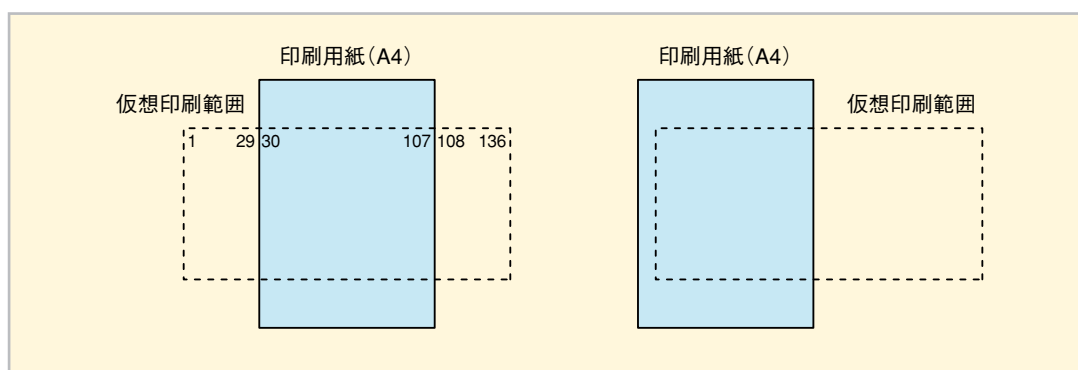
用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）時に有効です。

3-6

用紙位置の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で、136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）時に有効です。

3-7

136桁モードの有効／無効の切り替え

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

3-8

ブザー機能の有効／無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

4-3

ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない（メモリースイッチ4-3=1）ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4

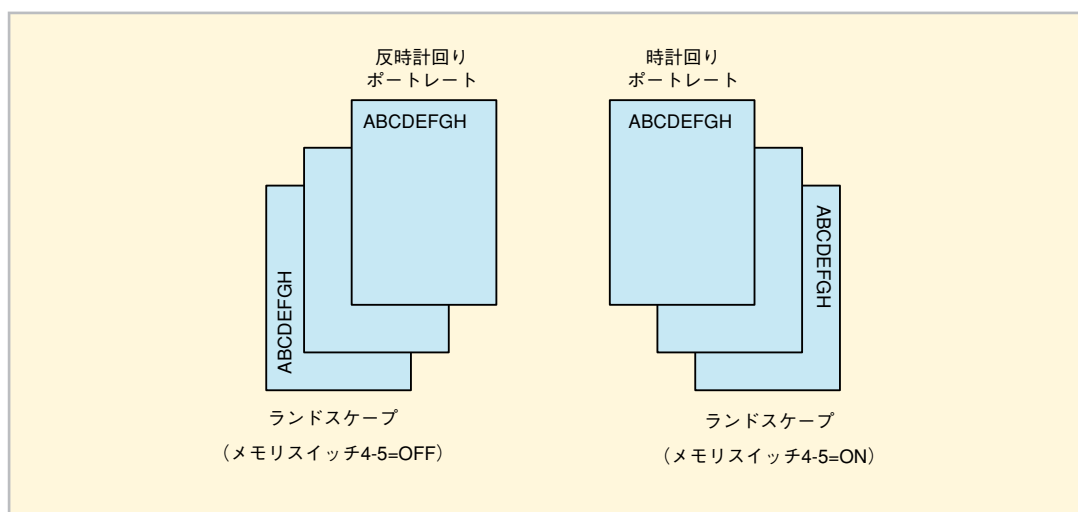
FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない（メモリースイッチ4-4=1）ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5

ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカー上での積み重なり方を切り替えます。

5-1

同期コードの無効／有効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。

重要

本メモリースイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

6-2

メモリーオーバー時の動作指定

メモリーオーバーが起きた場合の動作を指定します。

0（OFF）にすると、メモリーオーバーが起きたときアラームを表示して印刷を停止します。[印刷可］スイッチを押せば解像度を落として印刷を再開することができます。
1（ON）にすると、アラームを表示せずに解像度を落として印刷が継続されます。

6-7

節電機能を使用する／しないの切り替え

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1

データストローブ信号のデータラッチタイミング

［インタフェース1］パラレルインターフェースのデータストローブ信号のデータラッチタイミングを前縁か後縁にするかを切り替えます。

7-4

ホッパー 2に装着した増設ホッパーの種類

増設ホッパ（250）または増設ホッパ（500）のどちらがホッパー2に装着されているのかを設定します。

7-5

ホッパー 3に装着した増設ホッパーの種類

増設ホッパ（250）または増設ホッパ（500）のどちらがホッパー3に装着されているのかを設定します。

7-7

FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

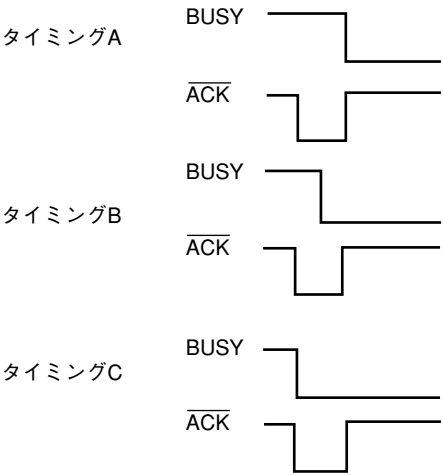
7-8　FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-1、8-2　ビジィアクノリッジ（BUSY－ACK）のタイミング

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、［インタフェース1］のパラレルインターフェースのBUSY－ACKのタイミングを切り替えます。

ACK のタイミング	8-1	8-2
＜タイミングA＞	＜0＞	＜0＞
タイミングB	1	0
タイミングC	0	1
タイミングA	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

8-3、8-4　アクノリッジ（ACK）の幅の切り替え

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、［インタフェース1］のパラレルインターフェースのACKの幅を切り替えます。

ACK の幅	8-3	8-4
4μs	1	0
＜1μs＞	＜0＞	＜0＞
2μs	0	1
10μs	1	1

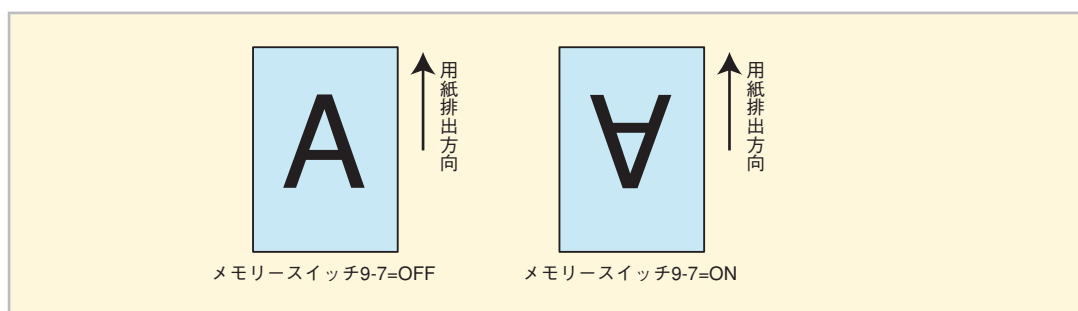
＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

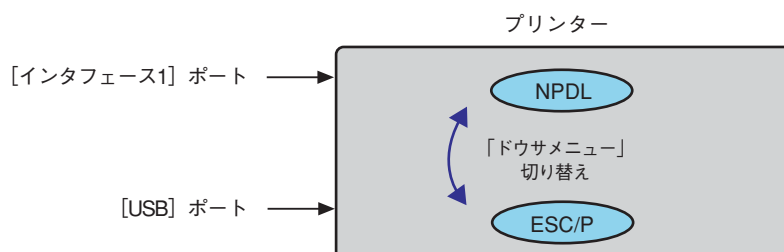
ACKの幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACKの幅を長くして使用してください。

9-5　節電モードの設定

節電モード0（9-5:0）：標準設定です。消費電力は20W以下です。
節電モード1（9-5:1）：節電モード0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は15W以下です。ウォームアップ時間は、15秒以下（室温20℃）になります。

9-7　印刷向き180度回転

印刷イメージを180度回転させて印刷するかしないかを切り替えます。本スイッチが1（ON）の場合、メモリースイッチ4-5の設定は無効になります。

動作エミュレーションの切り替え

NPDLモード、ESC/Pエミュレーションモードの切り替えは、メニューモードの「動作メニュー」で行います（メニューモードの設定変更方法は230ページを参照してください)。メニューモードの「動作メニュー」では［インタフェース1］、「USB」の各インターフェースに対して動作モードを設定できます。
インターフェースの動作は、工場出荷時「NPDL」モードに設定されています。

メニューモードの設定項目については232ページ、メモリースイッチの詳細については249ページをご覧ください。

動作エミュレーションは電源をOFFにしても保持されます。また、設定記憶に記憶することもできます。

上記2つのインターフェースのいずれか1つが動作している間は、その他のインターフェースは受信不可能になります。複数のインターフェースからデータが送られてきた場合は、最初に受信したインターフェースが選択され、その他のインターフェースは印刷待ち状態になります。そして最初に選択されたインターフェースからの印刷が終了してから標準では約30秒後に印刷待ち状態になっていたインターフェースの印刷を開始します。

ESC/Pエミュレーションモード

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してESC/Pエミュレーションに切り替えることができます。

ESC/Pエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

チェック

- 「ドウサジドウキリカエ」は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、「ドウサエミュレーション」で設定し直してください。
- MultiWriter 2130のESC/Pエミュレーションは、拡張グラフィックス文字には対応していません。

❶ **メニューモードに入る。**

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ **操作パネルの［▼］スイッチ、［▶］スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“ESC/P”に設定する。**

詳しくは、「メニューツリー」の234～240ページを参照してください。

❸ **［メニュー終了］スイッチを押す。**

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

```
ﾎｯﾊﾟ      A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
             ESC/P
```

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

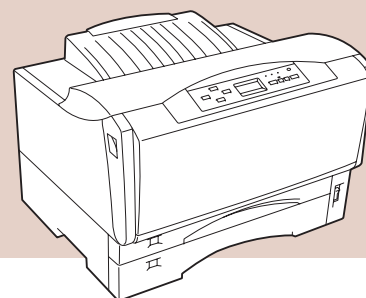
```
ﾎｯﾊﾟ      A4ﾖｺ ﾗﾝﾄﾞ
             ESC/P
```

❹ **設定が終わったら、アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンターを指定する。**

セイコーエプソン社の24ピン漢字シリアルプリンターのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンター名称
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンター
3	ESC/P 24-J83
4	ESC/P 24-J83準拠の各プリンター

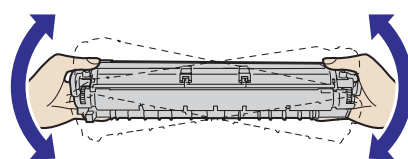
その他メニューモードの設定がESC/Pエミュレーションで可能かどうかを232～240ページにまとめています。参照してください。

8章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、本プリンターを正しく動作させせるために定期的に行うことをお勧めします。

EPカートリッジの交換

ディスプレイが“76　トナーナシ　EPコウカン”または“89　EPジュミョウ　EPコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。ディスプレイが“89　EPジュミョウ　EPコウカン”と表示した場合、EPカートリッジを速やかに交換してください。

交換する前に

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。取り出し方については「EPカートリッジの交換手順」(261ページ) を参照してください。もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、もうしばらくの間、そのEPカートリッジを使用することができます。

重要

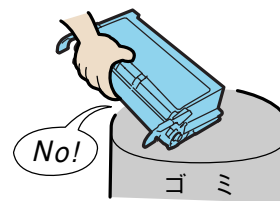
EPカートリッジの取っ手を持たないよう、図のように両端部をやさしく持ってゆっくり振ってください。EPカートリッジを激しく振ると、落下やOPCドラムにキズがつくおそれがあります。
新しいEPカートリッジに交換する場合は、保護シャッターを止めているテープをはがさずに振ってください。

それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換してください。
トナーランプが点灯していなくても、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けたりする場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

使用済みのNEC製EPカートリッジは、地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

- EPカートリッジ回収に関するWebページ
  「ECOLOGY＆TECHNOLOGY」
  URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/ep_recycle.html

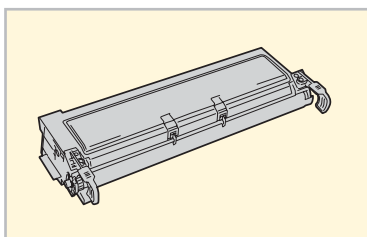
購入について

新しいEPカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設などでお求めになれます。

重要

このプリンターは、純正のEPカートリッジを使用時に印刷品質やプリンター性能が最も安定するように設計されています。純正品と異なる仕様のEPカートリッジを使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、EPカートリッジは純正品のご使用をお勧めいたします。
お買い求めの際には次の「EPカートリッジの種類」をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したEPカートリッジをお選びください。

EPカートリッジの種類

MultiWriter 2130でお使いになれるEPカートリッジは以下のとおりです。購入した時に添付されているEPカートリッジは、PR-L2300-11（相当品）です。

EPカートリッジ（型番 PR-L2300-11）

印刷可能ページ数は約6,000枚です。

EPカートリッジ（型番 PR-L2300-12）

印刷可能ページ数は約12,000枚です。

チェック

- 各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の印刷を行ったときの値です。（262ページ参照）
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は異なります。

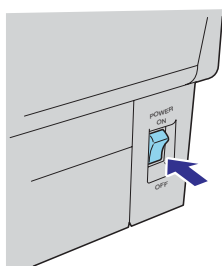
EPカートリッジの交換手順

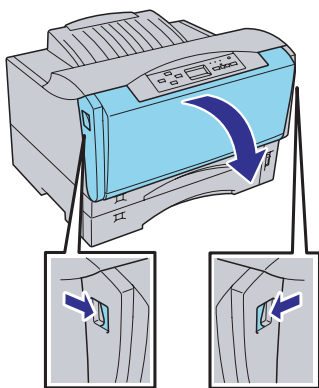
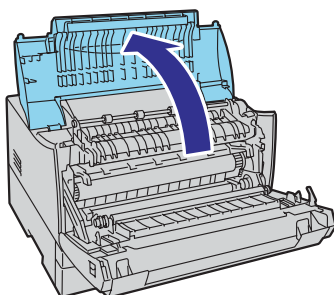
EPカートリッジの交換手順を説明します。

⚠注意

- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。
- EPカートリッジを絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

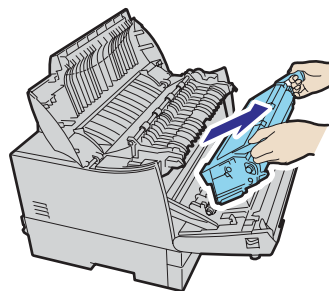
❶ **電源スイッチをOFFにする。**

電源ランプが消灯します。

❷ **左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。**

フロントユニットが開いて止まります。

❸ **トップカバーの左右を持ち、ゆっくり開ける。**

❹ **左右の取っ手を図のように持ち、使い終わったEPカートリッジを引き出す。**

EPカートリッジは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

重要

トナーで手や衣服を汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。EPカートリッジの回収については260ページをご覧ください。

❺ **新しいEPカートリッジをユーザーズマニュアル1章の「5 EPカートリッジを取り付ける」に従って取り付ける。**

❻ **電源スイッチをONにする。**

❼ **テスト印刷を実行する。**

1章オプションの「テスト印刷」（25ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

MultiWriter 2130に添付されているEPカートリッジ（PR-L2300-11相当品）の寿命は、A4用紙で画像面積比率（1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率）約5％の連続印刷を行ったとき、約6,000枚（PR-L2300-11使用時も同等）になります。また、PR-L2300-12使用時は約12,000枚になります。

以下は、画像面積比率約5％を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EPカートリッジ」には寿命６０００枚（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５%の意味及びEPカートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。
この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、
①　ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
②　①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。
の２つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEPカートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです)。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域（印刷用紙の上下左右端から各々 5mmの部分を除く領域）に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。１ページの中に印刷が全くない状態が０%、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００%です。
この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５%より高い場合、６０００枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５%相当の目安となります。

画像面積比5％の印刷例

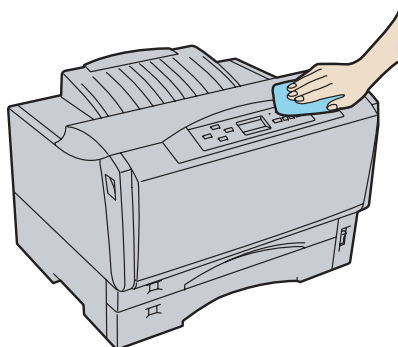
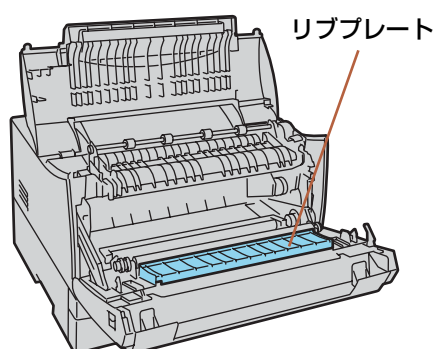
チェック

- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズなどの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境（OS、アプリケーション、使用フォントなど）により変化します。

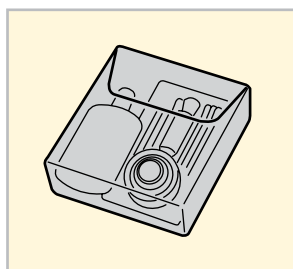
清　掃

MultiWriter 2130を正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

清掃箇所と清掃時期

清掃する箇所と清掃時期について示します。

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットを別売しています。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

プリンターの清掃手順

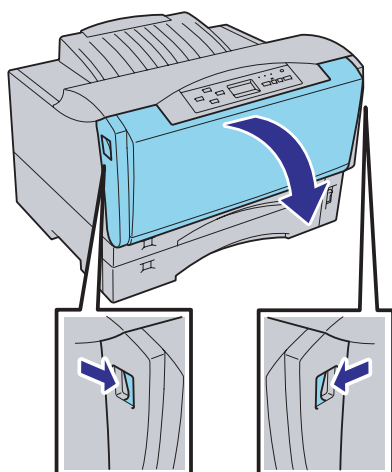
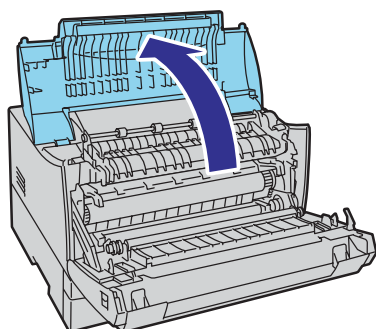
プリンターの清掃手順について説明します。

注意

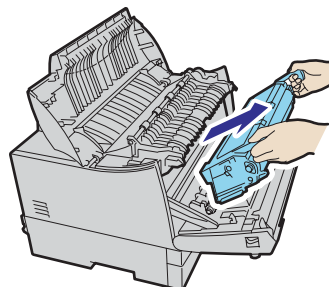
- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

リブプレートの清掃

給紙方向に縦にかすれる、白いスジが入る、文字や黒い部分の輪郭がにじむときに行います。

1. **プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。**
2. **左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。**
   フロントユニットが開いて止まります。

3. **トップカバーの左右を持ちゆっくり開ける。**

4. **左右の取っ手を図のように持ち、EPカートリッジを取り出す。**
   EPカートリッジは手前にスライドさせれば簡単に取り出せます。

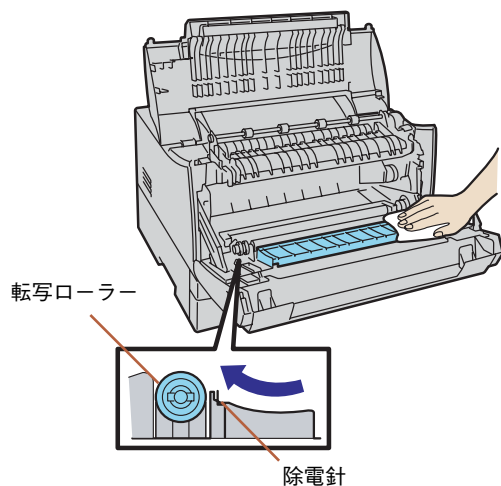
重要

トナーで手や衣服を汚さないように気を付けてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

チェック

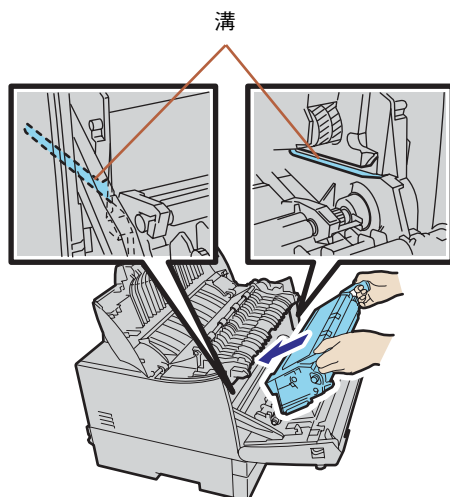
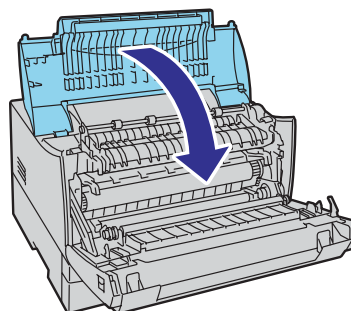
清掃時に取り外したEPカートリッジは立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光が当たる場所や、ほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

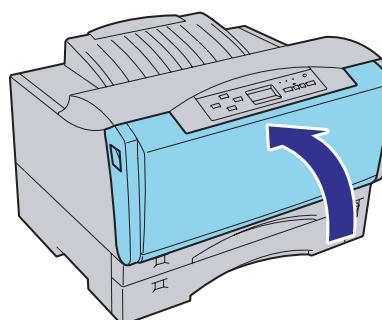
❺ **リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布でふき取る。**

重要

転写ローラー、除電針には触らないようにしてください。

❻ **EPカートリッジをプリンター本体に再びセットする。**

図のようにEPカートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取っ手を持ち、EPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットします。

EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせずに確実に奥までセットされていることを確認してください。

❼ **トップカバーをゆっくりと閉じる。**

❽ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

カチッと音がするまでゆっくりとフロントユニットを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。

❾ **プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、コンセントにも差し込む。**

❿ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

⓫ **テスト印刷を実行する。**

1章オプションの「テスト印刷」(25ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

プリンターの表面の清掃

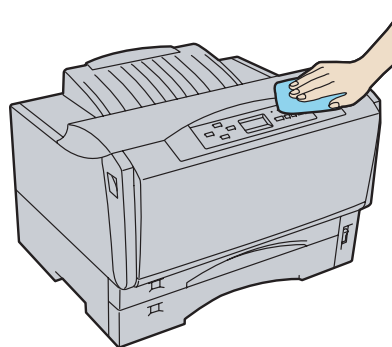
プリンターの表面が汚れているときに行います。

❶ **外観の汚れは柔らかい清潔な布で拭き取る。**

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。

重要

- アルコール、シンナーなどはプリンターの表面を傷めますので、使用しないでください。
- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

❷ **乾いた布でふく。**

9章
故障かな？と思ったら

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処理方法を説明します。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- リプリント機能が動作しないときは
- ネットワークで思うように印刷できないときは
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- ジョブセパレート機能が動作しないときは
- 紙づまりのときは

また、PrintAgentを正しく動作させるためにの注意事項やプリンター本体を運搬するときの方法、プリンター・消耗品を廃棄に関する説明も記載しています。

その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報がプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」（Readme.txt）に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったときは、修理に出す前に以下の手順を行ってください。

❶ **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**

❷ **定期的に清掃していたことを確認する。**

プリンター内部で清掃できる場所が汚れていると正しい印刷結果を得ることができません。

❸ **EP カートリッジが確実に交換されていることを確認する。**

EPカートリッジは消耗品です。トナーがなくなっていたら、交換してください（操作パネルの［トナー］ランプを参照してください）。

また、EPカーリッジの取り付け状態を確認してください。確実にとりつけられていないと、正しい印刷結果を得られないばかりではなく、プリンター本体の故障の原因となります。

❹ **本章の268～282ページをご覧ください。次の項目で当てはまる症状があれば、記載されている処置を行う。**

以上の処理を行っても、改善されない場合は、無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際のディスプレイのアラーム表示や印刷サンプルは修理の際の有力な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号や受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

また、プリンターをお持ち込みいただくときはユーザーズマニュアルや梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンターを梱包してください。詳しくは、「プリンターを運搬するときは」（301ページ）を参照してください。

重要

海外でのご使用について
このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** →　電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　[印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない（データランプ消灯）。** →　ユーザーズマニュアルの「1章　プリンターの設置」を参照して、プリンターケーブル、USBケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない（データランプ点灯）。** →　[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない（印刷可ランプ（赤）点滅）。** →　5章「用紙のセット」（207ページ）を参照して、用紙を補給してください。 **印刷可ランプ（赤）が点灯している。** →　「アラーム表示が出ているときは」（270ページ）をご覧ください。 **データ送信中（データランプ（橙）点滅）** →　本プリンターはページ単位で処理するため、1 ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 もう少しお待ちください。 **MultiWriter 2130が「通常使うプリンタ」として選択されていない。** →　MultiWriter 2130を「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** →　コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙サイズ設定ダイヤルの設定が正しくない。** →　セットした用紙サイズを用紙サイズ設定ダイヤルで設定してください。 **用紙のセットのしかたが悪い。** →　「ホッパーに用紙をセットする」（210ページ）を参照して、用紙をセットし直してください。

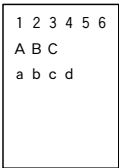
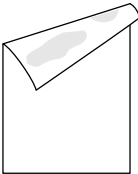
症状	原因と処理方法
MPから印刷ができない	**給紙方法が自動、ホッパーのいずれかになっている。** →　プリンタードライバーの給紙方法をMPに設定し直してください。 **MPにセットした用紙サイズが正しく設定されていない。** →　A3、A4、A5、B4、B5サイズをセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルでセットした用紙サイズを設定してください。レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「*」に設定して、[MP]スイッチで用紙サイズを設定してください。（213～215ページ参照） **用紙のセットのしかたが悪い。** →　「MPに用紙をセットする」（213ページ）を参照して用紙をセットし直してください。
給紙先をMPに指定していないのに「MP A4タテ ホキュウ」と表示される	**印刷データがA4サイズ、用紙種別が普通紙（標準設定）で印刷している場合、ジョブセパレート機能が機能している。** →　MPカセットにA4サイズの用紙を縦方向にセットしてください。 →　MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルを「A4タテ」以外に設定してください。 →　プリンタードライバーの給紙方法を［自動］以外に設定してください。 →　プリンタードライバーのジョブセパレート機能を無効にしてください。ジョブセパレート機能の詳細については、4章「ジョブセパレート機能」（139ページ）を参照してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回鳴ります。

チェック

メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ﾎｯﾊﾟ 1　A4ﾖｺ ﾎｷｭｳ ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2、または3）が表示されます。 MP　A4ﾖｺ ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** →　標準カセット、MPカセットのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。
MP　ﾃｲｹｲｶﾞ ｲ ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ	**用紙がない。** →　用紙をMPカセットにセットしてください。 **セットされた用紙の確認（MPカセットのダイヤルが「＊」に設定され、すでに定形外の用紙がセットされている場合）。** →　セットした用紙が定形外用紙であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。 **MPカセットのダイヤルが「＊」に設定されていない。** →　MPカセットを引き抜き、用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定し、用紙を確認してください。
ﾖｳｼｶｾｯﾄ ﾅｼ ﾎｯﾊﾟ	**用紙カセットが抜かれている。** →　用紙をセットし、表示された場所の用紙カセットをゆっくり戻してください。
MP　LT ﾎｷｭｳ ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｦﾍﾝｺｳｼﾏｽ	**MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「＊」のときに設定の異なる用紙サイズを指定して印刷した。** →　MPカセットを引き抜き、用紙サイズ設定を確認してください。 →　MPカセットを引き抜き、用紙をセットし、用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズを設定してください。 →　［印刷可］スイッチを押してください。
72 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	**フロントユニット、トップカバーが開いている。** →　フロントユニット、トップカバーをきちんと閉じてください。
73 EPｶｰﾄﾘｯｼﾞ ﾅｼ	**EPカートリッジが取り付けられていない。** →　EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けた後、フロントユニットをきちんと閉じてください。
74 ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾎﾝﾀｲ 紙づまりが発生した場所が表示されます。	**紙づまりが発生している。** →　「紙づまりのときは」（292ページ）を参照して、つまった用紙を取り除いてください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
75 ヨウシサイズエラー ホッパ゜1 増設ホッパーが選択されているときはホッパー番号（1、2、または3）、またはMPが右端に表示されます。	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** → 指定サイズの用紙をホッパーにセットして、[印刷可]スイッチを押してください。 → MPの場合、用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルの設定がセットされている用紙サイズとあっているか確認してください。 → 用紙サイズ設定ダイヤルと異なる用紙に印刷を行った場合、[印刷可] スイッチを押し、用紙を変更するか、用紙設定ダイヤルがセットされている用紙サイズに合わせてください。
76 トナーナシ EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期を示している。** → 「EPカートリッジの交換」（259ページ）に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。 EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76　トナーナシ”アラームは解除できません。
77 テイキホシュ	**定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期を示している。** → 販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77　テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
78 ヨウシピ゜ックミス ホッパ゜ ピックミスが発生した給紙口が表示されます。	**用紙ピックミスが発生している。** → この後の「紙づまりのときは」に従って、給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
82 メモリオーバ゛ー メモリヲソ゛ウセツシテクダ゛サイ	**印刷データを蓄えるメモリーが不足している（メモリースイッチ6-2　OFFの場合のみ表示する）。** → [印刷可] スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83 インサツフカ”のアラーム表示をします。 メモリーを増設してください。
83 インサツフカ メモリヲソ゛ウセツシテクダ゛サイ	**メモリーオーバーで解像度を落として印刷しようとしたが、それでもメモリーが不足している。** → [印刷可]スイッチを押してください。解像度を落として印刷を行おうとしたページのデータを廃棄します。 メモリーを増設してください。
84 フォーム オーバ゛ーXXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** → [印刷可] スイッチを押してください。アラームの対象となった番号（×××）のフォームデータが読み捨てられます。メモリーを増設してください。
88 EPタイプ゜チガ゛イ EPコウカン	**EPカートリッジのタイプが違う。** → 正しいタイプのEP カートリッジを取り付けてください。「EP カートリッジの交換」（259ページ）に従って、EPカートリッジを取り付け後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
89 EPジ゛ュミョウ EPコウカン	**EPカートリッジの寿命を示している。** → 「EPカートリッジの交換」（259ページ）に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
XX コールXXX	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 → ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーやプリントマネージャの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混ざることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止してください。
上記以外の表示	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき あいうえおかきくけこ アイウエオカキクケコ ABCDEFGHIJ abcdefghij さしすせそたちつてと サシスケソタチツテト KLMNOPQRST klmnopqrst	**用紙が規格に合っていない。** →　「用紙の規格」（313ページ）を参照して、確認してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** →　5章「用紙のセット」（207ページ）を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **MP給紙の「用紙種類」の設定が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** →　プロパティ ダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。 **設定濃度が濃すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき あいうえおかきくけこ アイウエオカキクケコ ABCDEFGHIJ abcdefghij さしすせそたちつてと サシスケソタチツテト KLMNOPQRST klmnopqrst	**プリンターの内部が汚れている。** →　「清　掃」（263ページ）を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄いとき あいうえおかきくけこ アイウエオカキクケコ ABCDEFGHIJ abcdefghij さしすせそたちつてと サシスケソタチツテト KLMNOPQRST klmnopqrst	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（259ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **設定濃度が淡すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　ユーザーズマニュアル1章の「EP カートリッジを取り付ける」を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **MP給紙の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** →　プロパティ ダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。
何も印刷されない	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（259ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　ユーザーズマニュアル1章の「EP カートリッジを取り付ける」を参照して、トナーシールを引き抜いてください。
真っ黒に印刷されたとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　「EPカートリッジの交換」（259ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　「EPカートリッジの交換」（259ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。

症　状	原因と処理方法
文字のグレー印刷ができない 1 2 3 4 5 6 A B C a b c d	**プリンタードライバーの設定が正しくない。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000： プリンタードライバーの[印刷設定]ダイアログボックスを開き、[その他]シートの[文字の表現]で[標準（グレースケール）]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。 Windows Me、Windows 98、Windows 95： プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[フォント]シートの[文字を白黒で印刷する]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。 Windows NT 4.0：プリンタードライバーの[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開き、[その他]シートの[文字の表現]で[標準（グレースケール）]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。
印刷に縦線や横線が入るとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　「EPカートリッジの交換」（259ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　「EPカートリッジの交換」（259ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき	**転写ローラが汚れている。** →　数枚テスト印刷をしてください。 重要 転写ローラーを直接清掃すると用紙送り不良の原因となるおそれがあります。 **リブプレートが汚れている。** →　「清　掃」（263ページ）を参照して、プリンターの内部を清掃してください。
部分的に白く抜けるとき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　5章「用紙のセット」（207ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　付録「用紙の規格」（313ページ）を参照して、確認してください。 **プリンター内部が結露している可能性がある（冬期など）。** →　電源をONにしたまま30分〜1時間放置してから印刷してください。 **EPカートリッジに問題がある可能性がある。** →　「EPカートリッジの交換」（259ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　「EPカートリッジの交換」（259ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　「EPカートリッジの交換」（259ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** →　切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。

症　状		原因と処理方法
改行量（行の間隔）が2倍になる	1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** →　ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 →　他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 →　メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。
1行が2行にわたる	1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f	
各行の文字が重なって印刷されてしまう	1 2 3 4（5 6が重なる） A B C D（E Fが重なる） a b c d（e fが重なる）	
用紙の途中から印刷が始まってしまう	1 2 3 A B C a b c	

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないときは、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。
ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症 状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** → プリンタードライバーによっては接続先のポート（LPT1、COM1 など）に対し常に通信しようとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1がONで、I/F設定が「ECP」になっている。** → お使いのプリンターをWindowsからお使いのプリンターに印刷する場合は、メモリースイッチ5-1をONのままにして、メニューモードのI/F設定メニューの「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのI/F設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要です。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定が異なる。** → お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターの I/F 設定の動作モードを同じ設定にしてください。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 **PrintAgentが正しく動作していない。** → 「PrintAgentシステムが起動しないときは」（278ページ） を参照してください。 **プリンターと双方向通信ができない。** → 「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（286ページ） を参照してください。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** → アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** → メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** → 「用紙の規格」（313ページ）を参照して、規格に合っているか確認してください。 本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。** → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W 等のNPDL またはNPDL（Level2）対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。 従来互換の印刷範囲に設定するには、プリンタードライバーの以下に示すシートで設定を変更してください。 Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0： ［プロパティ］─［プリンタの設定］シート─［従来互換の印刷範囲］ Windows Me、Windows 98、Windows 95： ［プロパティ］─［印刷品質］シート─［従来互換の印刷範囲を使用する］

症　状	原因と処理方法
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません。** →　［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押してください。 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　2章「プリンターソフトウエアのインストール」（35ページ）を参照して確認してください。 途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** →　7章「メニューモード」（229ページ）を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切り替え器を使用している。** →　プリンターバッファーや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** →　シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで136桁モードを有効にしてください。

症　状	原因と処理方法
丁合い印刷ができない または多部数印刷ができない	**プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（286ページ）を参照してください。 →　双方向通信が行えない環境の場合は、電子ソート機能を有効にする必要があります。電子ソート機能を有効にするためにはプリンターにメモリーを増設し、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。詳しくは、4章の「電子ソート機能」（145ページ）をご覧ください。 →　アプリケーションの丁合い印刷、または部数印刷を設定してください。
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている。** →　コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（286ページ）を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（286ページ）を参照してください。 **Microsoft Windowsのターミナルサービス環境で印刷している。** →　本章の「その他の注意事項」（287ページ）を参照してください。

プリンターをリセットする方法について

プリンターをリセットするには以下の手順で行います。

❶［シフト］スイッチを押した状態で［リセット］スイッチを2回続けて押す。

ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失され、プリンターは初期状態になります。

❷ リセット後、ブザーが2回鳴ったことを確認する。

PrintAgentシステムが起動しないときは

PrintAgentシステムが動作しないときの症状とその原因、対処方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

症　状	原因と処理方法
画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない	**［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで［システムを自動的に起動する］をチェックしていない。** →　チェックしてください。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は次回ログオン時から、Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は次回起動時から自動的に表示されます。 **PrintAgentを終了している。** →　［スタート］－［プログラム］－［MultiWriter 2130］－［PrintAgentシステム起動］を実行してください。
PrintAgentが機能しない	**PrintAgentシステムファイルが削除された。インストール、またはアンインストールの失敗などによりPrintAgentが正しくインストールされていない。** →　Windowsを再起動して、PrintAgentをアンインストールします。再び、Windowsを再起動して、プリンターソフトウエアを再インストールしてください。 **マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を使用している。** マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）は、PrintAgentには対応していません。マルチプロトコルLANアダプターに添付のソフトウエアをご利用ください。 →
双方向機能が有効になっていない	**Windowsのポートが正しく設定されていない。** →　双方向通信が可能なポートに接続していることを確認してください。 上記のポート以外を設定して印刷を行う場合には、プリンターのプロパティで双方向通信を無効（サポートしない）に設定してください。 →　プリンターのプロパティで双方向通信を有効（サポートする）に設定してください。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（286ページ）を参照してください。

プリンタステータスウィンドウがおかしいときは

プリンタステータスウィンドウでプリンター状態を表示しなかったり、表示内容がおかしいときは、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが［スタート］メニューに登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →　システムの管理者にご相談ください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	**プリンタフォルダーに「NEC MultiWriter 2130」のプリンターが登録されていない。** →　PrintAgentおよび、プリンタードライバーをインストールしてください。 **プリンタードライバーが変更されている。** →　プリンタードライバーを変更すると、誤動作の原因となります。プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーをインストールしてください。
プリンタステータスウィンドウが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** →　権限を確認してください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。 **コンピューターのメモリー不足。** →　必要のないアプリケーションを終了してください。 **プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。** →　コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。 **ドメインに参加していない。** →　ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行った場合、ドキュメントの所有者が［Guest］となり、プリンタステータスウィンドウがポップアップしない場合があります。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である、アニメーションが行われない	**印刷データを直接プリンターに送信している。** →　印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。 **［通知形式のプロパティ］の設定が変更されている。** →　設定内容を確認してください。
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	**最新のステータスを取得していない。** →　プリンタステータスウィンドウの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。 **14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** →　このインターフェースではプリンターの情報を取得することができず、プリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。 **プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** Windows XP、Windows Server 2003Windows 2000、Windows NT 4.0： ［プリンタのプロパティ］の［ポート］-［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。 Windows Me：　［プロパティ］の［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 Windows 98、Windows 95：［プロパティ］の［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 **プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でプリンタープールを使用している。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0上のすべてのプリンターのプロパティの［ポート］-［プリンタプールを有効にする］のチェックを外してください。 **お使いのコンピュータープリンターポート（パラレルポート）の設定とプリンターのI/F設定が異なっている。** →　双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」（288ページ）を参照してください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声がインストールされていない。** →　標準インストールでは音声はインストールされません。アプリケーションの追加と削除で音声を選択してインストールしてください。（65ページ参照） **音声を通知しない設定になっている。** →　［通知形式のプロパティ］の設定を確認してください。 **［PSWのプロパティ］の［自分のドキュメントを印刷していないときの設定］が「自動起動する」になっていない。** →　自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。 **ボリューム、Windowsのサウンド設定が変更されている。** →　設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** →　すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対しては、削除できません。 **プリンターのアクセス権がない。** →　ネットワーク管理者に権限を確認してください。 **印刷先がネットワーク共有プリンターである。** →　ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、クライアントでプリンターをインストール（作成）した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSを「ログオフ」→「ログオン」してください。
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない、または自動起動してしまう	**［PSWのプロパティ］の設定が変更されている。** →　設定を確認してください。詳細はPrintAgentのヘルプを参照してください。 **LANアダプターを装備し、直接接続して使用している。** →　プリンターをサーバーを介さずに使用している場合は［PSWのプロパティ］で［自分のドキュメントを印刷していないとき］の起動条件として［印刷中にアイコンで自動起動する］を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただし、この場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示内容が実際の構成と異なっている	**プリンターが双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファーなどを経由して接続されている。** →　プリンターの現在の設定は読み込むことはできません。双方向通信できないときは、初期状態として最大構成が入っています。この場合の構成はプリンタードライバーから設定が可能です。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。 **プリンターの情報をうまく取得できない。** →　ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により、正しくプリンターの情報が取得できなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。情報の更新を行ってください。

リプリント機能が動作しないときは

リプリントがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症　状	原因と処理方法
リプリント機能が使用できない	**［リプリント機能を提供する］がチェックされていない。** →　PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。（ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。） **プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0： ［プリンタのプロパティ］の［ポート］－［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。 Windows Me： ［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 Windows 98、Windows 95： ［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 →　1章の「使用できるプリンターケーブル」（33ページ）を参照して、ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 **PrintAgent リプリントがインストールされていない。** →　PrintAgent リプリント2を追加インストールしてください。（「PrintAgentの追加・削除」（65ページ）参照） **プリンタードライバーがインストールされていない。** →　2章「プリンターソフトウエアのインストール」（35ページ）を参照して、ご使用のプリンターのプリンタードライバーをインストールしてください。
リプリントしたい印刷ジョブが蓄えられない	**［リプリント機能を使用する］がチェックされていない。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000： ［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シートで機能選択バーの［リプリント］を選択し、確認してください。 Windows Me、Windows 98、Windows 95： ［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、確認してください。 Windows NT 4.0： ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの［メイン］シートで機能選択バーの［リプリント］を選択し、確認してください。 **ドメインに参加していない。** →　ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行う場合リプリント機能は利用できません。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
蓄えられた印刷ジョブがなくなった	**印刷ジョブのスプールサイズが大きい。** →　［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスを開き、［リプリント機能の設定］ダイアログボックスでディスク領域を大きくしてください。（173ページ参照） **ドキュメント数が制限を超えている。** →　［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスを開き、［リプリント機能の設定］ダイアログボックスでドキュメント数の値を大きくしてください。（173ページ参照） **有効期限が過ぎている。** →　［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスを開き、［リプリント機能の設定］ダイアログボックスで有効期限の時間を長くしてください。（173ページ参照）

ジョブセパレート機能が動作しないときは

データを送ったが、ジョブセパレートできなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症　状	原因と処理方法
ジョブセパレート機能が使用できない	**A4サイズが縦置き、横置きでセットされていない。** →　プリンターにセットされている用紙の向きを確認してください。（209ページ参照） **MPの用紙サイズが設定されていない。** →　MPの用紙サイズを「A4ヨコ」もしくは「A4タテ」に設定してください。 →　メニューモードのヨウシメニューで「MP　テイケイガイヨウシ」を「OFF」に設定してください。 →　メニューモードのヨウシメニューで「MP　ヨウシシュベツ」を「フツウシ」に設定してください。 **MPの用紙種類を普通紙以外に設定している。** →　MPから印刷する場合、メニューモードまたは、プリンタードライバーでMPの用紙の種類を普通紙に設定してください。 **給紙方法が自動に設定されていない。** →　プリンタードライバーの［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、自動に設定してください。 **［ジョブセパレート機能を使用する］がチェックされていない。** →　ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者（クライアント）の設定をプリンタードライバーで［ジョブセパレート機能を使用する］にしてください。 **プリンターで双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentシステムが起動しないときは」（278ページ）を参照してください。双方向通信ができない場合には、丁合い機能と組み合わせた多部数印刷時のジョブセパレートはできません。
ジョブセパレート機能がうまく働かない	**丁合い機能が正しく選択されていない。** →　アプリケーションの印刷機能から丁合い機能を指定している場合は正しく機能しません。アプリケーションの指定を外してください。 **すべてのクライアントがジョブセパレート機能を使用できる設定になっていない。** →　ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべてのクライアントが［ジョブセパレート機能を使用する］に設定していることを確認してください。
PrintAgent リプリント2でジョブセパレートが設定できない	**プリンタードライバーの給紙方法が［自動］以外の設定で印刷された印刷ジョブを選択している。** →　給紙方法を［自動］に設定し、印刷してください。 **A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。** →　A4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。
PrintAgent リプリント2でジョブ結合したとき、ジョブセパレートが設定できない	**A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。** →　A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブの選択を解除してください。 →　結合するジョブをA4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- [PrintAgentセットアップ]のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgent のインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウェアのフォルダー（ディレクトリー）名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー（ディレクトリー）名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時は、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003で、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールはできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators]または[DomainAdmins]グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentをインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で[プリンタの追加ウィザード]より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに[プリンタの追加ウィザード]でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、[現在のドライバを使う（推奨）]ではなく、[新しいドライバに置き換える]を選択してインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003の場合は[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

* フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを使用してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000およびWindows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は[コンピュータの管理者]およびAdministrators権限のある方が変更できます。

[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**
  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。
  この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。
- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**
  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

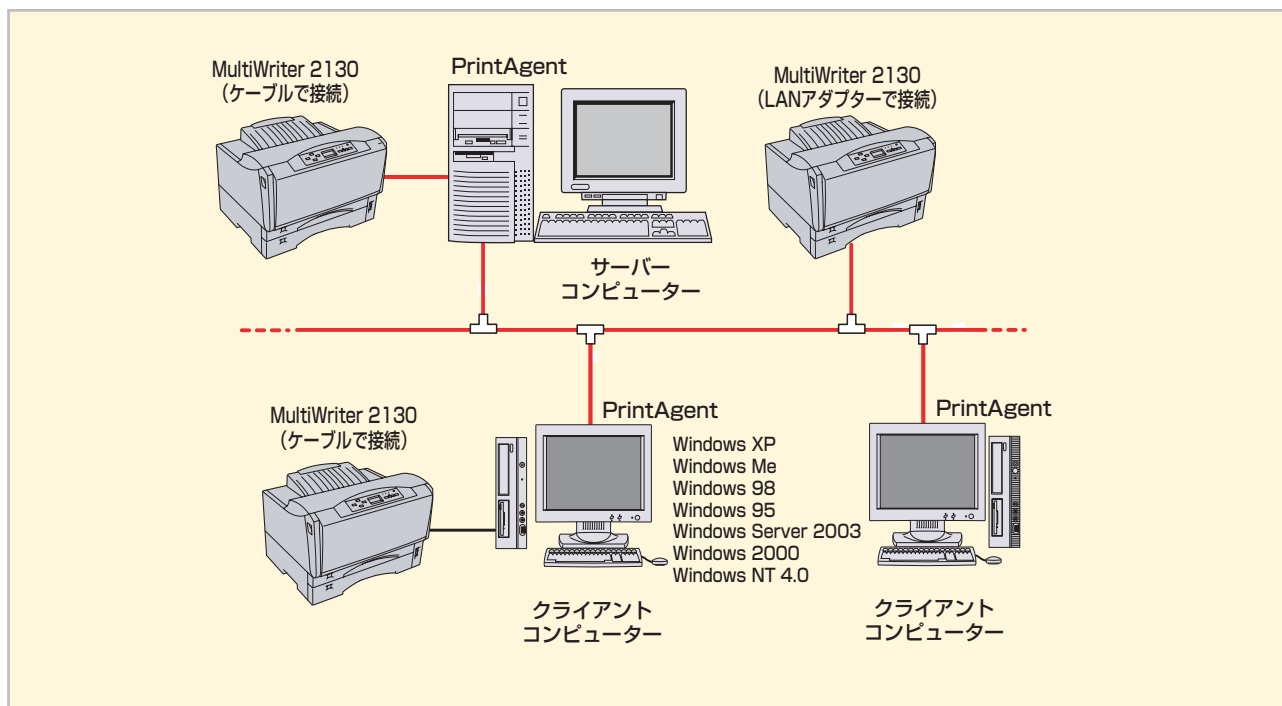
  これらを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。
- **コンピューターの処理能力が十分でない**
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この場合、この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合はプリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の環境でStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷する場合は、[SNMPステータスを有効にする］のチェックを外してください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。

- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。
- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。
（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。）

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

• 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレルインターフェース接続	USB インターフェース接続	LAN 接続
Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000	LPTx	USBxxx	NEC Network Port
Windows Me Windows 98 Windows 95	LPTx	USBxxx*	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	- - -	NEC Network Port

*　Windows 95日本語版には、対応していません。

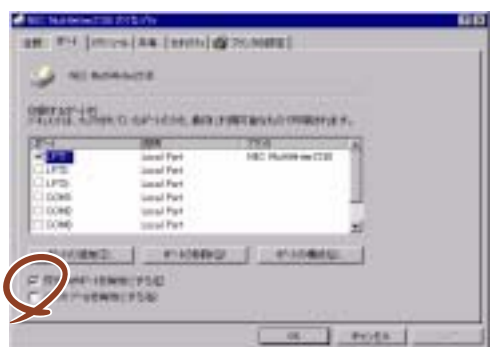
• 上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。この場合、PrintAgentの機能はご利用になれません。
• ネットワークオプションのPR-NPX-05はPrintAgentに対応していません。

• 双方向通信を有効にしてください。

<Windows XP､Windows Server 2003､Windows 2000の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

<Windows Meの場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選択する。

<Windows 98、Windows 95の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選択する。

<Windows NT 4.0の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentはWindows Server 2003, Enterprise Edition、Windows Server 2003, Datacenter Edition、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Service、Windows Server 2003（リモートデスクトップによる接続を含む）を実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  – Windows Server 2003、Windows 2000対応ドライバー: ¥MW2130¥WIN2KTS
  – Windows NT 4.0対応ドライバー ：¥MW2130¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、3章の「ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」（113ページ）を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバーのインストールを行なうこともできます。

- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。
- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクター）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクター）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。
- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。
- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求（IRQ）を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求（IRQ）と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求（IRQ）の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプ等を参照してください。

チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgent とプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには7章「メニューモード」（229ページ）を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」（61ページ）、「PrintAgentの追加・削除」（65ページ）の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。
- 従来OS用のPrintAgentはWindows　XP、Windows　Server　2003、Windows　2000では使用できません。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows 3.51からWindows XP、Windows 2003、Windows 2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP、Windows 2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP、Windows 2000に対応したPrintAgentをインストールし、ご使用ください。

チェック

- アップグレード前のOSがWindows NT 3.51で、他のMultiWriterシリーズやPrintAgent対応プリンターのPrintAgentをインストールしてご使用の場合、PrintAgentのアンインストールした後、Windows 2000へのアップグレードを行うと、正しくアップグレードできないことがあります。できなかった場合には、「PrintAgent Eraser」をWindows NT 3.51上で使用して、PrintAgentを削除してください。
- すでにOSをWindows XP、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずにWindows XP、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。

  「PrintAgent Eraser」は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「￥PAeraser￥Readme.txt」をご覧ください。
- Web PrintAgentは、OSをアップグレード時に停止されます。アップグレード後、インターネット インフォメーション サービス（IIS）のWebサイトを再び開始してください。

ネットワークで思うように印刷できないときは

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこのページを参照してください。

症状	原因と対策
Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000 をご使用の場合	
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。	**1.　コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください。** **LANアダプターをご使用の場合** →　ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？ コンフィグレーションページ「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。 →　プリンターのリンクランプ（橙色）は点灯していますか？ →　プリンターおよびHUBのリンクランプは点灯していますか？ ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。 →　ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？ 「10BASE/100BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致していることを確認してください。「？」と表示されるときはHUBの通信設定を固定にするかWWWブラウザーまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを用いてプリンターの通信設定を固定してください。 →　IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されていますか？ IPアドレスとサブネットマスクを確認してください。ルータを越えた環境ではゲートウェイアドレスを設定してください。 **無線LANプリンタアダプタをご使用の場合** →　無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていますか？ 「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。この時に、「No connection」の場合は、「Network Name」、「Access Point Name」、「Channel」、「Encryption」の結果を確認してください。無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていないときは、ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　プリンターがセレクト状態で起動し、無線LANプリンタアダプタの電源ランプが点灯していますか？ 無線LANプリンタアダプタに添付の無線LANカード以外のPCカードが取り付けられている、無線LANカードの挿入が不十分、または無線LANプリンタアダプタの取り付け不十分が考えられます。無線LANプリンタアダプタの取扱説明書を参照して正しく取り付けてください。また、無線LANプリンタアダプタ電源ランプと送受信ランプが10秒程度の間隔で点滅している場合は、無線LANプリンタアダプタとしては、正常に動作していますが、無線接続が確立していない状態です。ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　暗号キーやネットワーク名は間違っていませんか？ 暗号キーやネットワーク名が正しく設定されていないと、無線通信のセキュリティ機能により無線接続されません。この場合はネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。暗号キーを変更する場合は無線LANプリンタアダプタを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。 **2.　コンピューターからPingコマンドを実行し、コンピューターとプリンターが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。** →　＜Windows Me 日本語版の場合＞ ①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［MS-DOSプロンプト］を選択する。 ② ping 123.123.123.123（「123.123.123.123」はプリンターのIPアドレス）。

症　状	原因と処理方法
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。（続き）	（例） C:¥WINDOWS> ping 123.123.123.123 ［return］ Pinging 123.123.123.123 with 32 bytes of data: Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Ping statistics for 123.123.123.123: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms 応答がある場合は、コンピューター上のプリンターのプロパティを開いて［印刷先］を再度、確認してください。 また、プリンターの電源をOFFにして応答がないことを確認してください。 プリンターの電源を入れた状態で応答がない場合は、プリンター以外の機器（コンピューター）と通信できるか確認してください。また、コンピューターおよびプリンターのIPアドレスが適切かどうか確認してください。 IPアドレスは、コンピューターのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号帯が一致している必要があります。プリンターのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。
コンフィグレーションページが印刷されない。	→ LANアダプターは動作していますか？ LANアダプターのステータスランプが点灯または点滅している場合は、再度プリンターの電源を入れ直してください。
印刷速度が遅い	→ 無線通信に影響を与えるものがプリンターの周辺にありませんか？ 無線LANプリンタアダプタは最大11Mbpsの無線通信速度に対応していますが、次のような周囲の環境によっては通信速度が低下する場合があります。 • 近くに電子レンジなど同じ周波数帯の電波を放射する機器がある。 • アクセスポイント等の通信相手との距離が離れていたり間に障害物がある。 • プリンターが壁やパーティションに囲まれている。 コンフィグレーションページを印刷し、「Link Quality」の結果が「Good」以外の場合は設置場所の変更をお勧めします。
丁合い印刷、多部数印刷ができない。 ジョブセパレートができない。	プリンターと双方向通信が有効でない。 → PrintAgentは、LPR印刷、およびPR-NPX-05マルチプロトコルLANアダプタに対応していません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にしてください。詳しくは、本章「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（286ページ）を参照してください。 → 丁合い印刷には、メモリー増設による電子ソート機能を利用することをお勧めします。詳しくは4章の「電子ソート機能」（145ページ）を参照してください。 → 丁合い印刷または部数印刷はアプリケーションの設定を行ってください。
SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない。	→ ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。
SNMPに応答がない。	→ ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名を LAN インターフェースに設定してください。
無線LANカードに添付のユーティリティーから無線LANアダプターの接続が確認できない。	→ ご使用の無線LANカードに添付のユーティリティーによっては、無線LANアダプターとの接続状態を表示できない場合があります。この場合は、ご使用のコンピューターからEASY設定ユーティリティを起動し、プリンターリストのウィンドウに接続先の無線LANプリンターが表示されることで接続状態を確認してください。

症 状	原因と処理方法
Windows Me、Windows 98、Windows 95 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、［印刷履歴］を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → パラレルインターフェース、USB インターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。 白紙が印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、［印刷履歴］を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。また、「LPRバイトカウントを有効にする」設定を有効にしてください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → Standard TCP/IP Port の設定を確認してRAW（9100）になっている場合はLPRに変更してください。 → Standard TCP/IP Port のLPRを用いて印刷している方は、「LPRバイトカウントを有効にする」を有効にしてください。 → パラレルインターフェース、USBインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
従量課金回線でご使用の場合	→ Standard TCP/IP PortのLPRを用いて印刷をしている場合、「SNMPステータスを有効にする」のチェックを外してください。
Windows NT 4.0 をご使用の場合	
LPR印刷で、しばらくしてプリントマネージャーに「プリンタビジーまたはエラー」と表示される。	→ 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。
LPRで印刷中に、ジョブがキャンセルされる。 「エラー」と表示した状態で停止する。	→ 印刷するページを少なくして、もう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。
LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある。	→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムの設定による可能性があります。マイクロソフト社から提供されている「サポート技術情報」を参考に設定を確認してください。
UNIX をご使用の場合	
lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しく印刷されない。	→ プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。 → プリンターのコードに変換されていない場合があります。euc コードのフィルター設定を確認してください。フィルターの機能については、3章の「ネットワークでの設定」の「UNIX環境の設定」（116ページ）を参照してください。
putコマンドでデータを転送したが、最後のページが排出されない。	→ テキストファイルなどの転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定してください。

紙づまりのときは

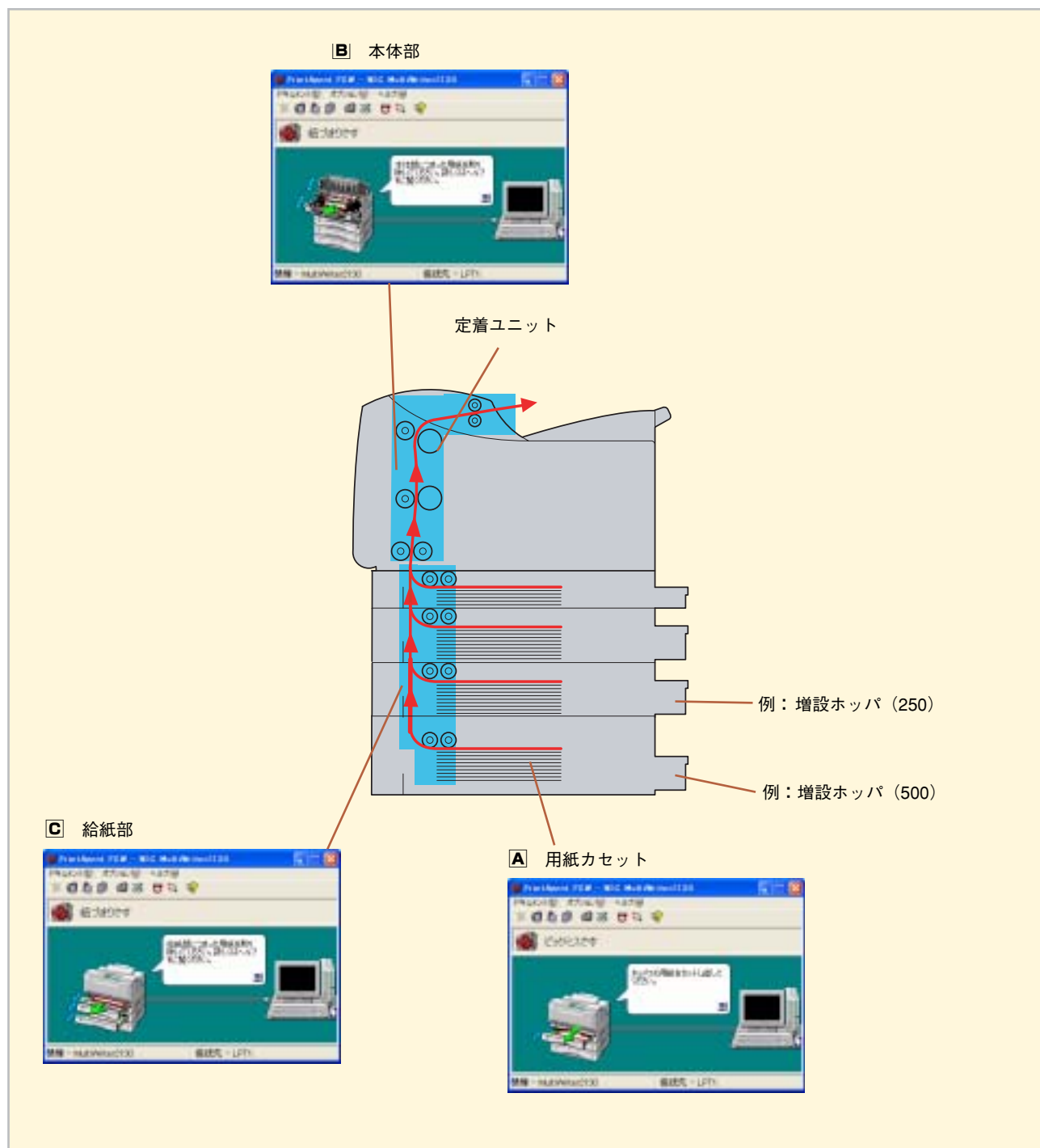
紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可（赤）ランプが点滅し、ディスプレイに“74　カミヅマリ　ホンタイ　キュウシ”、または“78　ヨウシピックミス　ホッパ　MP”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態（印刷可ランプが赤色に点滅）になります。

紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）のときのディスプレイ表示と発生箇所は次の表のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）が発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74　カミヅマリ”	“ホンタイ”	B 本体部
	“キュウシ”	C 給紙部
“78　ヨウシピックミス”	“ホッパ”	A 用紙カセット
	“MP”	

次ページの図を参考にしてA、B、Cのいずれかを開けて、つまった箇所を調べてください。つまった箇所に応じて、294ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

A～Cで示す網掛け部分が紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。処理手順については次ページ以降を参照してください。

紙づまり、ピックミスの発生箇所

定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

ピックミス（用紙給紙ミス）の処理

発生箇所（A）に応じて、ピックミス（用紙給紙ミス）の処理をしてください。

給紙されなかった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

ピックミスが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」（300ページ）を参照してピックミスを誘発させる事柄がないか確認してください。

チェック

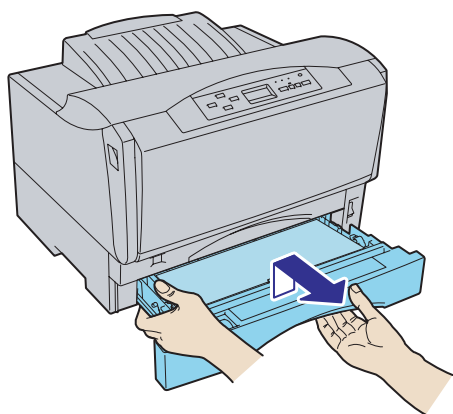
給紙できなかった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。

A 用紙カセット

用紙カセットでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

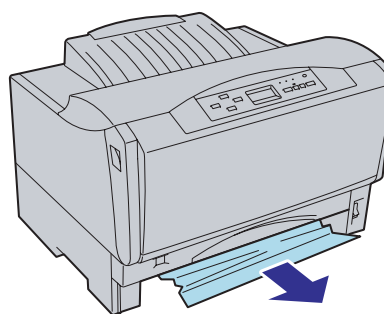
1. **操作パネルの表示でピックミスが発生した箇所を確認する。**
2. **プリンターの電源をONにしたまま、ピックミスが発生した箇所の用紙カセットをゆっくりと取り外す。**

重要

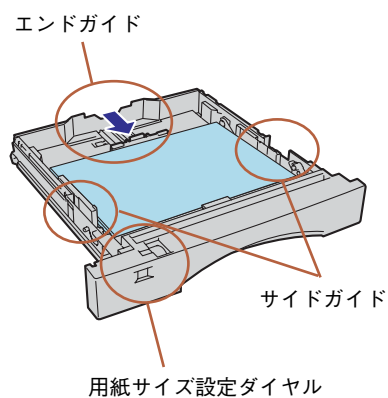
用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。カセットを両手で上に軽く持ち上げ持って取り外してください。

3. **給紙されなかった用紙を取り除く。**

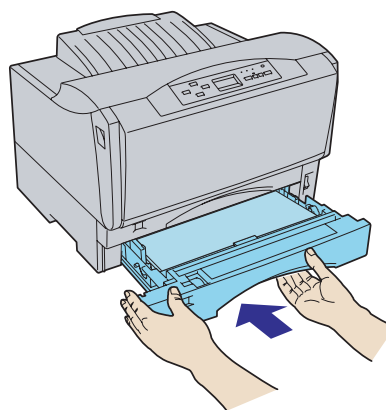
チェック

給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。

用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❹ 用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。

用紙カセットカバーを外し、エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。

5章「用紙のセット」（207ページ）を参照してください。

❺ 用紙カセットを取り付ける。

重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

紙づまりの処理

発生箇所（B、C）に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」（300ページ）を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

チェック

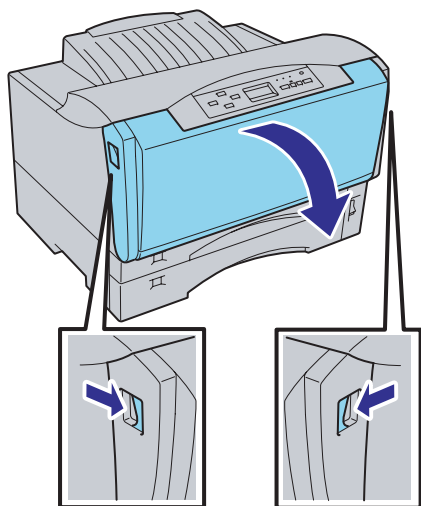
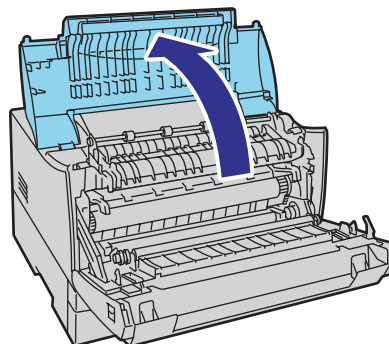
- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

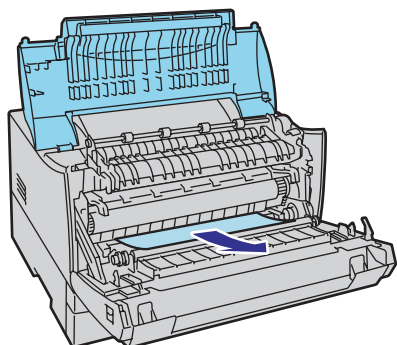
B　本体部の紙づまり

本体部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

注意　定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっています。触れるとやけどをするおそれがありますので、十分に注意してください。

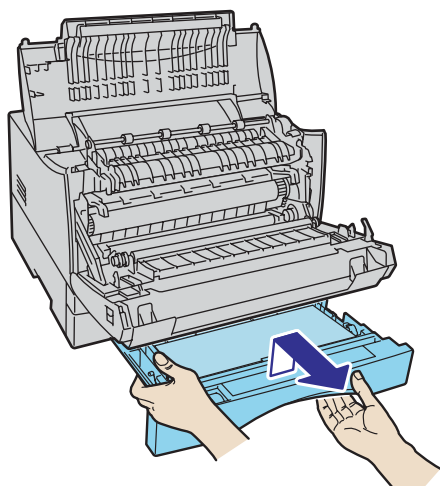
❶ **プリンターの電源をONにしたまま左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。**

フロントユニットが開いて止まります。

❷ **トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。**

❸ つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。

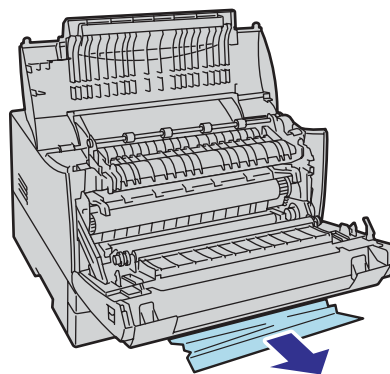
用紙がローラーにかかっていないときは、用紙をしっかりと持って手前にゆっくりと引き抜きます。
つまった用紙が見つからない場合は、手順❻に進んでください。

❹ トップカバーをゆっくりと閉じる。

❺ フロントユニットをゆっくりと閉じる。

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❻ 標準カセット、またはMPカセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。

❼ つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと下方向に引き抜く。

つまっている用紙が見つからなかった場合は、そのまま次の手順へ進んでください。

> ✔チェック
>
> つまった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。
>
> 用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❽ トップカバーをゆっくりと閉じる。

❾ フロントユニットをゆっくりと閉じる。

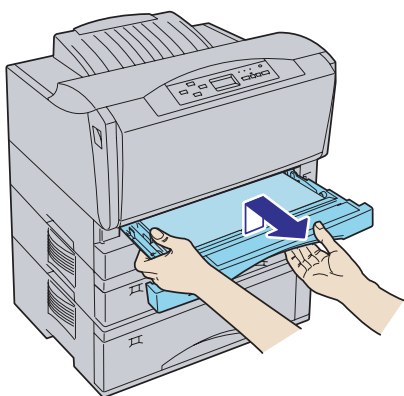
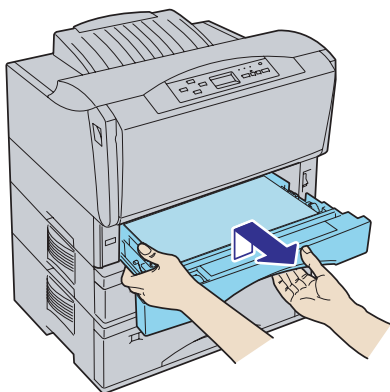
❿ 取り外した標準カセット、またはMPカセットを取り付ける。

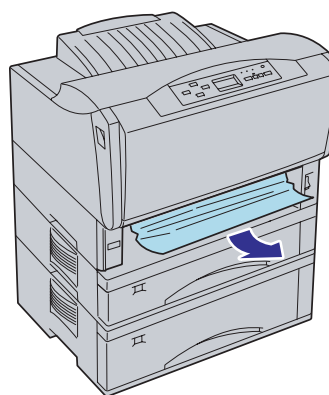
C 給紙部の紙づまり

給紙部で紙づまりが発生した場合の処理方法を、増設ホッパーを装着した場合を例にして説明します。

重要

- 用紙カセットを取り外すときは、両手で持ってください。
- 用紙カセットを取り外すときは、ゆっくりと引き出してください。用紙カセットを強く引き出すと、つまっている用紙が切れてしまい取り除けなくなるおそれがあります。

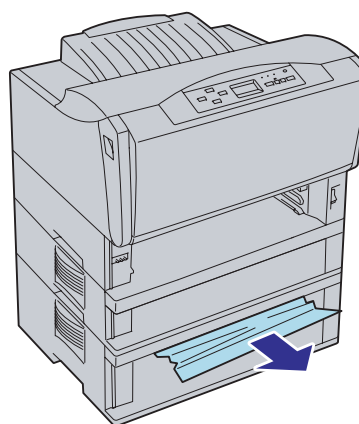
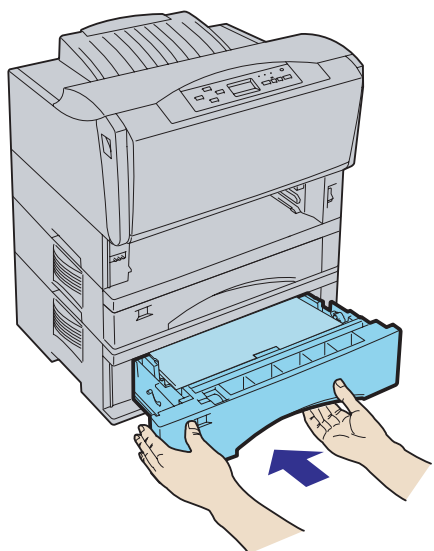
❶ **MP カセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。**

❷ **標準カセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。**

❸ **つまった用紙をゆっくり引き抜く。**

用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。
つまった用紙が見つからない場合は、手順❺に進んでください。

❹ **標準カセット、MPカセットを取り付ける。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❺ **つまった用紙が見つからない場合は、増設カセットを上から順番に取り外し、つまった用紙を取り除く。**

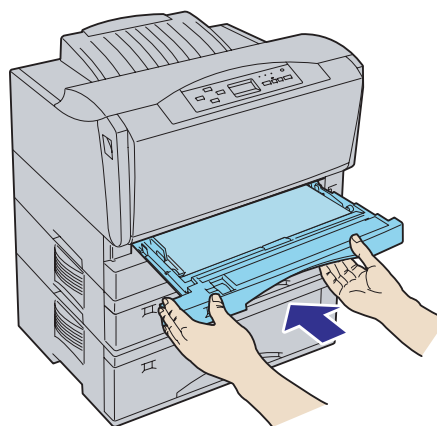
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

重要

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り外してください。

❻ **増設カセットを取り付ける。**

重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

❼ **標準カセット、MPカセットを取り付ける。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

ピックミス、紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙または、つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

- □用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- □用紙は正しくセットされていますか。
- □セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの設定は合っていますか。
- □用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙の規格」（313 ページ）に記載されている事柄は守られていますか。
- □用紙の量が多すぎませんか。エンドガイド、およびサイドガイドの最大積載表示（▽）以下にセットされていますか。（坪量64.0g/m^2（連量55kg）の普通紙で、標準ホッパーの容量は約250枚です。）
- □一度印刷した用紙を使用していませんか。
- □プレ印刷用紙（すでに罫線などが印刷されている用紙）を使用していませんか。
- □フロントユニット、トップカバーは確実に閉じられていますか。
- □標準カセット、MPカセット、または増設カセットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- □標準カセット、MPカセット、または増設カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。

上記の確認後、1章オプションの「テスト印刷」（25ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、およびオプションを取り外してから行ってください。

❶ **付属品および消耗品（EP カートリッジ、用紙カセット、用紙、電源コード、プリンターケーブル）を取り付けたときと逆の手順で取り外す。（ユーザーズマニュアル「1章 プリンターの設置」を参照してください。）**

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

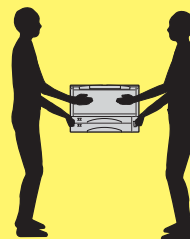
❷ **オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、1章「オプション」（13ページ）を参照して取り外す。**

❸ **購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。**

注意

プリンターを移動する際は、プリンター側面の取っ手を持ち、プリンター前面に手をそえて2人以上で運んでください。プリンターの標準の質量（EPカートリッジ含まず）は約15.2kgです。

1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

また、プリンターの重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。
- NEC製のEPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

10章
ユーザーサービス

NECは、MultiWriter 2130の「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサービスをご利用になる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

- お客様登録について 304ページ
- 保証について 304ページ
- 保守サービスについて 305ページ
- プリンターの寿命について 305ページ
- 補修用性能部品および消耗品について 305ページ
- ユーザーズマニュアルの再購入について 306ページ
- 情報サービスについて 306ページ
- プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合 306ページ

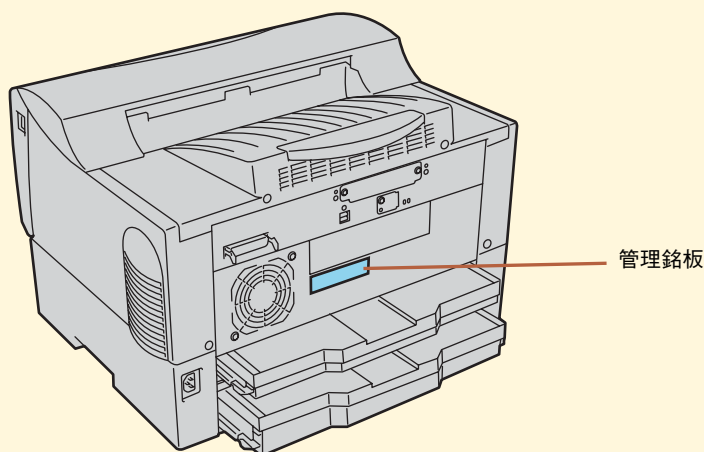
お客様登録について

お客様登録をしていただきますと、安心・充実したサービスとサポートを受けることができます。ぜひご登録ください。詳しくは、添付の「お客様登録のご案内」をご覧ください。

保証について

プリンターには「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡しします。記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料で修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼られています（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社＊[1]をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- PrinterSupportPack
  プリンター本体の購入時から一定期間（3年/4年/5年）、何度でもオンサイト保守を提供する契約＊[2]。
- **年間保守契約**
  年間一定額の料金にて、プリンターの故障時に何度でも保守員を派遣して、修理を行う契約。
  契約先、契約料など詳細については、ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。
- **スポット保守サービス＊[3]（保守契約をされていないお客様へのサービス：有料）**
  － 引き取り修理サービス
  － 出張修理サービス

プリンターの寿命について

MultiWriter 2130の製品寿命は、印刷枚数が60万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。MultiWriter 2130は、10万枚ごとに定期保守が必要です。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

＊1　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、インターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。
＊2　技術料・交通費・交換部品代金を含む。ただし消耗品および規定の寿命に達した有寿命部品（定期交換部品）は有償となります。有寿命部品（定期交換部品）の詳細は、http://nec8.com/care/prchange/ をご覧ください。
＊3　施設により詳細な規定、サービス内容、料金体系、営業日、営業時間が多少異なりますので、各施設にご確認ください。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になりますので、あらかじめお調べの上お申し込みください。

プリンターの型番　PR-L2130

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、型番をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター
URL：http://pcm.mepros.com/
電話：03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX：03-5471-3996
受付時間　24時間（ただし、いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降になります。）

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
  インターネット　「NEC 8番街」 URL：http://nec8.com/
- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
  NEC 121コンタクトセンター
  （電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。）

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については次ページの「FD作成（インストール媒体の作成）」をご覧ください。

FD作成（インストール媒体の作成）

「FD作成」はプリンターソフトウエアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウエアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

- マスターとして　本プリンター用プリンターソフトウエアをすべてコピーします。（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク9枚が必要です）
- 「カスタム」インストール用として　機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウエアをコピーします。（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク9枚が必要です）

> プリンターソフトウエアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウエアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウエアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

ここでは、Windows XP環境でFD作成をする手順を説明します。他のOSにおいても同様の手順です。

❶ プリンターソフトウエア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。

[インストール]をクリックしてから、[MultiWriter2130]を選んで[インストール開始]をクリックします。

❷ FD作成の[作成]をクリックする。

❸ インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、[次へ]をクリックする。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

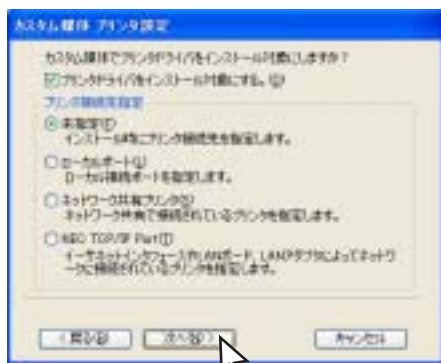
[マスタ媒体として作成する。]を選ぶと、CD-ROMと同様の内容をすべてコピーします。

<[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❼へ進んでください。

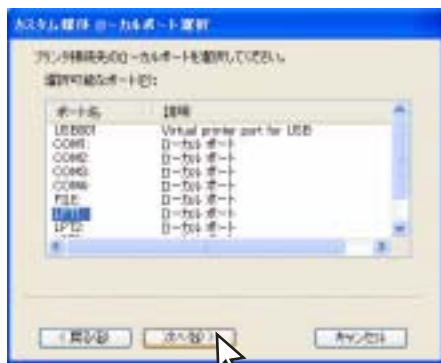
<[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合>

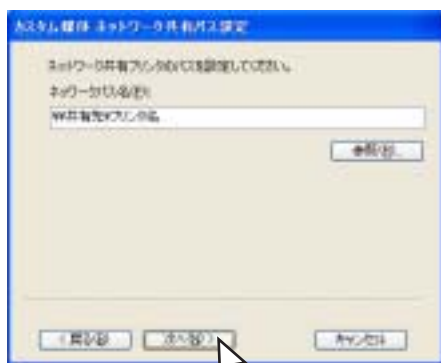
手順❹へ進んでください。

❹ **プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。**

＜[未指定]を選んだ場合＞

手順❺に進んでください。

＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

希望するポートを選び、[次へ]をクリックする。

＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

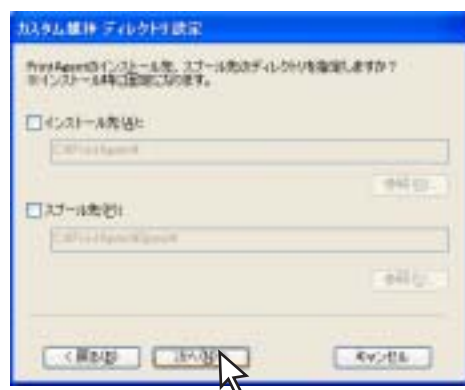
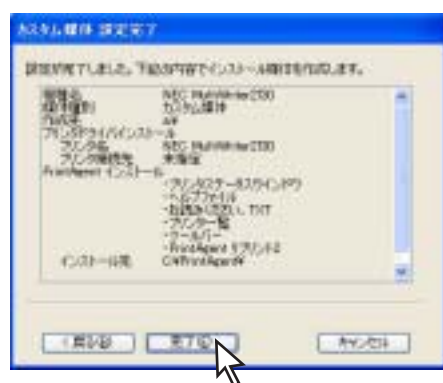
LANアダプターのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。

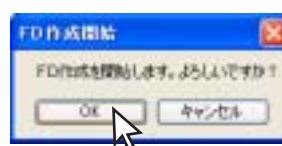
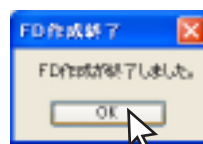
❺ **任意の機能を選ぶ。**

[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールした後に、クライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。

❻ **インストール先、スプール先を指定し、[次へ] をクリックする。**

ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

❼ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

❽ **[OK]をクリックする。**

インストール媒体の作成が開始します。

❾ **[OK]をクリックする。**

チェック

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk1：インストールプログラム

Disk2：Windows Me/98/95
プリンタードライバー
（Windows　Me/98用USBドライバーを含みます。）

Disk3：Windows NT 4.0
プリンタードライバー

Disk4：Windows XP/Server 2003/2000
プリンタードライバー

Disk5～Disk9：PrintAgentソフトウエア

作成したフロッピーディスクでプリンターソフトウエアのインストールを行うには、Disk1にあるSETUP.EXEを実行してください。

付録
技術情報

この章では、本プリンターの仕様、印刷範囲、文字コード、その他の技術情報について説明します。

仕　様

項　目	内　容
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式
印刷速度＊1 （A4サイズ横置き、ホッパー給紙片面印刷時）	約17ページ/分（600dpi時） ＜補足＞ • A4サイズ縦置き給紙で連続印刷100枚までの場合は、約13.3ページ/分になります。ただし、100枚を超える連続印刷を行った場合は約10～12ページ/分になります。 • はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約7.5ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は約4.5ページ/分になります。
ウォームアップの待ち時間 （室温20℃）	電源投入時：15秒以下 節電時：9.5秒以下
ファーストプリントタイム （600dpi時）	A4サイズ：約7秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約9.5秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約9秒（ホッパー給紙）
用紙容量	標準ホッパー：　250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合 MP：　100枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
スタック容量	250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ）
CPU	RM5231A（200MHz）
メモリー	標準12MB、最大268MB（オプション増設時）
オプションメモリーソケット	1ソケット（SO-DIMM用）
インターフェース	IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース（背面に1つ装備） USB2.0に準拠＊2（背面に1つ装備） イーサネット、IEEE802.11b規格準拠の無線LAN（オプション）

＊1　印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

＊2　USBインターフェースは、すべてのUSB対応機器について動作を保証するものではありません。

項　目		内　容
環境		動作温度：10〜32.5℃ 動作湿度：20〜80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度：0〜35℃ 保管湿度：10〜80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量：　一般事務室程度 ガス成分：一般事務室程度 気　圧：　1013×10^5 〜 752.4hPa（海抜0〜2500m）
騒音 （音圧レベル、A補正）		動作時：50dB以下 待機時：36dB以下
電源		電　圧：AC 100V± 10% 周波数：50/60Hz± 1Hz
消費電力*1	動作時最大*2	プリンター単体時：830W以下（840VA以下） フルオプション時：850W以下（860VA以下）
	動作時平均	プリンター単体時：400W以下
	節電モード時	20W以下（節電モード0：工場出荷時） 15W以下（節電モード1）
外形寸法		459（幅）x 583（奥行き）x 319（高さ）mm（カセット伸長時、突起部除く） 459（幅）x 448（奥行き）x 319（高さ）mm（カセット縮小時、突起部除く）
質量		約15.2kg（EPカートリッジ、オプション含まず） 約17.0kg（EPカートリッジ含む、オプション含まず）
製品寿命*3		印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命		EPカートリッジ（本体添付）：　約6,000枚（印刷枚数） （ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時）
言語		• NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む） • ESC/Pエミュレーション
内蔵フォント		明朝体-Lアウトラインフォント、ゴシック体-Mアウトラインフォント、OCR-B相当文字*4、 バーコード*4、*5（カスタマバーコード、JAN（8桁、13桁）、Code 39、NW-7、Industrial 2 of 5、 Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128）
対応OS		• Microsoft Windows XP 日本語版*6、*7 • Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版*6 • Microsoft Windows 98 日本語版*6 • Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版*6 • Microsoft Windows 95 日本語版 • Microsoft Windows Server 2003 日本語版*6、*8 • Microsoft Windows 2000 日本語版*6 • Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 • 日本語MS-DOS（ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V） • Mac OS日本語版*9

*1 電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。
*2 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。
*3 10万枚印刷毎に定期交換部品の交換が必要です。
*4 OCR-B相当印刷やバーコード印刷の読みとりについては、OCR装置、バーコードスキャナでの評価が必要です。ご使用の前にあらかじめご確認されることをお勧め致します。
*5 MS-DOSなどのアプリケーションがプリンターの制御コードを発行できる環境で使用できます。
*6 USBインターフェース接続において、OSのアップグレードの組み合せによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821シリーズのUSBインターフェース接続には対応していません。
*7 Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。
*8 64ビット バージョン Windows Server 2003には対応していません。
*9 Mac OS対応プリンタードライバーは「http://nec8.com」で提供しています。詳細は、同Webページをご覧ください。

用紙の規格

用紙の種類	寸法	坪量	表面電気抵抗
普通紙 **（乾式PPC用紙）**	A3判（297×420mm） A4判（210×297mm） A5判（148×210mm） B4判（257×364mm） B5判（182×257mm） レターサイズ （約216×約280mm） 定形外用紙 （100～297×148～420mm） （定形外用紙はMPのみ）	ホッパー給紙：64～81.4g/m^2 （連量*55～70kg） MP給紙：64～81.4g/m^2 （連量*55～70kg）	1×10^9～1×10^{12}Ω
厚紙		MP給紙：81.4～128g/m^2 （連量*70～110kg）	
はがき 官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。	官製はがき （100×148mm） 官製往復はがき （200×148mm）	MP給紙：157g/m^2 （連量*135kg）	—
OHPフィルム 乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。	A4判（210×297mm）	厚さ：0.1mm± 0.025mm （100μm± 25μm）	—
ラベル紙 乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。	A4判（210×297mm） B4判（257×364mm）	—	—
封筒 洋形4号、内カマス、のりなしのものに限ります。ただし、材質によってご使用になれない場合があります。	105×235mm	—	—

* 連量とは、用紙788×1091mm（四六判）のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

重要

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量　64～67g/m^2（JIS P8124）
- 紙厚　0.085～0.092mm（JIS P8118）
- 平滑度 25～50sec（JIS P8119）
- 剛度　60cm^3/100以上（クラーク式：JIS P8143）
- 表面電気抵抗 1×10^9～1×10^{12}Ω

文字の種類

表中の「○」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されていることを示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準／クーリエ／ゴシック／イタリック
英数字・記号　96種 （スペース、0を含む）	○
カタカナ・記号　63種	○
ひらがな　55種	○
CGグラフィック　56種	○
各国文字　15種	○

2バイト系文字

JIS C6226-1978 準拠*

文字の種類	明朝体アウトライン	ゴシック体アウトライン
記号　96種 （スペースを含む）	○	○
英数字　62種	○	○
ひらがな　83種	○	○
カタカナ　86種	○	○
ギリシャ文字　48種	○	○
ロシア文字　66種	○	○
半角文字　212種 （スペースを含む）	○	○
JIS第一水準漢字　2965種	○	○
JIS第二水準漢字　3384種	○	○

*　JIS X0208-1983, JIS-X0208-1990への切り替え可能

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔（インチ）
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーショナル	約1/27〜1/10
2バイト系文字	7ポイント*1	1/10
	10.5ポイント*2	約1/6.66
	12ポイント	1/6

*1　正確には7.2ポイントです。
*2　正確には10.8ポイントです。

文字構成

1バイト系文字

文字種				ドット構成（ボディフェース）＜縦 × 横＞（ドット）*[1]	文字寸法（ボディフェース）＜縦 × 横＞（mm）
1バイト系文字	標　準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×A*[2]	3.39×B*[2]
		CGグラフィック	パイカ	54×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×40	3.39×2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×A*[2]	1.69×B*[2]
		CGグラフィック	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×40	1.69×2.54

*[1]　論理解像度400dpiの場合

*[2]　プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A：15〜37ドット（400dpi）、23〜55ドット（600dpi）
B：0.95 〜 2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

文字種			ドット構成（ボディフェース）＜縦 × 横＞（ドット）	文字寸法（ボディフェース）＜縦 × 横＞（mm）
2バイト系文字	7ポイント	全角	40×40	2.54×2.54
		半角	40×20	2.54×1.27
	10.5ポイント	全角	60×60	3.81×3.81
		半角	60×30	3.81×1.91
	12ポイント	全角	67×67	4.23×4.23
		半角	67×34	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット		67×n	4.23×m

文字コード表

MultiWriter 2130は、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリースイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

注15（00～10）　注17（30）　注13（80～90）　注14（A0～D0）　注13（E0～F0）　注16（80～F0）

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

注15（00～10）　注17（30）　注13（80～90）　注14（A0～D0）　注13（E0～F0）　注16（80～F0）

国別相違点

注　No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

注1～12　各国特殊文字が入ります（メモリースイッチ1-1～1-3で切り替えます。）
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A～D行はひらがなモード（ESC＆で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC $で指定）の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により「Ø」に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
00B0	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
00C0	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
00D0	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。（本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。）ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

漢字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
2130	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
2140	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
2150	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2160	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
2170	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
2340		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
2350	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
2360		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
2370	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
2630	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
3030	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3340	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3440	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
3730	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3B40	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	蘂	縞	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穰	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	摑
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	塡	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顚
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	檮	棟
4570	盗	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4640	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
4650	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
4740	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
4830	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
4920		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
4930	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
4B70	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
4C30	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4C60	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	藪	鑓	愉	愈	油	癒	
4D20		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4E60	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
4E70	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
4F50	椀	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊
5030	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5040	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	侭	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5060	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
5070	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
5120		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
5130	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
5140	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢
5150	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5160	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
5170	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	
5220		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
5230	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
5240	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦
5250	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5260	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5270	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
5320		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
5330	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
5340	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
5350	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5360	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5370	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	
5420		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏
5430	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
5440	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹
5450	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
5460	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5470	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
5520		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
5530	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
5540	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
5550	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
5560	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5570	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5620		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶
5630	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
5640	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
5650	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
5660	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5670	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5720		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸
5730	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
5740	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
5750	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5760	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5770	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
5830	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
5840	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
5850	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5870	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛	
5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
5A50	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5A60	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
5B20		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦
5B30	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5B40	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
5B50	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5B70	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
5C20		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
5C30	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
5C50	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5C60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
5C70	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
5D20		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
5D30	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5D40	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
5D50	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5D60	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5E20		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
5E50	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
5E70	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
5F30	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
6030	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6120		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
6130	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
6140	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
6220		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
6230	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6260	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6270	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚
6330	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
6350	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
6360	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6370	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝
6430	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
6440	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
6450	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
6460	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6470	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆	
6520		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
6540	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
6550	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6570	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
6620		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
6630	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
6640	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
6740	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅
6750	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6760	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
6830	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
6840	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
6850	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
6870	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
6920		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	薮	薇
6930	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6940	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蛎	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6960	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6A20		蝓	蝣	蝪	蝿	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
6A50	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6A60	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
6A70	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
6B20		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩
6B30	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6B40	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諌	諳	諧
6B60	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6C20		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁
6C30	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6C40	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6C60	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
6C70	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
6D30	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6D40	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6D60	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	迩	迴
6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
6E30	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6E40	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
6E50	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6E60	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
6E70	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
6F20		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
6F30	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
6F40	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
6F60	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
6F70	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	

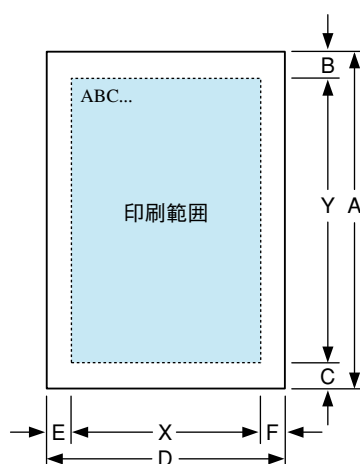
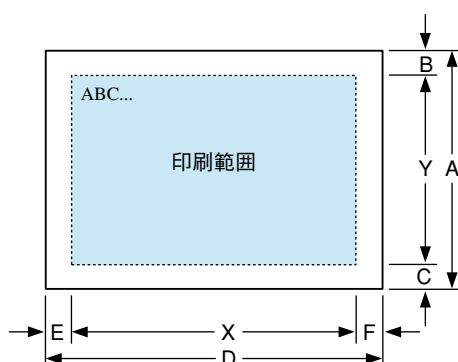
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
7030	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
7050	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
7070	韶	韵	頏	頌	頚	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
7120		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒
7130	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
7140	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
7150	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
7160	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
7170	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
7220		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲
7230	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
7240	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鯵	鯲	鯱
7250	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
7260	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鴬	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
7320		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
7330	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
7340	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩
7350	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
7360	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
7370	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

添付のプリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量をすべて約5mmに設定できます。

- ポートレート

- ランドスケープ

MS-DOS環境

以下の印刷範囲はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで「従来互換の印刷範囲を使用する」をチェックしたときの値です。

- ポートレート

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	17.28	5.94	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	3336	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	5.94	3336	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	12.49	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	5.40	1920	80	53
	B4	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	11.09	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	5.05	1920	80	53
	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
A4×2（80）	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	2328	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	280	5.00	5.00	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	70	46
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

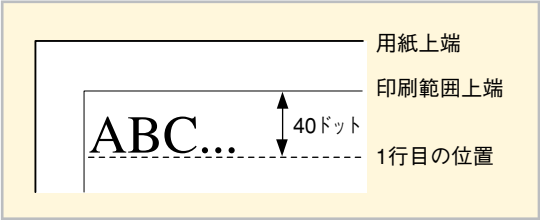
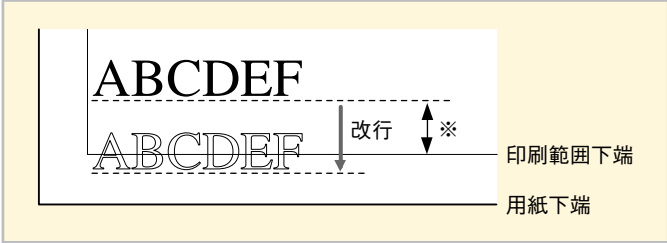
*1　論理解像度240dpiの場合。
*2　改行ピッチが6LPIの場合。
*3　文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4　10.8ポイントのフォント使用時。

- ランドスケープ

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	14.84	3264	136	90
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	13.56	3264	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	A3(80)	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	B4	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	B4(80)	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2 (80)	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	1608	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	51.66	3264	136	90
	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	104	72
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*1　論理解像度240dpiの場合。
*2　改行ピッチが6LPIの場合。
*3　文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4　10.8ポイントのフォント使用時。

補足説明

- 余白量（印刷不可領域）は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲（印刷可能ドット数）は、すべて240dpiで規定されています。各解像度での印刷可能ドット数は以下のようになります。
  400dpi　：240dpiのドット数を5/3倍にした値
  600dpi　：240dpiのドット数を5/2倍にした値
- 行桁モードでは、1行目の位置は240dpi相当で印刷範囲の上から40ドット目（約4.2mm）となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。
  - 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として（0, 39）（240dpi）を指定したのと同じ位置に印刷されます。
  - 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。

  - 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。
  計算に用いる値は右のとおりです。
  - 値はすべて240dpiでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240dpiで行います。
  - 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
  - 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

種　別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポイント(3/20インチ)	36ドット
		12ポイント(1/6インチ)	40ドット
行数	6LPI(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙（A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒）以外の大きさの用紙のことです。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。

チェック

定形外用紙をセットするときの注意

アプリケーションソフトウエアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙への印刷が行えないことがあります。

また、対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することを強くお勧めします。

- 形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- スタックが完全にされない場合があります。この場合はその都度用紙を取り除いてください。
- メニューモードの「ヨウシメニュー」で「テイケイガイヨウシ」を「ON」にする必要があります。

プリンターの設定について

定形外用紙に印刷する場合、MPを使用してください。プリンターは定形用紙を想定し、印刷位置、印刷範囲の制御を行います。用紙サイズ設定ダイヤルを［＊］に設定してから、操作パネルの［MP］スイッチによって印刷させる定形外用紙の用紙サイズに近似した用紙サイズを設定する必要があります。

重要

印刷範囲が定形外用紙内に収まっていない設定のまま印刷を行うと装置内を汚すなど、思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。

定形外用紙はホッパーからは給紙できません。

余白について

印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

重要

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬ障害の原因となります。

印刷位置について

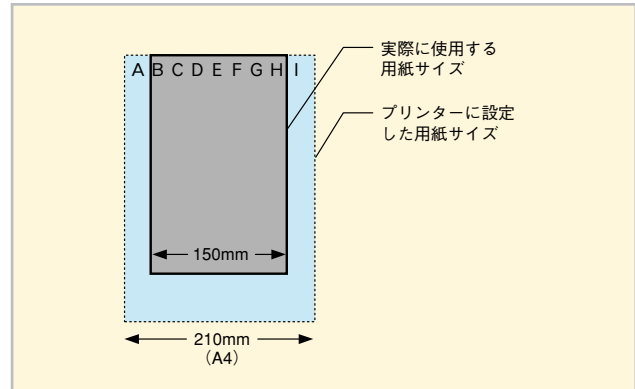
次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は主に行桁モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

- ポートレートの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

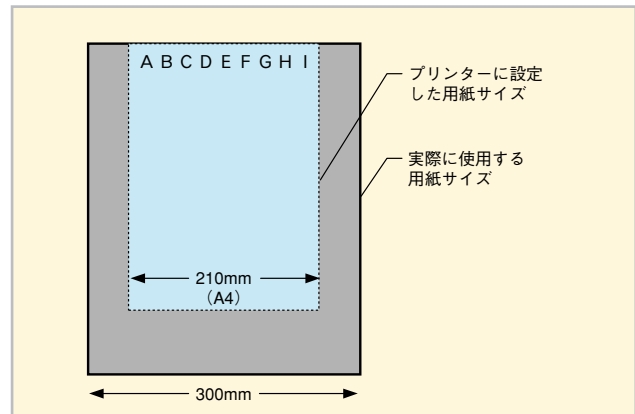
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

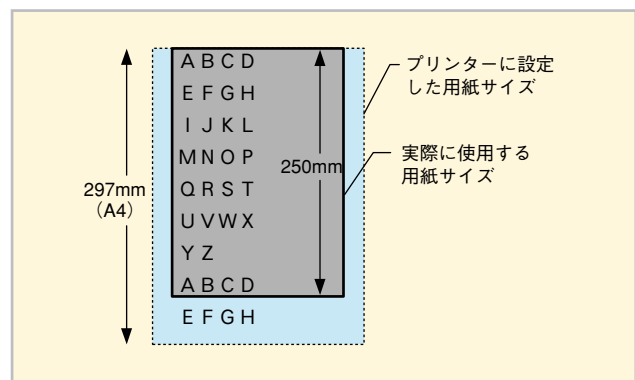
$$必要なスペース=\frac{A-B}{2}$$

A: プリンターに設定されている用紙の幅
B: 実際に使用する用紙の幅

- ポートレートの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

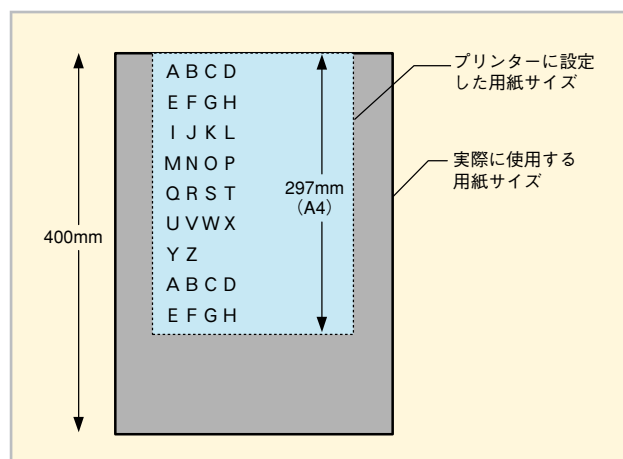
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

- ポートレートの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙の長さを超えるような改行命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いために下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

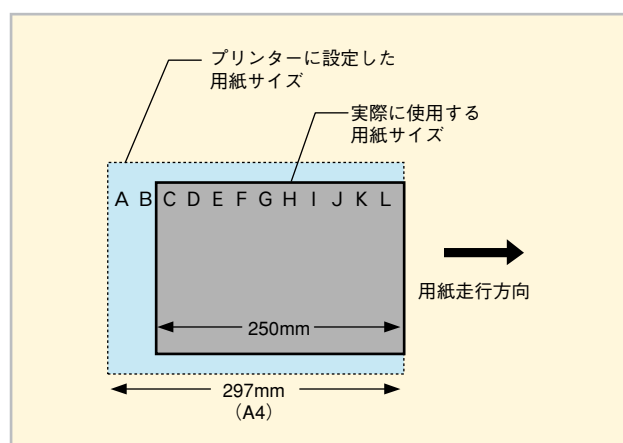
このような場合には、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

- ポートレートの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

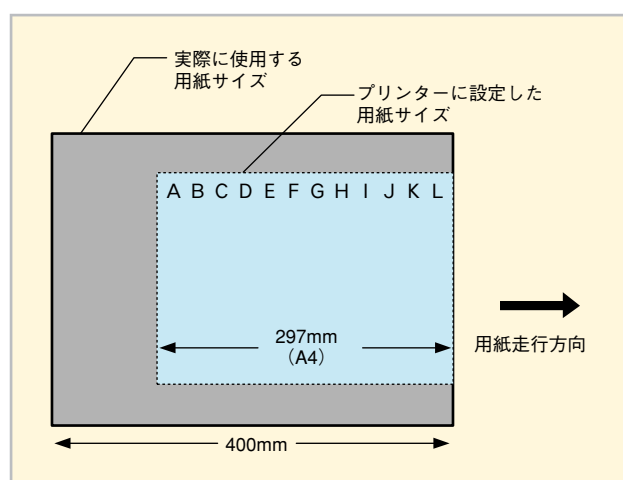
このような使用方法には問題はありません。ただし､用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

- ランドスケープの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端（行の先頭）の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には、各行の先頭に適当な量のスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

必要なスペース＝A－B
A：プリンターに設定されている用紙の幅
B：実際に使用する用紙の幅

- ランドスケープの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

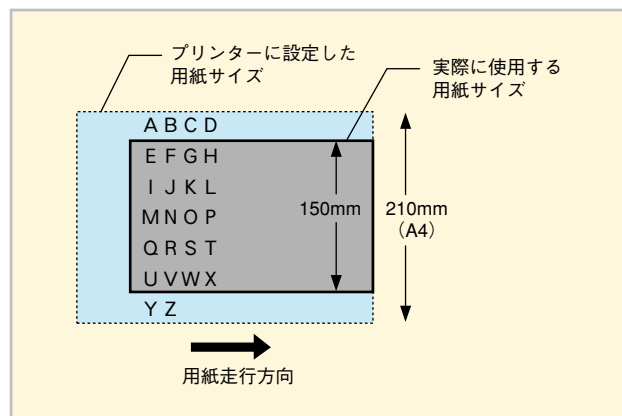
このような使用方法には問題はありません。ただし､用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

- ランドスケープの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

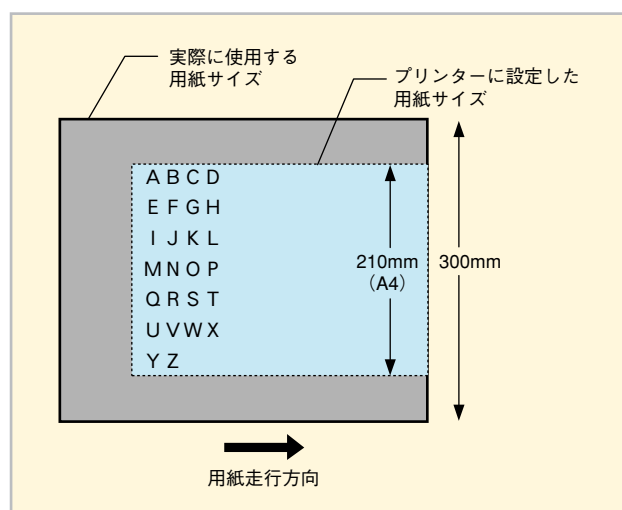
この場合には各ページの先頭に適当な量の余白（改行）をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要な余白の量は次のように算出してください。

$$必要なスペース=\frac{C\text{-}D}{2}$$

C: プリンターに設定されている用紙の幅
D: 実際に使用する用紙の幅

また、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

- ランドスケープの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が300mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし､用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

チェック

80桁モードについて

本プリンターの印刷可能桁数は78桁（A4用紙、パイカモード時）です。したがって、80桁のシリアルプリンターでバッファーフル印刷を利用して改行を行うソフトウエアを本プリンターで使用した場合、印刷位置が異なることになります。

このため、本プリンターではバッファーフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができます（A4ポートレートの場合のみ可能です）。設定はメニューモードの「A4ポートレートケタスウ」メニューで行います。

NPDLの初期状態

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
  →未印刷データをすべて消します。
- ソフトウエアリセット（ESC c1）を実行したとき
  →印刷フォーマット、ホッパー指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT･PRIME信号を受信したとき
  →VFU、印刷フォーマット、ホッパー指定、およびセレクト／ディセレクトは初期状態になりません。
  未印刷データは印刷されます。
- パラメーターリセット（ESC c8）を実行したとき
  →VFU、印刷フォーマット、ホッパー指定、セレクト／ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う（工場設定000）				
ライトマージン幅		A3：113　A4：078（80桁モード時 080）　A5：053 B4：095　B5：067　レター：080　はがき：034				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長	A3: 96行　A4: 67行　A5: 47行 B4: 83行　B5: 58行　レター：63行　はがき: 33行				変化せず
	ボトム領域	なし				変化せず
	VTセット（CH2）	A3:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61､67､73､79､85､91行目 A4:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61､67行目 A5:第7､13､19､25､31､37、43行目 B4:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61､67､73､79行目 B5:第7､13､19､25､31､37､43､49､55行目 レター:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61行目 はがき:第7､13､19､25､31行目				変化せず
	VTセット（CH3〜CH6）	クリア				変化せず
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト／ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず	
受信バッファー		クリア		クリアせず		
ページバッファー		クリア		クリアせず		
未印刷データ		—	クリア	印刷実行		
動作モード		メニュー設定に従う（エミュレーション／ページプリンター）				変化せず
印刷方式		パイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態（8ビットコード）				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う（標準／イタリック／クーリエ／ゴシック）				
漢字書体		メニュー設定に従う（内蔵明朝／内蔵ゴシック）				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
倍率指定		縦横とも解除				
修飾印刷		解除				
アンダーライン	指定	解除				
	線種	実線、一重線				
	線幅	2ドット				
網かけ	指定	解除				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
白黒反転		解除				
固定ドットスペース		左右とも0ドット				
縦方向文字位置オフセット		0ドット				
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
2バイト文字登録		クリア（未登録状態）				クリアせず
ドット切り替え		メニュー設定に従う（ネイティブモード／コピーモード）				
印刷フォーマット	印刷方向	ポートレート		変化せず		
	縮小モード	解除		変化せず		
コピー枚数	コード（FSx）	1枚		メニュー設定に従う		
	操作パネル	1枚		変化せず		
座標指定単位		1/240インチ				
描画座標		（X，Y）＝（0，0）				
全点アドレス印刷モード		解除				
フォーム	登録	クリア				クリアせず
	参照	解除				変化せず
図形印刷モード		解除				
グラフ描画モード		絶対描画モード				
プリンター単位		1/240インチ				
線分	線種	実線				
	線幅	1ドット幅				
	線長	P_1 P_2の対角線距離の4%				
	線端タイプ	断切り型				
	接続タイプ	マイター接続				
	選択パターン	黒べた				
	登録パターン	クリア				クリアせず
ペン	座標	（X，Y）＝（0，0）				
	上下位置	アップ状態				
塗り潰しモード		解除				
塗り潰し	選択パターン	パターン番号1				
	登録パターン	クリア（未登録状態）				クリアせず
スケーリングポイント	P1	（X，Y）＝（0，0）				
	P2	各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置				
スケーリング		解除				
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大				
座標系反転		解除				
座標系回転		0度				
論理描画		OR				
パス構築モード		解除				
パスデータ		廃棄				
ホッパー指定		メニュー設定に従う（ホッパー1/ホッパー2/ホッパー3/MP）		変化せず		
ホッパー／MP		ホッパー給紙		変化せず		

制御コード

制御コードは「テキストモード」と「図形モード」の2つに分かれています。
制御コードの詳細については別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」を参照してください。なお、「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）」に記載されていない制御コードまたは、機能を拡張した制御コードについては「機能拡張制御コード」（337ページ）で細かく説明しています。

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。
E：201PLエミュレーションモード　　P：ページプリンタ（NPDL）モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか（○）使用できないか（×）を示します。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	印刷方向の設定およびホッパ選択	FS f c_1 c_2 c_3 .	○	○
	印刷方向の設定および用紙サイズ選択	FS f c_1 c_2 c_3 .	○	○
	印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定	FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
■行桁制御印刷コード	ドットスペース（1～8ドットスペース）	ESC <n>	○	○
	ドットスペース（9～25ドットスペース）	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (	○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC)	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	1/6インチ改行モードの設定	ESC A	○	○
	1/8インチ改行モードの設定	ESC B	○	○
	N/120インチ改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
■行桁修飾制御コード	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダーライン／オーバーラインの切り替え	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS Ø4 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
■ドット列印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×
	16ビットドット列リピート	ESC W	○	×
	24ビットドット列リピート	ESC U	○	×
	40ビットドット列印刷モードの設定	FS b	×	○
■その他	コピーモードの設定	ESC D	○	○
	ネイティブモードの設定	ESC M	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字関連制御コード				
■文字セット制御コード	英数モードの設定（7ビットコード）	SI	○	×
	カタカナモードの設定（7ビットコード）	SO	○	×
	カタカナモードの設定（8ビットコード）	ESC $	○	○
	英数モードの設定（7ビットコード）	ESC $	○	×
	ひらがなモードの設定（8ビットコード）	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定（7ビットコード）	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定（7ビットコード）	ESC #	○	×
	外字（24×24ドット）のロード	ESC +	○	×
	外字（16×16ドット）のロード	ESC ＊	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC /	○	×
	登録文字のクリア	ESC /Ø	○	×
	登録文字の印刷	ESC /+	○	×
	プリンター内蔵文字の印刷	ESC /-	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×	○
	1バイトコード登録文字印刷	FS g MR1.	×	○
	1バイト文字フォントの選択	FS Ø6F1	○	○
	2バイト文字書体の選択	FS Ø6F2	×	○
	2バイト文字指定	ESC O	○	○
■文字スタイル制御コード	文字拡大モードの設定（8ビットコード）	SO	○	×
	文字拡大モードの解除（8ビットコード）	SI	○	×
	文字拡大モードの設定（7ビットコード）	DC2	○	×
	文字拡大モードの解除（7ビットコード）	DC4	○	×
	パイカモードの設定	ESC H	○	○
	エリートモードの設定	ESC E	○	○
	コンデンスモードの設定	ESC Q	○	○
	プロポーショナルモードの設定	ESC P	○	○
	漢字（横書き）モードの設定	ESC K	○	○
	漢字（縦書き）モードの設定	ESC t	○	○
	外字の印刷（横書き）	ESC K a_1 b_1	○	○
	外字の印刷（縦書き）	ESC t a_1 b_1	○	○
	半角文字の縦書きモード設定	ESC h1	○	○
	半角文字の縦書きモード解除	ESC hØ	○	○
	スーパースクリプトモードの設定	ESC s1	○	○
	サブスクリプトモードの設定	ESC s2	○	○
	スクリプトモードの解除	ESC sØ	○	○
	文字サイズの設定	FS Ø4S	○	○
	1バイト文字サイズの設定	FS Ø7S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS Ø7S2	×	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：3/20インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS A	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/5インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS B	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS C	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/10インチ、文字サイズ：7ポイント）	FS F	○	×
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：12ポイント）	FS G	○	×
	縦横拡大率の指定	ESC e	○	×
	文字の拡大率、縮小率の指定	FS m	○	○
	強調印刷モードの設定	ESC !	○	○
	強調印刷モードの解除	ESC ”	○	○
	文字修飾の指定／解除	FS c	○	○
	文字明度の指定	FS $	×	○
■その他	キャラクターリピート	ESC R	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定	FS <	×	○
	描画座標の指定	FS e	×	○
	座標のコピー	FS e	×	○
	罫線の描画	FS l	×	○
	領域指定の網かけ	FS s	×	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
	領域指定のイメージ印刷	FS i	×	○
	全点アドレス印刷モードの設定	FS a	×	○
	全点アドレス印刷モードの解除	FS R	×	○
	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
	フォーム登録モードの解除	FS U	○	○
その他	セレクト状態の設定	DC1	○	×
	ディセレクト状態の設定	DC3	○	×
	201PLエミュレーションモードの設定	FS d 16Ø.	○	○
	ページプリンターモードの設定	FS d 24Ø.	○	○
	ソフトウエアリセット	ESC c1	○	○
	パラメーターリセット	ESC c8	○	○
	図形モードの設定	FS Y	×	○
	図形モードの解除	FS Z	×	○
	描画論理の指定	FS "	×	○
	クリッピング領域の設定	FS #	×	○

図形モード

図形モードに関する制御コードは、すべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定	IP	×	○
	座標系の設定	SC	×	○
	ウィンドウ領域の指定	IW	×	○
	回転角の設定	RO	×	○
	座標系の反転	RC	×	○
	プリンタ単位の設定	SU	×	○
線に関する設定	線種の設定	LT	×	○
	線幅の設定	LW	×	○
	線端タイプの設定	LC	×	○
	線接続タイプの設定	LJ	×	○
	線タイプの登録	RL	×	○
	線パターンの選択	LP	×	○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定	XX1	×	○
	塗りつぶしモードの解除	XXØ	×	○
	塗りつぶしパターンの選択	PP	×	○
	塗りつぶしパターンの登録	RP	×	○
	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
	描画論理の設定	PM	×	○
図形の描画	ペンを上げる	PU	×	○
	ペンを下げる	PD	×	○
	直線の描画（絶対描画モード）	PA	×	○
	直線の描画（相対描画モード）	PR	×	○
	ペンの移動（絶対描画モード）	MA	×	○
	ペンの移動（相対描画モード）	MR	×	○
	扇形の描画（絶対描画モード）	FA	×	○
	扇形の描画（相対描画モード）	FR	×	○
	円の描画	CI	×	○
	円弧の描画（絶対描画モード）	AA	×	○
	円弧の描画（相対描画モード）	AR	×	○
	円弧の描画（絶対座標）	AX	×	○
	円弧の描画（相対座標）	AY	×	○
	円弧の描画	AT	×	○
	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画（逆方向）	EN	×	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画（続き）	枠無し四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	RA	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	RR	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	EA	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	ER	×	○
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○
	パス構築モードの開始	NP	×	○
	パスの閉鎖	CP	×	○
	パス構築モードの終了	EP	×	○
	ストロークの描画	ST	×	○
	フィルの描画（非零則）	FL	×	○
	フィルの描画（偶奇則）	EF	×	○
その他	イニシャライズ	IN	×	○
	初期設定	DF	×	○
	図形モード設定	FS Y	×	○
	図形モード解除	FS Z	×	○

ESC/Pエミュレーションサポートコマンド

コマンド	機　能
ESC C	行単位ページ長設定
ESC C Ø	インチ単位ページ長設定
ESC N	ミシン目スキップ設定
ESC O	ミシン目スキップ解除
ESC Q	右マージン設定
ESC 1	左マージン設定
ESC Ø	1/8インチ改行量設定
ESC 2	1/6インチ改行量設定
ESC 3	n/180インチ改行量設定
ESC A	n/60インチ改行量設定
ESC +	n/360インチ改行量設定
ESC B	垂直タブ位置設定
ESC D	水平タブ位置設定
ESC /	VFUチャネル選択
ESC b	VFUタブ位置設定
CR	キャリッジリターン
LF	改行
FF	改ページ
ESC J	n/180インチ順方向紙送り
ESC j	n/180インチ逆方向紙送り
HT	水平タブ
VT	垂直タブ
BS	後退
ESC $	絶対位置指定
ESC ¥	相対位置指定
ESC M	12 CPI指定
ESC P	10 CPI指定
ESC g	15 CPI指定
ESC p	プロポーショナル指定、解除
ESC R	国際文字選択
ESC S	スーパー、サブスクリプト指定
ESC T	スーパー、サブスクリプト解除
ESC x	文字品位選択
ESC k	書体選択
ESC 6	上位側コントロールコード解除
ESC 7	上位側コントロールコード指定
ESC t	文字コード表選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定、解除
ESC &	ダウンロード文字定義
ESC ：	文字セットコピー
ESC SP	文字間スペース量設定
ESC w	縦倍拡大指定、解除
SI	縮小指定
ESC SI	縮小指定
DC2	縮小解除

コマンド	機　能
ESC -	アンダーライン指定、解除
SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC SO	自動解除付き倍幅拡大指定
DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC W	倍幅拡大指定、解除
ESC E	強調指定
ESC F	強調解除
ESC G	二重印字指定
ESC H	二重印字解除
FS SO	自動解除付き倍幅拡大指定
FS DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC 4	イタリック指定
ESC 5	イタリック解除
ESC q	文字スタイル選択
ESC !	一括指定
FS J	縦書き指定
FS K	横書き指定
FS D	半角縦書き2文字指定
FS W	4倍角指定、解除
FS -	漢字アンダーライン指定、解除
FS !	漢字一括指定
FS &	漢字モード指定
FS .	漢字モード解除
FS SI	半角文字指定
FS DC2	半角文字指定解除
FS r	1/4角文字指定
FS k	漢字書体選択
FS 2	外字定義
FS S	全角文字スペース量設定
FS T	半角文字スペース量設定
FS U	半角文字スペース量補正
FS V	半角文字スペース量補正解除
ESC K	8ドット単密度ビットイメージ
ESC L	8ドット倍密度ビットイメージ
ESC Y	8ドット倍速倍密度ビットイメージ
ESC Z	8ドット4倍密度ビットイメージ
ESC ＊	ビットイメージ選択
ESC ＊	ビットイメージリピート
ESC ?	ビットイメージ変換
ESC @	初期化
DC 1	デバイスコントロール1
DC 3	デバイスコントロール3
DEL	1文字削除
CAN	データ抹消
ESC EM	カットシートフィーダー制御

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字スタイル制御コード	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定 文字明度の指定 1バイト文字サイズの設定 2バイト文字サイズの設定 1バイト文字縦横サイズの設定 2バイト文字縦横サイズの設定	FS D FS $ FS Ø7 S1 FS Ø7 S2 FS 12 S1 FS 12 S2	○ × × × × ×	× ○ ○ ○ ○ ○
行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
文字ロード	1バイト/2バイトコード文字の登録	FS g	×	○
バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS\` p_1,p_2,p_3,p_4,p_5,p_6,p_7.$d_1d_2d_3d_4$･･･	○	○
面制御コード	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
ページ制御コード	縮小印字の設定 印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定	FS Ø5f FS f $c_1c_2c_3c_4c_5$.	○ ○	× ○
領域指定イメージ	領域指定イメージ描画の設定	FS i	×	○
座標指定単位設定	座標指定単位の設定	FS <	×	○
文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS Ø6 F1-ØØ4	○	○
カスタマーバーコードの印刷	カスタマーバーコード書体の選択	FS Ø6 F2-$n_1n_2n_3$	○	○
漢字コード表切り替えのための制御コード	漢字コード表の設定	FS Ø5 F2	○	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画コード	楕円の描画 楕円弧の描画 自由曲線の描画（絶対座標モード） 自由曲線の描画（相対座標モード）	EL ED, EN BA BR	× × × ×	○ ○ ○ ○
プリンター単位指定	プリンター単位の設定	SU	×	○
塗りつぶしに関する設定	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
楕円弧描画	楕円弧の描画	SG	×	○
弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
角丸矩形描画	角丸矩形描画	RB	×	○

文字スタイル制御コード

漢字文字幅2／15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定　FS D

全角漢字の文字幅を2／15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形　式　　FS D

記述例　　LPRINTCHR$（&h1C）; CHR$（&h44）;
または
LPRINT　CHR$（28）; "D";

文字明度の指定　FS $

テキストモードでの文字明度を指定します。

FS $は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0～100のパラメーターを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

形　式　　FS $ p_1 .

- p_1 でテキストモードでの文字明度を指定します。
- p_1 の範囲は0～100が有効です。
- p_1 は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。（p_1=0で黒、p_1=100で白）
- p_1 省略時およびp_1 が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

記述例　　テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h24）;"50.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"$50.";

1バイト文字サイズの設定　FS Ø7S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 1 — c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4 で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4 の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT  CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h37) ;CHR$ (&h53) ;CHR$ (&h31) ;
        CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
または
LPRINT  CHR$ (28) ;"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定　FS Ø7S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 2 — c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4 で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4 の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT  CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h37) ;CHR$ (&h53) ;CHR$ (&h32) ;
        CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
または
LPRINT  CHR$ (28) ;"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 1 — c_1 c_2 c_3 c_4 — c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h31）;CHR$（&h32）;CHR$（&h53）;CHR$（&h31）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 2 — c_1 c_2 c_3 c_4 — c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8 で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h31）;CHR$（&h32）;CHR$（&h53）;CHR$（&h32）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"12S2-0500-0200";
```

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定　FS p

2バイトコード文字の文字幅（印刷ピッチ）を設定します。

形　式　FS p 2 , p_1 / p_2 .

- p_1／p_2で文字幅を設定します。
- p_1は文字幅の分子、p_2は文字幅の分母を表します。
- p_2を240に設定したとき、p_1は1～240の値が有効となります。
- p_2を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p_1	p_2	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/15インチ
3	20	3/20インチ

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240～240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例　2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ（30/240）に設定するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h70）;"2,30/240.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"p";"2,30/240.";
```

文字ロード

1バイト/2バイトコード文字の登録　FS g

外字パターンのロードをします。

形　式　FS g c_1 c_2 c_3 , p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 . c_4 c_5 d_1 … d_n

- c_1はこの制御コードのモードを表す1バイトの文字です。c_1によってこの制御コードは次の動作をします。

c_1	動作
R A M	登録 クリア 印刷文字選択

- c_2 c_3は印刷方式とキャラクターモードを指定します。

c_2	c_3	印刷方式 / キャラクターモード	
K	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	カタカナ
H	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	ひらがな
2	K	漢字	

- c_1がAのときは、c_2 c_3は次の意味を持ちます。
このとき、この制御コードはp_1 以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
C	1	1バイト系の全クリア
C	2	2バイト系の全クリア

- c_1がMのときは。c_2 c_3は次の意味を持ちます。
このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
I	1	1バイト系は内部CGを印刷
R	1	1バイト系はダウンロード文字を印刷

- p_1 は文字の高さを表します。p_1 はc_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の高さをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi	動作
H or K	36	60	90	−
2の時	24 26 40	40 60 67	60 90 100	7.2ポイントの登録を意味する 10.8ポイントの登録を意味する 12ポイントの登録を意味する

- p_2は左スペース量を表します。p_2はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の左側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0〜23	0〜39	0〜59
P以外	0		

- p_3は文字幅を表します。p_3はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の文字幅をドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

また、c_3=pのときは $p_2+p_3+p_4 \leqq 24$　(240dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 40$　(400dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 60$　(600dpi)　でなくてはなりません。

c_3	p_3		
	240dpi	400dpi	600dpi
N	24	40	60
H			
E	20	34	50
Q	14	24	35
P	1〜24	1〜40	1〜60
K	p_1	p_1	p_1

- p_4は右スペース量を表します。p_4はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の右側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0〜23	0〜39	0〜59
P以外	0		

- p_1〜p_4はc_1c_2の状態によっては省略可能な場合があります。省略可能な場合は次のとおりです。

c_1c_2	p_1	p_2	p_3	p_4
RK	不可	可（0）	不可	可（0）
RH	不可	可（0）	不可	可（0）
R2	不可	可（0）	可（p_1）	可（0）

（　）内は省略時の値

- c_4c_5は参照に使用する文字コードを表します。使用可能なコードは次のとおりです。

c_2=HまたはKのとき　21h≦c_4≦7Eh　80h≦c_4≦9Eh　A1h≦c_4≦FEh　c_5は指定しない
c_2=2のとき　76h≦c_4≦78h　20h≦c_5≦7Fh

上記以外の値を指定したときは、c_2=HまたはKのときはc_4までを、c_2=2のときはc_5までを読み捨ててシーケンスを終了します。

- d_1〜d_nはパターンデータをバイナリー表現で表します。データ数は$p_1 \times p_4 \div 8$とします。

- この制御コードでパラメーターに不正があったときはピリオドまでを読み捨てて、シーケンスを終了します。ただし文字コードに不正があったときは、文字コードまでを読み捨てます。どちらの場合でもパターンデータの読み捨てはしません（パターンデータはテキストデータとして扱い、印刷される）。

- 本プリンターでは、登録可能な文字数は次のとおりです。

  c_2=HまたはKのもの　　128文字（1バイト系）
  c_2=2のとき　　256文字（2バイト系）

  また、文字の登録があった時、そのエリアに登録されていた前のパターンは同一ページ内では保証されません。

- 未登録の文字コードや文字サイズは空白が登録されているのと同様の印刷を行います。

バーコードの印刷

バーコードの印刷　FS `

バーコードをご使用になる際の注意

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなることがあります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から超えた場合にはデータを読み捨てます（オートリターンしません）。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
  ― 縦横拡大指定（FS m）
  ― 網かけ、反転（FS n）
  ― アンダーライン／オーバーライン（ESC X）
  ― 縦方向オフセット（FS t）
  ― 固定ドットスペース（FS w）

形　式　　FS ` p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 . d_1 d_2 d_3 d_4 …

- p_1はバーコードの種類を設定します。

  <201PLエミュレーションモード>

p_1		バーコードの種類
Ø	1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
Ø	2	NW-7
Ø	3	JAN
Ø	4	CODE 39
Ø	5	INDUSTRIAL 2 OF 5
Ø	6	INTERLEAVED 2 OF 5

<ページプリンターモード>

p_1	バーコードの種類
1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5
7	UCC/EAN-128

p_1の指定により、p_2～p_7、d_1～d_nの値は変化します。

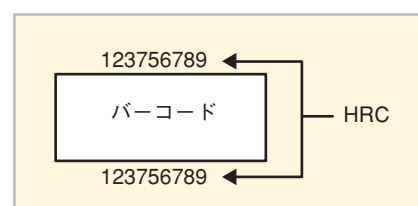
- p_2はバーコードに対するHRC（付加文字）の有無およびその位置を指定します。

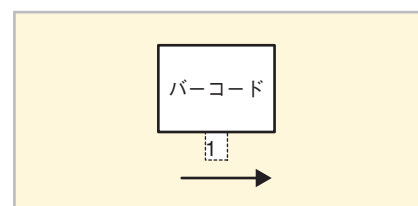
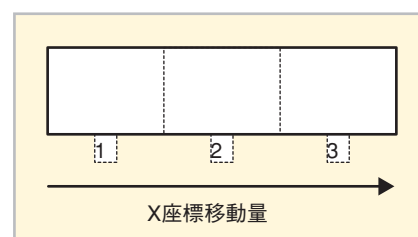
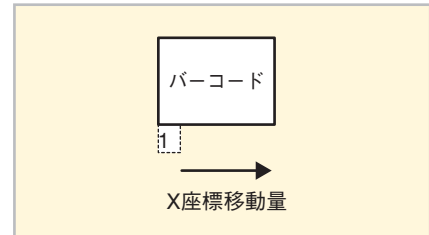
p_2	HRC
Ø	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける
3	新料金代理収納ガイドライン形式で文字を下につける（p_1=7の時のみ有効）

＊ HRCはバーコードの下または上にOCR-Bフォントで印刷します。

バーコードとOCR文字のボディフェースは隣接するべきだが、ページモードでバーコードの上に文字がつく場合に限り、4dot（240dpi）の隙間を開けている。

HRCの均等割付け方法

バーコードより文字列の方が長い場合は、文字幅単位で印刷されます。（以下の例は文字列よりバーコードの方が長い場合を示します。

<201PLエミュレーション>

1文字の場合、バーコードの幅の中央に配置し、バーコードの幅の分だけX座標を移動します。

複数文字の場合、バーコードの幅を文字数で割り、その中央に配置します。

＜ページプリンターモード＞
1文字の場合、バーコードの左側に配置し、文字の幅の分だけX座標を移動します。

複数文字の場合、バーコードの幅から1文字幅引き、文字数-1で割り、その左端に配置します。

- p_3はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

  ＜201PLエミュレーション＞
  指定範囲：2≦p_3≦4（160dpi）

  ＜ページプリンターモード＞
  指定範囲：4≦p_3≦10（400dpi）、4≦p_3≦15（600dpi）

- p_4はバーコードのワイド／ナローエレメント比を指定します。
  p_4＝30のみ有効

- p_5はバーコード高さをドット単位で指定します。

  ＜201PLエミュレーション＞
  0≦p_5≦999（160dpi）
  p_5が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ＋HRCの高さです。

  ＜ページプリンターモード＞
  指定範囲：
  10≦p_5≦1665（400dpi　1ドット＝約0.064mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）
  10≦p_5≦2498（600dpi　1ドット＝約0.042mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）

- p_6はデータキャラクターの長さをバイト単位で指定します。
  この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効な p_6
1	2
2	0～34
3	13または8
4	0～34
5	0～34
6	0～34(偶数のみ)
7	1～25

- p_7はp_3、p_5の解像度を指定します。

  ＜201PLエミュレーション＞
  省略してください。（160dpi）

  ＜ページプリンターモード＞
  指定：p_7＝400（400dpi）、p_7＝600（600dpi）

- d_1、d_2、d_3、d_4･･･はデータキャラクターまたはスタート／ストップキャラクター（p_1＝1のとき）です。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。

記述例　p_1=1、スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h60）;"1,,,,,2,.ab";
または
LPRINT　CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメーターの意味が少しずつ異なります。

- p_1=1のとき（NW-7のスタート／ストップキャラクターを指定します。）
  - バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート／ストップキャラクターの設定を行います。
  - スタート／ストップキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。（初期状態は“a”）
    a b c d e n t ＊ A B C D E N T
    また、p_2～p_5およびp_7は省略されます。

  記述例　スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき

  ```
  LPRINT CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";
  ```

- p_1=2のとき（NW-7）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3× p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 － $. ／ : ＋
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=3のとき（JAN）
  - p_3の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
  - p_6は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - JAN標準でデータキャラクターの1バイト目（フラグキャラクター）が規定外のときは、データキャラクターも含めて読み捨てます。
  - レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

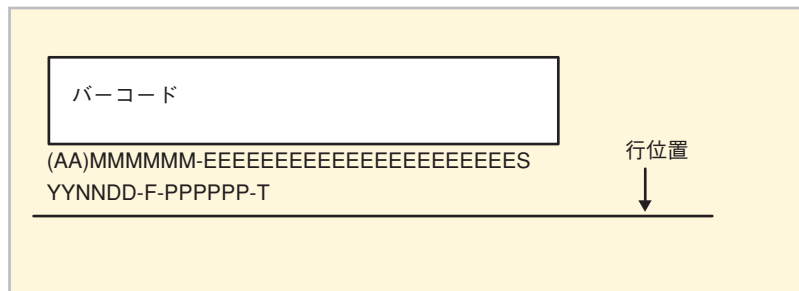
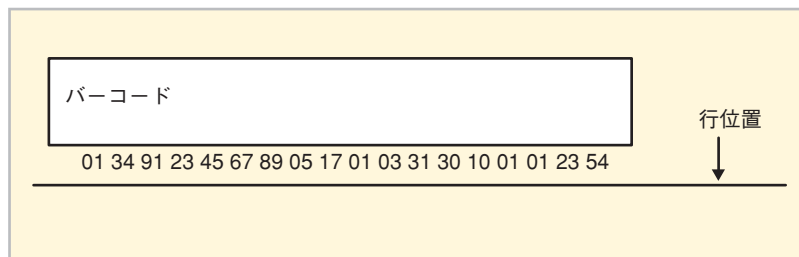
- p_1=4のとき（CODE-39）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクター（“＊”固定）のみ印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 － $. ／ ＋ % SP（スペース）
    A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=5のとき（INDUSTRIAL 2 OF 5）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4 ／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=6のとき（INTERLEAVED 2 OF 5）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - 2つのデータキャラクターを1組のバーコードデータとして印刷します。
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=7のとき（UCC/EAN-128）
  - p_3の値が最小バーの幅に対応し、それに対して1:2:3:4の幅で他のバーを表現します。
  - p_6（データキャラクターの長さ）は1～25（バイト）とし、それ以外の時はピリオドまで読み捨てます。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は ASCII コードすべてとし、バーコードデータのキャラクター構成は、CODE-128 と等しい。
  - 初期コードセットは、CODE Cです。
  - 1個のデータキャラクターを1つのバーコードデータとして印刷します。HRCは本装置の1バイト系文字で印刷可能であればそのまま印刷し、それ以外の場合はスペースを印刷します。HRCは、コードセットに従います。
  - データの最後のストップキャラクターを自動的に負荷して印刷します。
  - データキャラクターには、特殊キャラクターを含みます。特殊キャラクター対応コードを以下に示します。

特殊キャラクター	HEX 表現値
START(CODE A)	F0
START(CODE B)	F1
START(CODE C)	F2
SHIFT	F3
CODE A	F4
CODE B	F5
CODE C	F6
FNC1	F7
FNC2	F8
FNC3	F9
FNC4	FA

  - p_2＝3指定の場合は、バーコードの下に以下のようなフォーマットでHRCを付加します。HRCにおける改行表示、括弧「()」、ハイフン「-」は自動的に付加されますが、バーコードには含まれません。また、これらの自動的付加は桁位置で判断し、データの正当性や内容は問いません。データの25バイト目に付加されるチェックデジットは、バーコード上には表示しますが、HRC上には表示されません。

＜補足＞
p_2=1（CODE C）の場合

面制御コード

フォーム登録の開始／参照　FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形　式　FS u c_1 , p_1 , c_2 .

- c_1で登録か参照かを設定します。

c_1	機　能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- p_1でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c_2はc_1=1（フォーム登録モード）のときは必ず省略してください。c_1=2（フォーム参照モード）のときは、c_2でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機　能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

チェック

100面までの登録が可能です。実際にはメモリーの容量に依存しますが、オプションの増設メモリーを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また、従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能となっています。

記述例　フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h75）;CHR$（&h31）;CHR$（&h2C）;"2";CHR$（&h2E）;
または
LPRINT　CHR$（28）;"u1,2.";
```

ページ制御コード

縮小印字の設定 FS Ø5f

形　式　FS Ø 5 f c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1、c_2、c_3で縮小率を設定します。
  組み合わせは次の中から選択します。

c_1	c_2	c_3	設定内容
1	Ø	Ø	縮小印字解除(原寸)
Ø	8	Ø	4/5縮小印字
Ø	6	7	2/3縮小印字

- c_4で縮小基準位置を設定します。
  設定は次のとおりです。

c_4	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
- 行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印字は受信したデータを2／3または4／5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。
- プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また、文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例　縮小率を4／5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）；CHR$（&h30）；CHR$（&h35）；
CHR$（&h66）；"080L"
または
LPRINT　CHR$（28）；"05f"; "080L"
```

印刷方向の設定およびホッパの選択　FS f c_1 c_2 c_3 .

プリンターの印刷方向およびホッパーの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは MP 指定が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

c_2	c_3	印刷方向
M	P	MP指定

記述例　印刷方向をポートレートで、給紙口にMPを指定して印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PMP.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PMP.";
```

印刷方向の設定および用紙サイズの設定　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および用紙サイズの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは封筒指定、往復はがき指定が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
E	N	V	4	封筒
U	P	P	C	往復はがき

記述例　印刷方向をポートレートで、往復はがきに印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PUPPC.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PUPPC.";
```

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形　式　　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは縮小／拡大機能が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

＜追加パラメーター＞

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

記述例　印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PA4A3.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PA4A3.";
```

領域指定イメージ

領域指定イメージ描画の設定　FS i

描画座標を原点として指定された領域にラスターイメージを描画します。

形　式　FS i p_1 , p_2 , p_3 , p_4 / p_5 , p_6 / p_7 , p_8 , p_9 . d_1 … d_n

- p_1はイメージ領域のXサイズです。
- p_2はイメージ領域のYサイズです。
- p_3はデータの形式です。
- p_4はX方向拡大率の分子です。
- p_5はX方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_6はY方向拡大率の分子です。
- p_7はY方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_8はパターンデータのバイト数です。
- p_9はイメージデータの解像度を指定します。p_9を省略した場合、または規定値以外の数値を指定した場合、解像度は240dpiになります。

p_9	解像度
160	160dpi
200	200dpi
240	240dpi
300	300dpi
400	400dpi
600	600dpi

- d_1～d_nはnバイトのラスターイメージデータ（バイナリー形式）です。

座標指定単位設定

座標指定単位の設定　FS <

面モード時の移動量の基本単位を設定します。

形　式　　FS < p_1 / p_2 , c_1 .

- p_1は単位量の分子を表します。
- p_2は単位量の分母を表します。
- c_1はインチまたはmmの識別を表します。
- p_1、p_2、c_1は下記の値が有効です。

p_1	p_2	c_1	座標指定単位
1	160		1/160インチ
1	200		1/200インチ
1	240		1/240インチ
1	400	i	1/400インチ
1	600		1/600インチ
1	720		1/720インチ
1	100	m	1/100mm

- 描画座標指定（FS e）、座標指定罫線（FS l）、領域指定網かけ（FS s）の領域の大きさ、全点アドレス印刷モード（FS a）の移動量、クリッピング領域指定（FS #）が、この制御コードで設定された単位で指定されます。
- 領域指定イメージのビットパターンデータは影響を受けません。
- 上記制御コードの後に、この単位設定を実行しても、それまでに設定した座標、大きさ、移動量等は変化しません。
- p_1が省略された場合は1、p_2が省略された場合は240、c_1が省略された場合はiとみなされます。
- 本コマンドを再度受信するまでは有効です。
- 以下の場合、単位は1/240インチとなります。

① POWER ON時
② 操作パネルでリセットが実行されたとき
③ ソフトウエアリセットを受けたとき
④ インプットプライムを受けたとき

文字セット制御コード

OCR-Bフォントの指定　FS Ø6F1-ØØ4

形式　FS Ø 6 F 1 — Ø Ø 4

1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI（12ポイント、パイカサイズ）のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大／縮小、ページの拡大／縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPDLモードでのみ可能です。またOCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。
  - アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。

    このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお、文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック（斜体）、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。
  - アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンターフォントがない場合は、本プリンタードライバーの「TrueTypeフォントのプリンターフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します（詳細はユーザーズマニュアル参照）。

    なおOCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。
- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。

カスタマーバーコードの印刷

カスタマーバーコード書体の選択　FS Ø6F2

カスタマーバーコードはJANコードなどのバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。
このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

形　式　FS Ø 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1、n_2、n_3は3桁の文字表現の10進数（‘123’など）であり、書体番号を示します。
  但し、例外として‘CLR’（43h 4Ch 52h）のパラメーターは指定可能です。
- 初期状態ではプリンターのメニュー機能による設定が有効となります。
- 本制御コードによる書体選択制御コードにより他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体（回転なし）
852：カスタマーバーコード書体（反時計回り90°回転）
853：カスタマーバーコード書体（反時計回り180°回転）
854：カスタマーバーコード書体（反時計回り270°回転）
CLR：初期状態の書体に戻す。（メニュー設定に従う）

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメーターですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。（例：850、861、867）

チェック

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PLエミュレーションで使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来サポートされておりませんが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PLエミュレーションでも有効となります。カスタマーバーコード以外の書体を選択した場合には、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

チェック

バーコードをご使用になる際のご注意

- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。

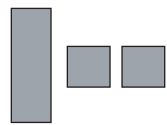
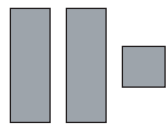
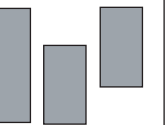
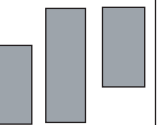
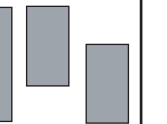
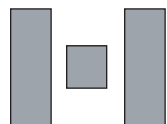
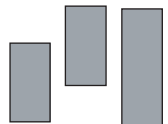
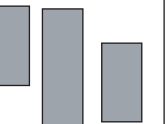
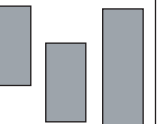
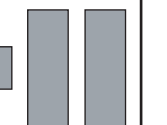
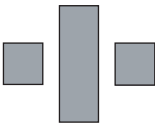
カスタマーバーコードのキャラクター指定

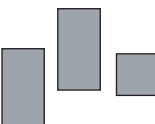
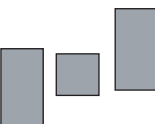
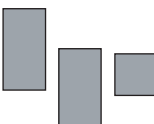
カスタマーバーコードの21種のキャラクターは次の文字コードを割り当てます。

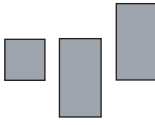
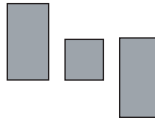
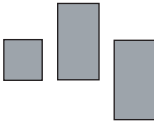
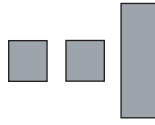
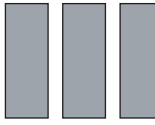
数字（‘0’ ～ ‘9’）	：2330h～2339h（数字の ‘0’ ～ ‘9’）
ハイフン	：215Dh（マイナス記号 ‘ー’）
英字用制御コード（CC1～CC3）	：2361h～2363h（小文字アルファベットの ‘a’ ～ ‘c’）
予備用制御コード（CC4～CC8）	：2364h～2368h（小文字アルファベットの ‘d’ ～ ‘h’）
スタートコード（STC）	：2163h（不等号 ‘<’）
ストップコード（SPC）	：2164h（不等号 ‘>’）

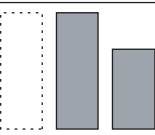
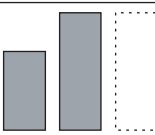
上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

カスタマーバーコードのサイズの指定

日本郵政公社のカスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります。（この範囲内で任意の値を指定できます）
一方、プリンタはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関する全ての機能を有効とします。（例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など）
このため、カスタマーバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるように留意してください。
また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

カスタマーバーコード（キャラクター指定とバーの組み合わせ）

カスタマーバーコードの体系について
（バーの種類とは、ロングバー：1、セミロングバー（上）：2、セミロングバー（下）：3、タイミングバー：4としたもの。）

- **数字（‘0’ ～ ‘9’）**

キャラクター	0	1	2	3	4
文字コード	0 (2330h)	1 (2331h)	2 (2332h)	3 (2333h)	4 (2334h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　4	1　1　4	1　3　2	3　1　2	1　2　3

キャラクター	5	6	7	8	9
文字コード	5 (2335h)	6 (2336h)	7 (2337h)	8 (2338h)	9 (2339h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　1	3　2　1	2　1　3	2　3　1	4　1　1

- ハイフン

キャラクター	ー		
文字コード	ー (215Dh)		
カスタマーバーコード			
バー種類	4	1	4

- 英字用制御コード

キャラクター	CC1			CC2			CC3		
文字コード	a (2361h)			b (2362h)			c (2363h)		
カスタマーバーコード									
バー種類	3	2	4	3	4	2	2	3	4

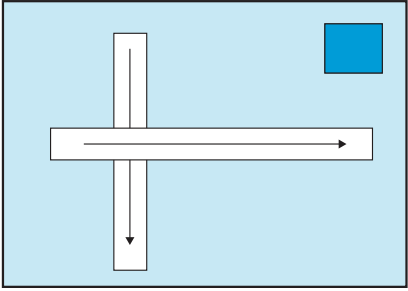
- 予備用制御コード

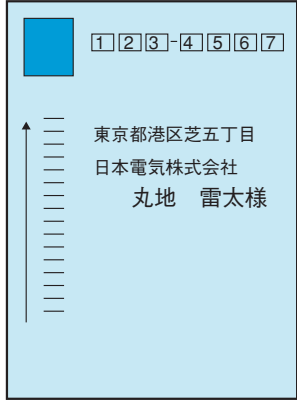
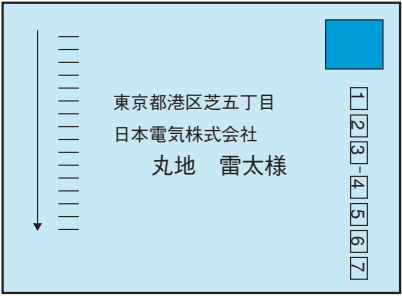
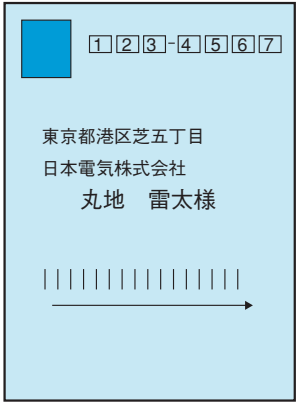
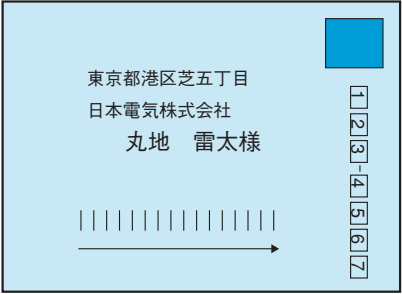
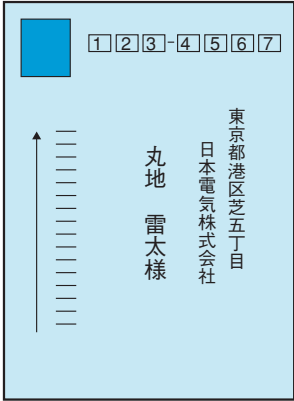
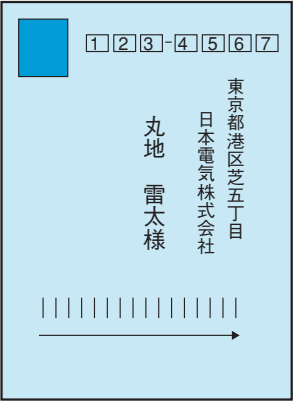
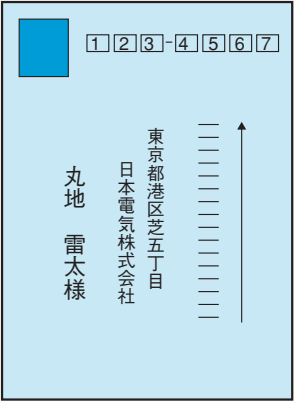
キャラクター	CC4			CC5			CC6			CC7			CC8		
文字コード	d (2364h)			e (2365h)			f (2366h)			g (2367h)			h (2368h)		
カスタマーバーコード															
バー種類	4	3	2	2	4	3	4	2	3	4	4	1	1	1	1

- スタート／ストップコード

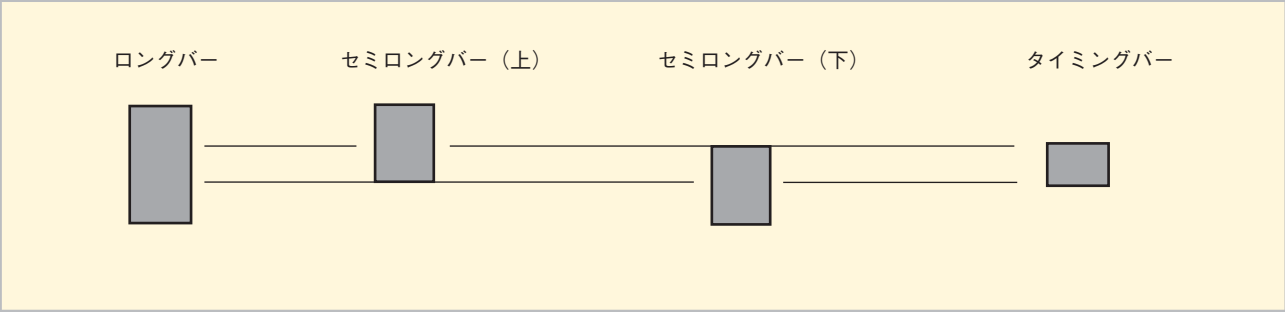
キャラクター	スタート			ストップ		
文字コード	＜ (2163h)			＞ (2164h)		
カスタマーバーコード						
バー種類		1	3	3	1	

備考（宛名書きとカスタマーバーコードとの関係）

カスタマーバーコードは、封書の切手の位置（はがきの料金印刷部分）を右上に位置付けたときに、下図の示すように上から下、左から右の方向へ印刷されます。

宛名が横書きの場合

日本郵政公社の資料には記載されていない印刷例

宛名が縦書きの場合

カスタマーバーコードの仕様と注意点

カスタマーバーコードの形状

カスタマーバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（上）、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（下）およびタイミングバーの4つの形状のバーを3本組み合わせて1つのキャラクターを表す4ステイト3バーとします。

カスタマーバーコードの寸法

aポイント、8、9、10、11.5ポイントの場合、次表のとおりとして（10ポイントの場合、a/10=1）、8≦a≦11.5の大きさを許すものとします。

a ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.6×a/10	3.40×a/10〜3.60×a/10
タイミングバー長さ	2	1.2×a/10	1.05×a/10〜1.35×a/10
バーピッチ	2	1.2×a/10	0.95×a/10〜1.30×a/10
バー幅	1	0.6×a/10	0.50×a/10〜0.70×a/10
バースペース	1	0.6×a/10	0.45×a/10〜0.60×a/10

8≦a≦11.5

8 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	2.88	2.72〜2.88
タイミングバー長さ	2	0.96	0.84〜1.08
バーピッチ	2	0.96	0.76〜1.04
バー幅	1	0.48	0.40〜0.56
バースペース	1	0.48	0.36〜0.48

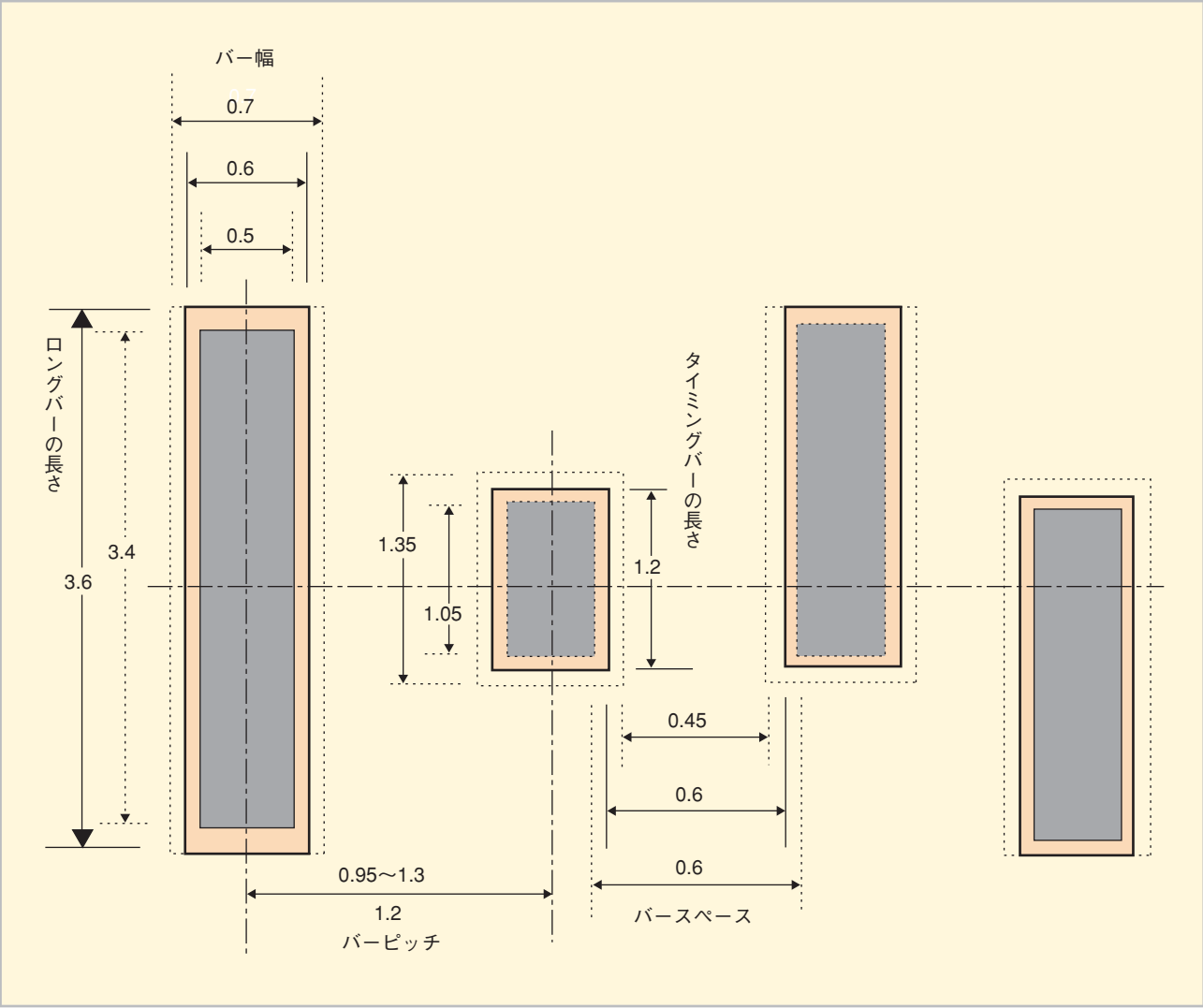
9 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.24	3.06〜3.24
タイミングバー長さ	2	1.08	0.95〜1.22
バーピッチ	2	1.08	0.86〜1.20
バー幅	1	0.54	0.45〜0.63
バースペース	1	0.54	0.41〜0.54

10 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.60	3.40〜3.60
タイミングバー長さ	2	1.20	1.05〜1.35
バーピッチ	2	1.20	0.95〜1.30
バー幅	1	0.60	0.50〜0.70
バースペース	1	0.60	0.45〜0.60

11.5 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	4.14	3.91〜4.14
タイミングバー長さ	2	1.38	1.21〜1.55
バーピッチ	2	1.38	1.09〜1.50
バー幅	1	0.69	0.58〜0.81
バースペース	1	0.69	0.52〜0.69

（注1）カスタマーバーコードは、すべての規定（ロングバーの長さ、タイミングバーの長さ、バーピッチ、バー幅およびバースペース）が許容範囲に収まらなければなりません。
（注2）各比率に対して、許容範囲の設定に変更がありますが、これは印刷時のバーの太り等を考慮したものです。

【例1】カスタマーバーコードの寸法（10p相当）

実線で囲まれた範囲は基準寸法示し（数値はゴシック体で表記）、点線で囲まれた範囲は許容範囲を示します。

【例2】ドット割付寸法（参考）

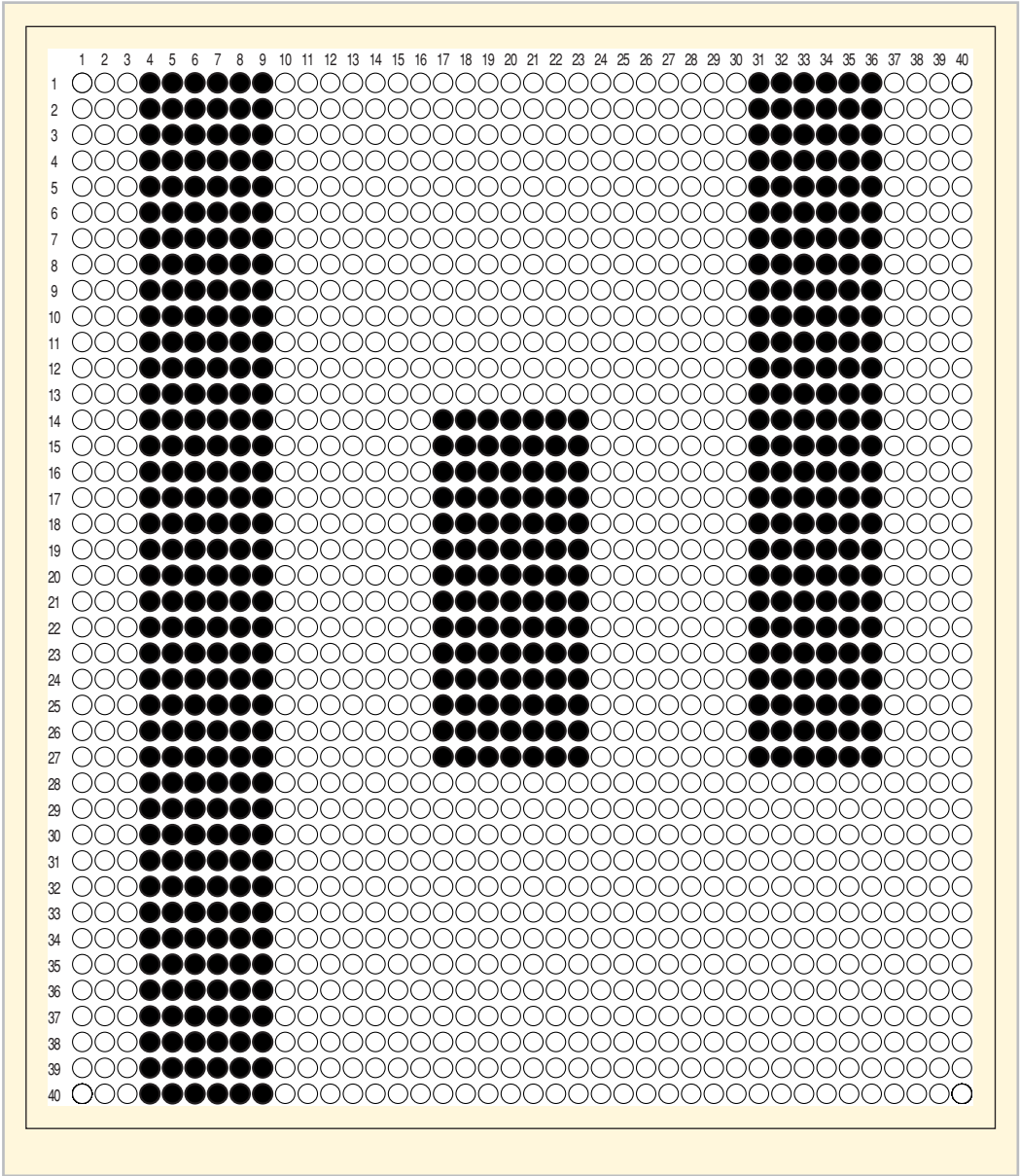
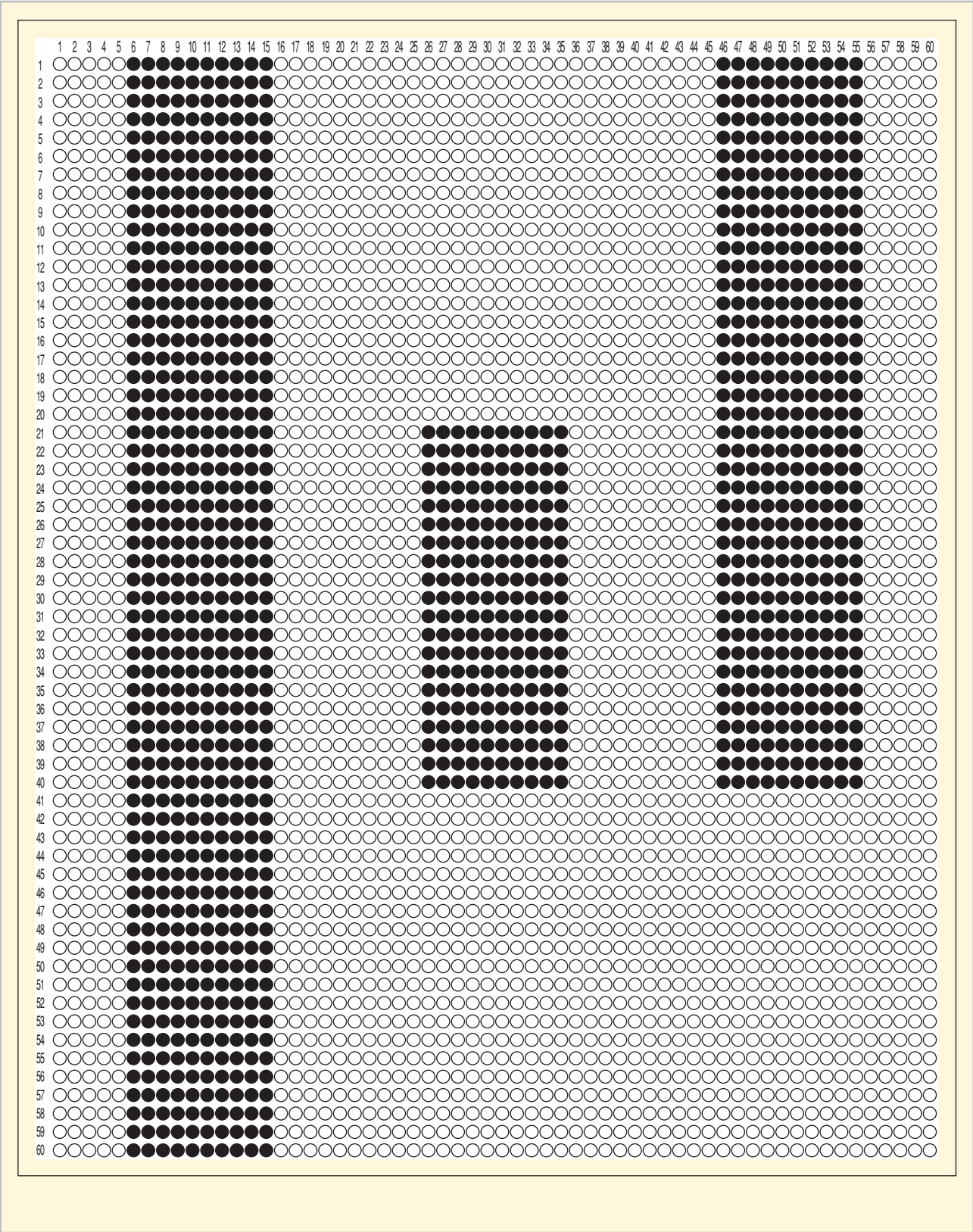
レーザープリンター等ドットマトリックス形式で印刷する場合などは、バーコードの印刷上がりを規定の比率にできるかぎり近づけます。この点を考慮して下記にドット構成の参考を記載します。

マトリックスサイズ	横７分割 W, B, W, B, W, B, W	縦３分割 U, M, L
24×24	2, 4, 4, 4, 4, 4, 2	8, 8, 8
30×30	2, 5, 5, 5, 5, 5, 3	10, 10, 10
32×32	3, 5, 5, 5, 6, 5, 3	11, 10, 11
40×40	3, 6, 7, 7, 7, 6, 4	13, 14, 13
60×60	5, 10, 10, 10, 10, 10, 5	20, 20, 20

（B：バー部のドット数、W：空白部のドット数、U：バー上部のドット数、
M：タイミングバーのドット数、L：バー下部のドット数）

- 上記の表にないマトリックスサイズ（例：48×48等）のドット振り分けは比例的に準じます。

各マトリックスサイズにおけるドットの割付の実際について、次に参考例を示します。

〈参考例1〉 40ドット×40ドットの場合

〈参考例2〉60ドット×60ドットの場合

カスタマーバーコードのフォーマットおよび桁数

カスタマーバーコードのフォーマットは次のとおりとします。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省くものとします。また、英字1文字は制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット　：	スタートコード	＋	新郵便番号	＋	住所表示番号	＋	チェックデジット	＋	ストップコード
バーコード桁数：	（1）		（7）		（13）		（1）		（1）

住所表示番号が規定のけた数13桁に対して過不足のある場合には、次のように調節します。

13桁を越える場合：

13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまで含めるものとします。

13桁に満たない場合：

13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

各キャラクターのチェック用数字への置き換えは、次のとおりとします。

バーコード用キャラクター	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC 1	CC 2	CC 3	CC 4	CC 5	CC 6	CC 7	CC 8
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定　FS Ø5F2

形　式　FS Ø 5 F 2 — c_1 c_2

- c_1 c_2で漢字コード表を設定します。

c_1c_2	漢字コード表
ØØ	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
Ø1	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
Ø2	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例　JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT  CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h35) ;CHR$ (&h46) ;
        CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h31) ;
または
LPRINT  CHR$ (28) ;"05F2-01";
```

図形の描画コード

楕円の描画　EL

現在の座標位置を中心に楕円を 描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形　式　E L r_1 , r_2 . θ ;

- r_1は楕円の長軸を、r_2は楕円の短軸を示します。
- θは楕円の回転角度を示します。θは省略した場合0°とみなします。
- θ=360以上を指定した場合、360の剰余とみなします。またθは負の値も設定可能です。たとえば - 1°は359°とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1、r_2は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r_1、r_2は下記の値以下でなければなりません。
  400dpiで印刷する場合：　32767-400=32367　（約2055mm）
  600dpiで印刷する場合：　32767-600=32167　（約1362mm）

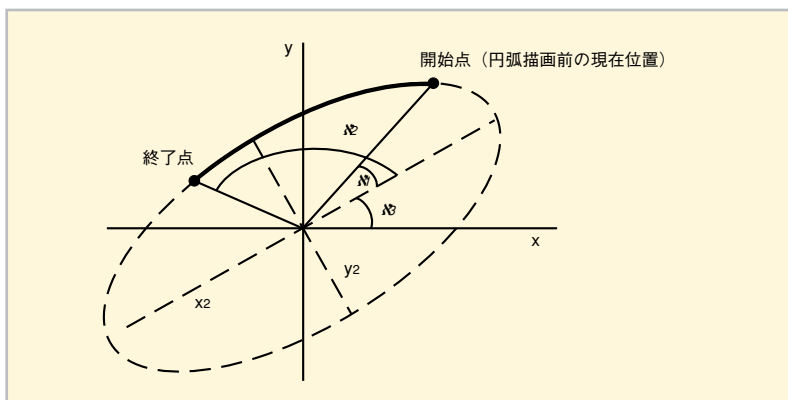
記述例　長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30°回転させて描画するとき

```
LPRINT  CHR$（&h45）;CHR$（&h4C）;"1000, 500, 30;";
または
LPRINT  "EL1000, 500, 30;";
```

楕円弧の描画　ED, EN

楕円弧を描きます（直線がはじめに引かれる場合があります）。

形　式　E D x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;

E N x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;

- （x_1, y_1）は楕円の中心座標を示します。
- x_2とy_2はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ_1とθ_2はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0〜359（度単位）が有効です。
  θ_2が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。θ_1は省略できません。
- θ_3は楕円弧の回転角度を示します。θ_3で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。
  θ_3が省略された場合、回転なしと解釈されます。
- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。

- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド（RC、RO）の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例　長中心点（100,100）、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15°、終了角度120°の楕円弧を反時計方向に30°回転させて描画するとき

```
LPRINT  "ED100,100,1000,500,15,120,30;";
```

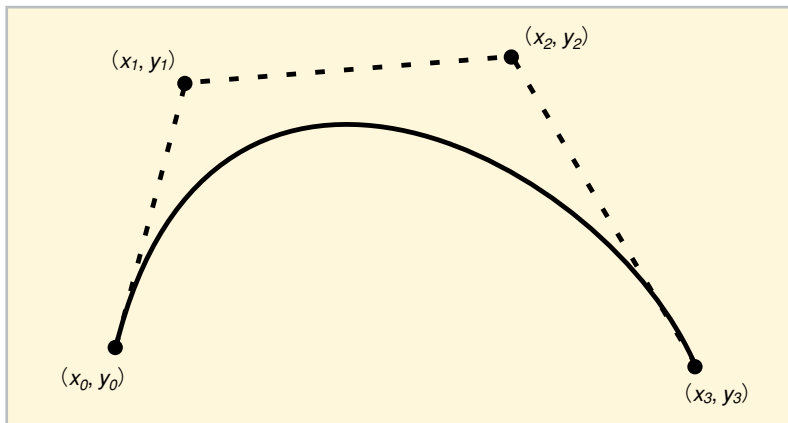
チェック

従来は楕円を回転（傾斜）させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

自由曲線の描画（絶対座標モード）　BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

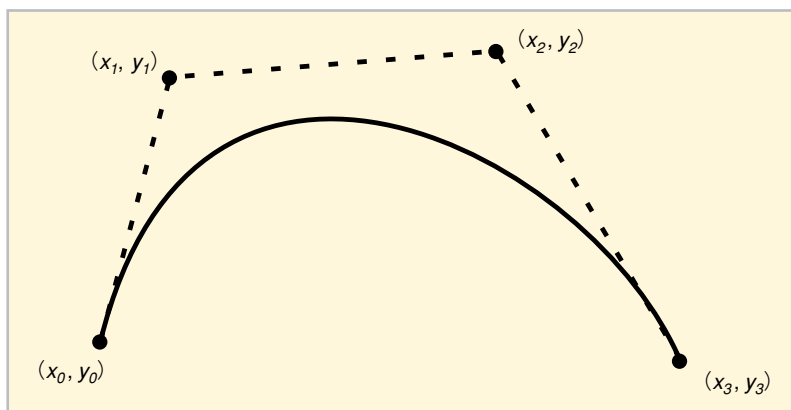
形　式　B A x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 … , x_n , y_n ;

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。
- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT  CHR$（&h42）;CHR$（&h41）;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT  "BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

自由曲線の描画（相対座標モード）　BR

曲線を相対座標モードで描画します。

形　式　B R x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 … , x_n , y_n ;

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。

- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT   CHR$（&h42）;CHR$（&h52）;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT   "BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

プリンター単位指定

プリンター単位の設定　SU

図形モードのプリンター単位を設定します。

形　式　S U n_1 , n_2 , n_3 ;

- n_1、n_2、n_3でプリンター単位を設定します。

n_1, n_2, n_3	プリンター単位
1,16Ø,Ø	1/160インチ
1,2ØØ,Ø	1/200インチ
1,24Ø,Ø	1/240インチ
1,4ØØ,Ø	1/400インチ
1,6ØØ,Ø	1/600インチ
1,72Ø,Ø	1/720インチ
1,1ØØ,Ø	1/100ミリ

- プリンター単位の初期設定は 1/240 インチです。初期化動作（電源 ON、操作パネルのリセット操作、リセットコマンド他）およびイニシャライズ（IN）制御コードにより1/240インチに初期化されます。
- プリンター単位設定により初期化が実行されます。
- 上記以外の組み合わせは無効です。
- パラメーターを省略することはできません。省略した場合、コマンドは無効となります。

塗りつぶしに関する設定

グレーレベルパターンの設定　SG

フィル描画（FL, EL）や閉領域塗りつぶし描画（PI）で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

> SGは形式、パラメーターの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンターでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

形　式　S G n_1 , n_2 ;

- n_1、n_2は明度を示します。

パラメーター	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0～100
n_2	線分描画で使用	0～100

- n_1、n_2の設定範囲は0（黒ベタ）から100（白）までです。（初期値は0です。）
- n_1、n_2とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は以下の①～④まで有効です。

  ① 初期化動作（電源ON、リセット動作など）
  ② イニシャライズコマンド（IN）実行
  ③ 初期化を伴うコマンド（RC、SU、DF）の実行
  ④ 塗りつぶしパターン選択（PP）の実行

- 塗りつぶしパターン選択コマンド（PP）が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし（PI）の使用は避けること。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45°です。
- パラメーターを省略したとき、いずれか一方でもパラメーターを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメーター値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第１位を四捨五入した値です。

  パターン番号 ＝ パラメーター × 63/100

  （例）　パラメーターで70を指定するとき
  　　　70 × 63/100 ＝ 44.1
  　　　選択されるパターンはパターン番号44となります。

記述例　面分描画での明度を50、線分描画での明度を0（黒）に設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h53）;CHR$（&h47）;"50,0;";
または
LPRINT  "SG 50,0;";
```

楕円弧描画

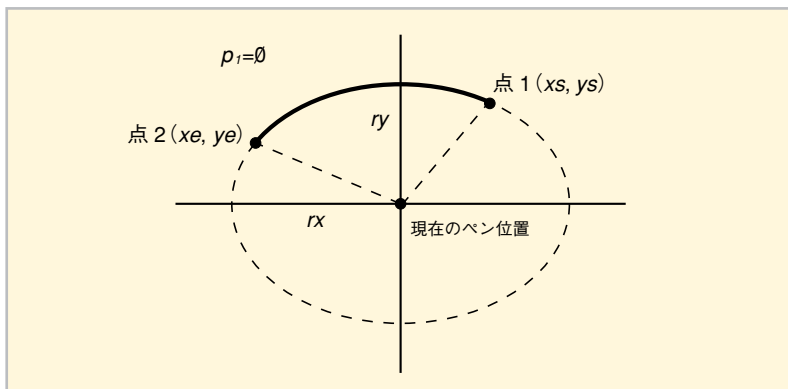
楕円弧の描画　AV

矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

形　式　A V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p_1 ;

パラメーター

① *rx*............x半径
② *ry*............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（xe、ye）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- p_1＝0の時、反時計回り
  p_1＝1の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
  p_1に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT  CHR$（&h41）; CHR$（&h56）; rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ;
または
LPRINT  " AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ; "
```

弓形描画

弓形の描画 CV

矩形領域に内接する楕円弧を基に弓形を描画する。

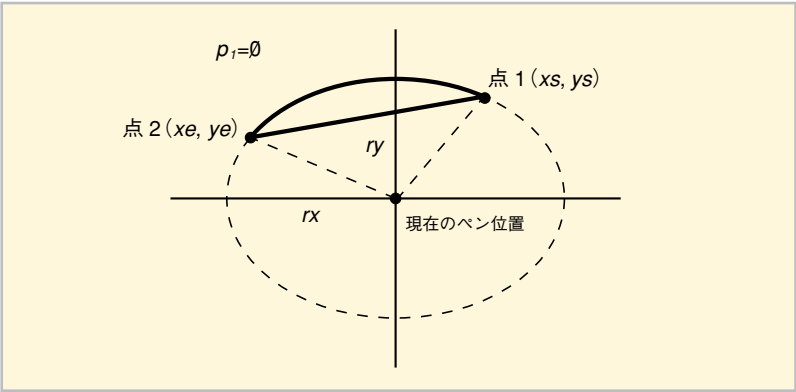
形　式

C V *rx* , *ry* , *xs* , *ys* , *xe* , *ye* , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画モード
⑧ p_2.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に弓形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例

現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

```
LPRINT　CHR$（&h43）; CHR$（&h56）; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT　"CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

扇形描画

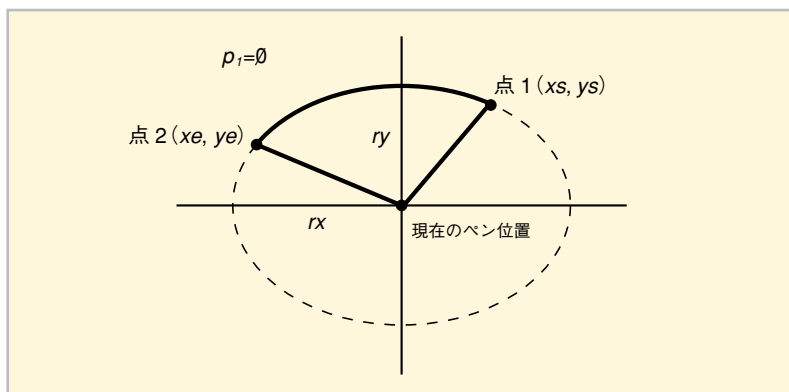
扇形の描画　FV

矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描画します。

形　式　　F V *rx* , *ry* , *xs* , *ys* , *xe* , *ye* , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画モード
⑧ p_2.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT　CHR$（&h46）; CHR$（&h56）; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT　"FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

角丸矩形描画

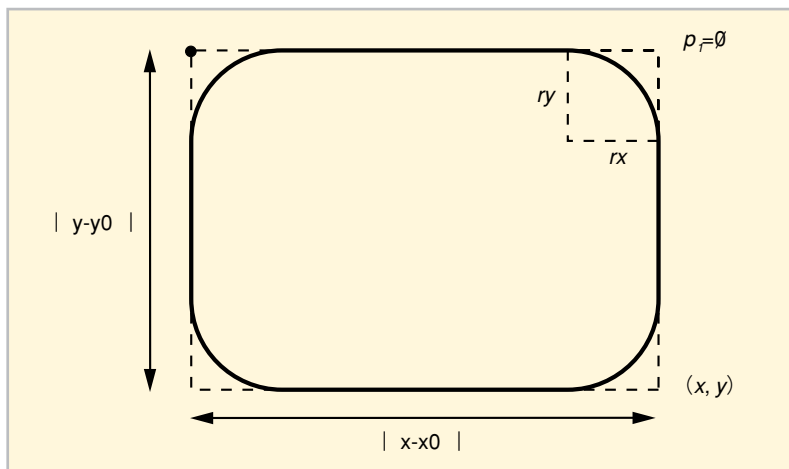
角丸矩形の描画　RB

指定された2点を基に角丸矩形を描画する。

形　式　R B *x* , *y* , *rx* , *ry* , p_1 ;

パラメーター

① *x* ....矩形の対角のx座標（絶対座標）
② *y* ....矩形の対角のy座標（絶対座標）
③ *rx* ....角丸のx半径
④ *ry* ....角丸のy半径
⑤ p_1.............描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- ｜x-x0｜＞2 × *rx*かつ｜y-y0｜＞2 × *ry*のとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- *x*、*y*半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置から *x*、*y*で示される矩形に半径 *rx*、*ry*の角丸矩形を描画するとき

LPRINT　CHR$（&h52）; CHR$（&h42）; " x, y, rx, ry, p1; ";
または
LPRINT　" RB x, y, rx, ry, p1; ";

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイの表示の一覧を以下の表に示します。

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	給紙方法に関する表示	ホッパ　XXX　XXX	ホッパー給紙を選択しています。
		ホッパ1　XXX　XXX	上から1段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		ホッパ2　XXX　XXX	上から2段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		ホッパ3　XXX　XXX	上から3段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		MP　XXX　XXX	MP給紙を選択しています。
	用紙サイズに関する表示	XXX　A3　XXX	A3サイズの用紙を選択しています。
		XXX　B4　XXX	B4サイズの用紙を選択しています。
		XXX　B5　XXX	B5サイズの用紙を選択しています。
		XXX　A5　XXX	A5サイズの用紙を選択しています。
		XXX　LT　XXX	レターサイズの用紙を選択しています。
		XXX　ハガキ　XXX	はがきサイズの用紙を選択しています（MPのみ）。
		XXX　フウトウ　XXX	封筒サイズの用紙を選択しています（MPのみ）。
		XXX　A4タテ　XXX	A4サイズ（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX　A4ヨコ　XXX	A4サイズ（横置き）の用紙を選択しています。
		XX　ハガキ2ヨコ　XXX	往復はがきサイズ（横置き）の用紙を選択しています（MPのみ）。
		XX　ハガキ2タテ　XXX	往復はがきサイズ（縦置き）の用紙を選択しています（MPのみ）。
		XXX　テイケイガイ　XXX	定形外用紙を選択しています（MPのみ）。
		ヨウシサイズヲヘンコウシマス	用紙サイズ設定ダイヤルで設定できない用紙が指定されています。
	縮小／拡大モードに関する表示	XXX　A4→A3　XXX	A4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B4→A3　XXX	B4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→B4　XXX	A3サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→B4　XXX	帳票サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B4　XXX	A4サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B5→B4　XXX	B5サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→A4　XXX	A3サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→A4　XXX	B4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→A4　XXX	帳票サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4 × 2　XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→B5　XXX	B4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B5　XXX	A4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5 × 2　XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5→A4　XXX	B5サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	印刷方向に関する表示	XXX　XXX　ポート	印刷方向にポートレートを選択しています。
		XXX　XXX　ランド	印刷方向にランドスケープを選択しています。
	用紙の種類に関する表示	フツウシ　XXX　XXX	普通紙を選択しています（MPのみ）。
		アツガミ　XXX　XXX	厚紙を選択しています（MPのみ）。
		OHP　XXX　XXX	OHPシートを選択しています（MPのみ）。

*　オプションの増設ホッパーを取りつけている場合のみ表示されます。

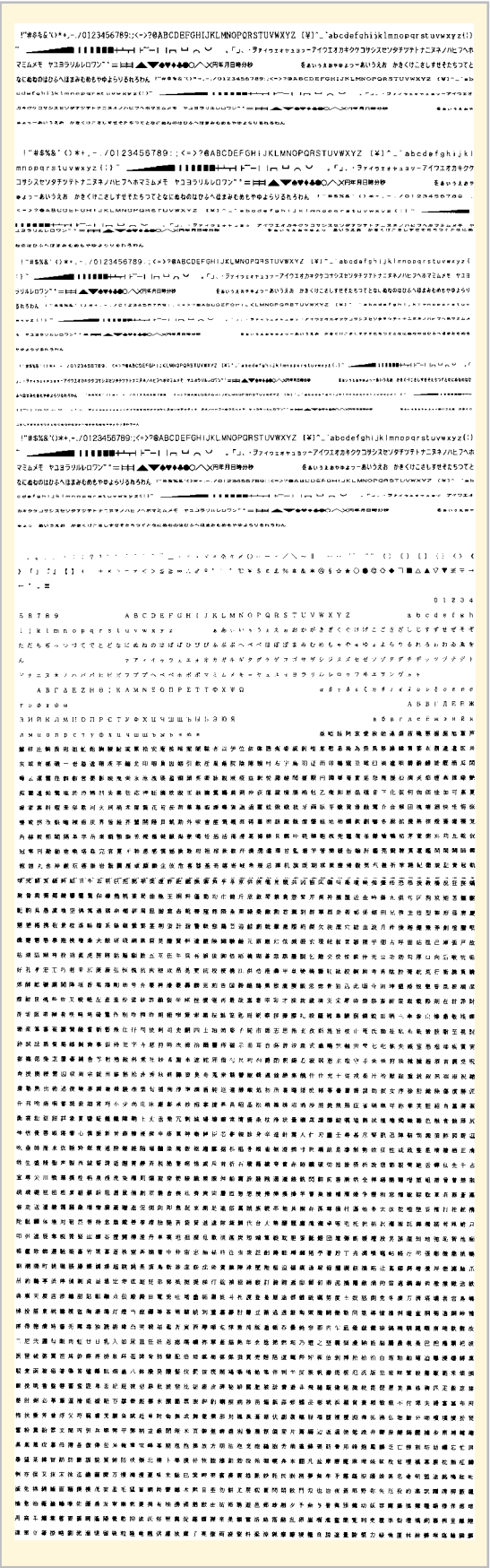
表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	用紙の種類に関する表示	フツウシ　XXX　XXX	普通紙を選択しています（MPのみ）。
		アツガミ　XXX　XXX	厚紙を選択しています（MPのみ）。
		OHP　XXX　XXX	OHPシートを選択しています（MPのみ）。
	動作モードに関する表示	XXX　XXX　NPDL	動作モードにNPDLモードを選択しています。
		XXX　XXX　ESC/P	動作モードにESC/Pモードを選択しています。
ステータス表示		コピー　XX　マイ	コピー枚数がXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大20枚まで設定できます。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向（例：“ホッパA4ポート”）の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚（オリジナルのみ）の場合には表示されません。
		イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
		ウォームアップ	ウォームアップ中です。
		ジュシンチュウ	データを受信中です。
		セツデンチュウ	節電中です。
		ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、用紙が排出可能となるまで表示されます。
		インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで、表示されます。
		テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
		データガノコッテイマス	未印刷データがプリンター内に残っています。
		16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
		リセットジッコウ	リセット中です。
アラーム表示		ホッパX　XX　ホキュウ MP　XX　ホキュウ	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。増設ホッパーを取り付けている場合には、「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパー番号が表示されます。
		ヨウシカセット　ナシ XXX	用紙カセットがセットされていません。Xの箇所にセットされていないカセットが表示されます。
		72　カバーオープン	フロントユニットまたはトップカバーが開いています。
		73　EPカートリッジナシ	EPカートリッジが取り付けられていません。
		74　カミヅマリ ホンタイ　キュウシ	プリンター本体、給紙部で紙づまりが発生しています。ディスプレイ下段には紙づまりが発生している箇所のみ表示されます。
		75　ヨウシサイズエラー XXX	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。Xの箇所に発生している場所が表示されます。
		76　トナーナシ EPコウカン	EPカートリッジの交換時期です。
		77　テイキホシュ	定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期です。
		78　ヨウシピックミス XXX	用紙ピックミスが発生しています。Xの箇所に発生している場所が表示されます。
		82　メモリオーバー メモリヲゾウセツシテクダサイ	データを印刷するためのメモリーが不足しています。
		83 インサツフカ メモリヲゾウセツシテクダサイ	プリンターのメモリーオーバーのため解像度を落として印刷しようとしましたがそれでもメモリーが不足したため印刷できませんでした。
		84　フォーム　オーバー XXX	フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。
		88　EPタイプチガイ EPコウカン	EPカートリッジのタイプが違います。
		89　EPジュミョウ EPコウカン	EPカートリッジの寿命です。
		その他の表示	障害が発生しています。
メニュー表示		メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示については7章の「メニューモード」をご覧ください。	

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズの用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

テスト印刷

テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

←1バイト系　標準　パイカ文字
←1バイト系　標準　エリート文字
←1バイト系　標準　コンデンス文字
←1バイト系　標準　プロポーショナル文字
←1バイト系　イタリック　パイカ文字
←1バイト系　イタリック　エリート文字
←1バイト系　イタリック　コンデンス文字
←1バイト系　イタリック　プロポーショナル文字
←1バイト系　クーリエ　パイカ文字
←1バイト系　クーリエ　エリート文字
←1バイト系　クーリエ　コンデンス文字

←1バイト系　クーリエ　プロポーショナル文字

←1バイト系　ゴシック　パイカ文字

←1バイト系　ゴシック　エリート文字

←1バイト系　ゴシック　コンデンス文字

←1バイト系　ゴシック　プロポーショナル文字

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字（7ポイント）

01234

56789　ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ　abcdefgh

ijklmnopqrstuvwxyz

←2バイト系　　明朝体アウトラインフォント第二水準漢字（7ポイント）

←2バイト系　　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字のすべて（10.5ポイント）

←2バイト系　　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字（7ポイント）

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次にステータス印刷の結果例を示します。設定値が工場出荷時の設定以外はアンダーラインが引かれます。(このステータス印刷はMultiWriter 2130のものです。NPDL使用時のものですが、一部の設定はESC/Pエミュレーションでも有効です。)

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

MultiWriter2130
00000000

H/W情報

Version	エンジン	00．00
	コントローラ	00．00
給紙構成	ホッパ１	Ａ４　横
	MP	Ａ４　縦

メモリ容量	12MB	

メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	印字濃度	普通
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別	
	MP	普通紙
	定形外用紙	
	MP	OFF
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	MP	OFF
	ジョブセパレート機能	無効
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	MP微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	10分
	自動排出	無効
	メモリ設定	標準
	総印字枚数	1枚
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	0
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本

動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	USB	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	OFF
	USB	OFF
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インタフェース1	
	双方向設定	ニブル
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

増設メモリー対応表

増設メモリー対応表を次に示します。表中の用紙解像度は600dpiです。

プリンターの設定								
メモリー容量		12MB（標準）	+64MB		+128MB		+256MB	
メモリー割当設定		標準	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先
プリンタードライバーの設定	A3片面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	B4片面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	A4横片面	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎：印刷保証
○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）

メモリー割当て設定について

プリンターの操作パネルで切り替えます。
メニューモードの「運用メニュー」の「メモリー設定」で行います。詳しくは7章「メニューモード」（229ページ）をご覧ください。

メモリー増設量	メモリー割当設定	
64MB～増設時	ヒョウジュン	＜デンシソートユウセン＞

＜文字＞は、メモリーを増設したときの初期設定です。

電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表

電子ソート機能有効時の増設したメモリーによる印刷保証枚数は以下のとおりです。

プリンターとコンピューターの双方向通信が無効な場合、以下の表に示す印刷ページ数が1部を超えた複数部数印刷はできません。

用紙サイズ	解像度（dpi）	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	600	3枚	11枚	28枚
B4片面	600	5枚	15枚	37枚
A4片面*	600	7枚	23枚	56枚
		3枚	11枚	28枚

* それぞれの解像度の上段はプリンタードライバーなどでジョブセパレート＝OFFとして印刷した場合です。
下段はプリンタードライバー上でジョブセパレート＝ON（プリンタードライバーの初期設定）として印刷した場合です。

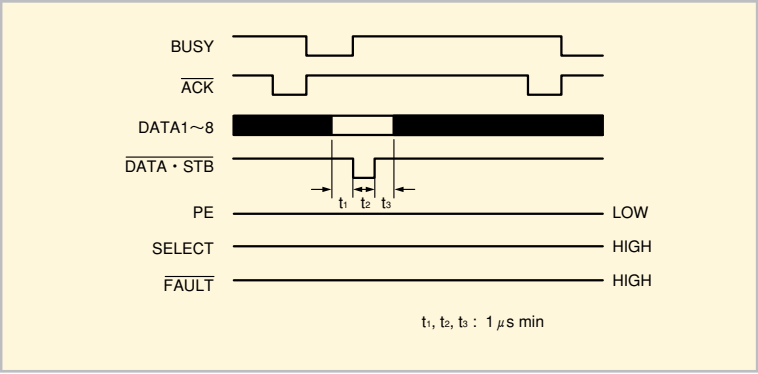
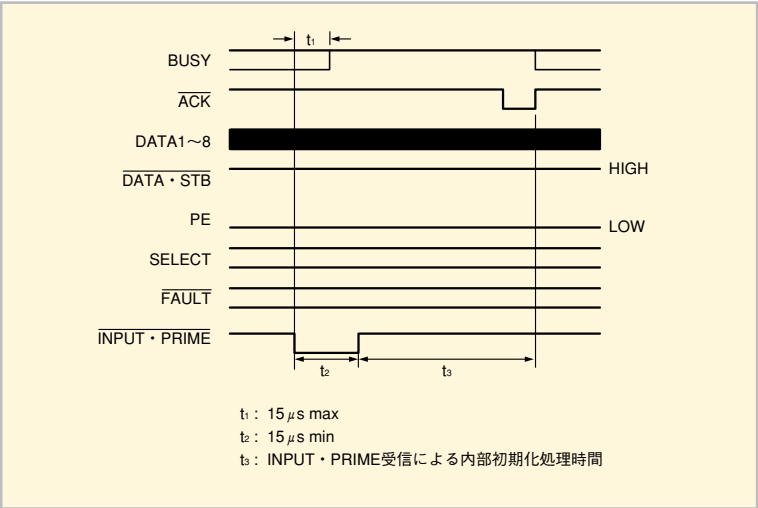
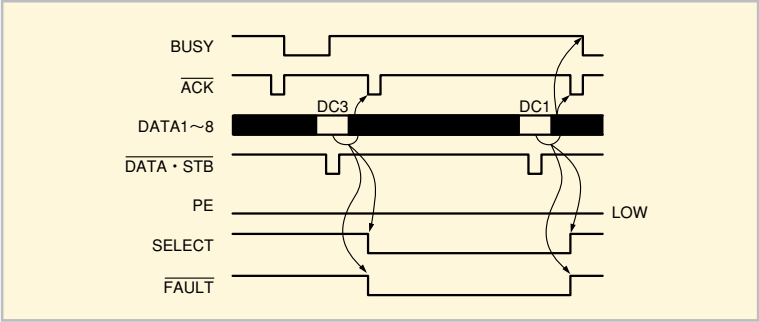
インターフェース

インターフェース信号の機能

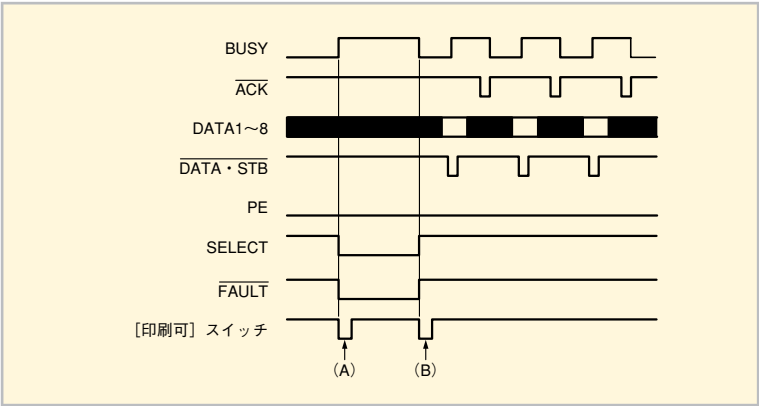
ピン番号	信号名	略称	信号の方向	機能
1	データストローブ	DATA・STB	PR←PC	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	PR←PC	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。上図に示すDATA･STBの前後1μsの範囲でDATA 1～8は確定していること。
10	アクノリッジ	ACK	PR→PC	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA･STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	PR→PC	プリンターがデータ受信不可能（BUSY中）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 • SELECT信号がLOWのとき。 • FAULT信号がLOWのとき。 • INPUT･PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過したのちHIGHとなり、内部初期化処理が終了するまでの間。 • データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 • 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 [補足] 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファーのほかに、受信用のバッファーを持ち、データを受信するとまず受信用のバッファーに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファーが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパーエンド	PE	PR→PC	用紙がなくなったときHIGHになる。 • 設定されたサイズの用紙がホッパーに存在せず、縮小もできない場合 • データが存在して用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	PR→PC	プリンターがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 [セレクトになる条件] • 電源ONしたとき • ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 • メモリースイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 [ディセレクトになる条件] • セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 • メモリースイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 • PE=1のとき。 • FAULT=0のとき。
14～15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	PR→PC	プリンターの電源がONになっていることを表す。操作パネルのリセットスイッチでリセットを実行した場合、最小で1.5秒間LOWとなる。
19～30	GND	—	—	（信号グランドに接続されている。）
31	インプットプライム	INPUT・PRIME	PR←PC	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15μs以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT･PRIMEは有効。INPUT･PRIMEによる初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	PR→PC	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。（本信号をLOWにするときは、必ずBUSYを先または同時にHIGHにすること） • SELECT＝0のとき。 • プリンターがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34～36	—	—	—	将来の拡張用

タイムチャート

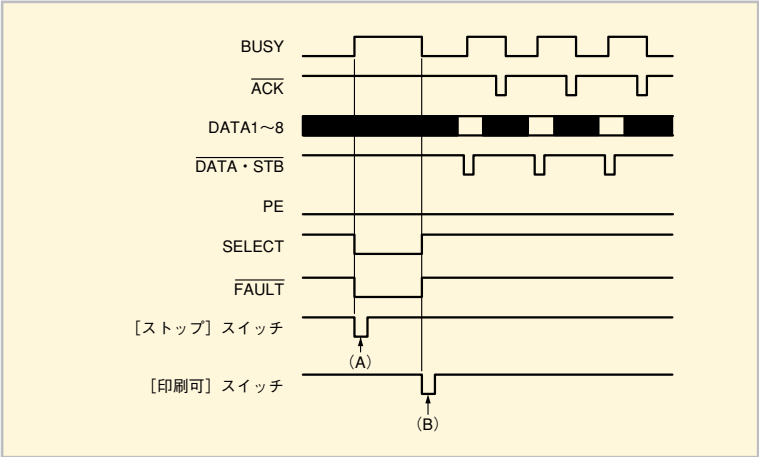
● 電源ON時

● データ受信時

● INPUT・PRIME受信時

● DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え

◇ DC1、DC3の処理は受信用バッファーから読み出された後に実行される。

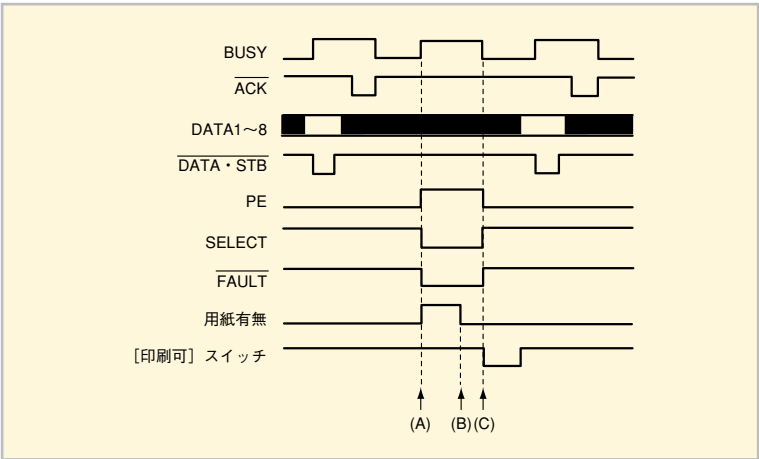
◇ DC3処理後はBUSY、ディセレクトのため、実際には通常の送信方法ではDC1はプリンターに対して送信できない。

● 操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え

(A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で［印刷可］スイッチを押すとセレクト状態になる。

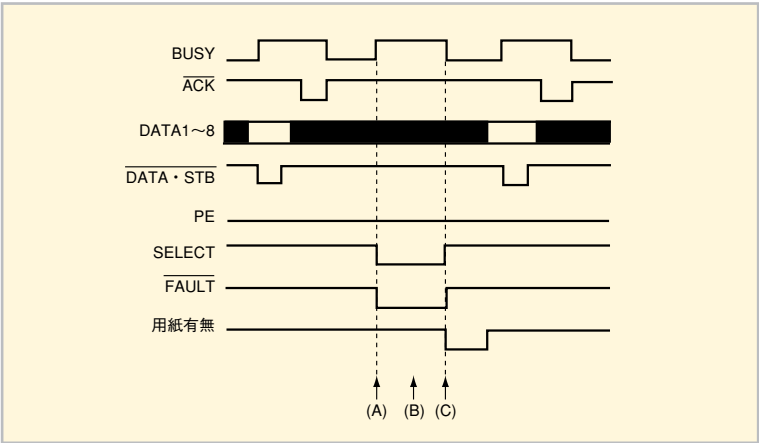
● ［ストップ］スイッチによる一時停止

(A) セレクト状態で［ストップ］スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で［印刷可］スイッチを押すとセレクト状態になる。

● 用紙なし発生時

（A）印刷データ受信後、用紙なしを検出するとただちにディセレクト状態になる。

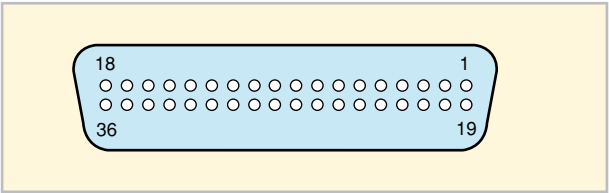
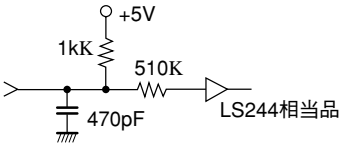
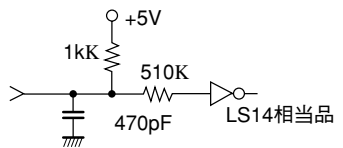
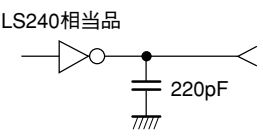
（B）用紙をセットする。

（C）用紙をセットすることによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

● 紙づまり発生時

（A）用紙ジャム発生状態

（B）用紙を取り除く。用紙が取り除かれるまで状態は続く。

（C）［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を再開する。

コネクターピン配置

各ピンの信号については「インターフェース信号の機能」をご覧ください。

16ピン、19〜30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA1〜8 ［インタフェース1］	+5V 1kK 510K 470pF LS244相当品
$\overline{\text{DATA・STB}}$ $\overline{\text{INPUT・PRIME}}$	+5V 1kK 510K 470pF LS14相当品

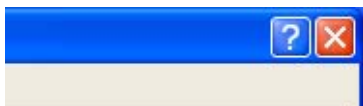
出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT $\overline{\text{DCN}}$	LS240相当品 220pF

用語解説

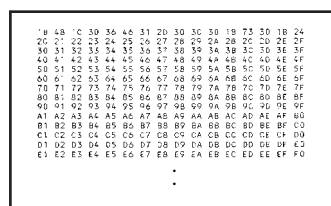
英数字

[?]ボタン

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows Server 2003、Windows NT 4.0で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターではこれらの規格のケーブルを使ってネットワークに接続することができる。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。

CR

Carriage Return(キャリッジリターン)の略。改行を表す文字コード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI(dpi)

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

EPカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする(→OPC)。消耗品のため「76 トナーナシ EPコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる(詳細は8章「日常の保守」参照)。

ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE1284が使用する、データ転送モードのひとつ。米マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令(コマンド)の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。

LPR
Line Printer Remoteの略。Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、UNIXに標準でサポートされている。ネットワーク上でコンピューターからプリンターへ印刷することができる。

LPRバイトカウント
LPRプロトコルで、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能。

Macintosh
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。

Mac OS
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem（日本語では漢字Talk）であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB
Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING
Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MP
Multi Purposeの略。いろいろなサイズの用紙をセットできる給紙機構のこと。

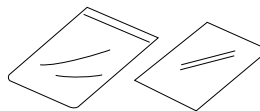
MS-DOS
Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI
ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NMPS
NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるようにするためのシステム。

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム
OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。本プリンターで印刷するときは、MPを用いる。

OPC
Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

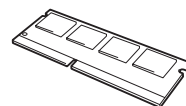
ping
packet internet groperの略。インターネットなどのTCP/IPネットワークで相手のコンピューターに小さなパケットデータを送り、その戻り時間により相手先コンピューターや通信回線の状況をチェックするのに利用するコマンド（→TCP/IP）

PrintAgent
双方向通信により、コンピューターの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定をすることを実現したソフトウエア。MultiWriterシリーズに搭載。

RGBガンマ
Red Green Blueガンマ
使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET
Sharp Edge Technologyの略。MultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

SNMP
Simple Network Management Protocolの略。ネットワーク管理プロトコルの一種。事実上TCP/IPを使ったネットワーク管理の標準。コンピューター間ではMIBで定義された管理情報がやり取りされる。（→MIB）

SO-DIMM
SO=Small Outlineの略。Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType
米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX
AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB
Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。

WAN
Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 2000
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWinodws 98 Second Editionもある。

Windows Me
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

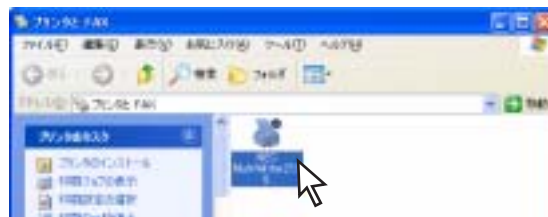
Windows NT
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windows Server 2003
マイクロソフト社が開発したサーバー用 OS。Windows 2000 Serverの後継にあたる。

Windows XP
マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザー向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me、Windows98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図れた。

WWW
World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン
アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント
文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント
ネットワークに外部から接続（アクセス）するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、アクセスポイント経由の接続に対応する。

アドホック（ad hoc）
無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANアダプターなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター（Administrators）
管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。（→システム管理者）

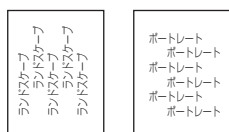
アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール
インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット（Ethernet）
LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント（DEC）社と米インテル社が協同で開発、規格した。3 社の頭文字をとって DIX 規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

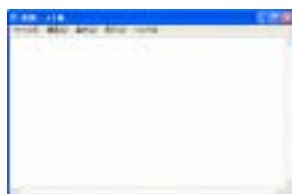
イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き
用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長（ランドスケープ）と縦長（ポートレート）がある。

印刷範囲
プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール
一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース
2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ
アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ
プリンターの電源をONにした後､ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能
他のプリンターのために開発されたソフトウエアの制御コードを本プリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字
1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

解像度
プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ（25.4mm）当たりのドット数で表す。

拡張子
MS-DOS､Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード
制御コードのうち、ESC （1BH）、FS （1CH）、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。（↔基本制御コード）

紙づまり
用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定
Windows XP､Windows Server 2003､Windows 2000､Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると､プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度
モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー
Windows XP､Windows Server 2003､Windows 2000､Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると［複数ページレイアウト］、［リプリント］などの機能の設定項目が［メイン］シート右下に表示される。

基本制御コード
制御コードのうち、CR （0DH）、LF（0AH）のように単独で機能を表すコード。（↔拡張制御コード）

クライアント
ネットワークを介して他のコンピューター（またはサーバー）にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー（システム）
中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター（サーバー）が共有の資源（ハードディスクやプリンター）を管理し、接続を許されたコンピューター（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。（→ピア・ツー・ピア）

クリック
マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレースケールイメージ
白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。（→ハーフトーン）

現像ユニット
OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド
コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字
1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイププライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト
グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能

データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者

コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙

カット紙（単票用紙）を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

ジョブ結合

PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

[スタート]ボタン

Windows XPやWindows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

ステータス印刷

テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール

ドキュメント（文書）を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR（改行コード）やFF（改ページ）など。

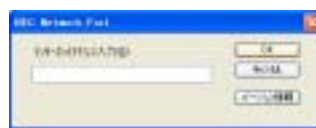
双方向通信

コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には、セントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターである、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア

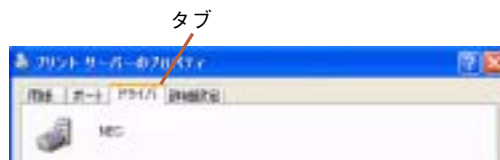
コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。（⇔ハードウエア）

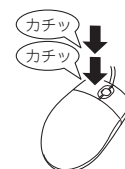
ダイアログボックス

設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

タブ

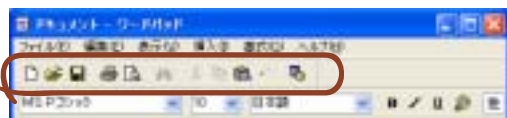
Windowsでは、ダイアログボックスの中に複数の設定画面（シート）がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみのこと。

ダブルクリック

マウスのポインター（矢印）を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON／OFFの切り替えができるオプション（機能）を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。

通常使うプリンタ
アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量
用紙の重さを表す単位。用紙1枚1㎡単位の重さをいう。(ユーザーズマニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/㎡)。

ツールバー
ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

定着ユニット
用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

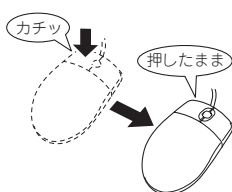
テスト印刷
プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート
複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリー上で印刷データ処理を行う機能。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることで実現する。

動作環境
ソフトウエアや周辺機器が正しく動作するために必要な環境条件。

ドライバー
周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名
ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ
マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク
複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード
白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理で必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128に対応しています。

ハードウエア
コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(↔ソフトウエア)

ハーフトーン
画像を表示・出力する際に、一定間隔の点(網点)に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファーフル
ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ
LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4〜32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANボードとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ(スイッチ)に大別できる。

パラレルインターフェース
同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクターのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式(IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース)が用いられる。

ピア・ツー・ピア
小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューター同士、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(↔クライアント・サーバー)

ピア・ツー・ピア　グループ
無線LAN機器が備える設定のひとつ。無線親機(アクセスポイント)なしに無線LANアダプターなど無線子機同士が相互に通信できる。

ヒートローラー
定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル
Pixel(Picture elementからの合成語)。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ
画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷
見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント
同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー
電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー

インターネット上のWebページを閲覧（ブラウズ）するためのソフトウエア。WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー

コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファー

一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタープール

複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プロトコル

コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語

１ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開（作成）して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント（マウスの）

マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。（←→ランドスケープ）

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。

丸め誤差

四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

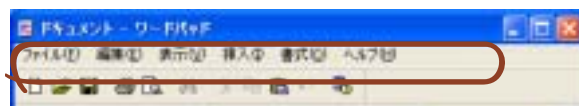
無線LAN

ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク（LAN）を構成するシステム。IEEE802委員会がIEEE802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANアダプタは、IEEE802.11bに準拠している。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ（MSW）

不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON／OFFを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

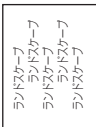
メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。(⟷ ポートレート)

リストボックス

ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、いちいちアプリケーションを再起動する必要がない。標準シートとジョブ結合シートがある。

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、PrintAgent リプリント2のウィンドウを使って実現し、その際に、丁合い、ジョブセパレートの設定も可能。

PrintAgent リプリント2のウィンドウ

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

136 桁モード 246, 253
136 桁モードの有効／無効 253
16 進ダンプ印刷 241
1 バイト系コード 316
1 バイト文字サイズ 339
1 バイト文字縦横サイズ 340
1 バイト系ゼロ 244
201PL エミュレーション 251
2 バイト系コード 317
2 バイト系ゼロ 244
2 バイト文字サイズ 339
2 バイト文字縦横サイズ 340
7 ビット 252
7 ビット／ 8 ビットデータの切り替え 252
80 桁モード 330
8 ビット 252

A

A4 ポートレート桁数 233, 246, 252
ACK 255, 383
Administrators 40
Adobe Acrobat Reader 36
ANK 文字 244

B

BUSY 255, 383

C

CR 251
CR 機能の切り替え 251

D

DC1 .... 251, 385
DC1、DC3 の有効／無効の切り替え 251
DC3 .... 251, 385
DHCP 120
　DHCP サーバの設定 122
　EASY 設定ユーティリティ 121
　PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ 121
　動作 126
DHCP サーバの設定
　Windows 2000 Server 122
　Windows NT Server 4.0 125
　Windows Server 2003 122
Domain Admins 40

E

EASY 設定ユーティリティ 36, 79, 121
ECP 247
EP カートリッジ
　～の回収と購入 260
　～の交換 259, 261
　～の寿命 262
　～の種類 260
ESC a 251
ESC b 251
ESC c1 253
ESC/P 220
　～エミュレーションサポートコマンド 336
　～エミュレーションモード 245, 257

F

FF 251, 253
FS f 252
FS f コマンド 250, 254
ftp コマンド 118

H

Host Resourece MIB 17

I

I/F 設定メニュー 233
INPUT・PRIME 331, 384
IP アドレス 247

L

LAN アダプタ
　PR-WL-01 無線 LAN アダプタ 16
LAN アダプター 28
　LAN アダプタ（TCP/IP） 14
　PR-NP-02T2 LAN アダプタ（TCP/IP） 17
　PR-NP-03TR2 LAN アダプタ（TCP/IP） 17
　～の取り付け 28
　～の取り外し 29
　無線 LAN アダプタ 14
LF 251
LPR 92, 95, 103, 106, 111
lpr コマンド 117, 119, 291
LPR バイトカウント機能 98, 108

M

Microsoft TCP/IP 印刷 111
MOPYING 7
MOPYING 設定ウィンドウ 151
MP 微調整 232
MS-DOS
　プリンターを選択する 74

N

NEC 121 コンタクトセンター 306
NEC e-mail メンテナンス 136
NEC TCP/IP Port 41, 69, 91, 99, 101, 109, 308
NEC TCP/IP Printing System 99
NEC 印刷ログユーティリテイ 36
NPDL 220
NPDL モード 245

O

OCR-B フォント 355
OHP フィルム 213, 220, 313
OHP に合い紙を挿入する 168
OS 288
OS の設定
　Windows 2000 日本語版 101
　Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版 99
　Windows NT 4.0 日本語版 109
　Windows XP、Windows Server 2003 日本語版 90

P

PC-PR201 74
ping 116
PrintAgent 37
　～システムが起動しないときは 278
　～による印刷ログ出力 196
　システムアイコン 43
　～の削除 65
　～の追加 65
　～を正しく動作させるために 283
　～を動作させる前に 283
「PrintAgent」ツールバー 179
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ 82, 121
PrintAgent リプリント 2 .... 44, 171
Printer-MIB 17
PrinterSupportPack 305
PSW のプロパティ 280
put コマンド 291

S

SNMP 290
Standard TCP/IP Port 95, 106

T

TCP/IP 37

U

UNIX 291
UNIX コマンド 86
UNIX 用印刷サービス 92, 103
US 251

V

VT 251

W

Web PrintAgent 136, 203
Windows 2000 日本語版 59, 63, 68, 101
Windows 95 日本語版 40, 57, 62, 68, 99
Windows 98 日本語版 40, 62, 68, 99
Windows Me 日本語版 40, 55, 62, 68, 99
Windows NT 4.0 291
Windows NT 4.0 日本語版 64, 68, 109
Windows Server 2003 日本語版 45, 53, 61,90
Windows XP 日本語版 53, 61, 90

ア

アラーム表示が出ているときは 270
安全上のご注意 2
　無線 LAN アダプター 77
安全にかかわる表示 ii

イ

印刷
　思うように～できないときは 275
　～が薄い 272
　グレー～ができない 273
　白く抜ける 273
　縦線や横線が入る 273
　～できないときは 268
　～に異常が見られるとき 272
　にじむ 272
　ネットワークで思うように～できないときは 289
　～方向 220
　真っ黒 272
　～を中止する 181
印刷位置 242, 328
　～をずらす 134
印刷開始位置 252
印刷指令 251

印刷設定メニュー 241
印刷範囲 323
　定形外用紙 327
　定形用紙 323
印刷方向 351, 352
印刷向き 180 度回転 250, 256
印刷ログの出力 196
インストール媒体の作成 307
インストール方法の選択 39
インターフェース信号 383

ウ

ウォームアップ 182
運搬するときは 301

エ

エミュレーション 233, 246
エミュレーションモード 251

オ

扇形描画 373
お客様登録申込書 304
オプション 13, 15
重さ（質量） 312
オンラインマニュアル 36

カ

海外でのご使用 268, 405
外字パターン 342
各国文字 251
各国文字セット 244
拡大 352
拡大・縮小印刷 146
　～する 134
　～に対応した用紙サイズを指定する 150
　拡大・縮小率を指定する 149
カスタマーバーコード 356
カセット
　MP カセット 14, 16
　増設カセット（250） 14, 15
　用紙カセット（500） 14, 16
活用マニュアル vii
　～について vii
　～の開き方 ix
　～を印刷する viii
角丸矩形描画 374
紙づまり
　給紙部の～ 298
　～処理後の確認 300
　～の処理 296
　～のときは 292
　～の発生箇所 292
　本体部の～ 296
漢字コード表切り替え 365
漢字文字幅 338
かんたん設定
　ユーザー設定の削除 154
　ユーザー設定の登録 153
管理銘板 304

キ

記憶実行 247
技術情報 311
機能 134
機能拡張制御コード 337
給紙方法 26
行桁制御印刷コード 341

ク

クライアント 285
グラフィックモード 251
クリーニングキット 263
グループプリンタ 184
グレースケールの網点を細かく印刷 251
グレーレベルパターン 370

ケ

警告ラベル 1
ケーブル
　使用できるプリンター～ 33

コ

購入
　EP カートリッジの～ 260
ゴシック 244
コネクターピン配置 386
コピーモード 251

サ

サーバー 285
再購入 306
サイドガイドロックレバー 211, 214
座標指定単位 354
サブネットマスク 247

シ

自動縮小 255
自動排出 243
自動復帰改行 251
自動復帰改行の切り替え 251
自由曲線 367
修理 267
縮小 352
縮小印字 350
縮小／拡大モード 220
縮小率 252
出力回路 387
出力用紙サイズ 147
寿命 305
　消耗品 305
　製品 305
仕様 311
消費電力 312
商標 iv
情報サービス 306
初期化 253
初期化実行 247
初期状態 331
除電針 265
ジョブ結合 177
ジョブセパレート
　～を使った仕分け印刷 140
ジョブセパレート機能 139, 242
　～が動作しないときは 282
　～の設定 141
仕分け印刷 139, 171, 177

ス

スイッチ 222
　［MP］スイッチ 223
　［印刷可］スイッチ 223
　［印刷方向］スイッチ 224
　［シフト］スイッチ 226
　［縮小］スイッチ 224
　［ストップ］スイッチ 223
　［設定変更］スイッチ 226
　［排出］スイッチ 227
　［ホッパ］スイッチ 224
　［メニュー終了］スイッチ 226
　［メニュー］スイッチ 223
　［リセット］スイッチ 227
　［▶］スイッチ 226
　［◀］スイッチ 226
　［▲］スイッチ 226
　［▼］スイッチ 226
数字ゼロの字体 244, 251
図形モード 335
スタンプ 159
ステータス印刷 241, 380
スポット保守サービス........ 305
スライドカセットロック 211, 214

セ

制御コード 333
清掃 263
　～箇所と時期 263
　～手順 264
　プリンターの表面 266
　リブプレート 264
設置
　～に必要な高さ 19
設定初期化メニュー 247
設定変更
　メニューモード 230
　メモリースイッチ 231
節電 243, 254, 255
節電モード 250, 255

ソ

総印字枚数 243
操作パネル 219, 230
増設ホッパーの種類 254
増設メモリー
　～の設定方法 145
　テスト印刷 32
　～の取り付け 30
　～の取り外し 32
双方向通信 182, 286

タ

タイムアウト 245
楕円 366
楕円弧 366
楕円弧描画 371
縦置き 141, 209

チ

中央合わせ 246, 253
丁合い機能 139
　～の設定 143

ツ

通信モード 247

テ

定形外用紙サイズの用紙に印刷する 155
定形外用紙 241
ディスプレイ 220
ディスプレイ表示 375

データストローブ 254
データラッチタイミング 250, 254
テキストモード 333
デジタル署名 52, 60
テスト印刷 241, 377
　増設ホッパー 25
　増設メモリー 32
テストメニュー 241
電子ソート 243
電子ソート機能 140, 145, 382
電子ソート優先 243
電波障害自主規制 405

ト

同期コード 254
動作エミュレーション 233, 245
　～の切り替え 257
動作自動切り替え 233, 245
ドメインネーム 91, 100, 102, 110

ニ

日本語ページプリンタ言語 NPDL（Level 2）
　リファレンスマニュアル 18
入力回路 387

ヌ

塗りつぶし 370

ネ

ネイティブモード 251
ネットワーク
　～の回線速度が遅い 284
ネットワーク印刷 76
ネットワーク共有プリンタ 41, 69, 114
ネットワークでの設定 75
年間保守契約 305

ハ

バーコードの印刷 344
バージョンアップ 36
廃棄するときは 302
はがき 213, 313
白紙を出力 253
パスワード設定 67
パスワードの設定 73
パラレルインターフェース 247
バルーンヘルプ 181

ヒ

ビジィ 255
左端合わせ 246, 253
微調整 246
ピックミス
　～の処理 294
　用紙カセット 294
描画コード 366
標準フォント 244

フ

フォーム登録 271, 349
フォントメニュー 244
複数ページ印刷 137
　～する 134
ブザー 253
プラグ・アンド・プレイ 39
プリンター
　～の構成情報 181
　～の自動切替 136, 184
プリンターソフトウエア
　～ CD-ROM について 36
　～の動作環境 37
　～の容量 38, 68
　フロッピーディスク 306
プリンターソフトウエアのインストール 35
　USB インターフェース接続 45
　インストールプログラムからのインストール 40, 113
　パラレルインターフェース接続 53
プリンターソフトウエアの容量 38, 68
プリンター単位指定 369
プリンターの操作パネル 88
プリンター一覧 44
プリンタステータスウィンドウ 135, 180
　～がおかしいときは 279
プリントサーバー 173
フロッピーディスク
　～でインストールする場合 35
フロッピーディスクの作成 67
文書結合 135, 177

ヘ

ページ制御コード 350
ページ単位の給紙方法 166
ページプリンター 251
ヘッダー・フッター 135, 163

ホ

ポートレート 220
保守 259
　～サービス 305
補修用部品 305

保守情報
　～のメール通知 200
　～をメール通知する 136
保証 304
ホッパー 15, 351
　増設ホッパ（250） 15
　増設ホッパ（500） 15
　増設ホッパー 19
　　～のステータス印刷の例 25
　　プリンターの設定 22
　～に必要な高さ 19
　～の切り替え 23
　～の取り付け 20
　～の取り外し 27
ホッパー 2 254
ホッパー 3 254
ホッパー初期設定 241

マ

マルチプロトコル LAN アダプタ
　PR-NPX-05 マルチプロトコル LAN アダプタ 17

ミ

明朝 244

ム

無線アダプタ 16
無線 LAN プリンタ導入ウィザード 84

メ

メニューツリー 234
メニューモード 230
　設定項目 232
メモリー 18
　PR-MW-M012 増設メモリー 18
　PR-MW-M013 増設メモリー 18
　PR-MW-M014 増設メモリー 18
　～の取り付け 30
　～の取り外し 32
メモリーオーバー 254
メモリーオーバー時の動作指定 250, 254
メモリースイッチ 231
メモリー設定 243
面制御コード 349

モ

文字間隔 314
文字構成 315
文字コード 316
文字サイズ 338
文字セット 244
文字セット制御コード 355
文字の種類 314
文字幅 341
文字明度 338
文字ロード 342

ユ

ユーザーサービス 303
ユーザーズマニュアル vi
ユーザー名を表示する 170
ユーティリティーによるネットワークの設定 78
　EASY 設定ユーティリティ 79
　PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ 82
　UNIX コマンド 86
　プリンターの操作パネル 88
　無線 LAN プリンタ導入ウィザード 84
弓形描画 372

ヨ

用紙
　～が汚れている 272
　使用できる～ 208
　～にしわが入る 272
　～についての注意事項 208
　～の裏が汚れる 273
　～の規格 313
　～のセット 22
　～のセット方向 209
　～の保管方法 212, 215
用紙位置 246, 252
用紙位置の設定 253
用紙位置微調整方向の設定 253
用紙サイズ 208, 220, 351
用紙サイズ設定ダイヤル 211, 214
用紙種別 241
用紙なし 386
用紙のセット 207
用紙メニュー 241
用紙をセットする
　MP に～ 213
　ホッパーに～ 210
用紙をセットするときの注意
　OHP フィルム、ラベル紙 217
　定形外用紙 218
　はがき、往復はがき 216
　封筒 217
横置き 141, 209
余白 327
呼び出し実行 247
より進んだ使い方 133

ラ

ラベル紙 213, 313
ランドスケープ 220
ランドスケープ方向 254
ランプ 221
　印刷可ランプ 221
　データランプ 221
　電源ランプ 221
　トナーランプ 221

リ

リファレンスマニュアル 18
リフトプレート 210, 213
リププレート 263, 265
リプリント 8, 135, 171, 183
　〜が動作しないときは 281
リモート電源 181
リモート電源制御 183, 193
領域指定イメージ 353
リレー給紙 242
　〜の設定 26

レ

レフトマージン量 252
連続印刷 241

ロ

ローカルポート 41, 69, 114

高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、ネットワークオプション*のマルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

なお、この装置にネットワークオプション*のLANアダプタ（TCP/IP）（型番：PR-NP-02T2／PR-NP-03TR2）、無線アダプタ(型番：PR-WL-01)を接続して使用した場合、接続したオプションを含むプリンター全体としては情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置になります。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* オプションについては、1章「オプション」（13ページ）を参照してください。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

MultiWriter 2130

レーザプリンタ

NEC